

科学技術に関する情報の主要取得源と 意識等との関連

2015年8月

文部科学省 科学技術・学術政策研究所

第2調査研究グループ

早川 雄司

本 DISCUSSION PAPER は、所内での討論に用いるとともに、関係の方々からのご意見をいただくことを目的に作成したものである。

また、本 DISCUSSION PAPER の内容は、執筆者の見解に基づいてまとめられたものであり、機関の公式の見解を示すものではないことに留意されたい。

DISCUSSION PAPER No.121

The Relationship between Primary Source for Information
about Science and Technology and Its Awareness

Yuji Hayakawa

August 2015

Second Policy-Oriented Research Group
National Institute of Science and Technology Policy (NISTEP)
Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology (MEXT)
Japan

本報告書の引用を行う際には、出典を明記願います。

科学技術に関する情報の主要取得源と意識等との関連

文部科学省 科学技術・学術政策研究所 第2調査研究グループ
早川雄司

要旨

従来、テレビ、新聞、ラジオが情報源の主流であったが、この十数年の間にインターネットが急速に普及し、情報メディアの多様化や情報量の増大をもたらした。このような情報メディア環境の発展により人々の情報収集行動に変化が生じており、このことが人々の意識や行動に影響を及ぼしていると考えられる。そこで本調査では、科学技術に関する情報の主要な取得源と科学技術に関する意識との関連について検討した。

The Relationship between Primary Source for Information about Science and Technology and Its Awareness

Yuji Hayakawa

Second Policy-Oriented Research Group,

National Institute of Science and Technology Policy (NISTEP), MEXT

ABSTRACT

Television, newspapers, and radio were the conventional mainstream of the source of information. However, the rapid spread of the Internet during the last ten-odd years brought diversification of the information media and increase in the volume of information. Development of such information media environment leads to changes in people's information collection actions, and this affect their consciousness and behavior. In this study, we examined the relationship between primary source of information about science and technology and its awareness.

目 次

概要	概 1
第 1 章 調査の目的及び方法	1
1 調査の背景及び目的	1
2 調査の方法	1
3 回答者の属性	2
第 2 章 調査結果	4
1 科学技術情報の取得先	4
1.1 主要メディアの接触頻度	4
1.2 科学技術情報の取得源	5
2 科学技術情報の主要取得源別の回答者属性	11
3 科学技術情報の主要取得源とメディア等の接触状況	12
3.1 各メディアの接触頻度	12
3.2 各施設の訪問状況	13
4 科学技術情報の主要取得源と社会的課題や科学技術関連話題に対する関心	16
4.1 社会的課題に対する関心	16
4.2 科学技術関連話題に対する関心	17
5 科学技術情報の主要取得源と情報の受け取り方	23
5.1 ネガティブ情報の受け取り方	23
5.2 ポジティブ情報の受け取り方	25
5.3 ネガティブ情報とポジティブ情報の受け取り方の比較	27
6 科学技術情報の主要取得源と影響を及ぼす情報	28
6.1 ネガティブ情報における最も意見や判断を左右した情報	28
6.2 ポジティブ情報における最も意見や判断を左右した情報	31
6.3 ネガティブ情報とポジティブ情報の影響を及ぼした情報の比較	34
7 科学技術情報の主要取得源と科学技術情報の信頼	35
8 科学技術情報の主要取得源と科学技術情報の提供状況	39
9 科学技術情報の主要取得源と不足している科学技術情報	42
10 科学技術情報の主要取得源と科学技術に関する知識	45
11 科学技術情報の主要取得源と科学技術に関する意見に対する意識	46
12 科学技術情報の主要取得源と重視する科学技術の評価事項	52
13 科学技術情報の主要取得源と福島第一原子力発電所の事故の影響に対する不安	58

第3章 まとめ -----	59
謝辞 -----	61
参考文献 -----	62
参考資料	
I 性別及び年代別グラフ -----	参 1
II 性・年代別集計表 -----	参 25
III 主要な科学技術関連意識の経時変化 -----	参 46
IV 調査画面 -----	参 50

概 要

概 要

1 目的

従来の情報源は、テレビ、新聞が主流であったものが、ここ十数年の間にインターネットが大きく台頭し、情報メディアとしての地位を確立してきている。情報メディアの多様化が進み、情報量が増大する中で、人々は、必要な情報を取得するため、そのジャンルによって情報源を取捨選択している状況にあり、情報源がもたらす情報が人々の意識や行動に多大な影響を及ぼしているものと考えられる。

そこで本調査では、科学技術情報の主要取得源により科学技術に関する意識等に違いがあるかについて調査分析を行った。

2 調査方法

インターネット調査会社の保有する登録モニターのうち、全国 15～69 歳を対象に無作為に調査依頼メールを送信し、依頼に応じた登録モニターがインターネット上に設置している調査画面にアクセスして回答する方法(Web 調査)により、2014 年 10 月 25 日(土)～10 月 28 日(火)にかけて実施した。なお、回収サンプル数は、性・年代別の各層 200 サンプル、合計で 2,400 サンプルである。回答者の主な属性は下表のとおりである。

表 回答者プロフィール

【性別】

	男性	女性
全体(n=2400)	50.0%	50.0%

【年代】

	15～19歳	20代	30代	40代	50代	60代
男性(n=1200)	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%
女性(n=1200)	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%

【居住地域】

	北海道	東北	関東	北陸	中部	近畿	中国	四国	九州・沖縄
男性(n=1200)	3.3%	4.2%	47.7%	3.9%	12.7%	16.0%	3.6%	2.1%	6.7%
女性(n=1200)	4.3%	5.0%	40.5%	2.3%	13.3%	19.3%	5.3%	2.0%	8.0%

【最終学歴】

	中学校	高等学校	高等専門学校	短期大学	専修学校専門課程	大学	大学院修士課程	大学院博士課程	その他
男性(n=1200)	2.6%	26.8%	3.3%	0.8%	5.4%	51.8%	6.5%	2.8%	-
女性(n=1200)	2.4%	32.1%	3.2%	17.2%	8.6%	34.7%	1.7%	0.1%	0.2%

3 主要な調査結果

(1) 科学技術情報の取得源

- 科学技術情報の取得源(複数選択)は、2008年調査と比べ、インターネットの依存度が上昇。
- 科学技術情報の主要取得源(単数選択)は、男性の場合、インターネット、テレビ、新聞、本/雑誌の順に、女性の場合、テレビ、インターネット、新聞、家族や友人、知人の話の順に依存度が高い。
- 年代が高いほど、新聞の依存度が高く、インターネットの依存度が低い。

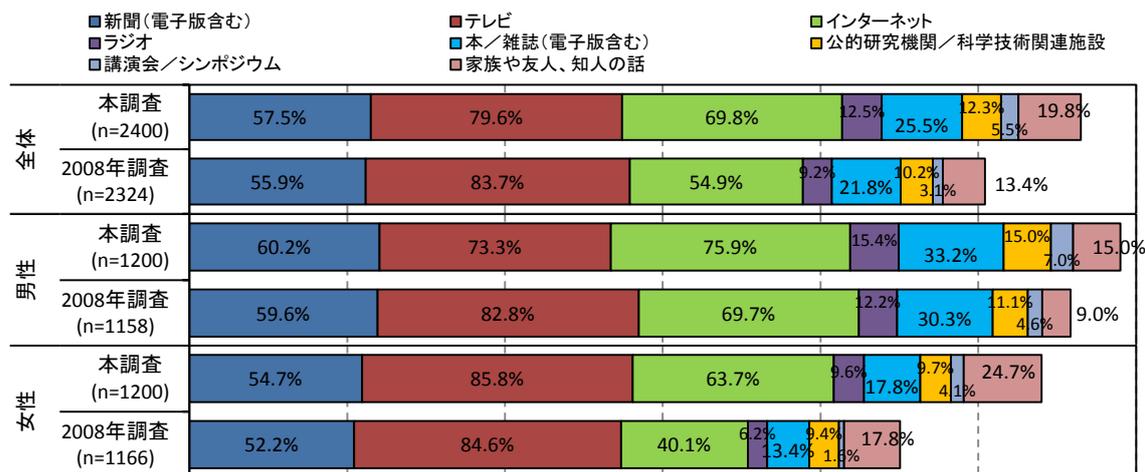


図1 科学技術情報の取得源(複数選択)

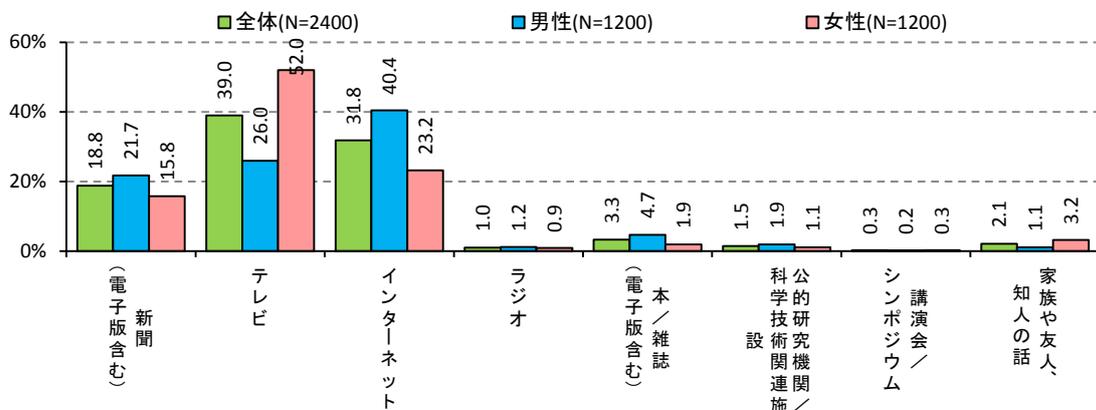


図2 科学技術情報の主要取得源(複数選択:性別)

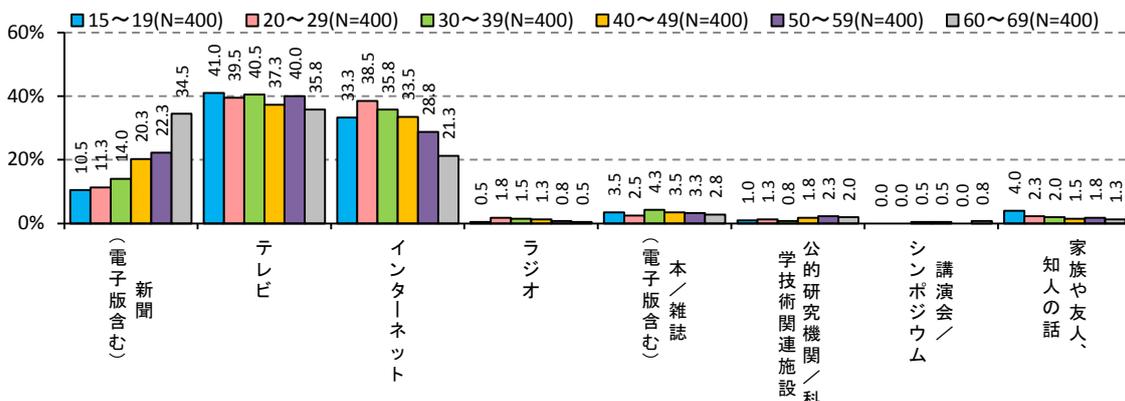


図3 科学技術情報の主要取得源(複数選択:年代別)

(2) 科学技術情報の主要取得源と情報媒体接触状況

- 科学技術情報の主要取得源が『新聞』の者の多くは、新聞、テレビ、インターネット、万遍なく毎日のように接触しているおり、新聞だけが突出しているわけではない。
- 科学技術情報の主要取得源が『テレビ』又は『インターネット』の者の多くは、テレビ、インターネットに毎日のように接触しているおり、新聞の割合が低い。
- 科学技術情報の主要取得源が『本／雑誌』の者は、本や雑誌に毎日のように接触している者が他と比べ多いものの、その多くは、他と同程度、テレビ、インターネットに毎日のように接触しており、本や雑誌だけが他の情報媒体より高いわけではない。
- 科学技術の主要取得源と日常的に接触している情報媒体との関連は薄い。

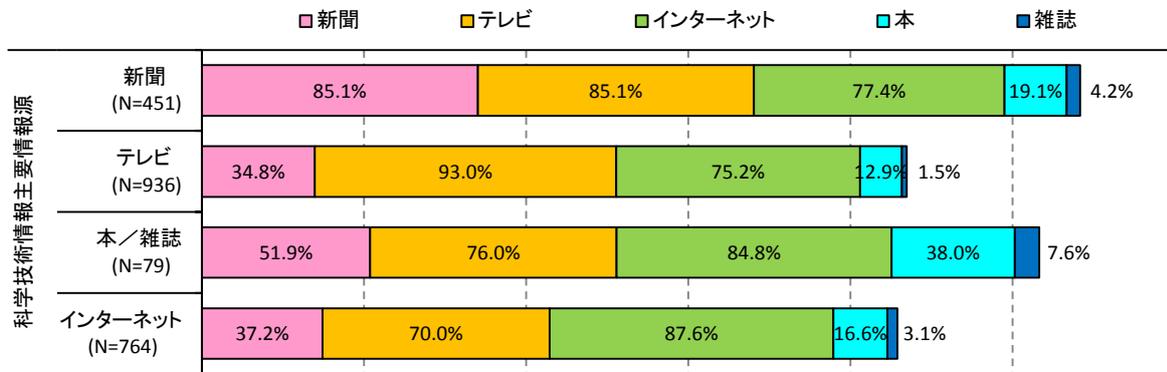


図 4 「ほぼ毎日のように」接触しているメディア

(3) 科学技術情報の主要取得源と科学技術に関する知識

- 科学技術情報の主要取得源が『本／雑誌』の者は、他と比べ、科学技術に関する知識があるとする者が非常に多い。
- 次いで、『新聞』及び『インターネット』の者が同程度で拮抗しており、『テレビ』の者が最も少ない。

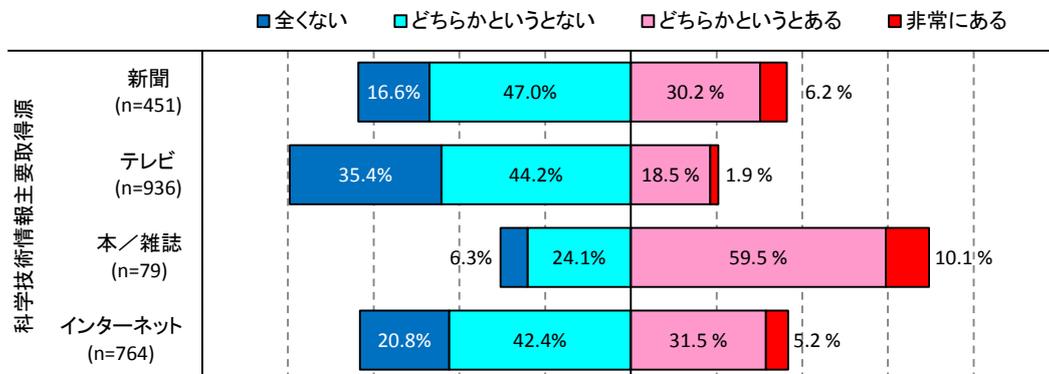


図 5 科学技術に関する知識の自己申告状況

(4) 科学技術情報の主要取得源と施設の訪問状況

- 科学技術情報の主要取得源により、『新聞』・『本／雑誌』及び『テレビ』・『インターネット』の2グループに大別される。
- 両グループの間には、博物館など科学技術関連施設及び図書館の訪問との関連、並びに施設訪問の有無との関連度の違いがあり、動物園など動植物関連施設及び美術館など文化的施設の訪問との関連度には大きな違いが見られない。

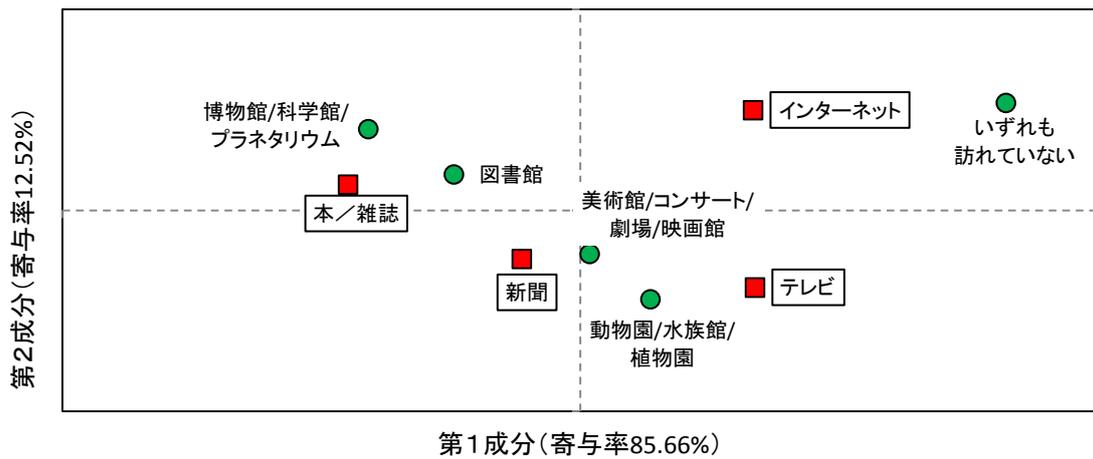


図 6 施設訪問状況(過去1年)のコレスポネンス分析ⁱ

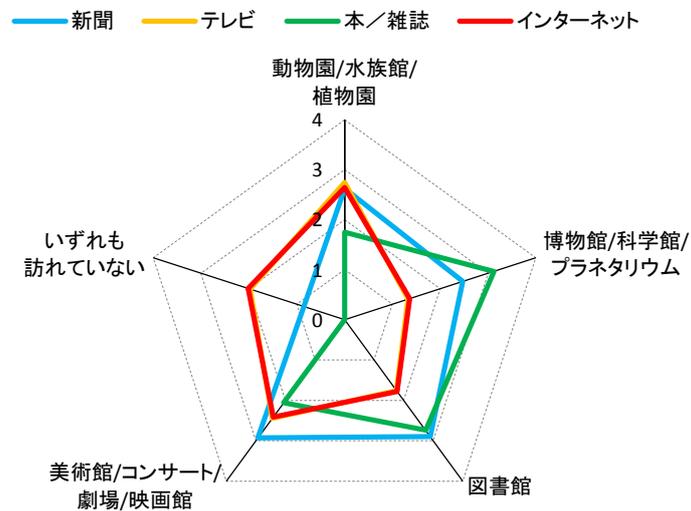


図 7 科学技術情報の主要取得源と施設訪問の関連度ⁱⁱ

ⁱ 2つの変数群(要素群、要因)の関連性を分析する手法であり、行要素と列要素の相関関係が最大となるように数値化し、行要素と列要素の関連の強さ(因果関係)を平面上の距離に置き換えて表現したもの。以下同じ。

ⁱⁱ コレスポネンス分析により得られたスコアを用いて本文の式 3.1 により数値化した結果であり、数値が大きいほど関連が高いことを表す。以下同じ。

(5) 科学技術情報の主要取得源と科学技術関連話題の関心

○総体的に科学技術関連話題に対する関心は、科学技術情報の主要取得源が『本／雑誌』の者が最も高く、『テレビ』の者が最も低い。科学技術情報の主要取得源が『新聞』の者と『インターネット』の者は同程度である。

○新しい技術や発明の利用、新しい科学的発見、新しい医学的発見、宇宙探査・開発の話題に対する関心は、米国と比べ低い。

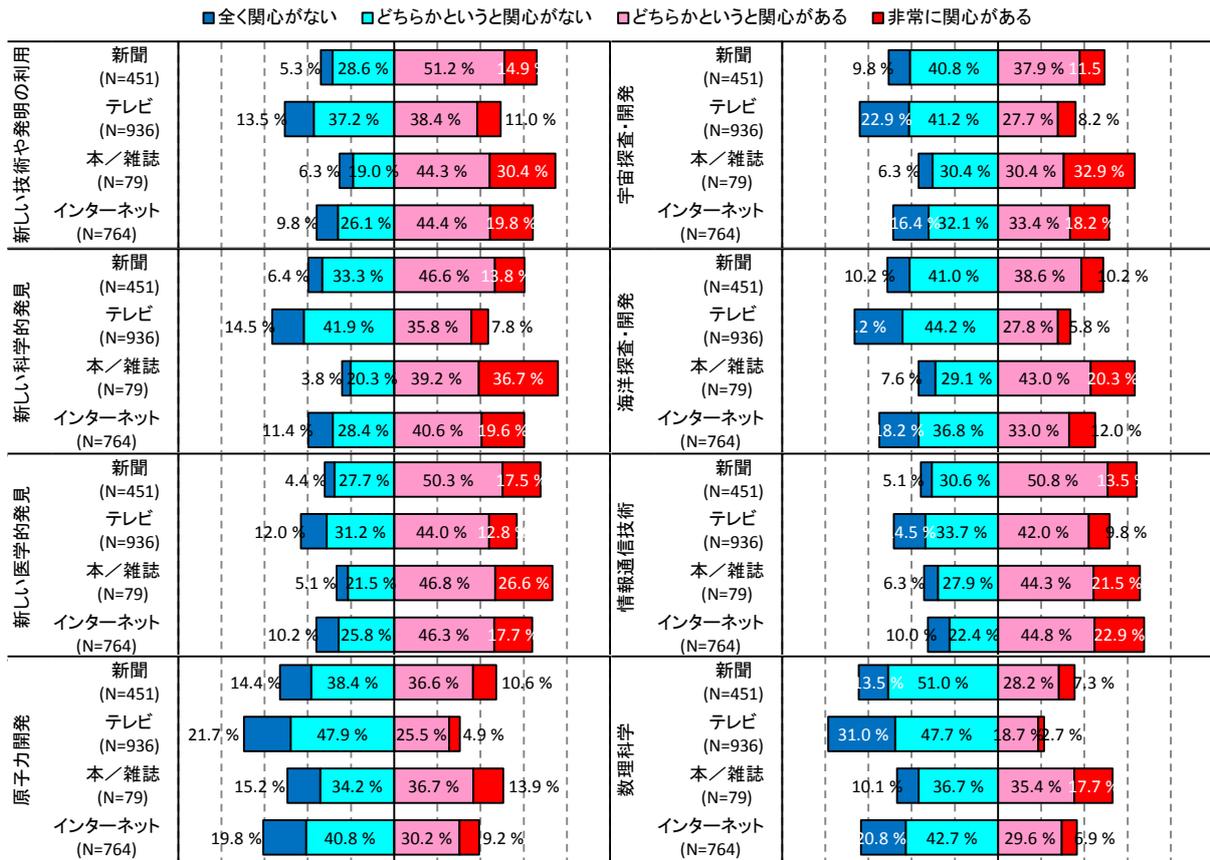


図 8 科学技術関連話題に対する関心

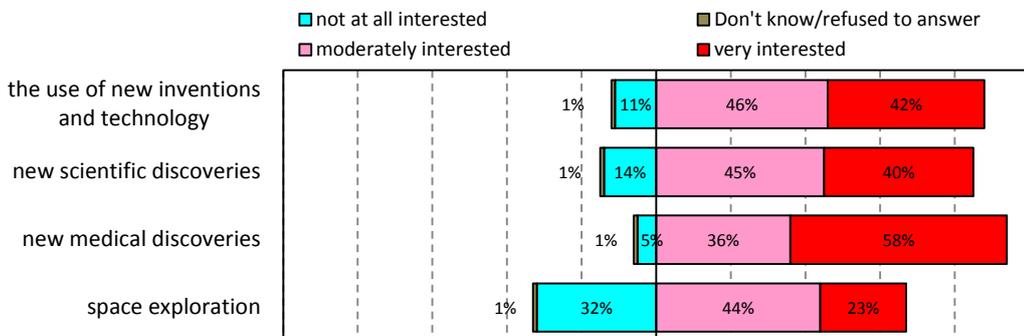


図 9 米国における科学技術関連話題に対する関心

○科学技術情報の主要取得源により、『本／雑誌』、『テレビ』及び『新聞』・『インターネット』の3グループに大別される。

○『本／雑誌』グループは、他と比べ、「新しい医学的発見」や「情報通信技術」の関心との関連が低く、『テレビ』グループは、「新しい科学的発見」、「宇宙探査・開発」、「海洋探査・開発」の関心との関連が低い。『新聞』・『インターネット』グループは、「数理科学」を除く科学技術関連話題の関心との関連が高い。

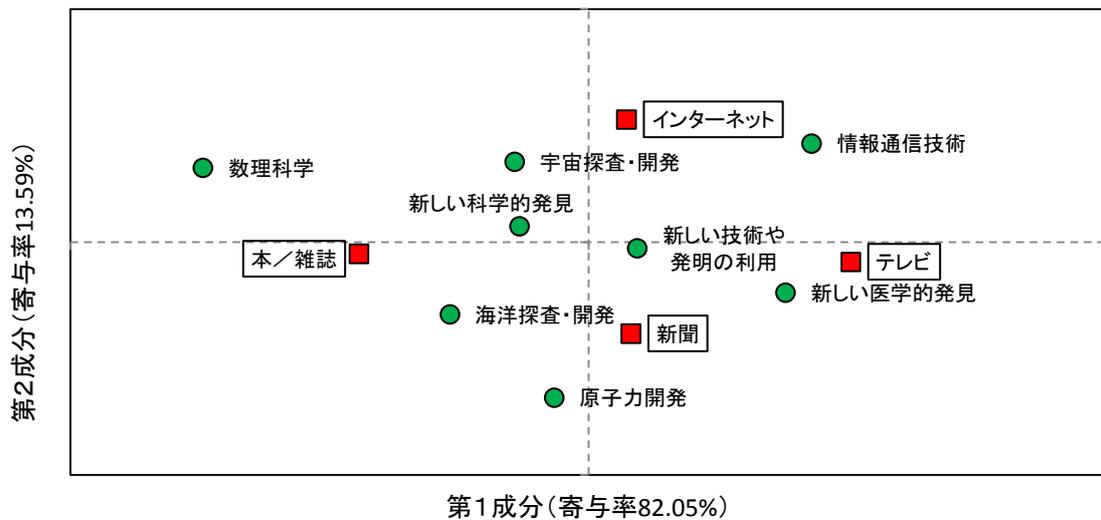


図 10 科学技術関連話題に対する関心のコレスポネンス分析

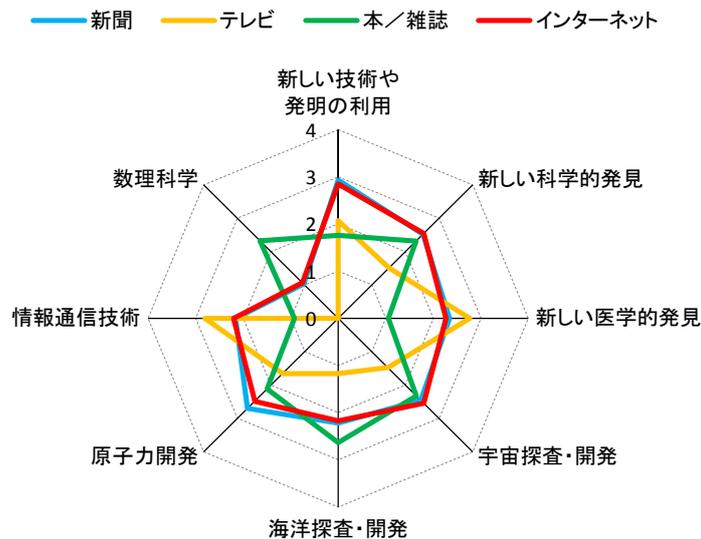


図 11 科学技術情報の主要取得源と科学技術関連話題に対する関心の関連度

(6) 科学技術情報の主要取得源とネガティブ情報の受け取り方

- 科学技術情報の主要取得源により、『本／雑誌』、『テレビ』及び『新聞』・『インターネット』の3グループに大別される。
- 『本／雑誌』グループと『テレビ』グループは、対極的な関係にある。『本／雑誌』グループは、ネガティブ情報をそのまま信じることなく、さらに詳しく調べる傾向や情報を共有する傾向が強いのに対し、『テレビ』グループは、ネガティブ情報を疑うことなく、さらに詳しく調べることをしない傾向が強い。

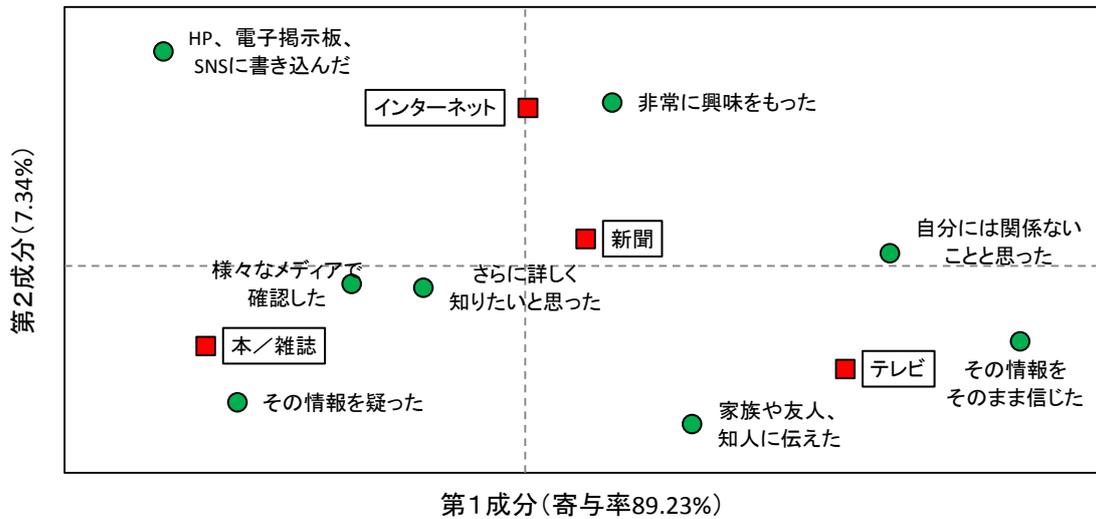


図 12 ネガティブ情報の受け取り方のコレスポネンス分析

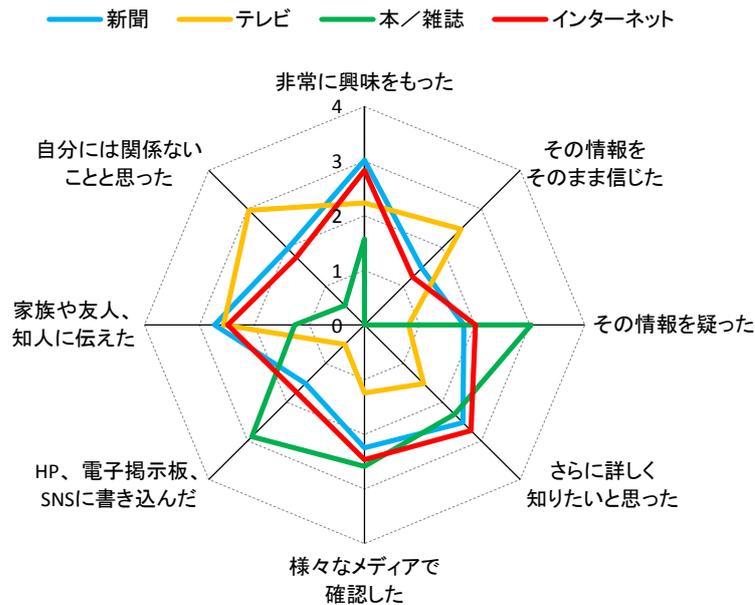


図 13 科学技術情報の主要取得源とネガティブ情報の受け取り方の関連度

(7) 科学技術情報の主要取得源とネガティブ情報において意見や判断を左右した情報

- 科学技術情報の主要取得源により、『新聞』『テレビ』及び『本／雑誌』『インターネット』の2グループに大別される。
- 『新聞』『テレビ』グループは、『本／雑誌』『インターネット』グループと比べ、マスメディアの記者や著名人、評論家等に左右される傾向が強いのに対し、『本／雑誌』『インターネット』グループは、『新聞』『テレビ』グループと比べ、科学技術関連機関、行政機関、一般の人や家族・友人・知人に左右される傾向が強い。

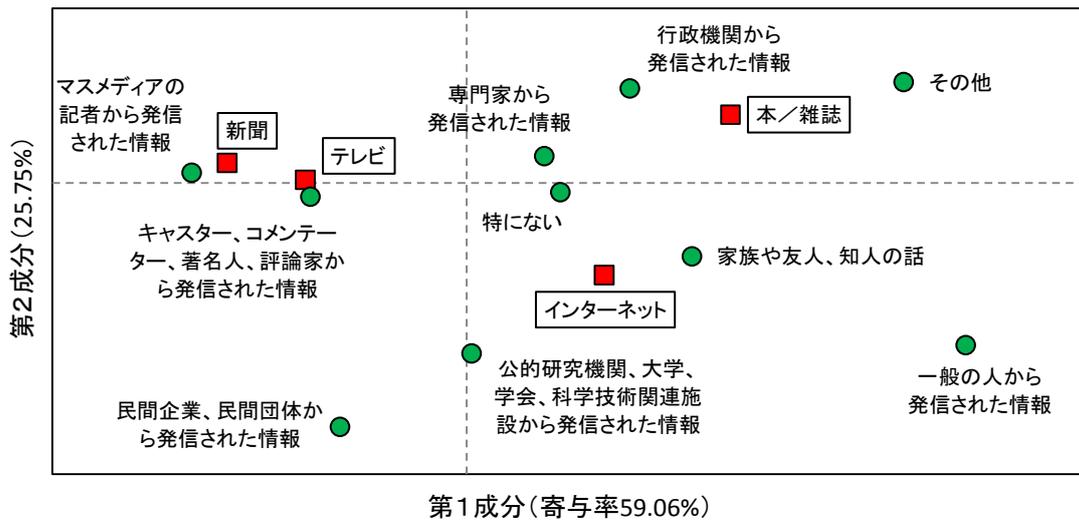


図 14 最も意見や判断を左右した情報のコレスポネンス分析(ネガティブ情報)

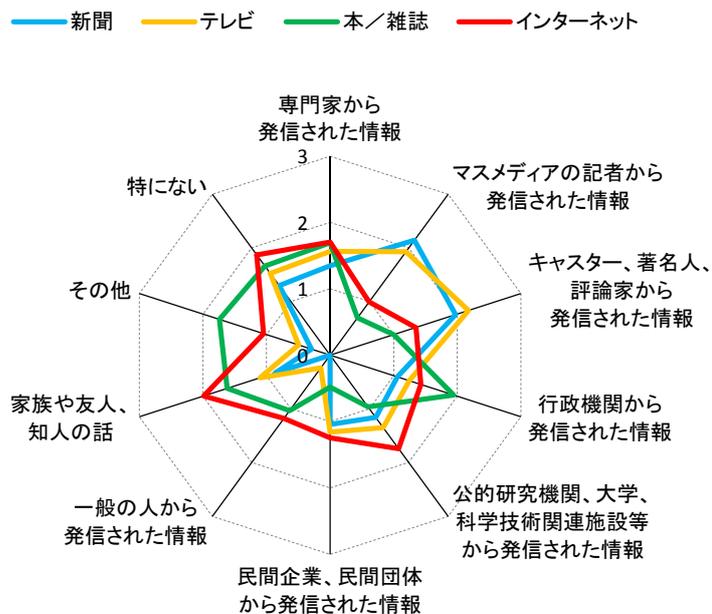


図 15 科学技術情報の主要取得源と最も意見や判断を左右した情報の関連度(ネガティブ情報)

(8) 科学技術情報の主要取得源と科学技術情報の信頼

○科学技術情報の主要取得源による違いが大きいのは、マスメディアの記者の話及び著名人や評論家の話であり、科学技術情報の主要取得源が『新聞』『テレビ』の者の信頼度が高い。

○科学者や医師、行政機関の情報に対する信頼は、米国と大きな違いは見られない。

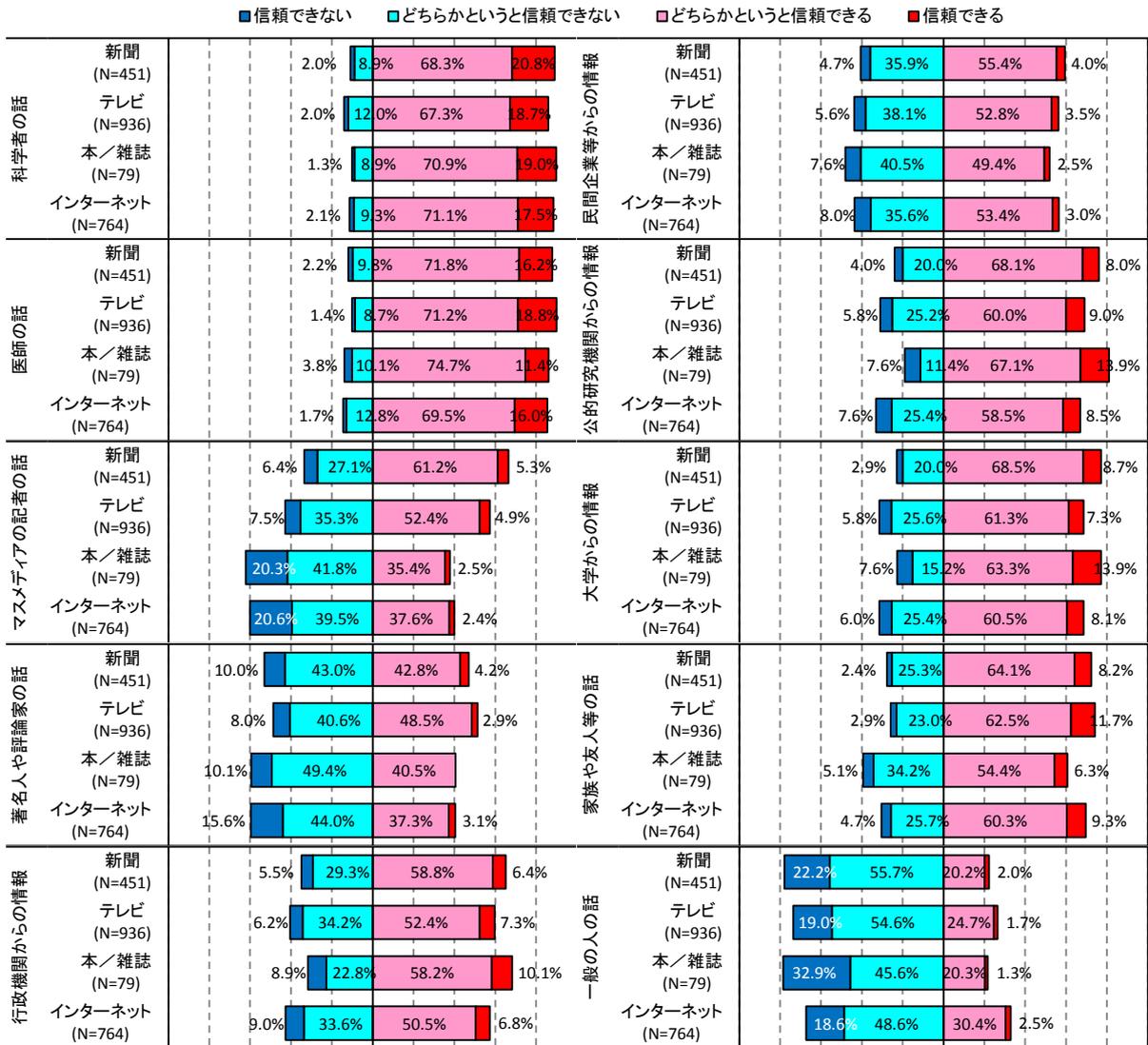


図 16 科学技術情報の信頼

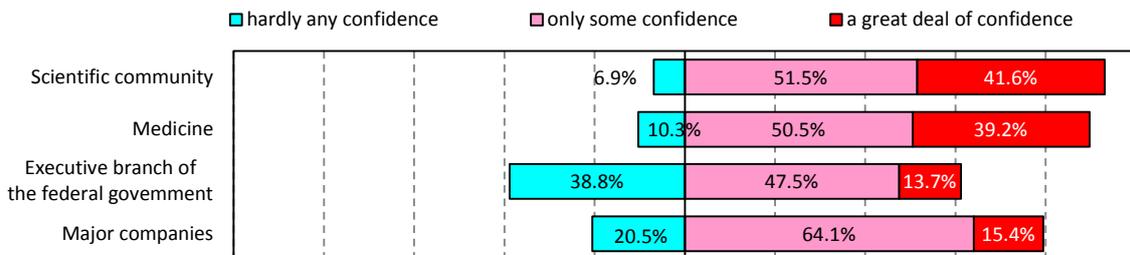


図 17 米国における情報発信機関の信頼

(9) 科学技術情報の主要取得源と科学技術情報の提供状況に関する意識

○科学技術情報の主要取得源が『本／雑誌』・『インターネット』の者は、『新聞』・『テレビ』の者と比べ、新聞及びテレビによる科学技術情報の提供が少ないと感じている。

○一方、科学技術情報の主要取得源が『新聞』・『テレビ』の者は、『本／雑誌』・『インターネット』の者と比べ、公的研究機関や大学、科学者など科学技術関連機関等による科学技術情報の提供が少ないと感じている傾向が見られる。

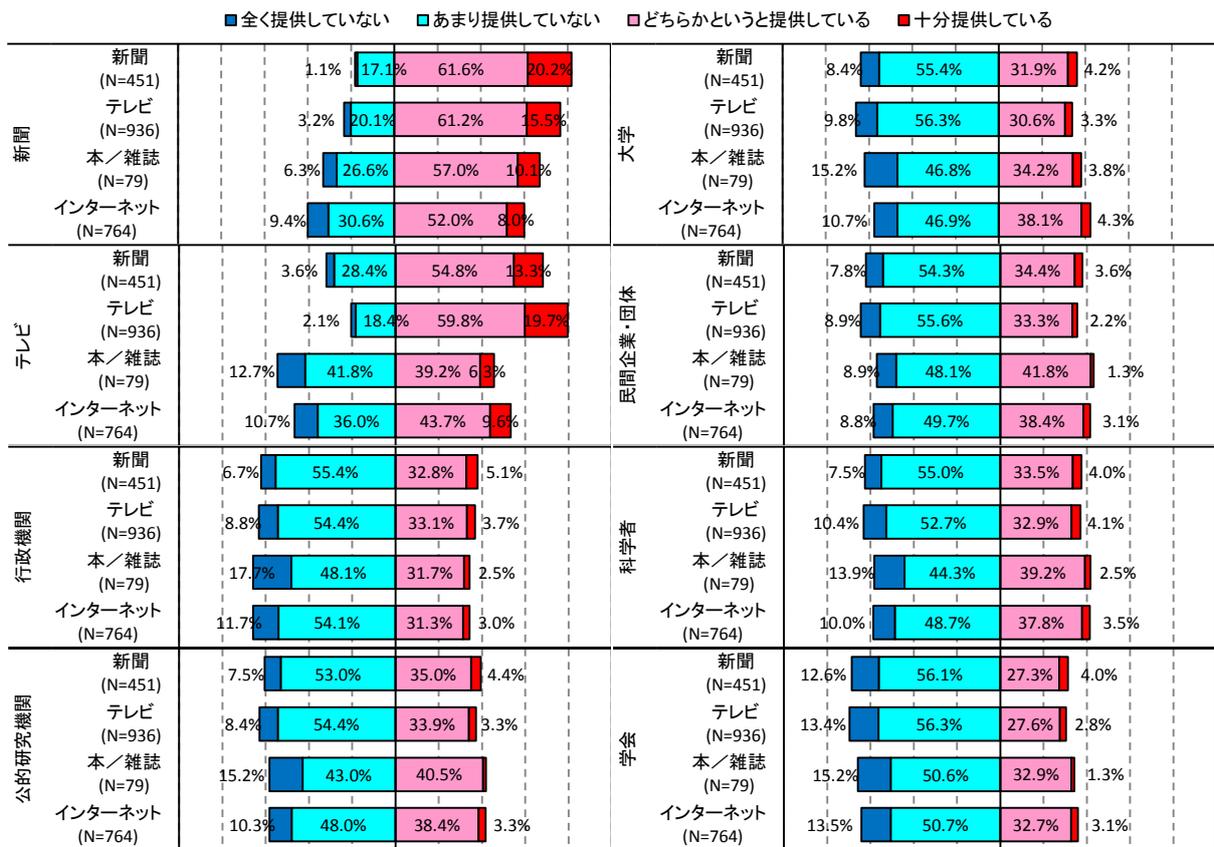


図 18 科学技術情報の提供状況に関する意識

(10) 科学技術情報の主要取得源と不足している科学技術情報

- 科学技術情報の主要取得源により、『新聞』・『テレビ』・『インターネット』及び『本／雑誌』の2グループに大別される。
- 『本／雑誌』グループは、『新聞』・『テレビ』・『インターネット』グループと比べ、不足している情報として、深く掘り下げられている情報や幅広い情報、根拠や取得源が明確な情報との関連が高い。
- 一方、『新聞』・『テレビ』・『インターネット』グループは、『本／雑誌』グループと比べ、不足している情報として、迅速な情報、信頼性の高い情報、簡潔でわかりやすい情報、メリットやデメリットに関する情報との関連が高い。

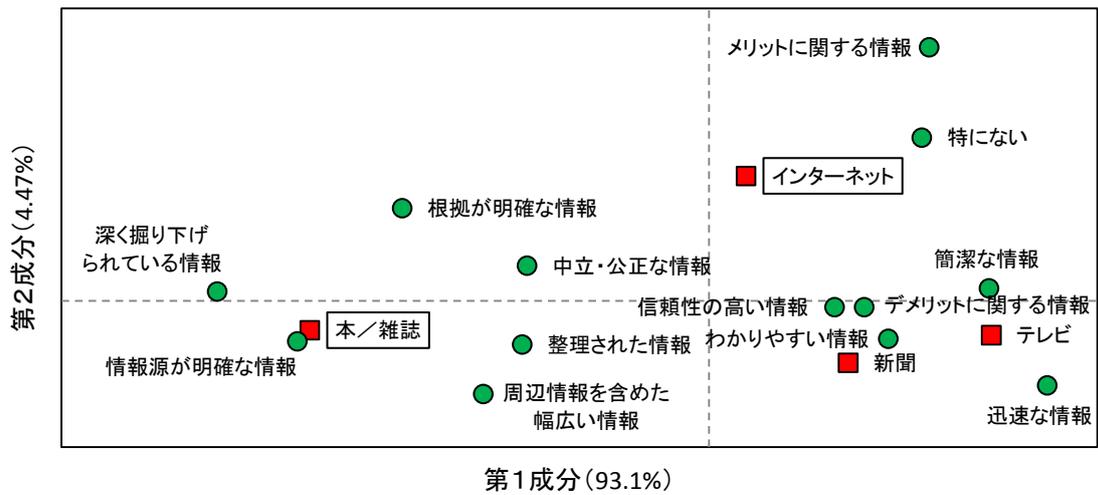


図 19 不足している科学技術情報のコレスポンデンス分析

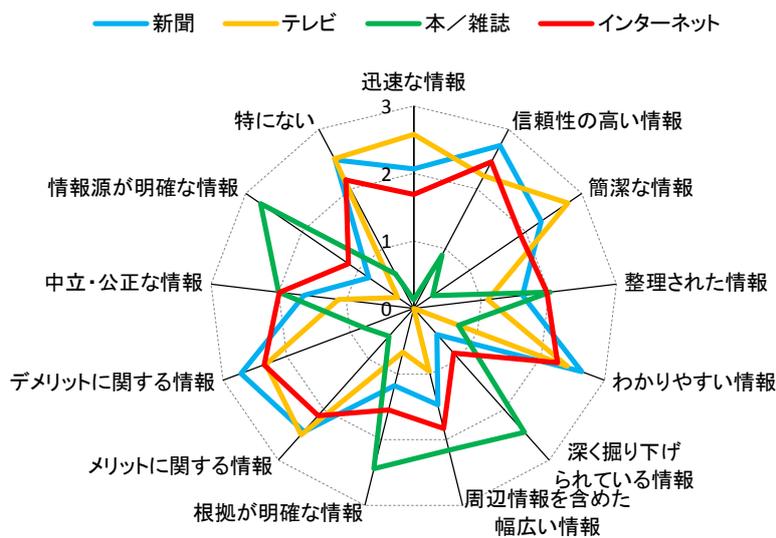


図 20 科学技術情報の主要取得源と不足している科学技術情報の関連度

(11) 科学技術情報の主要取得源と科学技術に関連する意見に対する意識

- 最も科学技術情報の主要取得源による違いが見られるのは、科学知識の重要性意識であり、『本／雑誌』の者が非常に高い。
- 科学技術情報の主要取得源による違いが見られないのは、生活の利便性向上意識、次世代の機会の増加意識、ゼロリスク意識、専門家による決定意識である。
- それ以外については、おおむね『新聞』・『本／雑誌』の者が『テレビ』・『インターネット』の者と比べ、同意度が高い傾向にある。

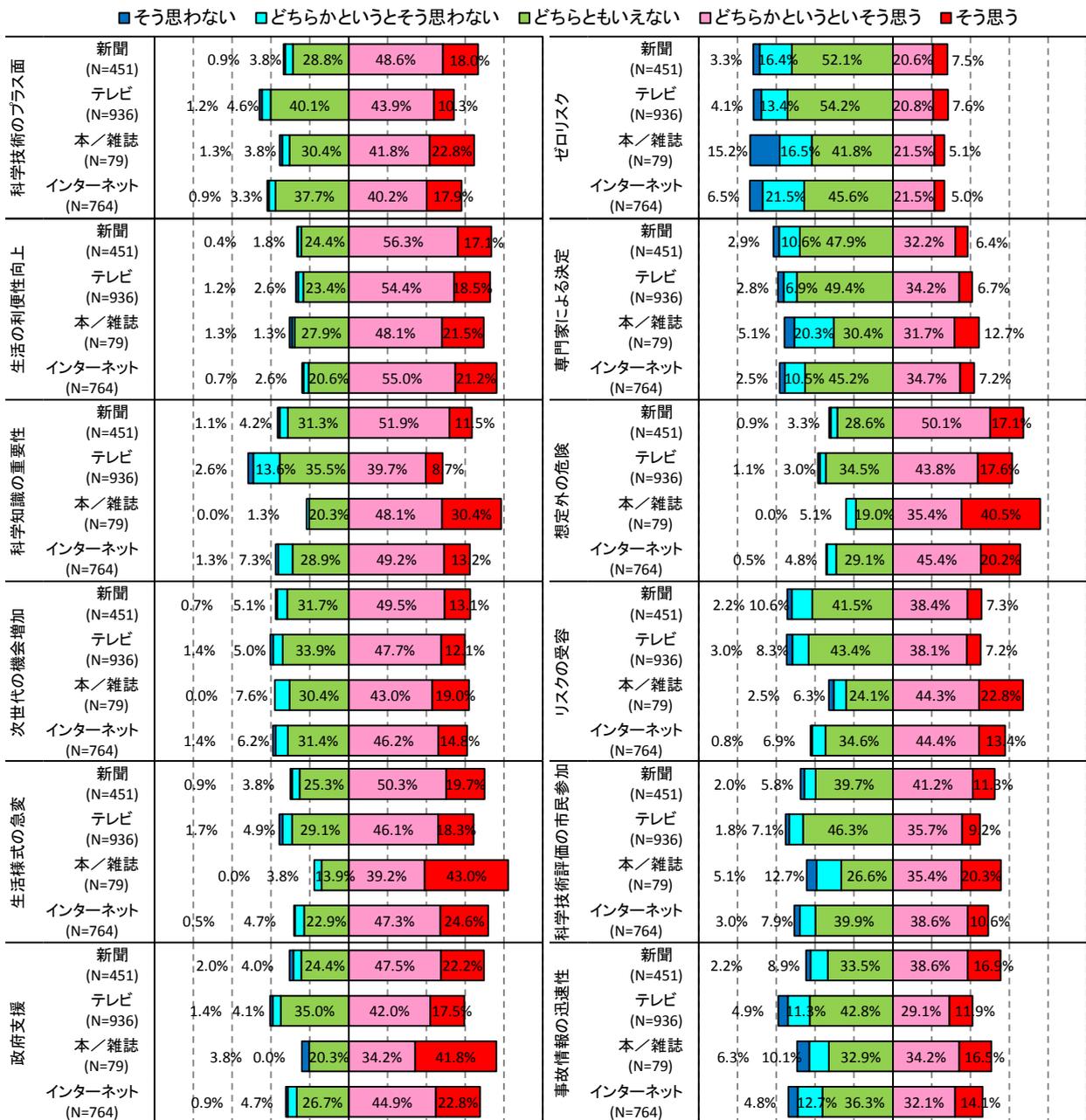


図 23 科学技術に関連する意見や考えに対する意識

(12) 科学技術情報の主要取得源と重視する科学技術の評価事項

- 科学技術情報の主要取得源により、『新聞』・『テレビ』・『インターネット』及び『本／雑誌』の2グループに大別される。
- 『本／雑誌』グループは、『新聞』・『テレビ』・『インターネット』グループと比べ、技術的コントロール、社会規制による誤用・悪用の防止を重視する傾向が強い。
- 一方、『新聞』・『テレビ』・『インターネット』グループは、『本／雑誌』グループと比べ、開発・利用する主体の信頼、経済的豊かさ、社会における必要性、責任の所在、事故の規模や起こる確率を重視する傾向が強い。

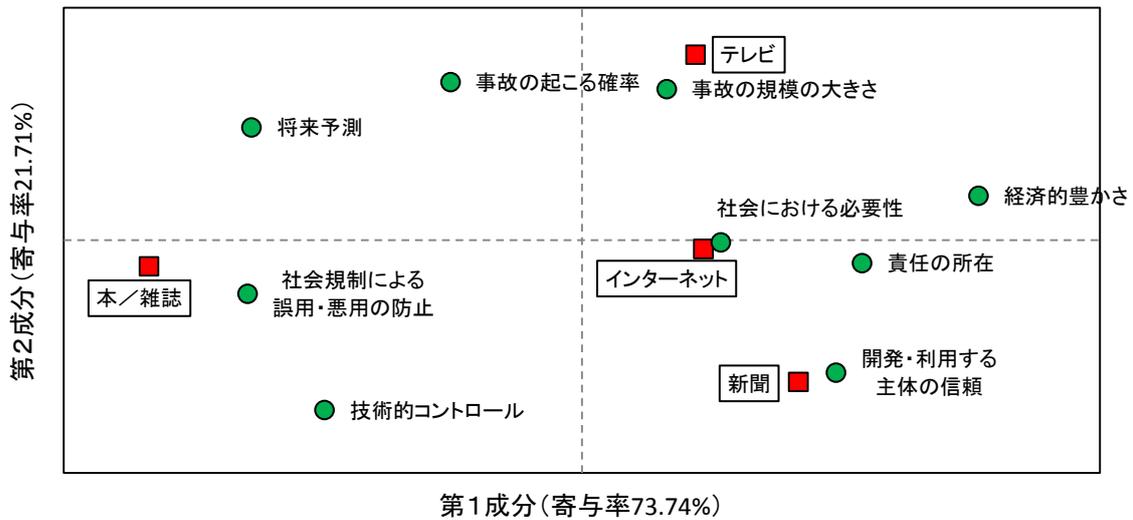


図 21 重視する科学技術の評価事項のコレスポンド分析

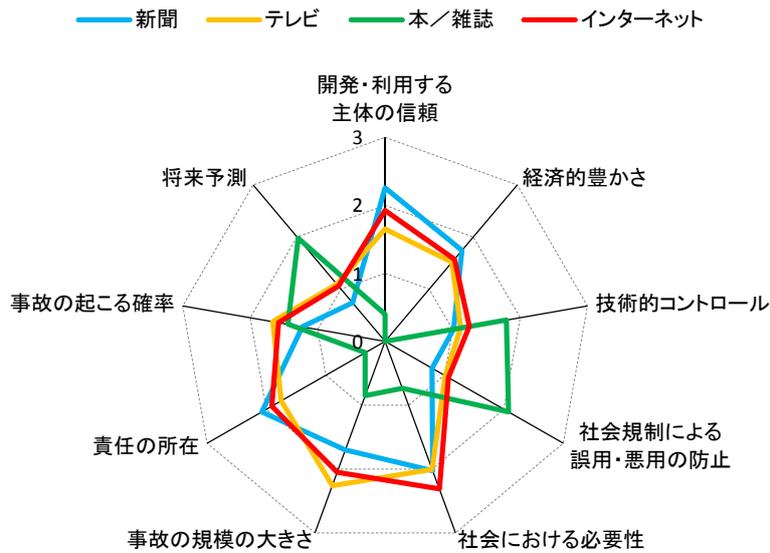


図 22 科学技術情報の主要取得源と重視する科学技術の評価事項の関連度

本 編

第1章 調査の目的及び方法

1 調査の背景及び目的

人々は日々、様々な情報に接触しているところであるが、我が国の情報メディアを巡る情勢は大きく変化し、人々の情報源も様変わりしてきている。

一般社団法人日本新聞協会の調査(日本新聞協会 2001～2013)によると、毎日接触している情報メディアに関し、2001年にあつては、テレビ 92%、新聞 70%、ラジオ 23%、インターネット 21%であったの対し、2013年にあつては、テレビ 88%、新聞 56%、ラジオ 19%、インターネット 49%となっている。

また一般社団法人経済広報センターの2013年の調査(経済広報センター 2013)によると、生活者が一般的な社会の動きを知ろうとするときに利用する情報源として、テレビ 84%、新聞 82%、インターネット 79%、ラジオ 11%となっている。

このように従来の情報源は、テレビ、新聞が主流であったものが、ここ十数年の間にインターネットが大きく台頭し、情報メディアとしての地位を確立してきている。これは、1990年代後半からのパソコンの普及とともにブロードバンド環境の普及など情報通信インフラの整備が進展し、携帯電話やスマートホン、タブレットなど情報デバイスの開発などにより、いつでも、どこでも手軽にオンライン情報への接触が可能になったことが大きく影響している。

情報メディアの多様化が進み、情報量が増大する中で、人々は、必要な情報を取得するため、そのジャンルによって情報源を取捨選択している状況にあり、情報を評価・識別する能力、いわゆるメディア・リテラシーが求められていると言われている。

科学技術に関する情報に関して人々がどのような情報源から取得しているかについて米国の調査(National Science Board 2014)によると、科学技術に関する情報の主要な情報源として、アメリカ人の42%はインターネット、32%はテレビ、7%は新聞、8%は雑誌を挙げており、インターネットがテレビを逆転している状況を報告しており、このことは我が国においても、上述のように情報メディアとしてのインターネットの位置づけが高まっているように、同様の状況が進みつつあるものと思われる。

ここ最近、我が国において、iPS細胞の作製に関する山中氏のノーベル医学生理学賞の受賞、STAP細胞問題に端を発した論文不正問題、青色発光ダイオードの発明に関する天野氏、赤崎氏、中村氏の3氏によるノーベル物理学賞の受賞、御嶽山噴火に伴う火山噴火予測など科学技術に関連するポジティブな情報やネガティブな情報が世間を賑わせているが、これらの科学技術に関連した情報が様々のメディアを介して発信されており、それらの情報源がもたらす情報が人々の意識や行動に多大な影響を及ぼしているものと考えられる。

そこで本調査では、科学技術情報の主要取得源により科学技術に関する意識等に違いがあるかについて調査分析を行った。

2 調査の方法

(1) 調査手法

インターネット調査会社の保有する登録モニターに対して、無作為に調査依頼のメールを送信し、依頼に応じた登録モニターがインターネット上に設置している調査画面にアクセスして回答する方法(Web調査)により実施した。

(2) 調査時期

2014年10月25日(土)～10月28日(火)

(3) 調査対象

インターネット調査会社の保有する登録モニターの内、全国15～69歳を対象とし、性・年代別の各層200サンプル、合計で2,400サンプルを回収した。

(4) 調査実施会社

株式会社クロスマーケティング(調査実施時の保有モニター数:約176万人)

3 回答者の属性

回答者の性別、年代、居住地域、最終学歴、職業、結婚の有無、世帯年収(税込)の状況は、表1のとおりである。

表1 回答者プロフィール

【性別】

	男性	女性
全体(n=2400)	50.0%	50.0%

【年代】

	15-19歳	20代	30代	40代	50代	60代
男性(n=1200)	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%
女性(n=1200)	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%

【居住地域】

	北海道	東北	関東	北陸	中部	近畿	中国	四国	九州・沖縄
男性(n=1200)	3.3%	4.2%	47.7%	3.9%	12.7%	16.0%	3.6%	2.1%	6.7%
女性(n=1200)	4.3%	5.0%	40.5%	2.3%	13.3%	19.3%	5.3%	2.0%	8.0%

【最終学歴】

	中学校	高等学校	高等専門学校	短期大学	専修学校専門課程	大学	大学院修士課程	大学院博士課程	その他
男性(n=1200)	2.6%	26.8%	3.3%	0.8%	5.4%	51.8%	6.5%	2.8%	-
女性(n=1200)	2.4%	32.1%	3.2%	17.2%	8.6%	34.7%	1.7%	0.1%	0.2%

【職業】

	農林漁業	自営業	自由業	管理的職業	科学技術的職業	その他専門技術的	事務的職業	労務的職業	販売的職業
男性(n=1200)	0.8%	4.4%	1.5%	7.9%	12.0%	5.5%	10.5%	9.3%	4.6%
女性(n=1200)	0.2%	1.6%	0.3%	0.5%	3.7%	5.2%	15.6%	2.4%	4.6%
	サービスの職業	保安的職業	家事	学生	無職(就職希望)	無職(退職等)	その他		
	3.8%	1.7%	0.3%	17.1%	4.8%	8.5%	7.3%		
	6.0%	0.2%	31.3%	16.6%	4.1%	2.8%	5.2%		

【結婚】

	既婚	未婚	離別・死別
男性(n=1200)	47.8%	48.3%	3.8%
女性(n=1200)	52.3%	40.0%	7.7%

【世帯年収(税込)】

	300万円未満	500万円未満	700万円未満	1000万円未満	1500万円未満	1500万円以上	わからない
男性(n=1200)	17.2%	20.6%	17.8%	13.9%	8.5%	2.9%	19.2%
女性(n=1200)	19.8%	22.8%	13.8%	11.6%	4.5%	1.3%	26.3%

第2章 調査結果

1 科学技術情報の取得先

1.1 主要メディアの接触頻度

まずは一般市民が普段、各メディアにどの程度接触しているかについて図 1-1 に示す。

「ほぼ毎日のように」接触している者は、全体では、「テレビ」(81.5%)が最も高く、これに肉薄して「インターネット」(79.4%)、次いで「新聞」(45.7%)、「本」(16.3%)となっている。性別では、男性の場合、「インターネット」(81.8%)が最も高く、次いで「テレビ」(77.6%)、「新聞」(49.2%)、「ラジオ」(15.8%)、女性の場合、「テレビ」(85.5%)が最も高く、次いで「インターネット」(77.1%)、「新聞」(42.2%)、「本」(17.2%)となっており、性別による違いが見られる。

本調査がインターネットを利用した Web 調査である影響は排除できないが、そのことを考慮しても「インターネット」の接触頻度が非常に高くなっているものと考えられる。

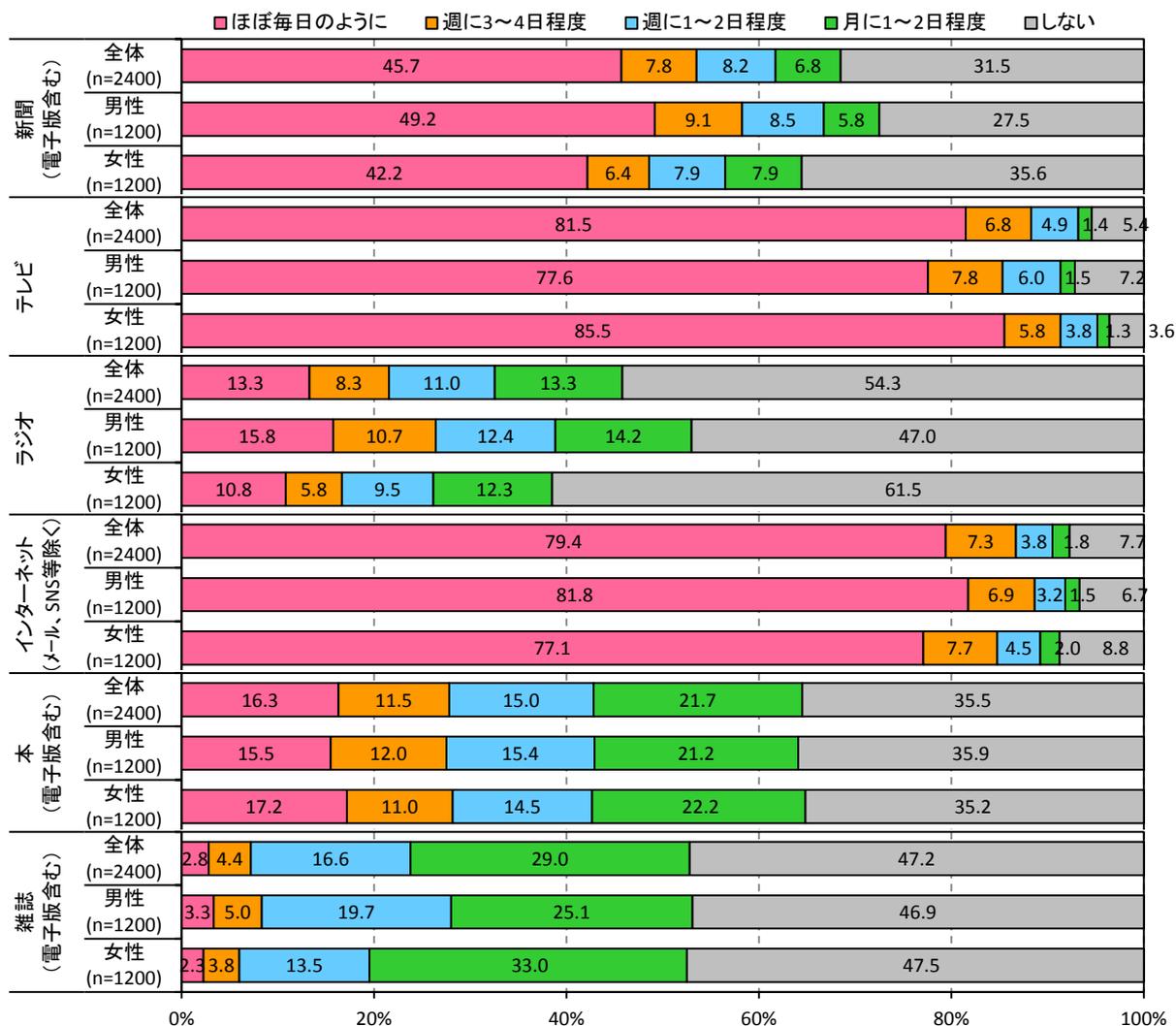


図 1-1 各メディアの接触頻度(性別)

各メディアへの接触頻度がどのように変化してきたかについて、「全国メディア接触・評価調査報告書」(日本新聞協会 2001～2013)を見てみると、2001年から2013年において、「インターネット」及び「Webサイト閲覧」は2倍強増加しているのに対し、その他のメディアは減少傾向、特に「新聞」の減少が顕著となっている(図1-2)。

このように、インターネット環境の整備の進展や携帯電話やスマートフォン、タブレットといった情報通信デバイスの発展に伴い、従来のテレビや新聞等のメディアからインターネットへと、その接触頻度がシフトしている状況にある。

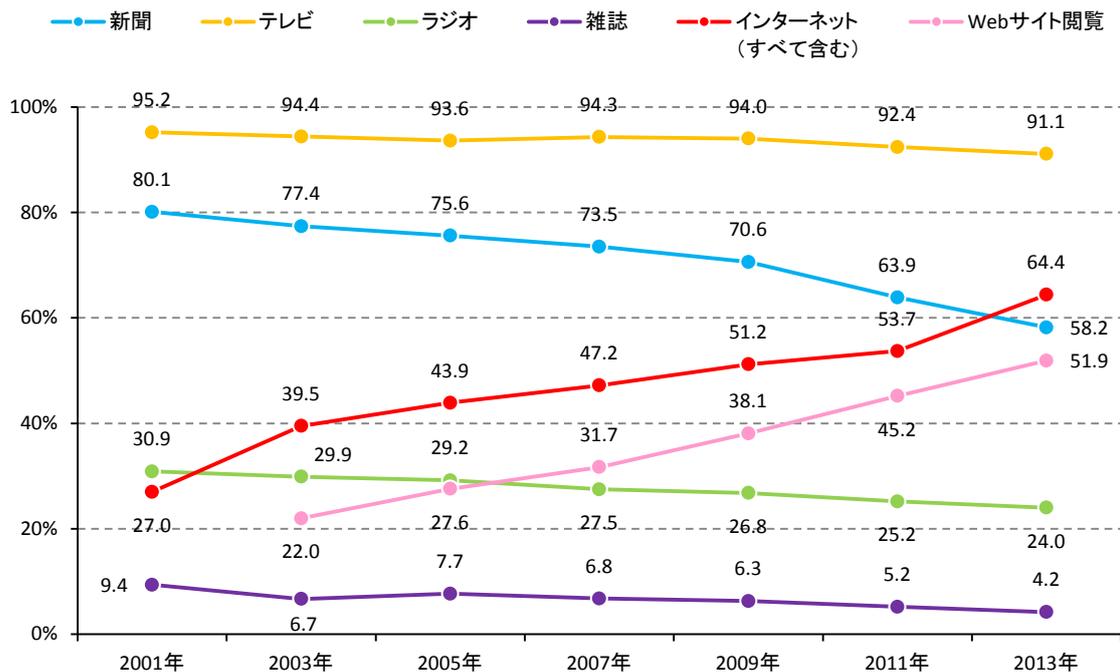


図 1-2 各メディアの接触頻度の推移(週 5 日以上)¹

1.2 科学技術情報の取得源

上述のように一般市民のメディア接触頻度が大きく変化してきている中、一般市民が普段、科学技術に関連した情報をどこから取得しているのであろうか。

科学技術情報の取得源(複数選択)の結果を図1-3及び1-4に示す²。これによると、全体では、「テレビ」(79.6%)が最も多く、次いで「インターネット」(69.8%)、「新聞」(57.5%)、「本／雑誌」(25.5%)であり、メディア接触頻度と同様の結果であった。

¹ 「全国メディア接触・評価調査」(日本新聞協会 <http://pressnet.or.jp/adarc/data/research/media.html>)の結果から、本調査の結果との比較が容易にできるように無回答、並びに2011年及び2013年の70歳以上の結果を除外して作成。

² 質問文「あなたは、普段、科学技術に関連した情報をどこから得ていますか。次のうち、当てはまるものをいくつでもお選びください。また、それらのうち、最も多いところを1つお選びください。」に対し、「新聞(印刷版)」、「新聞(電子版)」、「テレビ」、「ラジオ」、「本(電子版を含む)」、「雑誌(電子版を含む)」、「インターネット」等14の選択肢から複数選択及び単数選択。

性別に見ると、男性は、「インターネット」(75.9%)が最も多く、次いで「テレビ」(73.3%)、「新聞」(60.2%)、「本／雑誌」(25.5%)であるのに対し、女性は、「テレビ」(85.8%)が最も多く、次いで「インターネット」(63.7%)、「新聞」(54.7%)、「家族や友人、知人の話」(24.7%)と、メディア接触頻度と同様に性別による違いが見られる。

「インターネットを利用した科学技術に関する意識調査の可能性」(栗山・関口・茶山 2010)における2008年3月の調査結果³では、「テレビ」は、全体83.7%、男性82.8%、女性84.6%、「新聞」は、全体55.9%、男性59.6%、女性52.2%、「インターネット」は、全体54.9%、男性69.7%、女性40.1%となっており、この7年間で、男性は「テレビ」の依存度が減少し、「インターネット」の依存度が増加、女性は「テレビ」や「新聞」の依存度に変化が見られないが、「インターネット」の依存度が増加したことになり、全体として、科学技術情報の取得源が「テレビ」から「インターネット」に大きくシフトしていることを示した。

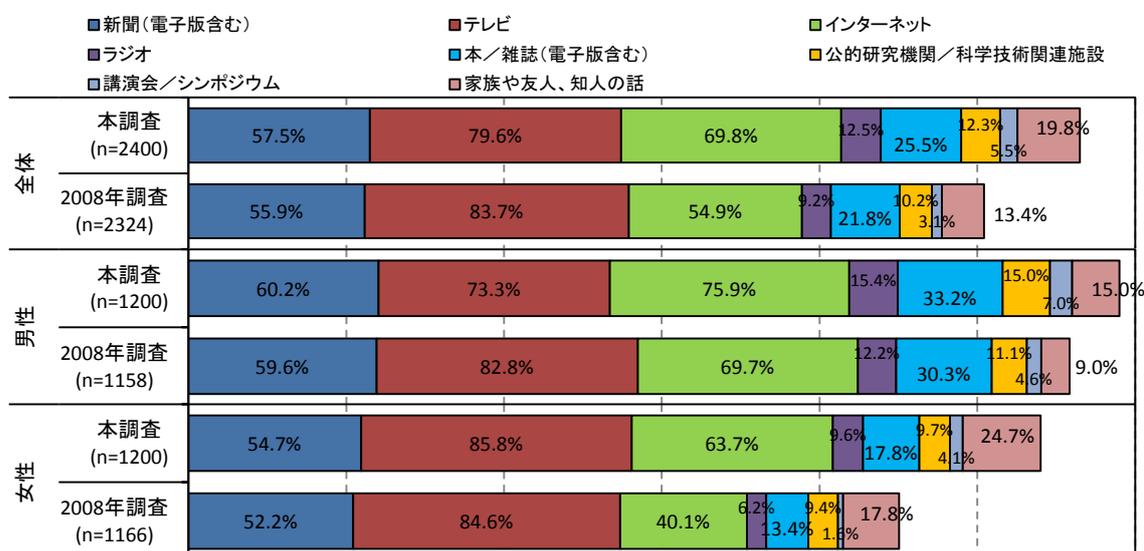


図 1-3 科学技術情報の取得先(性別:複数選択)

年代別に見ると、「インターネット」は各年代70%前後、「本／雑誌」は各年代25%前後で違いが見られないが、「新聞」及び「テレビ」は高齢層ほど増加傾向にあり、特に「新聞」はその傾向が顕著であった。この傾向は、「インターネットを利用した科学技術に関する意識調査の可能性」(栗山・関口・茶山 2010)における2008年3月の調査結果においても同様であった。

³ 質問文「あなたは、ふだん科学技術に関する知識をどこから得ていますか。この中からいくつでもあげてください。」に対し、「テレビ」、「ラジオ」、「インターネット」、「新聞」等15の選択肢から複数選択。

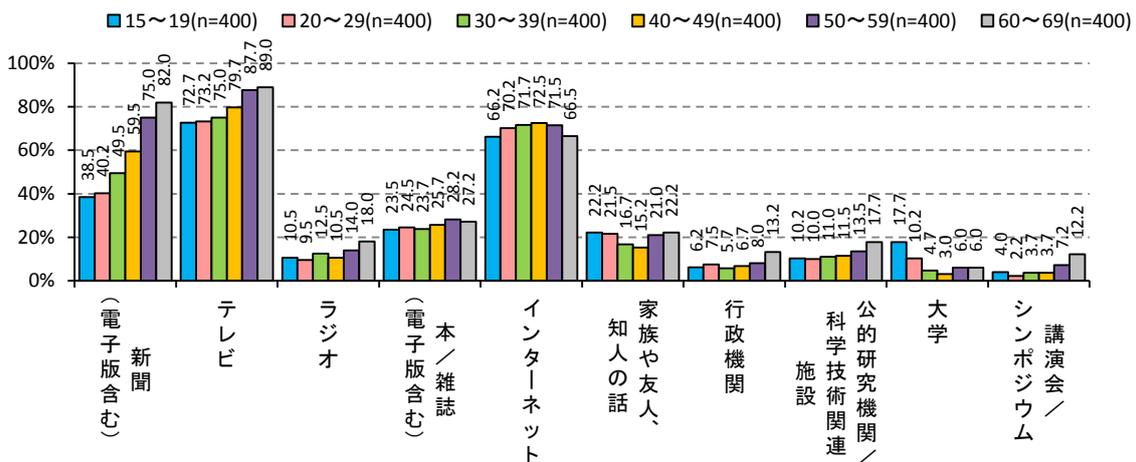


図 1-4 科学技術情報の取得源(年代別:複数選択)

次に科学技術情報の主要取得源(単数選択)の結果を図 1-5 及び 1-6 に示す。これによると、全体では、「テレビ」(39.0%)、「インターネット」(31.8%)と拮抗し、次いで「新聞」(18.8%)、「本/雑誌」(3.3%)であった。

性別に見ると、男性は、「インターネット」(40.4%)が最も多く、次いで「テレビ」(26.0%)、「新聞」(21.7%)、「本/雑誌」(4.7%)であるのに対し、女性は、「テレビ」(52.0%)が最も多く、次いで「インターネット」(23.2%)、「新聞」(15.8%)、「家族や友人、知人の話」(3.2%)であり、「テレビ」と「インターネット」の依存度が大きく異なり、科学技術情報の取得源(複数選択)の場合と比較して、その傾向が顕著となった。 χ^2 検定の結果(表 1-1)、 p 値=0.000、サンプルサイズに影響されない効果量の大きさを表すクラメールの連関係数(以下、「Cramer's V」という。)=0.293 となり、性別による科学技術情報の主要取得源(単数選択)において有意差が認められた。

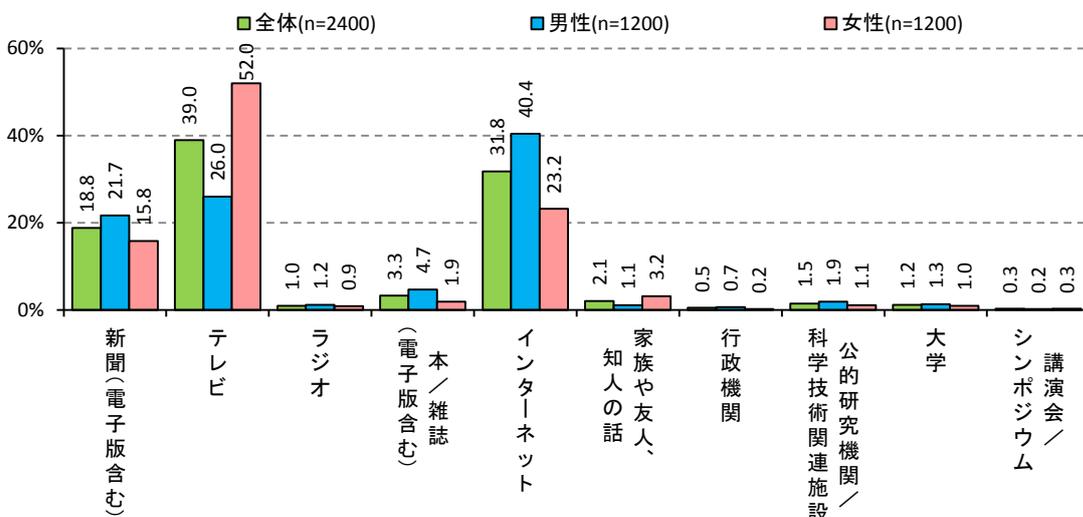


図 1-5 科学技術情報の主要取得先(性別)

表 1-1 科学技術情報の主要取得源(性別)に関する χ^2 検定結果

χ^2 値	自由度	p 値	検定結果	Cramer's V	調整済み標準化残差					
					性別	新聞(電子版を含む)	テレビ	ラジオ	本/雑誌(電子版を含む)	インターネット
205.886	10	0.000	**	0.293	男性	3.710 **	-13.057**	0.603	3.775 **	9.027 **
					女性	-3.710 **	13.057**	-0.603	-3.775 **	-9.027 **

調整済み標準化残差				
家族や友人、知人の話	行政機関	公的研究機関/科学技術関連施設	大学	講演会/シンポジウム
-3.538 **	1.736 †	1.679 †	0.760	-0.378
3.538 **	-1.736 †	-1.679 †	-0.760	0.378

その他
1.511
-1.511

備考 検定結果欄及び調整済み標準化残差欄の記号 = **: $p < 0.01$ 、*: $p < 0.05$ 、†: $p < 0.1$ 、空白:有意差なし

年代別に見ると、「テレビ」は各年代 40%前後で顕著な違いが見られないが、「インターネット」は高齢層ほど減少し、「新聞」は高齢層ほど増加する傾向が見られた。 χ^2 検定の結果(表 1-2)、 p 値=0.000、Cramer's V=0.135 となり、年代による科学技術情報の主要取得源(単数選択)において有意差が認められ、高齢層ほど「インターネット」の依存度が低く、「新聞」の依存度が高い。

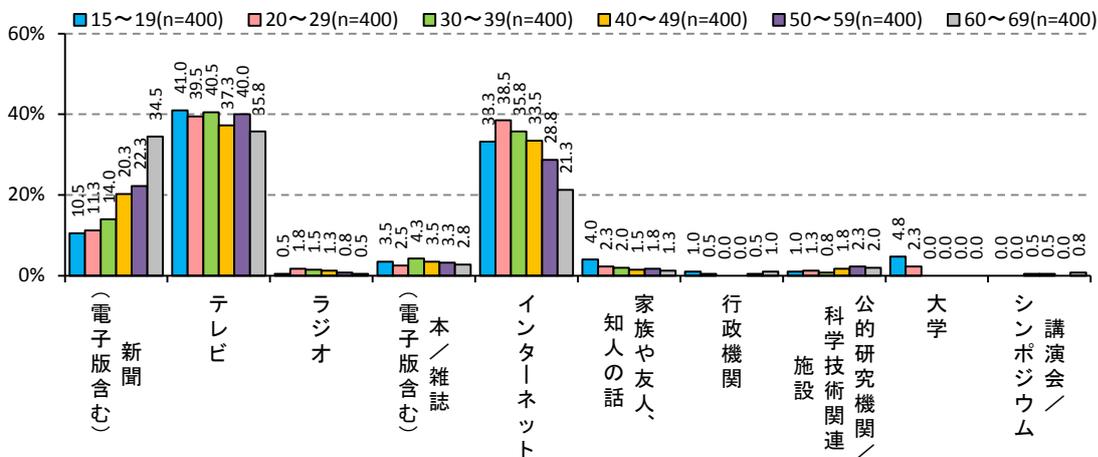


図 1-6 科学技術情報の主要取得先(年代別)

表 1-2 科学技術情報の主要取得源(年代別)に関する χ^2 検定結果

χ^2 値	自由度	p 値	検定結果	Cramer's V	調整済み標準化残差					
					年代	新聞(電子版を含む)	テレビ	ラジオ	本/雑誌(電子版を含む)	インターネット
218.137	50	0.000	**	0.135	10	-4.650 **	0.898	-1.169	0.256	0.666
					20	-4.230 **	0.225	1.528	-0.972	3.135 **
					30	-2.687 **	0.674	0.989	1.177	1.842 †
					40	0.818	-0.786	0.450	0.256	0.784
					50	1.940	0.449	-0.629	-0.051	-1.450
					60	8.810 **	-1.460	-1.169	-0.665	-4.978 **

調整済み標準化残差				
家族や友人、知人の話	行政機関	公的研究機関/科学技術関連施設	大学	講演会/シンポジウム
2.848 **	1.553	-0.901	7.311 **	-1.185
0.190	0.000	-0.451	2.210 *	-1.185
-0.190	-1.553	-1.352	-2.380 *	0.846
-0.950	-1.553	0.451	-2.380 *	0.846
-0.570	0.000	1.352	-2.380 *	-1.185
-1.329	1.553	0.901	-2.380 *	1.862 †

その他
0.135
-0.676
0.946
0.135
0.135
-0.676

備考 検定結果欄及び調整済み標準化残差欄の記号 = **: $p < 0.01$ 、*: $p < 0.05$ 、†: $p < 0.1$ 、空白:有意差なし

ここで米国の場合を図 1-7 に示す。「Science and Engineering Indicators 2014」(National Science Board 2014)によると、2012 年における米国人の科学技術情報の主要情報源は、全体で「インターネット」(42%)が最も多く、次いで「テレビ」(32%)、雑誌(8%)、「新聞」(7%)となっている。性別では、男性の場合、「インターネット」(44%)、「テレビ」(31%)、「雑誌」(9%)、「新聞」(7%)、女性の場合、「インターネット」(40%)、「テレビ」(34%)、「雑誌」(6%)、「新聞」(6%)となっており、性別によらず「インターネット」が最も多くなっている。

米国では、2001 年以降、科学技術情報の主要情報源として「インターネット」に依存する割合が着実に上昇し、反対に「テレビ」は減少し、2012 年に「インターネット」と「テレビ」が完全に逆転した。我が国においても米国と同様の状況にあり、今後、「インターネット」と「テレビ」が完全に逆転することが予想される。

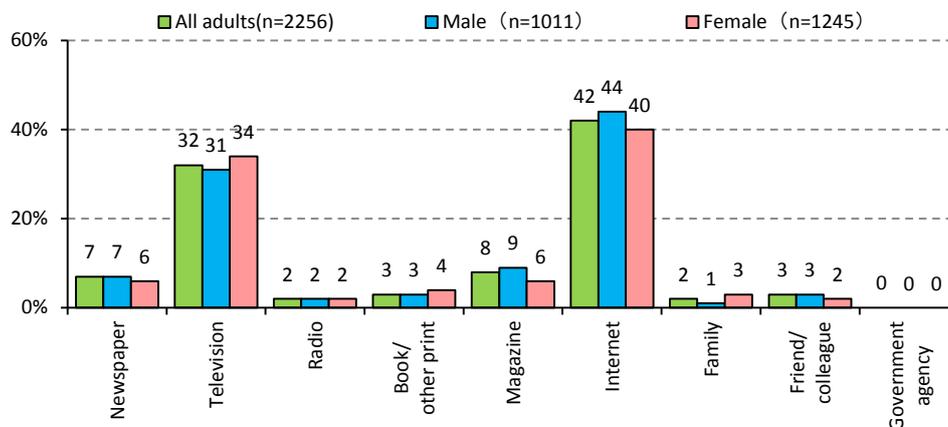


図 1-7 米国における科学技術情報の主要取得源(性別)⁴

このように一般市民の科学技術情報の主要取得源は、「テレビ」、「インターネット」、「新聞」が大宗を占め、社会情勢の変化とともに「テレビ」及び「新聞」から「インターネット」へとシフトしてきている状況にある。

一般市民の科学技術情報の主要取得源である各情報メディアは、その情報の発信内容、発信方法等、各情報メディアの特性があり、そのことが情報の受け取り手側の意識や考え方にも影響を及ぼすものと考えられる。

そこで科学技術情報の主要取得源による意識や考え方等の違いを把握するため、以降においては、科学技術情報の三大取得源である「新聞」、「テレビ」及び「インターネット」に「本／雑誌」を加えた上位 4 つの科学技術情報の主要取得源別に分析し、科学技術情報の主要取得源による違いについて明らかにすることとする。

⁴ 「Science and Engineering Indicators 2014」(<http://www.nsf.gov/statistics/seind14/>)の Appendix table 7-4 から作成。
質問文「We are interested in how people get information about science and technology. Where do you get most of your information about science and technology -- newspapers, magazines, the Internet, books or other printed materials, TV, radio, government agencies, family, friends, colleagues or some other source?」に対する回答結果。

2 科学技術情報の主要取得源別の回答者属性

科学技術情報の主要取得源別の回答者の性別、年代、居住地域、最終学歴、職業、結婚の有無、世帯年収(税込)の状況は、表 2-1 のとおりである。

表 2-1 科学技術情報の主要取得源別の回答者プロフィール

【性別】		
科学技術情報の主要取得源	男性	女性
新聞(n=451)	57.9%	42.1%
テレビ(n=936)	33.3%	66.7%
本/雑誌(n=79)	70.9%	29.1%
インターネット(n=764)	63.5%	36.5%

【年代】						
科学技術情報の主要取得源	15-19歳	20代	30代	40代	50代	60代
新聞(n=451)	9.3%	10.0%	12.4%	18.0%	20.0%	30.6%
テレビ(n=936)	17.5%	16.9%	17.3%	15.9%	17.1%	15.3%
本/雑誌(n=79)	17.7%	12.7%	21.5%	17.7%	16.5%	13.9%
インターネット(n=764)	17.4%	20.2%	18.7%	17.5%	15.1%	11.1%

【居住地域】									
科学技術情報の主要取得源	北海道	東北	関東	北陸	中部	近畿	中国	四国	九州・沖縄
新聞(n=451)	3.6%	3.1%	48.3%	1.8%	13.3%	19.5%	3.6%	1.3%	5.5%
テレビ(n=936)	4.1%	5.4%	41.9%	2.9%	13.3%	17.1%	5.0%	2.3%	8.0%
本/雑誌(n=79)	1.3%	6.3%	46.8%	3.8%	13.9%	19.0%	1.3%	0.0%	7.6%
インターネット(n=764)	2.9%	4.7%	44.6%	4.2%	12.4%	16.4%	4.7%	2.4%	7.7%

【最終学歴】									
科学技術情報の主要取得源	中学校	高等学校	高等専門学校	短期大学	専修学校 専門課程	大学	大学院 修士課程	大学院 博士課程	その他
新聞(n=451)	1.3%	27.3%	1.6%	8.4%	5.1%	49.7%	5.1%	1.6%	0.0%
テレビ(n=936)	3.7%	33.4%	3.7%	12.3%	7.7%	36.5%	2.1%	0.3%	0.1%
本/雑誌(n=79)	0.0%	12.7%	3.8%	3.8%	7.6%	46.8%	16.5%	8.9%	0.0%
インターネット(n=764)	2.2%	27.9%	3.3%	5.8%	6.8%	47.1%	4.7%	2.1%	0.1%

【職業】									
科学技術情報の主要取得源	農林漁業	自営業	自由業	管理的 職業	科学技術 的職業	その他専 門技術的	事務的 職業	労務的 職業	販売的 職業
	新聞(n=451)	0.2%	3.3%	1.1%	6.9%	7.3%	5.3%	13.3%	3.3%
テレビ(n=936)	0.2%	3.0%	0.2%	3.4%	4.2%	5.2%	13.4%	7.1%	4.1%
本/雑誌(n=79)	0.0%	0.0%	1.3%	5.1%	24.0%	11.4%	11.4%	3.8%	1.3%
インターネット(n=764)	0.9%	3.4%	1.8%	3.9%	10.3%	5.4%	13.5%	6.4%	5.1%

科学技術情報の主要取得源	サービスの職業	保安的 職業	家事	学生	無職(就 職希望)	無職(退 職等)	その他
	新聞(n=451)	4.9%	1.3%	19.5%	10.2%	2.4%	10.0%
テレビ(n=936)	6.3%	0.5%	20.7%	17.0%	3.9%	4.8%	6.1%
本/雑誌(n=79)	2.5%	0.0%	5.1%	15.2%	7.6%	6.3%	5.1%
インターネット(n=764)	3.5%	1.1%	9.6%	18.3%	6.5%	4.3%	5.9%

【結婚】			
科学技術情報の主要取得源	既婚	未婚	離別・ 死別
新聞(n=451)	68.5%	27.1%	4.4%
テレビ(n=936)	51.4%	41.8%	6.8%
本/雑誌(n=79)	44.3%	50.6%	5.1%
インターネット(n=764)	40.8%	54.1%	5.1%

【世帯年収(税込)】							
科学技術情報の主要取得源	300万円 未満	500万円 未満	700万円 未満	1000万円 未満	1500万円 未満	1500万円 以上	わからない
新聞(n=451)	9.1%	22.8%	17.7%	17.1%	10.4%	2.7%	20.2%
テレビ(n=936)	19.8%	23.1%	14.5%	12.4%	4.6%	1.1%	24.6%
本/雑誌(n=79)	16.5%	25.3%	13.9%	15.2%	5.1%	7.6%	16.5%
インターネット(n=764)	22.6%	19.1%	16.6%	10.9%	6.9%	2.4%	21.5%

3 科学技術情報の主要取得源とメディア等の接触状況

3.1 各メディアの接触頻度

科学技術情報の主要取得先源と普段におけるメディアの接触頻度との関連について、「ほぼ毎日のように」接触しているメディアの状況を図 3-1 に示す。

これによれば、科学技術情報の主要取得源が『新聞』の者は、新聞、テレビ及びインターネットにほぼ毎日のように接触している割合が 80%前後で拮抗し、特に新聞の接触割合が 85%と他の科学技術情報の主要取得源の者と比べて非常に高い。

科学技術情報の主要取得源が『テレビ』の者は、テレビの接触割合が 93%と最も高く、他の科学技術情報の主要取得源の者と比べて最も高い。次いでインターネット、新聞と続くが、新聞の接触割合が 35%と 5 割を下回り、他の科学技術情報の主要取得源の者と比べて最も低い。

科学技術情報の主要取得源が『本／雑誌』の者は、インターネットの接触割合が 85%と最も高く、次いでテレビ、新聞と続き、本の接触割合は 38%とそれほど高くないが、他の科学技術情報の主要取得源の者と比べて最も高い。

科学技術情報の主要取得源が『インターネット』の者は、インターネットの接触割合が 88%と最も高く、他の科学技術情報の主要取得源の者と比べて最も高い。次いでテレビ、新聞と続くが、テレビの接触割合が 37%と 5 割を下回っている。

このように、ほぼ毎日のように接触するメディアにおいて、科学技術情報の主要取得源だけが突出して高い訳ではなく、普段万遍なく、各メディアに接触している。このことは、一般市民が科学技術情報を取得する場合、その情報源としてのメディアを選択していることを意味しているものと思われる。

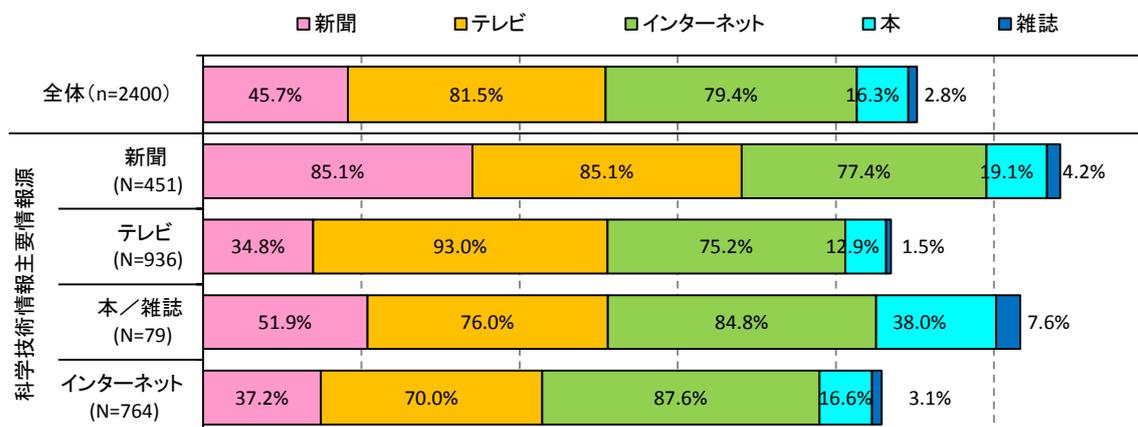


図 3-1 「ほぼ毎日のように」接触しているメディアの割合

「国民の科学技術に対する関心と科学技術に関する意識との関連」(早川 2014)における 2014 年 2 月の調査結果⁵によると、科学技術に関する情報源の信頼について、「新聞記事」を

⁵ 質問文「あなたは、次の科学技術に関する情報源について、どの程度信頼できますか。それぞれについて、あなたの考えにあてはまるものを 1 つお答えください。」に対し、「新聞記事(電子版の新聞を含む)」、「テレビ番組」、「一般向けの科学技術に関する書籍や雑誌」、「インターネットから得られる情報(SNS 及び電子版の新聞を除く)」等 8 項目について、「信頼できる」、「どちらかという信頼できる」、「どちらともいえない」、「どちらかという信頼できない」及び「信頼できない」の 5 の選択肢から単数選択。

63.8%の者が、「テレビ番組」を46.0%の者が、「インターネットから得られる情報」を28.6%の者が、「一般向け科学技術関連書籍や雑誌」を56.0%の者が信頼している（「信頼できる」又は「どちらかという信頼できる」のいずれかを回答した者の割合）と報告されている。

このことを勘案すると、一般市民の科学技術情報の主要取得源の選択が必ずしも科学技術情報に関する信頼の意識だけに基づくものではなく、その他の要因も影響を及ぼしているものと考えられるが、本調査からは定かではない。

3.2 各施設の訪問状況

一般市民は、様々な施設等を訪問し、知識を習得したり、情報を取得したり、芸術に触れたりしているところであるが、過去1年間の主な施設の訪問状況⁶を図3-2に示す。

これによれば、動物園、水族館、植物園といった動植物系施設の訪問状況は、科学技術情報の主要取得源によらず30%強と大きな違いが見られない。

博物館、科学館、プラネタリウムといった科学技術系施設の訪問状況は、科学技術情報の主要取得源が『新聞』及び『本／雑誌』の者が30%前後で、科学技術情報の主要取得源が『テレビ』及び『インターネット』の者(20%前後)よりも高い。

図書館の訪問状況は、科学技術情報の主要取得源が『本／雑誌』の者が66%と最も高く、他の科学技術情報の主要取得源の者は40%前後で拮抗している。

美術館、コンサートホール、劇場、映画館といった文化系施設の訪問状況は、科学技術情報の主要取得源が『新聞』及び『本／雑誌』の者が65%で、科学技術情報の主要取得源が『テレビ』及び『インターネット』の者(55%前後)よりも高い。

このように、科学技術情報の主要取得源により違いが見られ、科学技術情報の主要取得源が『新聞』と『本／雑誌』、及び『テレビ』と『インターネット』が同様の傾向にある。

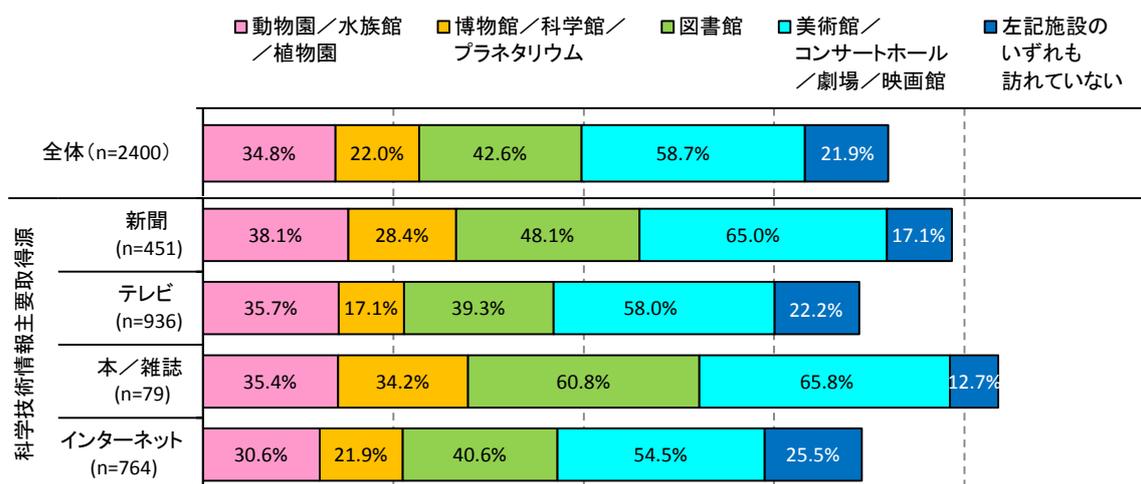


図 3-2 過去1年の施設訪問状況

⁶ 質問文「あなたは、最近1年間に、次の施設等を訪れたことがありますか。訪れたことのある施設をいくつでもお選びください。」に対し、「動物園」、「水族館」、「植物園」、「博物館」、「科学館」等12施設等及び「いずれも訪れていない」(排他)の13の選択肢から複数選択。

科学技術情報の主要取得源と訪問施設の関連性の強さを把握するため、科学技術情報の主要取得源ごとの選択割合に基づきコレスポネンス分析⁷を行った。その結果を図 3-3 に示す。また、コレスポネンス分析により得られたスコアを用いて数値化した結果を図 3-4 に示す。数値化に当たっては、各科学技術情報の主要取得源区分と各訪問施設の関連度 K_{ij} ($i=1, 2, 3, 4, j=1, 2, \dots, n$)を

$$K_{ij} = MA - A_{ij} \quad (\text{式 3.1})$$

MA : A_{ij} の最大値

$$A_{ij} = \sqrt{\{k_1(x_1 - x_2)\}^2 + \{k_2(y_1 - y_2)\}^2}$$

k_1 : 第 1 成分の寄与率

k_2 : 第 2 成分の寄与率

x_1 : 科学技術情報の取得源区分の第 1 成分スコア

x_2 : 選択肢項目 (この場合は訪問施設) の第 1 成分スコア

y_1 : 科学技術情報の取得源区分の第 2 成分スコア

y_2 : 選択肢項目 (この場合は訪問施設) の第 2 成分スコア

i : 科学技術情報の主要取得源区分 1~4

j : 選択肢項目 1~n

により算出した。なお、この値は数値が大きいほど関連が高いことを表す。

これによれば、科学技術情報の主要取得源が『テレビ』と『インターネット』とは同じ関係にあり、『新聞』及び『本／雑誌』とは相対的な関係にある。科学技術情報の主要取得源が『テレビ』及び『インターネット』の者は、『新聞』及び『本／雑誌』と比べ、科学館、博物館、プラネタリウムといった科学技術系施設及び図書館との関連が低く、「いずれも訪れていない」との関連が高い。

また、科学技術情報の主要取得源が『新聞』と『本／雑誌』の比較では、『新聞』の者の方が動物園、水族館、プラネタリウムといった動植物系施設の訪問及び美術館、コンサートホール、劇場、映画館といった文化系施設の訪問との関連が高く、『本／雑誌』の者の方が博物館、科学館、プラネタリウムといった科学技術系施設の訪問との関連が高い。

このように施設訪問に関しては、科学技術情報の主要取得源により、『新聞』及び『本／雑誌』のどちらかという活字ベースのグループと『テレビ』及び『インターネット』のどちらかというビジュアルベースのグループの 2 グループに大別される。

⁷ 2 つの変数群 (要素群、要因) の関連性を分析する手法であり、行要素と列要素の相関関係が最大となるように数値化し、行要素と列要素の関連の強さ (因果関係) を平面上の距離に置き換えて表現したもの。

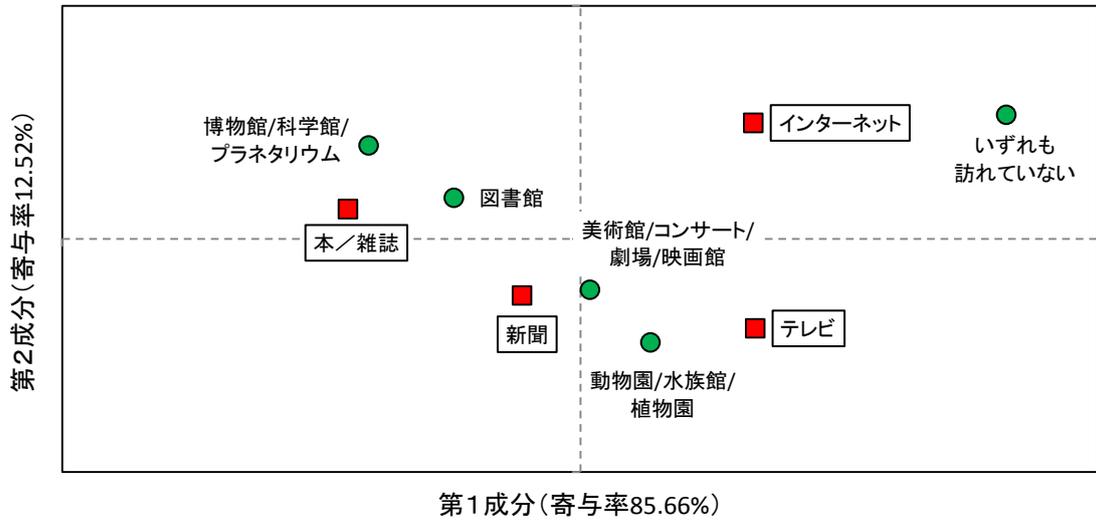


図 3-3 施設訪問状況(過去1年)に関するコレスポネンズ分析

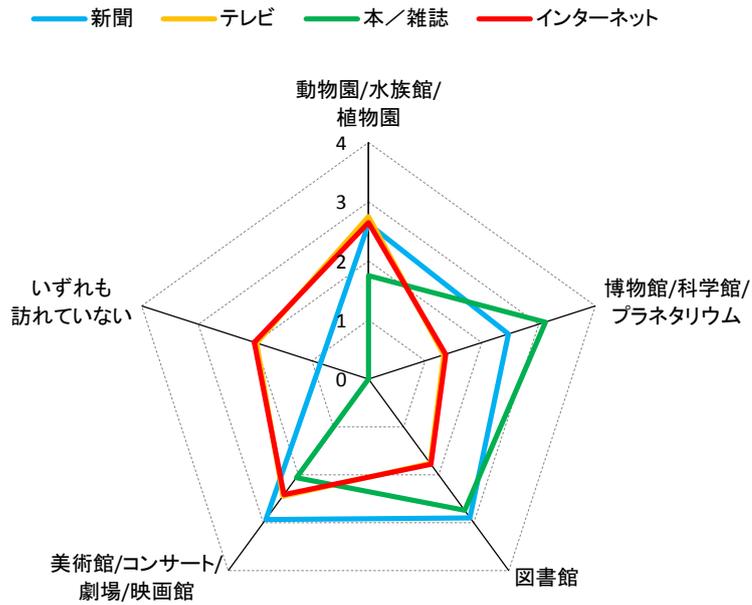


図 3-4 科学技術情報の主要取得源と施設訪問の関連度

4 科学技術情報の主要取得源と社会的課題や科学技術関連話題に対する関心

4.1 社会的課題に対する関心

様々な社会的課題・社会問題が顕在化している中で、一般市民は、様々なメディアを通して、それらの情報に接触しているところであるが、一般市民はどのような社会的課題に関心があり、科学技術情報の主要取得源による違いがあるかについて、12の社会的課題に関する結果を図4-1に示す⁸。

これによれば、各社会的課題とも科学技術情報の主要取得源によらず50%以上の者が関心を示しているが、総体的に科学技術情報の主要取得源が『新聞』及び『本／雑誌』の者が『テレビ』及び『インターネット』の者よりも関心が高い傾向にある。

特に「国際政治・外交」、「経済・景気・国際競争力」、「資源・エネルギー」といったグローバル的な社会的課題において、その傾向は顕著となっている。

また、「食料・水資源」、「少子高齢化社会」、「気候変動」、「自然環境の保全」といった日常生活において直接的又は即時的な影響が薄いと思われる社会的課題においてもその傾向が見られる。

一方、「教育」、「健康や医療」、「食の安全」といった日常生活に直接的な影響を及ぼす社会的課題は、科学技術情報の主要取得源による顕著な違いが見られない。

科学技術情報の主要取得源と各社会的課題に対する関心との関連性の強さを把握するため、科学技術情報の主要取得源ごとの関心のある選択割合（「非常に関心がある」又は「どちらかというに関心がある」のいずれかを選択した者の割合）に基づきコレスポネンズ分析を行った結果を図4-2に示す。また、コレスポネンズ分析により得られたスコアを用いて式3.1を用いて数値化した結果を図4-3に示す。

これによれば、科学技術情報の主要取得源が『テレビ』の者は、他の科学技術情報の主要取得源の者と大きく異なる。科学技術情報の主要取得源が『テレビ』の者は、他の科学技術情報の主要取得源の者と比べ、「国際政治・外交」、「経済・景気・国際競争力」、「資源・エネルギー」、「自然環境の保全」の関心との関連が低く、「医療や健康」、「食の安全」の関心との関連が若干高い。

科学技術情報の主要取得源が『新聞』、『本／雑誌』及び『インターネット』の比較では、大きな違いは見られないが、『インターネット』、『新聞』、『本／雑誌』の順で社会的課題の関心との関連が高い傾向が見られる。

このように、社会的課題の関心との関連に関しては、科学技術情報の主要取得源が『テレビ』の者とその他の者の2グループに大別される。

⁸ 質問文「あなたは、次のことにどのくらい関心をもっていますか。それぞれについて、当てはまるものを1つお選びください。」に対し、「国際政治・外交」、「経済・景気・国際競争力」、「気候変動」、「資源・エネルギー」、「食料・水資源」といった12の社会的課題、並びに「新しい技術や発明の利用」、「新しい科学的発見」、「新しい医学的発見」、「宇宙探査・開発」、「海洋探査・開発」といった8の科学的関連話題それぞれについて、「非常に関心がある」、「どちらかというに関心がある」、「どちらかというに関心がない」及び「全く関心がない」の4の選択肢から単数選択。

■全く関心がない □どちらかというに関心がない □どちらかというに関心がある ■非常に関心がある

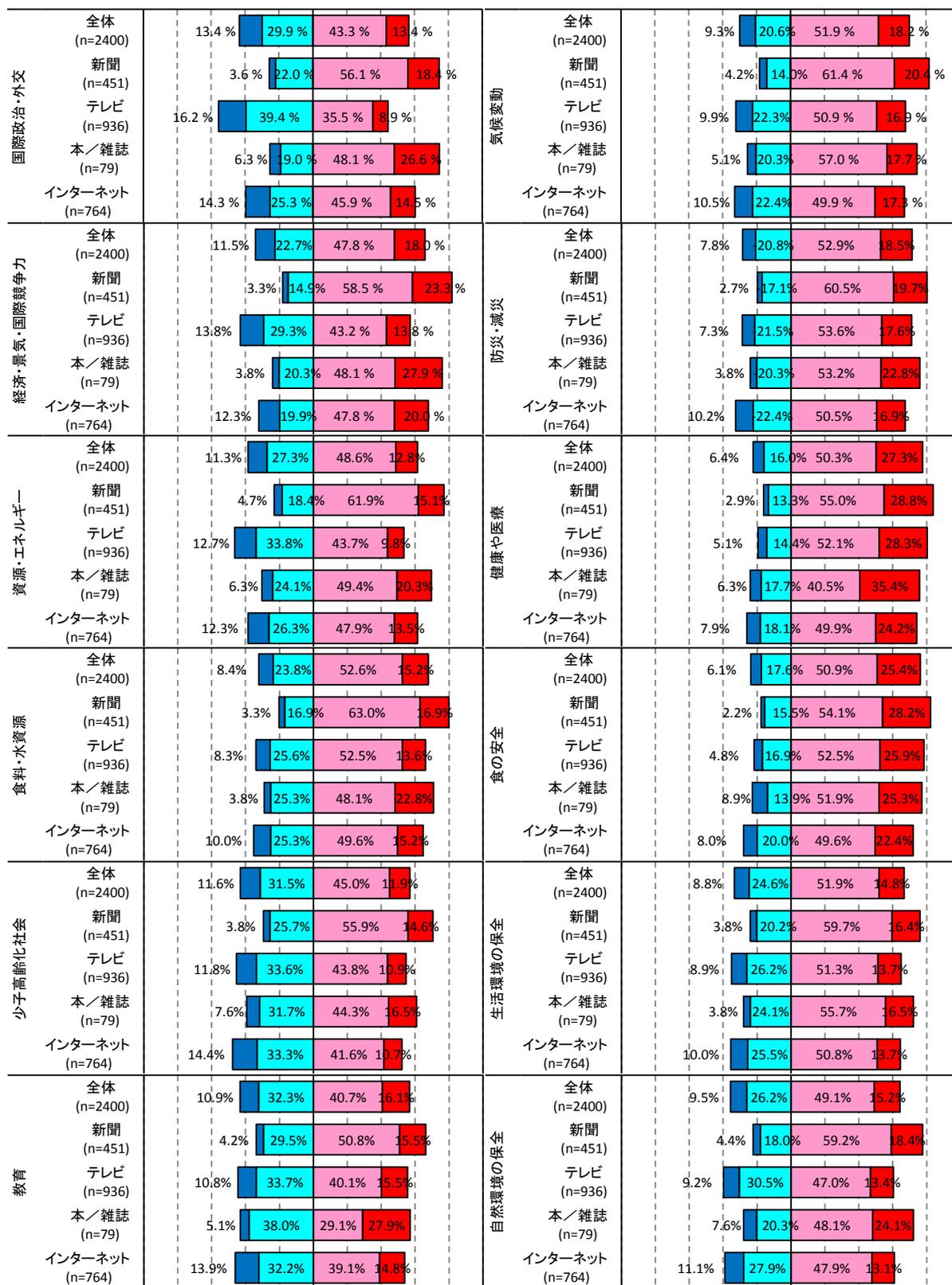


図 4-1 社会的課題に対する関心(科学技術情報の主要取得源別)

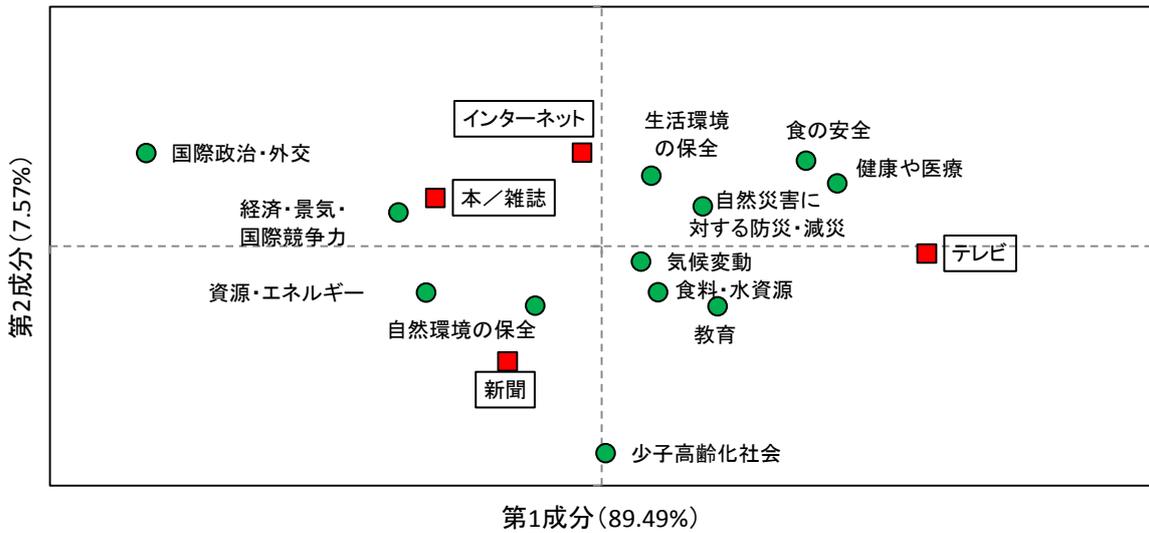


図 4-2 社会的課題に対する関心に関するコレスポンデンス分析

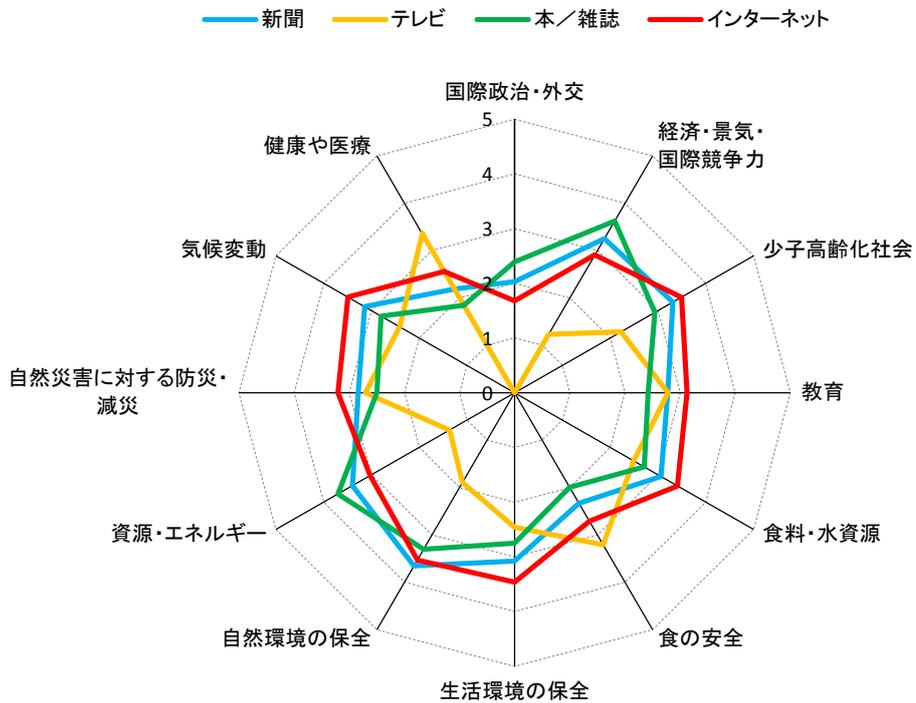


図 4-3 科学技術情報の主要取得源と社会的課題に対する関心の関連度

4.2 科学技術関連話題に対する関心

ノーベル賞受賞に関する報道や再生医療に関する報道、データのねつ造や改ざんなど研究不正に関する報道など科学技術に関連する話題に、一般市民は、様々なメディアを通して接触しているところである。まず一般市民は総体的に科学技術に関連する話題に関心があるかについて、その結果を図 4-4 に示す⁹。

これによれば、科学技術に関連する話題に対する関心度（「非常に関心がある」又は「どちらかというに関心がある」のいずれかを回答した者の割合、以下同じ。）が最も高いのは、科学技術情報の主要取得源が『本／雑誌』の者（87%）であり、次いで『新聞』の者（74%）と『インターネット』の者（70%）が同程度となっている。最も科学技術に関連する話題に対する関心度が低いのは、科学技術情報の主要取得源が『テレビ』の者（53%）である。 χ^2 検定の結果（表 4-1）、 p 値=0.000、Cramer's V=0.158 となり、科学技術情報の主要取得源による科学技術に関連した話題に対する関心度において有意差が認められた。

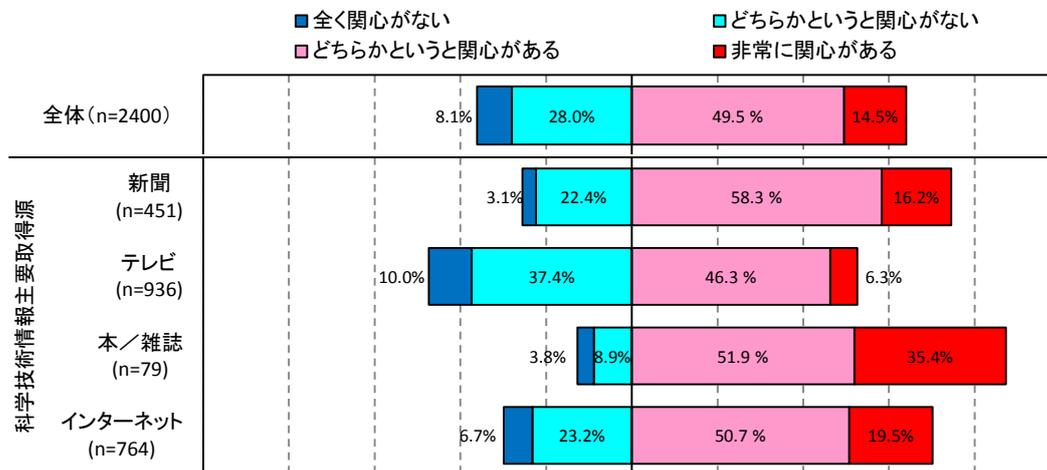


図 4-4 科学技術に関連した話題に対する関心

表 4-1 科学技術に関連した話題に対する関心に関する χ^2 検定結果

χ^2 値	自由度	p 値	検定結果	Cramer's V	調整済み標準化残差				
					主要取得源	非常に関心がある	どちらかというに関心がある	どちらかというに関心がない	全く関心がない
165.871	9	0.000	**	0.158	新	1.603	3.762 **	-3.204 **	-3.811 **
					テ	-8.780 **	-3.328 **	7.936 **	4.299 **
					本	5.655 **	0.271	-3.933 **	-1.209
					イ	5.571 **	0.171	-4.009 **	-0.774

備考 1. 検定結果欄及び調整済み標準化残差欄の記号 = **: $p < 0.01$, *: $p < 0.05$, †: $p < 0.1$, 空白:有意差なし
2. 「主要取得源」欄の「新」=新聞、「テ」=テレビ、「本」=本／雑誌、「イ」=インターネットを表す。

⁹ 質問文「あなたは、科学技術に関するニュースや話題に関心がありますか。次のうち、当てはまるものを1つお選びください。」に対し、「非常に関心がある」、「どちらかというに関心がある」、「どちらかというに関心がない」及び「全く関心がない」の4の選択肢から単数選択。

次に科学技術に関連する話題の具体的な分野に対する関心に科学技術情報の主要取得源による違いがあるかについて、8の科学技術関連話題に関する結果を図4-5に示す。

これによれば、上述の総体的な科学技術に関連した話題に対する関心度と同様に、全般的に科学技術情報の主要取得源が『本／雑誌』の者の関心度が高く、『新聞』及び『インターネット』の者の関心度が同程度、『テレビ』の者の関心度が最も低い。

特に「新しい技術や発明の利用」、「新しい科学的発見」、「宇宙探査・開発」、「海洋探査・開発」といったより専門性の高い話題において、その傾向が顕著となっている。

また、「新しい医学的発見」、「情報通信技術」は、身近な話題ということからか全体の関心が他と比べ高く、科学技術情報の主要取得源による違いは大きくない。

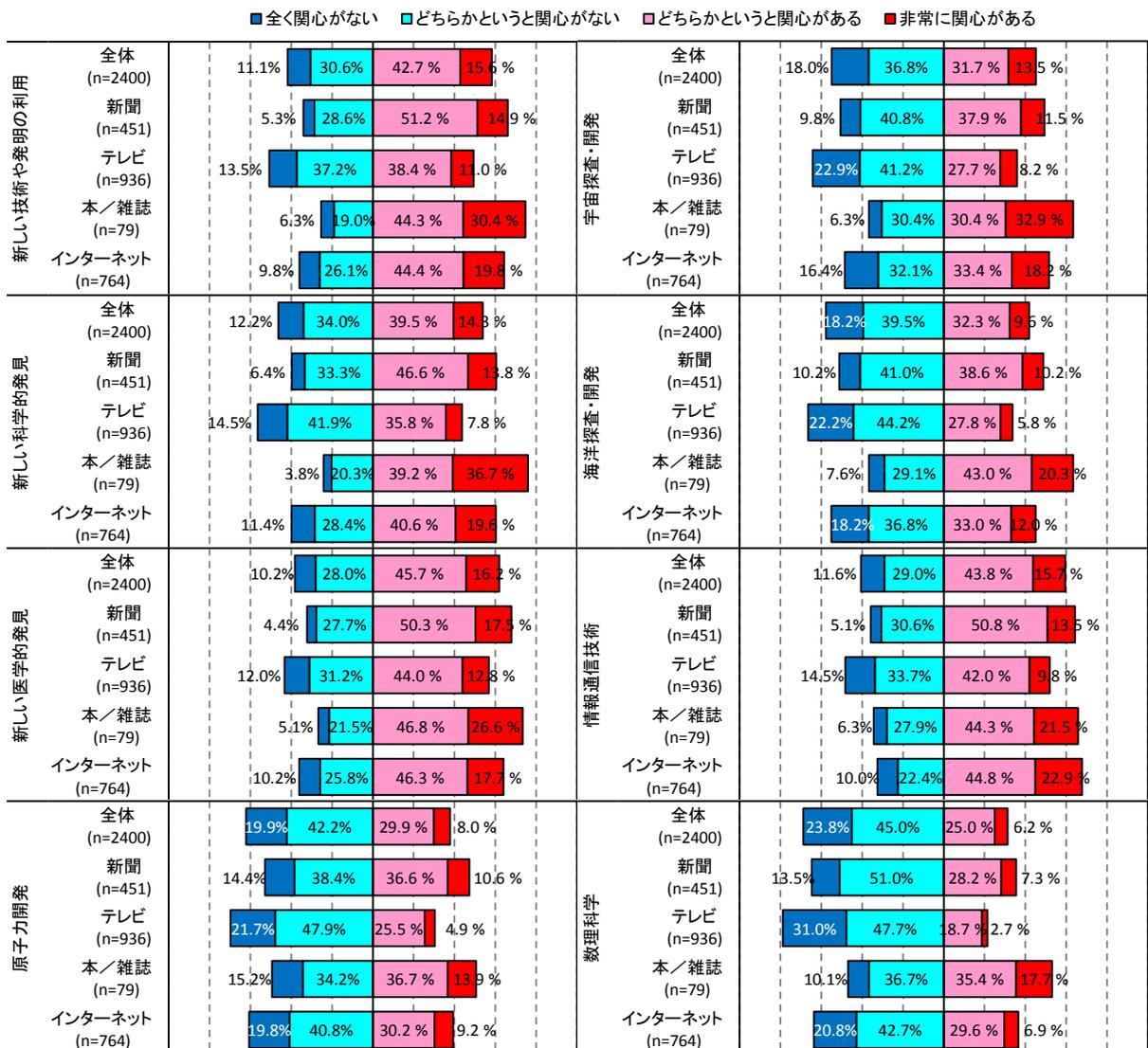


図 4-5 科学技術関連話題に対する関心(科学技術情報の主要取得源別)

科学技術情報の主要取得源と各科学技術関連話題に対する関心との関連性の強さを把握するため、科学技術情報の主要取得源ごとの関心のある選択割合（「非常に関心がある」又は「どちらかというに関心がある」のいずれかを選択した者の割合）に基づきコレスポネンダ分析を行った結果を図 4-6 に示す。また、コレスポネンダ分析により得られたスコアを用いて式 3.1 を用いて数値化した結果を図 4-7 に示す。

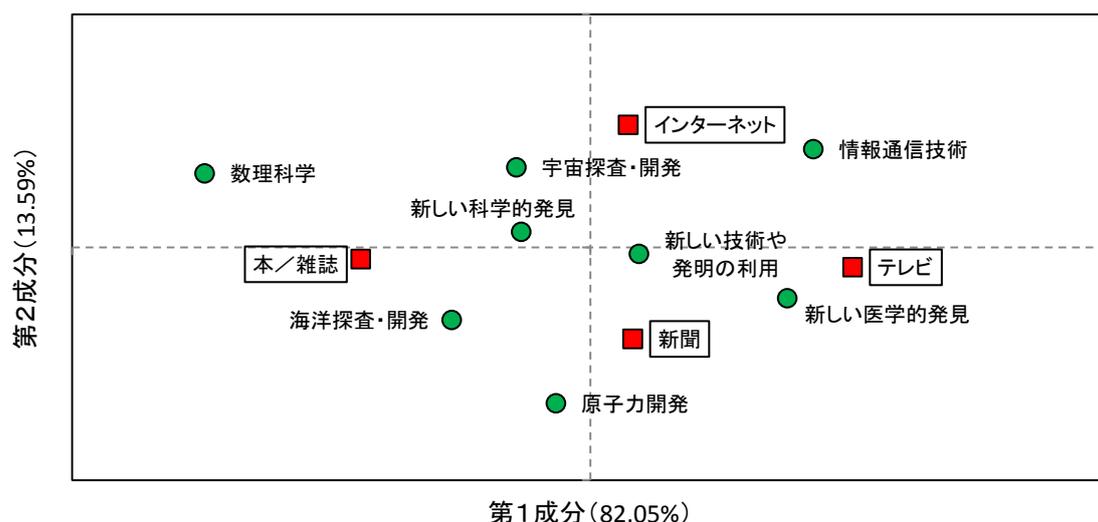


図 4-6 科学技術関連話題に対する関心に関するコレスポネンダ分析

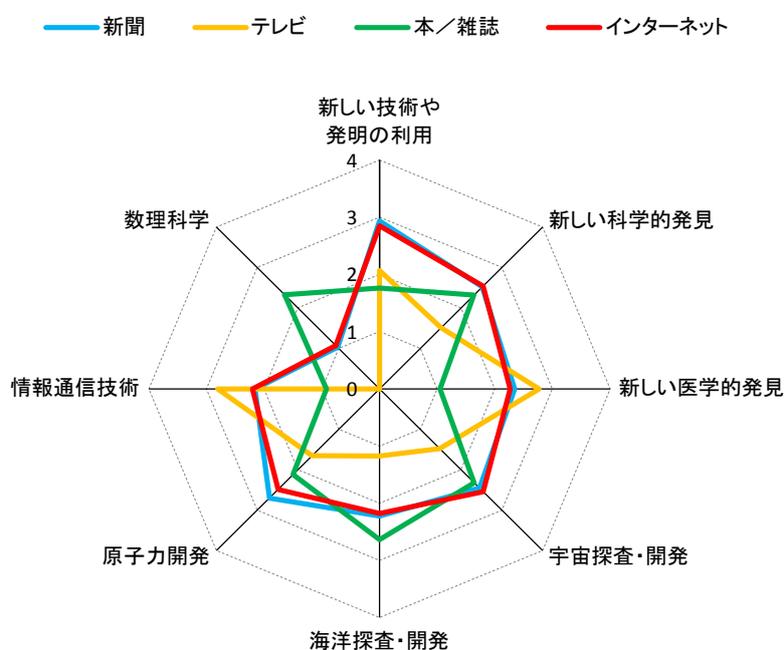


図 4-7 科学技術情報の主要取得源と科学技術関連話題に対する関心の関連度

これによれば、科学技術情報の主要取得源が『新聞』と『インターネット』とは同じ関係にあり、「数理科学」を除いて、科学技術関連話題の関心との関連が高い。

科学技術情報の主要取得源が『テレビ』の者は、他の科学技術情報の主要取得源の者と比べ、「宇宙探査・開発」、「海洋探査・開発」の関心との関連が低く、「新しい医学的発見」及び「情報通信技術」の関心との関連が若干高い傾向が見られる。

科学技術情報の主要取得源が『本／雑誌』の者は、『テレビ』の者と逆に、「新しい医学的発見」及び「情報通信技術」の関心との関連が低い傾向が見られる。

このように、科学技術関連話題の関心に関しては、科学技術情報の主要取得源により、『新聞』・『インターネット』、『本／雑誌』及び『テレビ』の3グループに大別される。

なお、科学技術関連話題に対する関心について、米国の場合を図4-8に示す¹⁰。調査方法、選択肢等が異なり直接比較することは難しいが、ここに挙げた「新しい技術や発明の利用」、「新しい科学的発見」、「新しい医学的発見」及び「宇宙探査・開発」の話題に関し、日本と比べ米国の関心が非常に高いことがわかる。

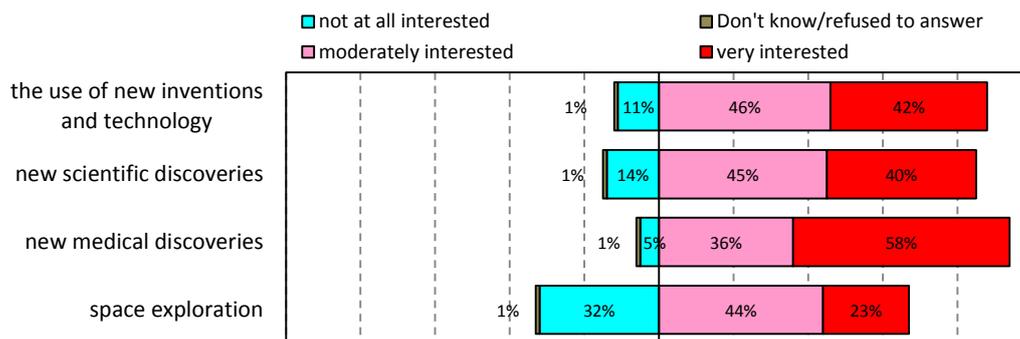


図4-8 米国における科学技術関連話題に対する関心 (n=2256)

¹⁰ 「Science and Engineering Indicators 2014」(<http://www.nsf.gov/statistics/seind14/>)の Appendix table 7-1 から作成。
 質問文「Responses to There are a lot of issues in the news, and it is hard to keep up with every area. I'm going to read you a short list of issues, and for each one I would like you to tell me if you are very interested, moderately interested, or not at all interested.」に対する回答結果。

5 科学技術情報の主要取得源と情報の受け取り方

5.1 ネガティブ情報の受け取り方

上述の社会的課題や科学技術関連話題において、その内容が不安や嫌悪を感じた、いわゆるネガティブ情報の場合、その受け取り方に科学技術情報の主要取得源による違いがあるかについて、その結果を図 5-1 に示す¹¹。

これによれば、ネガティブ情報に対して、「非常に興味をもった」の割合は、科学技術情報の主要取得源が『インターネット』の者が 40%で最も高く、他の科学技術情報の主要取得源は 35%前後で変わらない。

「その情報をそのまま信じた」の割合は、科学技術情報の主要取得源が『テレビ』の者が 28%と最も高く、『本／雑誌』の者が 10%で最も低い。その裏返しとしての「その情報を疑った」の割合は、科学技術情報の主要取得源が『本／雑誌』の者が 22%で最も高く、『テレビ』の者が 10%で最も低い。

「さらに詳しく知りたいと思った」の割合は、科学技術情報の主要取得源が『本／雑誌』の者が 64%で最も高く、他の科学技術情報の主要取得源の者は、『テレビ』の者が 43%と若干低いもののあまり変わらない。さらに「様々なメディアで確認した」の割合は、科学技術情報の主要取得源が『本／雑誌』の者が 39%で最も高く、他の科学技術情報の主要取得源の者は、『テレビ』の者が 22%と若干低いもののあまり変わらない。

このように、科学技術情報の主要取得源が『本／雑誌』の者は、他の科学技術情報の主要取得源の者と比べ、ネガティブ情報をそのまま信じることなく、さら詳しく様々なメディアでその情報を確認する傾向にあり、科学技術情報の主要取得源が『テレビ』の者は、他の科学技術情報の主要取得源の者と比べ、ネガティブ情報をそのまま信じ、他のメディアでその情報を確認しない傾向が見られる。

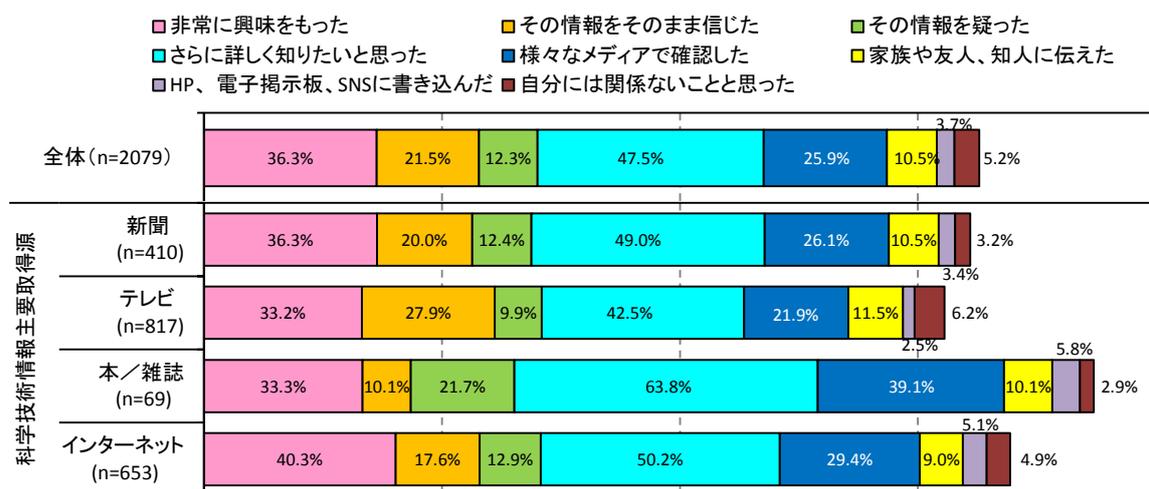


図 5-1 ネガティブ情報の受け取り方

¹¹ 質問文「Q6 で「不安や嫌悪を感じたもの」がある方にお聞きます。あなたは、その不安や嫌悪を感じた情報を最初に見聞きした時、どうすることが多かったですか。次のうち、当てはまるものをいくつでも選びください。」に対し、「非常に興味をもった」、「その情報をそのまま信じた」、「その情報を疑った」、「さらに詳しく知りたいと思った」といった 10 の選択肢から複数選択。

科学技術情報の主要取得源とネガティブ情報の受け取り方との関連性の強さを把握するため、科学技術情報の主要取得源ごとの選択割合に基づきコレスポネンス分析を行った結果を図 5-2 に示す。また、コレスポネンス分析により得られたスコアを用いて式 3.1 を用いて数値化した結果を図 5-3 に示す。

これによれば、科学技術情報の主要取得源が『新聞』と『インターネット』とは同じ関係にあり、『テレビ』と『本／雑誌』は対極的な関係にある。

科学技術情報の主要取得源が『テレビ』の者は、他の科学技術情報の主要取得源の者と比べ、「その情報を疑った」、「さらに詳しく知りたいと思った」、「様々なメディアで確認した」、「HP、電子掲示板、SNS に書き込んだ」との関連が低い。

一方、科学技術情報の主要取得源が『本／雑誌』の者は、他の科学技術情報の主要取得源の者と比べ、「非常に興味をもった」、「その情報をそのまま信じた」、「家族や友人、知人に伝えた」、「自分には関係ないことと思った」との関連が低く、「その情報を疑った」、「HP、電子掲示板、SNS に書き込んだ」との関連が高い傾向にある。

科学技術情報の主要取得源が『新聞』と『インターネット』の者は、これらの中間的な位置づけにある。

このように、ネガティブ情報の受け取り方に関しては、科学技術情報の主要取得源により、『新聞』・『インターネット』、『テレビ』、『本／雑誌』の 3 グループに大別される。

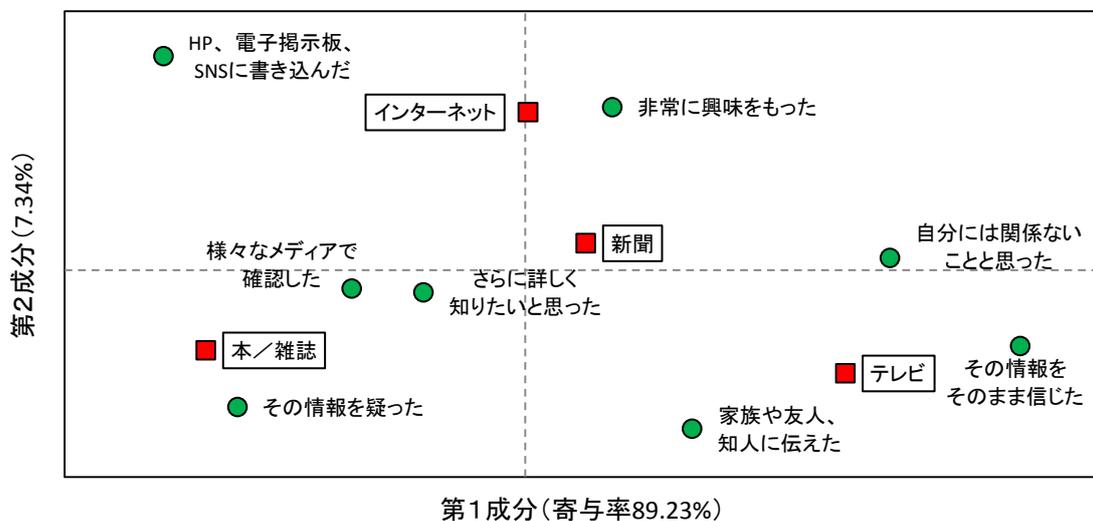


図 5-2 ネガティブ情報の受け取り方に関するコレスポネンス分析

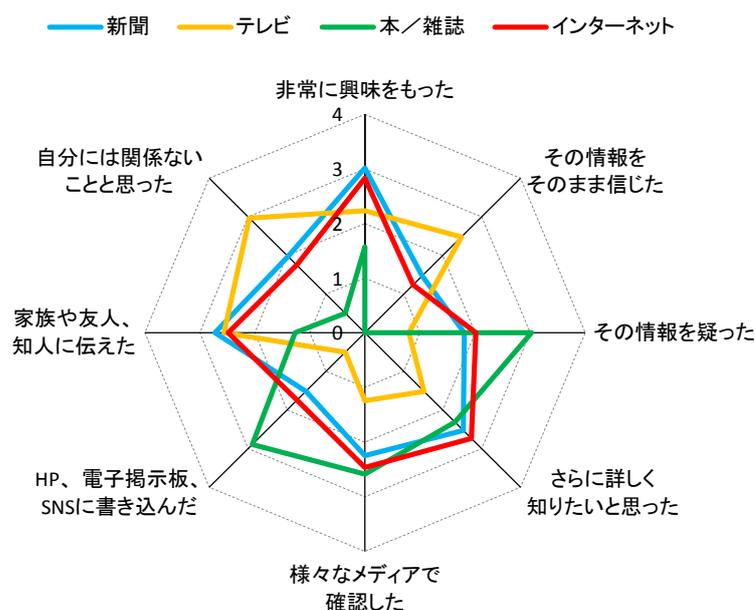


図 5-3 科学技術情報の主要取得源とネガティブ情報の受け取り方の関連度

5.2 ポジティブ情報の受け取り方

上述の社会的課題や科学技術関連話題において、その内容が感動や安心を感じた、いわゆるポジティブ情報の場合、その受け取り方に科学技術情報の主要取得源による違いがあるかについて、その結果を図 5-4 に示す¹²。

これによれば、ポジティブ情報に対して、「非常に興味をもった」の割合は、科学技術情報の主要取得源が『テレビ』の者が 45% で最も低く、他の科学技術情報の主要取得源は 50% 強で変わらない。

「その情報をそのまま信じた」の割合は、科学技術情報の主要取得源が『テレビ』の者が 39% と最も高く、『本/雑誌』の者が 16% で最も低い。その裏返しとしての「その情報を疑った」の割合は、科学技術情報の主要取得源によらず 5% 未満で変わらない。

「さらに詳しく知りたいと思った」の割合は、科学技術情報の主要取得源が『本/雑誌』の者が 55% で最も高く、次いで『インターネット』の者が 49%、『新聞』の者が 41% と続き、『テレビ』の者が 34% と最も低い。さらに「様々なメディアで確認した」の割合は、科学技術情報の主要取得源が『本/雑誌』の者が 45% で最も高く、『テレビ』の者が 18% と最も低い。

このように、科学技術情報の主要取得源が『本/雑誌』の者は、他の科学技術情報の主要取得源の者と比べ、ポジティブ情報を疑うことはしないまでもそのまま信じてることなく、さらに詳しく様々なメディアでその情報を確認する傾向にあり、科学技術情報の主要取得源が『テレビ』の者は、他の科学技術情報の主要取得源の者と比べ、ポジティブ情報をそのまま信じ、他のメディアでその情報を確認しない傾向が見られる。

¹² 質問文「Q6で「感動や安心を感じたもの」がある方にお聞きします。あなたは、その感動や安心を感じた情報を最初に見聞きした時、どうすることが多かったですか。次のうち、当てはまるものをいくつでも選びください。」に対し、「非常に興味をもった」、「その情報をそのまま信じた」、「その情報を疑った」、「さらに詳しく知りたいと思った」といった 10 の選択肢から複数選択。

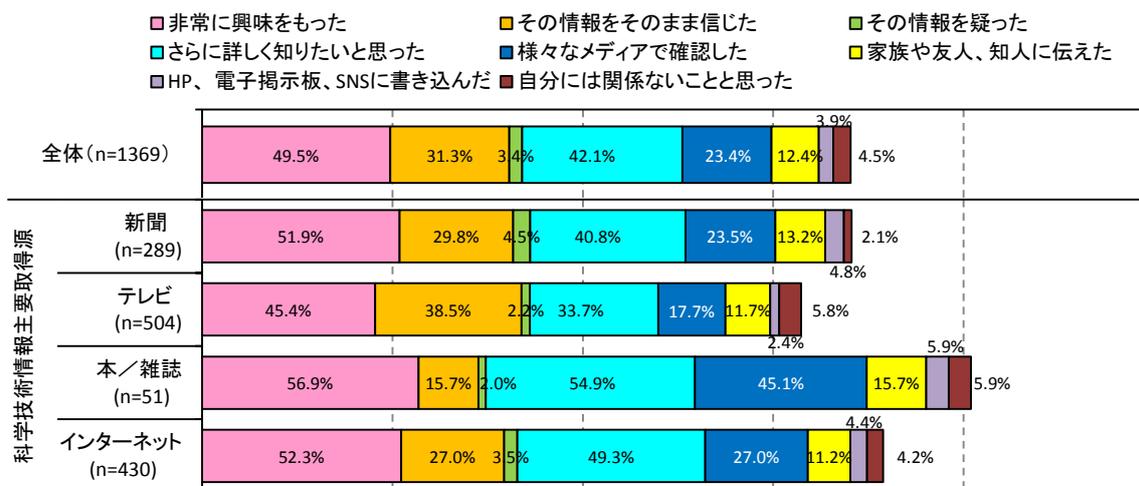


図 5-4 ポジティブ情報の受け取り方

科学技術情報の主要取得源とポジティブ情報の受け取り方との関連性の強さを把握するため、科学技術情報の主要取得源ごとの選択割合に基づきコレスポネンズ分析を行った結果を図 5-5 に示す。また、コレスポネンズ分析により得られたスコアを用いて式 3.1 を用いて数値化した結果を図 5-6 に示す。

これによれば、科学技術情報の主要取得源が『新聞』と『インターネット』とは非常に近い関係にあり、『テレビ』と『本／雑誌』は対極的な関係にある。

科学技術情報の主要取得源が『テレビ』の者は、他の科学技術情報の主要取得源の者と比べ、「さらに詳しく知りたいと思った」、「様々なメディアで確認した」、「HP、電子掲示板、SNS に書き込んだ」との関連が低い。

一方、科学技術情報の主要取得源が『本／雑誌』の者は、他の科学技術情報の主要取得源の者と比べ、「その情報をそのまま信じた」、「その情報を疑った」との関連が低く、「様々なメディアで確認した」との関連が高い傾向にある。

科学技術情報の主要取得源が『新聞』と『インターネット』の者は、これらの中間的な位置づけにある。

このように、ポジティブ情報の受け取り方に関しては、ネガティブ情報の受け取り方と同様、科学技術情報の主要取得源により、『新聞』・『インターネット』、『テレビ』、『本／雑誌』の 3 グループに大別される。

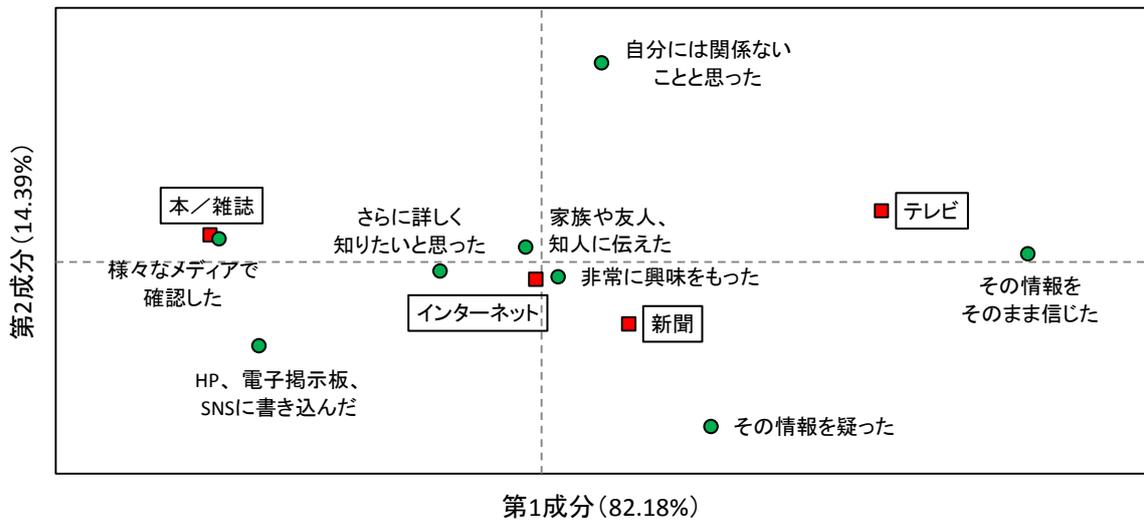


図 5-5 ポジティブ情報の受け取り方に関するコレスポンデンス分析

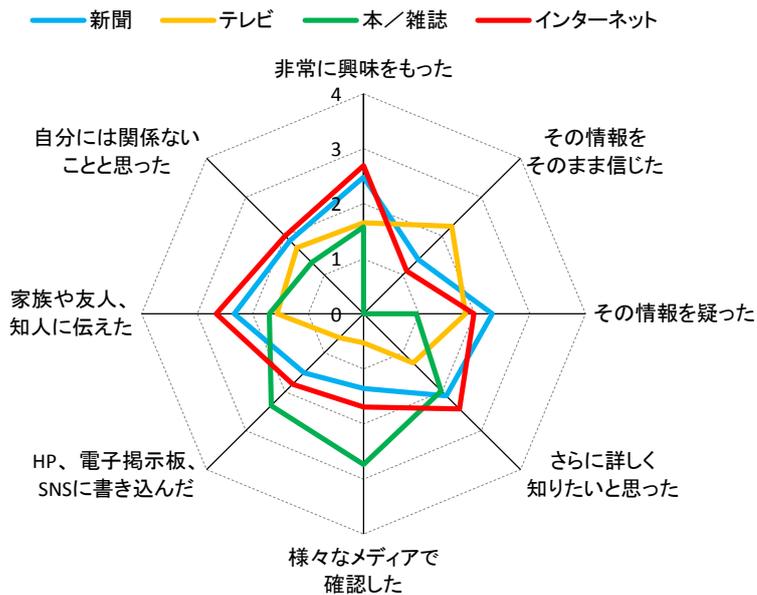


図 5-6 科学技術情報の主要取得源とポジティブ情報の受け取り方の関連度

5.3 ネガティブ情報とポジティブ情報の受け取り方の比較

ネガティブ情報とポジティブ情報との受け取り方の違いは、全般的にポジティブ情報の方がネガティブ情報よりも、「非常に興味をもった」の割合が高く、「その情報を疑った」の割合が非常に低く、「さらに詳しく知りたいと思った」や「様々なメディアで確認した」の割合が低いことである。なお、科学技術情報の主要取得源による傾向に違いは見られない。

6 科学技術情報の主要取得源と影響を及ぼす情報

6.1 ネガティブ情報における最も意見や判断を左右した情報

上述の社会的課題や科学技術関連話題において、その内容が不安や嫌悪を感じた、いわゆるネガティブ情報に関して、最も意見や判断を左右した情報に科学技術情報の主要取得源による違いがあるかについて、その結果を図 6-1 に示す¹³。

これによれば、「専門家から発信された情報」に左右される割合は、科学技術情報の主要取得源が『本／雑誌』の者が 30%と最も高く、『テレビ』の者が 20%と最も低い。

「マスメディアの記者からの情報」に左右される割合は、科学技術情報の主要取得源が『新聞』の者が 32%と最も高く、次いで『テレビ』の者が 23%であり、『本／雑誌』及び『インターネット』の者は 10%台と低い。

「キャスター、コメンテーター、著名人、評論家から発信された情報」に左右される割合は、科学技術情報の主要取得源が『テレビ』の者が 26%と最も高く、他の科学技術情報の主要取得源の者は 10%台と低い。

その他の情報については、いずれも 10%未満で、科学技術情報の主要取得源によらず低く、「特にない」の割合は、科学技術情報の主要取得源が『本／雑誌』及び『インターネット』の者が『新聞』及び『テレビ』よりも高い。

このように、科学技術情報の主要取得源が『本／雑誌』の者は、他の科学技術情報の主要取得源の者と比べ、専門家から発信された情報に左右されやすく、マスメディアの記者や著名人、評論家等から発信された情報には左右されにくい傾向があり、科学技術情報の主要取得源が『インターネット』の者も同様の傾向が見られる。

一方、科学技術情報の主要取得源が『新聞』及び『テレビ』の者は、専門家から発信された情報よりも、マスメディアの記者又は著名人、評論家等から発信された情報に左右されやすい傾向にある。

なお χ^2 検定の結果(表 6-1)、 p 値=0.000、Cramer's V=0.159 となり、科学技術情報の主要取得源によるネガティブ情報における意見や判断を最も左右した情報において有意差が認められた。

¹³ 質問文「Q6で「不安や嫌悪を感じたもの」がある方にお聞きします。あなたは、その不安や嫌悪を感じた情報に関して、あなたの意見や判断を左右したものがありますか。次のうち最も左右したものとして当てはまるものを1つお選びください。」に対し、「科学者など専門家から発信された情報」、「新聞社や雑誌社、テレビ局の記者から発信された情報」、「ニュースキャスターやコメンテーターから発信された情報」など 16 の情報及び及び「特にない」(排他)の 17 の選択肢から単数選択。

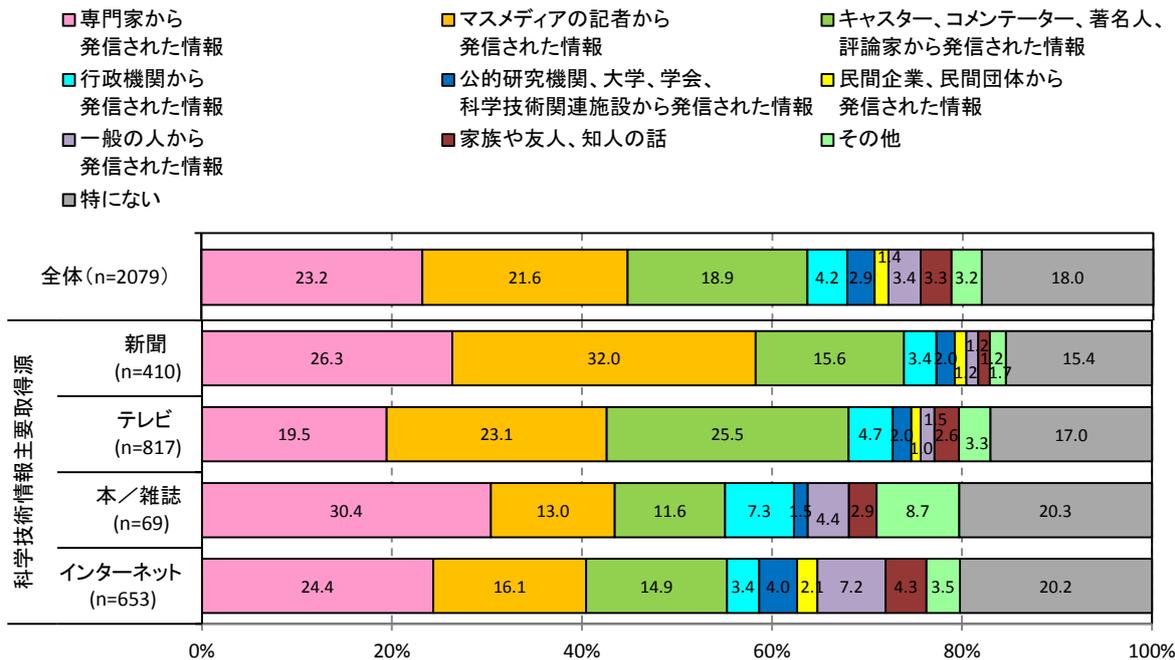


図 6-1 ネガティブ情報における最も意見や判断を左右した情報

表 6-1 ネガティブ情報における最も意見や判断を左右した情報に関する χ^2 検定結果

χ^2 値	自由度	p 値	検定結果	Cramer's V	調整済み標準化残差					
					主要取得源	専門家	マスメディアの記者	キャスター、コメンテーター、著名人、評論家	行政機関	公的研究機関、大学、学会、科学技術関連施設
147.466	27	0.000	**	0.159	新	1.846 †	5.304 **	-2.154 *	-0.738	-0.950
					テ	-3.099 **	0.780	5.807 **	1.137	-1.547
					本	1.509	-1.875 †	-1.659 †	1.369	-0.619
					イ	1.054	-4.661 **	-3.561 **	-1.087	2.679 **
					調整済み標準化残差					
					民間企業、民間団体	一般の人	家族や友人、知人	その他	特にない	
					-0.323	-2.774 **	-2.256 *	-1.965 *	-1.481	
					-1.303	-4.053 **	-0.680	0.153	-0.824	
					-1.002	0.443	0.013	2.613 **	0.538	
					2.034 *	6.467 **	2.654 **	0.513	1.930 †	

備考 1. 検定結果欄及び調整済み標準化残差欄の記号 = **: $p < 0.01$, *: $p < 0.05$, †: $p < 0.1$, 空白: 有意差なし
 2. 「主要取得源」欄の「新」=新聞、「テ」=テレビ、「本」=本/雑誌、「イ」=インターネットを表す。

科学技術情報の主要取得源とネガティブ情報における意見や判断を最も左右した情報との関連性の強さを把握するため、科学技術情報の主要取得源ごとの選択割合に基づきコレスポネンダ分析を行った結果を図 6-2 に示す。また、コレスポネンダ分析により得られたスコアを用いて式 3.1 を用いて数値化した結果を図 6-3 に示す。

これによれば、科学技術情報の主要取得源が『新聞』と『テレビ』とは同じ関係にあり、『本／雑誌』と『インターネット』は比較的近い関係にある。

科学技術情報の主要取得源が『新聞』及び『テレビ』の者は、他の科学技術情報の主要取得源の者と比べ、「家族や友人、知人の話」や「一般の人から発信された情報」との関連が低く、「マスメディアの記者から発信された情報」や「キャスター、コメンテーター、著名人、評論家から発信された情報」との関連が高い。

一方、科学技術情報の主要取得源が『本／雑誌』及び『インターネット』の者は、他の科学技術情報の主要取得源の者と比べ、「マスメディアの記者から発信された情報」や「キャスター、コメンテーター、著名人、評論家から発信された情報」との関連が低く、「家族や友人、知人の話」や「一般の人から発信された情報」との関連が高い。

このように、ネガティブ情報における最も意見や判断を左右した情報に関しては、科学技術情報の主要取得源により、『新聞』・『テレビ』及び『本／雑誌』・『インターネット』の2グループに大別される。

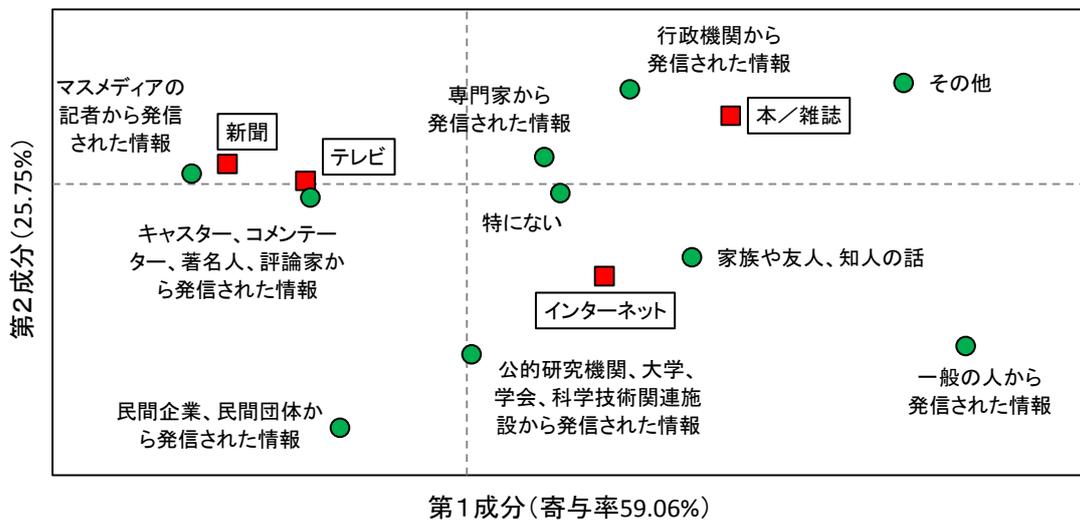


図 6-2 ネガティブ情報における最も意見や判断を左右する情報に関するコレスポネンダ分析

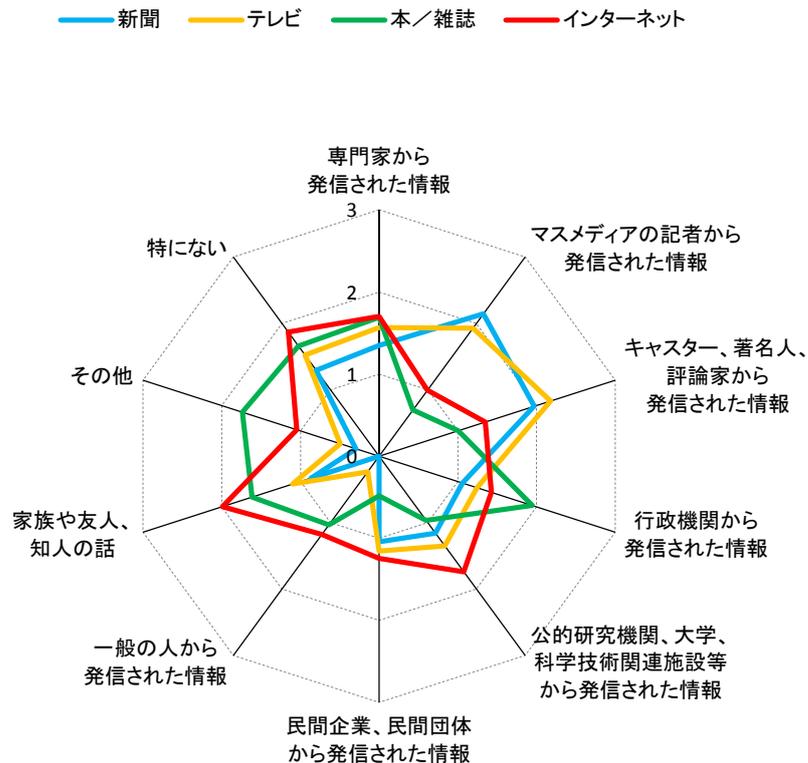


図 6-3 科学技術情報の主要取得源とネガティブ情報における最も意見や判断を左右する情報の関連度

6.2 ポジティブ情報における最も意見や判断を左右した情報

上述の社会的課題や科学技術関連話題において、その内容が感動や安心を感じた、いわゆるポジティブ情報に関して、最も意見や判断を左右した情報に科学技術情報の主要取得源による違いがあるかについて、その結果を図 6-4 に示す¹⁴。

これによれば、「専門家から発信された情報」に左右される割合は、科学技術情報の主要取得源が『本／雑誌』の者が 43%と最も高く、『テレビ』の者が 26%と最も低い。

「マスメディアの記者からの情報」に左右される割合は、科学技術情報の主要取得源が『新聞』の者が 29%と最も高く、次いで『テレビ』の者が 20%であり、『本／雑誌』及び『インターネット』の者は 10%台と低い。

「キャスター、コメンテーター、著名人、評論家から発信された情報」に左右される割合は、科学技術情報の主要取得源が『テレビ』の者が 27%と最も高く、他の科学技術情報の主要取得源の者は 10%台と低い。

¹⁴ 質問文「Q6で「感動や安心を感じたもの」がある方にお聞きします。あなたは、その感動や安心を感じた情報に関して、あなたの意見や判断を左右したものがありますか。次のうち最も左右したものとして当てはまるものを1つお選びください。」に対し、「科学者など専門家から発信された情報」、「新聞社や雑誌社、テレビ局の記者から発信された情報」、「ニュースキャスターやコメンテーターから発信された情報」など 16 の情報及び及び「特にない」(排他)の 17 の選択肢から単数選択。

その他の情報については、いずれも10%未満で、科学技術情報の主要取得源によらず低く、「特にない」の割合は、科学技術情報の主要取得源が『新聞』の者が10%と最も低く、他の科学技術情報の主要取得源の者は15%前後と変わらない。

このように、科学技術情報の主要取得源が『本／雑誌』の者は、他の科学技術情報の主要取得源の者と比べ、専門家から発信された情報に左右され、マスメディアの記者や著名人、評論家等から発信された情報には左右されにくい傾向があり、科学技術情報の主要取得源が『インターネット』の者も同様の傾向が見られる。

一方、科学技術情報の主要取得源が『新聞』の者は、専門家から発信された情報又はマスメディアの記者から発信された情報に左右されやすく、『テレビ』の者は、専門家から発信された情報又は著名人、評論家等から発信された情報に左右されやすい傾向にある。

なお χ^2 検定の結果(表6-2)、 p 値=0.000、Cramer's V=0.153となり、科学技術情報の主要取得源によるネガティブ情報における意見や判断を最も左右した情報において有意差が認められた。

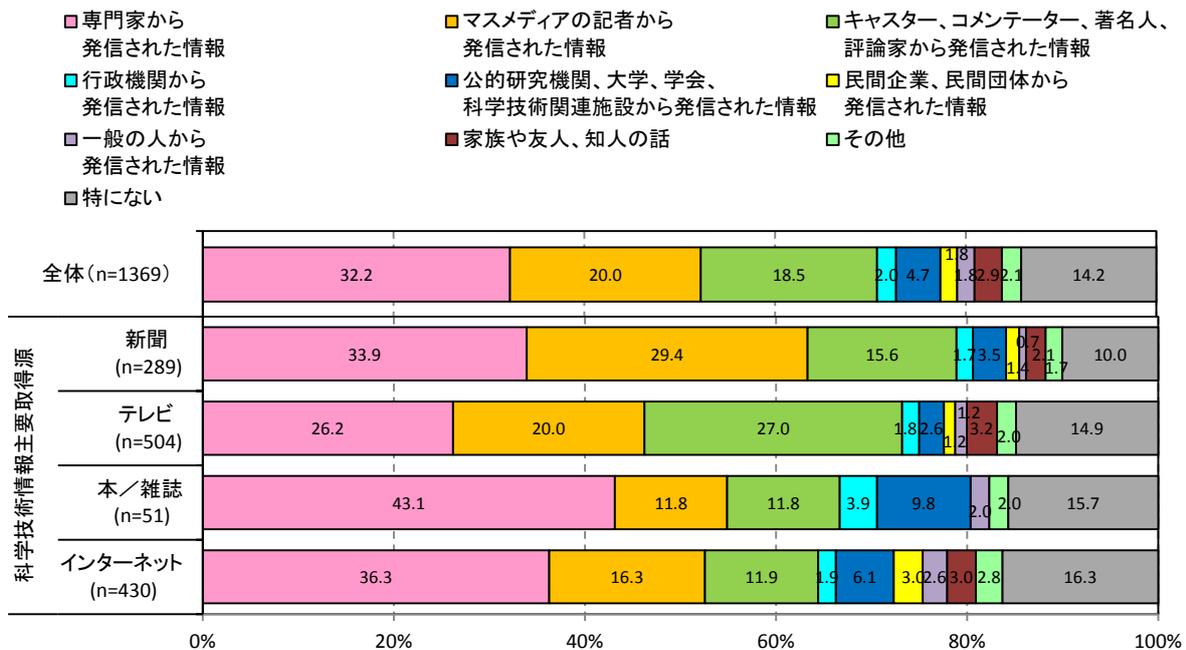


図 6-4 ポジティブ情報における最も意見や判断を左右した情報

表 6-2 ポジティブ情報における最も意見や判断を左右した情報に関する χ^2 検定結果

χ^2 値	自由度	p 値	検定結果	Cramer's V	調整済み標準化残差					
					主要取得源	専門家	マスメディアの記者	キャスター、コメンテーター、著名人、評論家	行政機関	公的研究機関、大学、学会、科学技術関連施設
89.797	27	0.000	**	0.153	新	0.781	4.232 **	-1.543	-0.219	-0.747
					テ	-3.611 **	-0.375	6.152 **	-0.208	-2.378 *
					本	1.736 †	-1.587	-1.294	1.093	2.013 *
					イ	2.323 *	-2.702 **	-4.459 **	-0.044	2.286 *

調整済み標準化残差				
民間企業、民間団体	一般の人	家族や友人、知人	その他	特になし
-0.612	-1.365	-0.794	-0.617	-2.349 *
-1.334	-0.881	0.755	-0.421	0.491
-0.998	0.229	-1.225	-0.118	0.292
2.331 *	2.026 *	0.430	1.030	1.451

備考 1. 検定結果欄及び調整済み標準化残差欄の記号 = **: $p < 0.01$, *: $p < 0.05$, †: $p < 0.1$, 空白:有意差なし
 2. 「主要取得源」欄の「新」=新聞、「テ」=テレビ、「本」=本/雑誌、「イ」=インターネットを表す。

科学技術情報の主要取得源とポジティブ情報における意見や判断を最も左右した情報との関連性の強さを把握するため、科学技術情報の主要取得源ごとの選択割合に基づきコレスポネンズ分析を行った結果を図 6-5 に示す。また、コレスポネンズ分析により得られたスコアを用いて式 3.1 を用いて数値化した結果を図 6-6 に示す。

これによれば、科学技術情報の主要取得源が『新聞』と『テレビ』とは同じ関係にあり、『本/雑誌』と『インターネット』は比較的近い関係にある。

科学技術情報の主要取得源が『新聞』及び『テレビ』の者は、他の科学技術情報の主要取得源の者と比べ、「公的研究機関、大学、科学技術関連施設等から発信された情報」や「一般の人から発信された情報」、「行政機関から発信された情報」との関連が低く、「マスメディアの記者から発信された情報」や「キャスター、コメンテーター、著名人、評論家から発信された情報」との関連が高い。

科学技術情報の主要取得源が『本/雑誌』の者は、他の科学技術情報の主要取得源の者と比べ、「マスメディアの記者から発信された情報」や「キャスター、コメンテーター、著名人、評論家から発信された情報」、「家族や友人、知人の話」との関連が低く、「行政機関から発信された情報」や「公的研究機関、大学、科学技術関連施設等から発信された情報」との関連が高い。

科学技術情報の主要取得源が『インターネット』の者は、これらの中間的な位置づけにある。

このように、ポジティブ情報における最も意見や判断を左右した情報に関しては、科学技術情報の主要取得源により、『新聞』・『テレビ』、『本/雑誌』及び、『インターネット』の3グループに大別される。

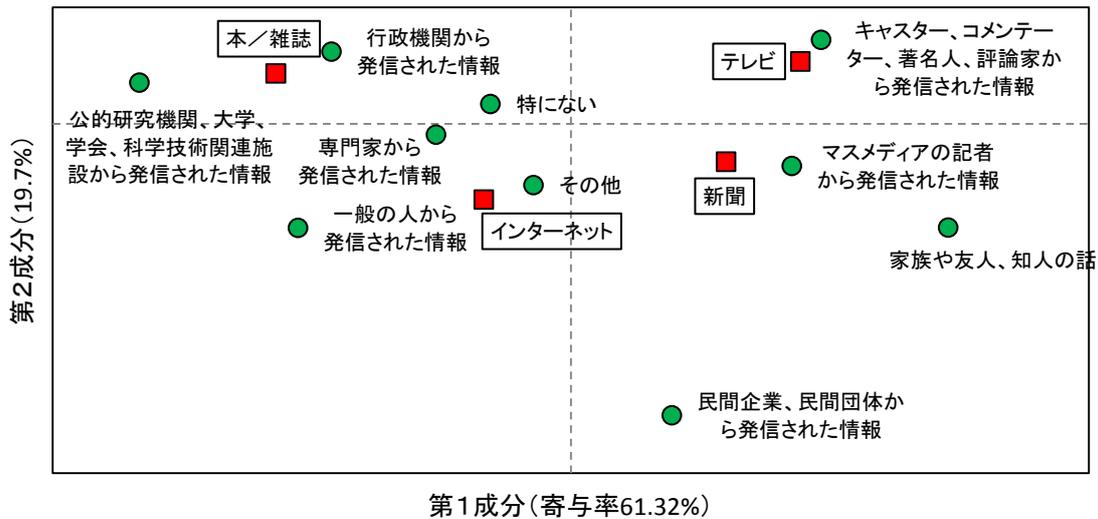


図 6-5 ポジティブ情報における最も意見や判断を左右する情報に関するコレスポネンダンス分析

— 新聞 — テレビ — 本/雑誌 — インターネット

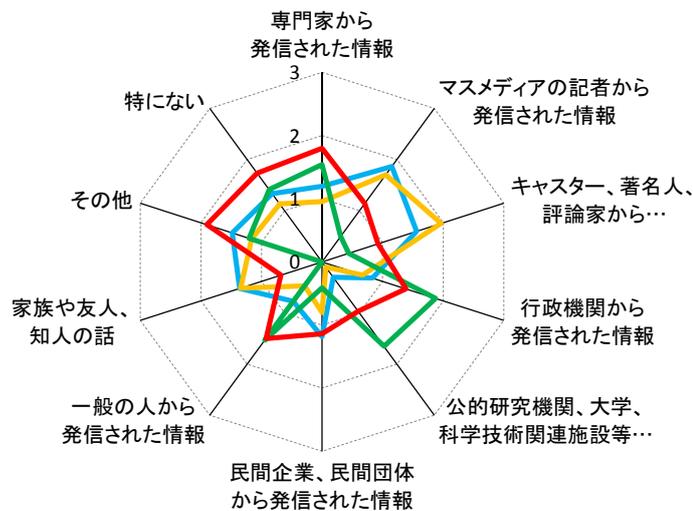


図 6-6 科学技術情報の主要取得源とポジティブ情報における最も意見や判断を左右する情報の関連度

6.3 ネガティブ情報とポジティブ情報の影響を及ぼした情報の比較

ネガティブ情報とポジティブ情報とにおける最も意見や判断を左右した情報の違いは、一般的にポジティブ情報の方がネガティブ情報よりも、専門家から発信された情報に左右されやすい傾向にあり、科学技術情報の主要取得源が『新聞』及び『テレビ』の者にあっても、ポジティブ情報では、他の情報よりも専門家から発信された情報に左右される傾向が見られる。

7 科学技術情報の主要取得源と科学技術情報の信頼

一般市民は、様々なメディアや機関、人から科学技術情報に触れているところであるが、これらの科学技術情報の信頼度に科学技術情報の主要取得源による違いがあるかについて、その結果を図 7-1 に示す¹⁵。

これによれば、「科学者の話」及び「医師の話」の信頼度（「信頼できる」又は「どちらかという信頼できる」のいずれかを選択した割合、以下同じ。）は、科学技術情報の主要取得源の違いによらず、90%弱と非常に高い信頼を得ている。

「公的研究機関からの情報」及び「大学からの情報」の信頼度は、70%前後と「科学者の話」及び「医師の話」に次いで高く、科学技術情報の主要取得源が『新聞』及び『本／雑誌』の者が『テレビ』及び『インターネット』の者と比べ高い傾向にある。

「マスメディアの記者の話」の信頼度は、科学技術情報の主要取得源が『新聞』及び『テレビ』の者が 60%前後、『本／雑誌』及び『インターネット』の者が 40%と大きく異なる。同様の傾向が「著名人や評論家の話」で見られる。

「行政機関からの情報」及び「民間企業等からの情報」の信頼度は、おおむね 60%前後であり、科学技術情報の主要取得源による顕著な違いは見られない。

「家族や友人、知人の話」の信頼度は、おおむね 70%前後であり、「科学者の話」、「医師の話」、「公的研究機関からの情報」及び「大学からの情報」に次いで信頼度が高い情報となっている。

なお、科学技術情報の主要取得源による χ^2 検定の結果、 p 値 ≤ 0.05 かつ Cramer's $V > 0.1$ に該当する 5%以下の水準で有意差が認められ、その効果量もある程度認められる情報は「マスメディアの記者の話」であり、これ以外は基本的に科学技術情報の主要取得源による違いはないものと考えられる。

¹⁵ 質問文「人々は、様々なメディアを通じて、新しい技術や発明、科学的発見など科学技術に関するプラスの情報やリスクなどの科学技術に関するマイナス面の情報に触れていますが、あなたはこれらの情報の発信源について、どの程度信頼できますか。それぞれについて、あなたの考えに最も近いものを1つお答えください。」に対し、「科学者の話」、「医師の話」、「著名人や評論家の話」など15の情報源について、「信頼できる」、「どちらかという信頼できる」、「どちらかという信頼できない」及び「信頼できない」の4の選択肢から単数選択。

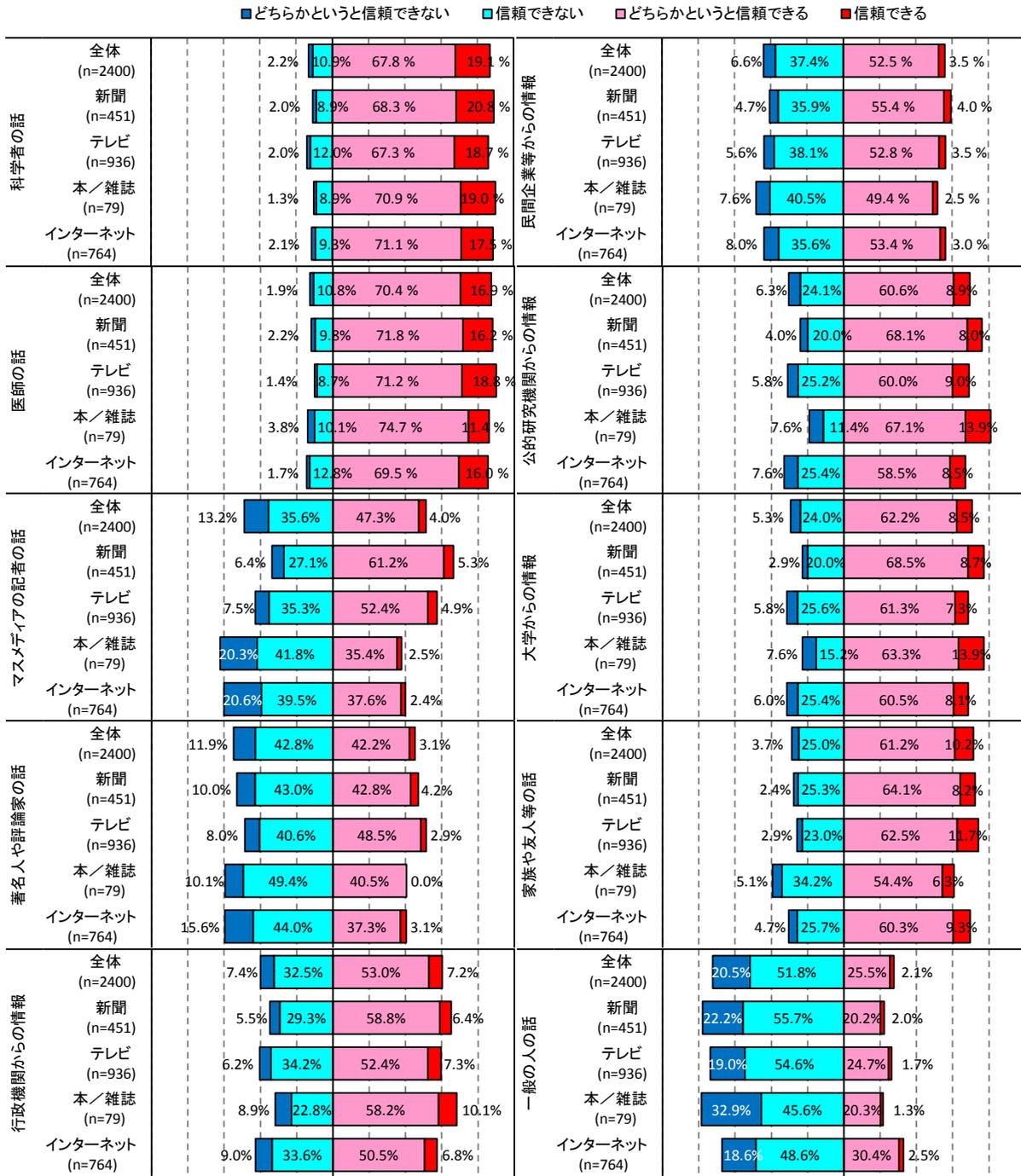


図 7-1 科学技術情報の信頼(科学技術情報の主要取得源別)

科学技術情報の主要取得源と科学技術情報の信頼との関連性の強さを把握するため、科学技術情報の信頼度に基づきコレスポネンス分析を行った結果を図7-2に示す。また、コレスポネンス分析により得られたスコアを用いて式3.1を用いて数値化した結果を図7-3に示す。

これによれば、科学技術情報の主要取得源が『新聞』と『テレビ』とは同じ関係にあり、『本／雑誌』と『インターネット』は比較的近い関係にある。

科学技術情報の主要取得源が『新聞』及び『テレビ』の者は、他の科学技術情報の主要取得源の者と比べ、「著名人や評論家の話」や「マスメディアの記者の話」との関連が高く、科学技術情報の主要取得源が『インターネット』の者と比べ、「一般の人からの情報」との関連が低い。

科学技術情報の主要取得源が『本／雑誌』の者は、他の科学技術情報の主要取得源の者と比べ、「公的研究機関の情報」や「大学からの情報」、「行政機関からの情報」との関連が高く、科学技術情報の主要取得源が『新聞』及び『テレビ』の者と比べ、「マスメディアの記者の話」や「著名人や評論家の話」との関連が低い。

科学技術情報の主要取得源が『インターネット』の者は、他の科学技術情報の主要取得源の者と比べ、「一般の人からの情報」との関連が高く、科学技術情報の主要取得源が『新聞』及び『テレビ』の者と比べ、「マスメディアの記者の話」や「著名人や評論家の話」との関連が低い。

このように、科学技術情報の信頼に関しては、科学技術情報の主要取得源により、『新聞』・『テレビ』、『本／雑誌』及び、『インターネット』の3グループに大別される。

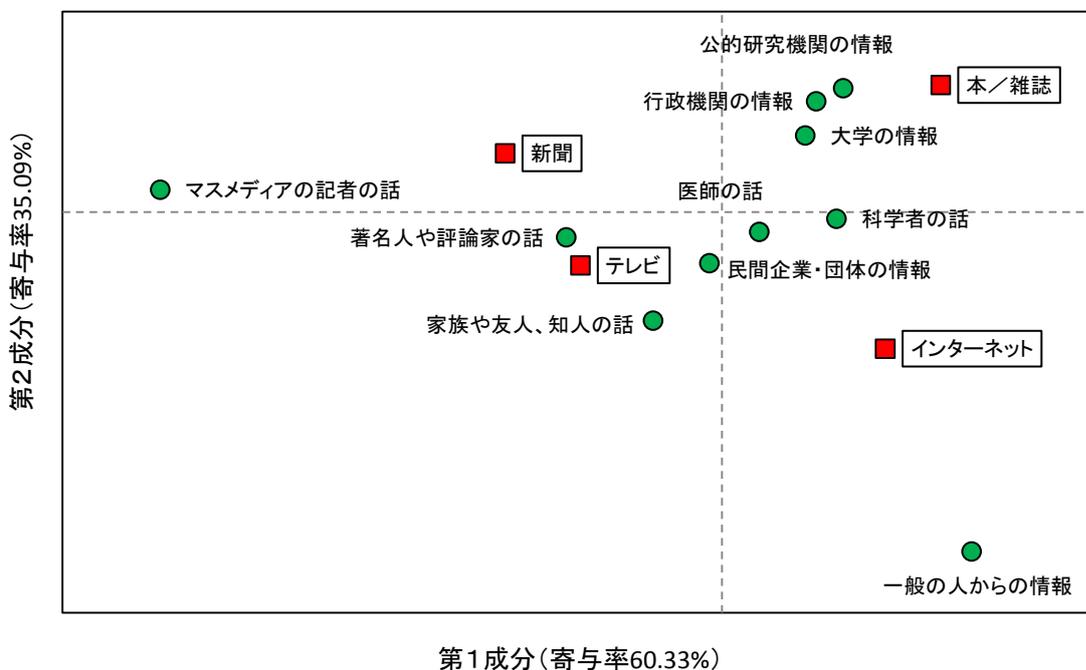


図7-2 科学技術情報の信頼のコレスポネンス分析

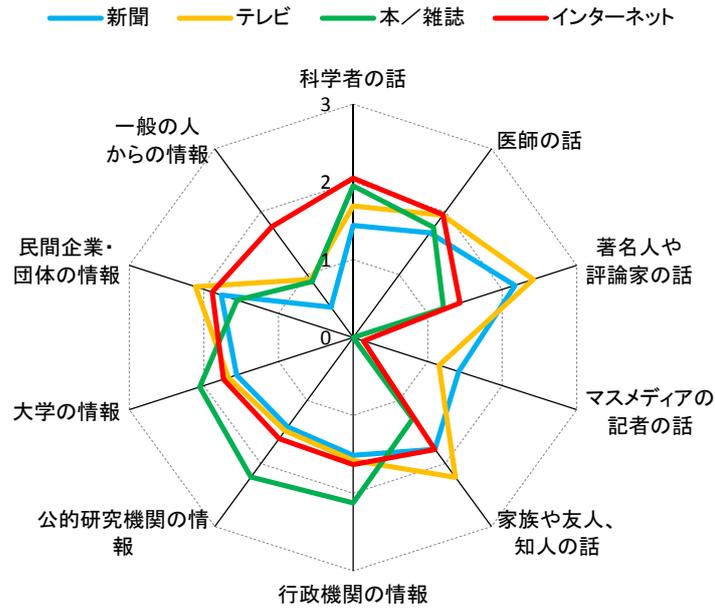


図 7-3 科学技術情報の主要取得源と科学技術情報の信頼の関連度

なお、米国における情報発信機関の信頼について図 7-4 に示す¹⁶。

調査方法、選択肢等が異なり直接的に比較することは難しいが、「Scientific community」と「科学者の話」、「Medicine」と「医者の話」、「Executive branch of the federal government」と「行政機関からの情報」、「Major companies」と「民間企業等からの情報」、「The Press」と「マスメディアの記者の話」を対比させた場合、「Major companies」と「民間企業等からの情報」の対比を除けば、おおむね米国と日本では同じ傾向にあるようである。

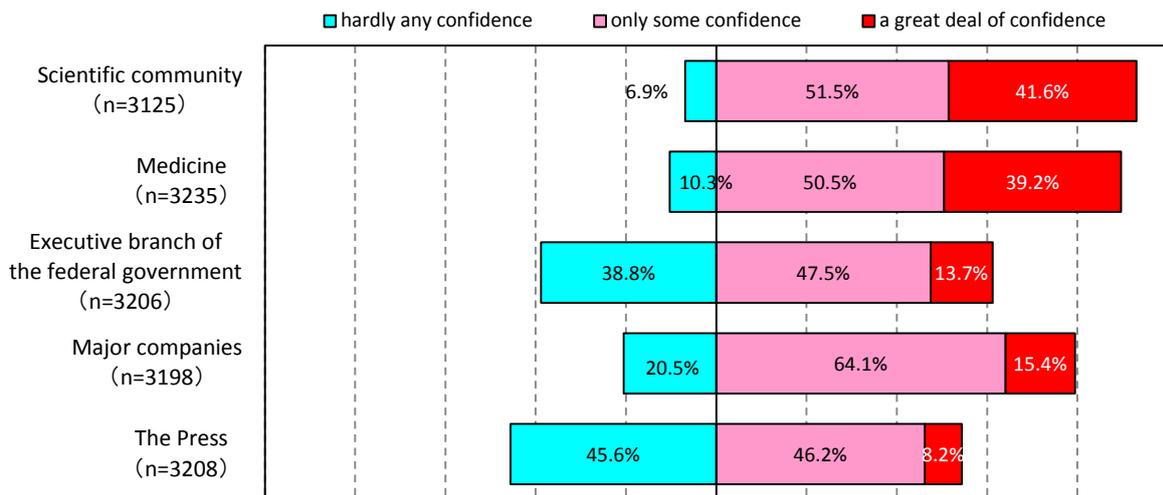


図 7-4 米国における情報発信機関の信頼

¹⁶ 「General Social Survey 2012」(University of Chicago, National Opinion Research Center)から作成。質問文「I am going to name some institutions in this country. As far as the people running these institutions are concerned, would you say you have a great deal of confidence, only some confidence or hardly any confidence at all in them?」に対する回答結果。

8 科学技術情報の主要取得源と科学技術情報の提供状況

一般市民は、普段、様々なメディアや機関、人から発信された科学技術情報に触れているところであるが、これらの科学技術情報の提供状況に関する意識に科学技術情報の主要取得源による違いがあるかについて、その結果を図 8-1 に示す¹⁷。

これによれば、情報メディアである「新聞」及び「テレビ」の科学技術情報の提供度（「十分提供している」又は「どちらかという提供している」のいずれかを回答した者の割合、以下同じ。）は、60%以上と非常に高いが、科学技術情報の主要取得源別に見ると、科学技術情報の取得源が『新聞』及び『テレビ』の者の科学技術情報の提供度が高く、『本／雑誌』及び『インターネット』の者の科学技術情報の提供度が低い傾向にあり、特に「テレビ」で顕著となっている。

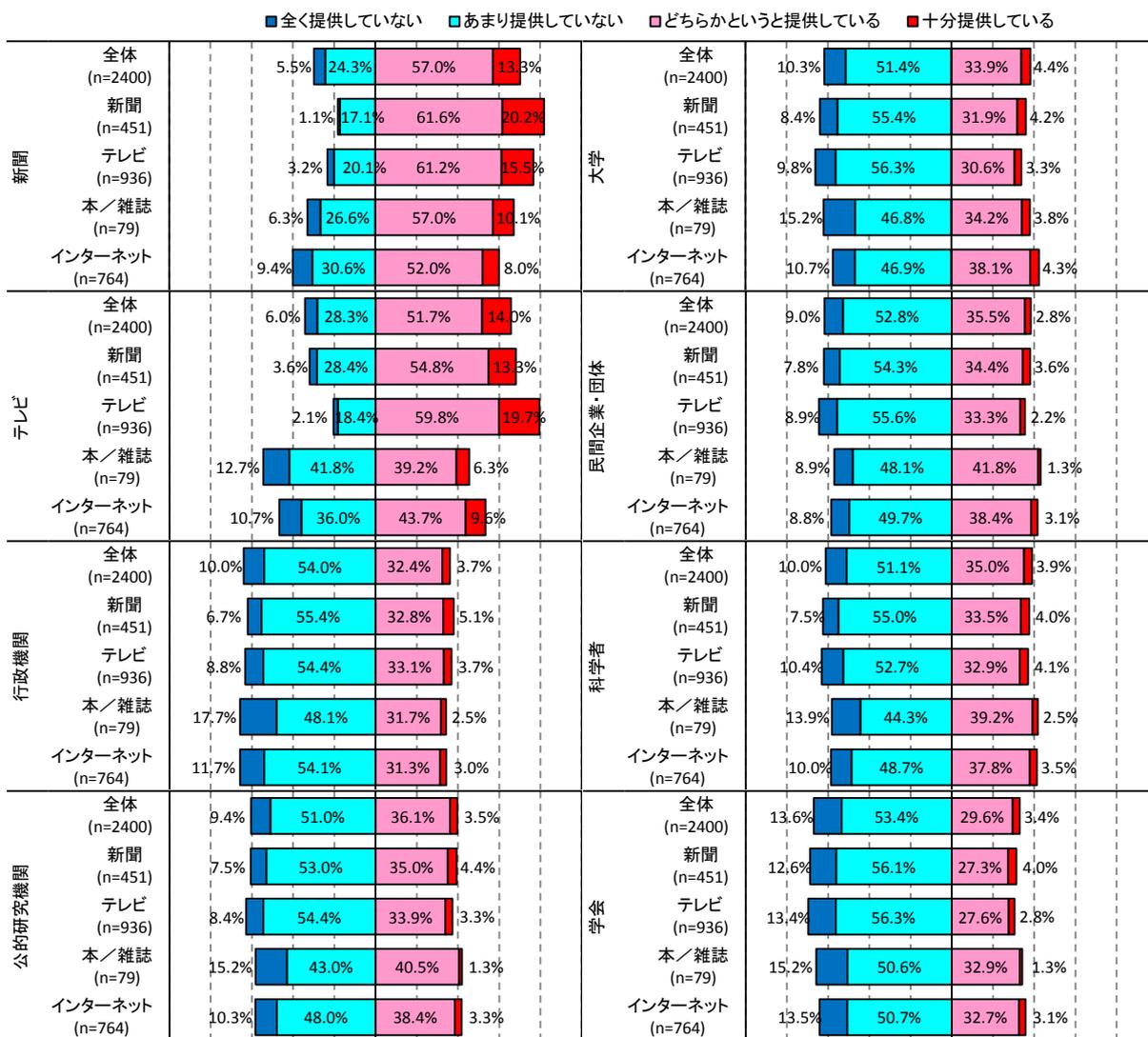


図 8-1 科学技術情報の提供に関する意識(科学技術情報の主要取得源別)

¹⁷ 質問文「様々なメディアや機関などから科学技術に関する情報が発信されていますが、一般の人々に十分に提供していると思いますか。次のそれぞれについて、あなたの考えに最も近いものを1つお選びください。」に対し、「新聞」、「テレビ」、「大学」、「科学者」など9の情報発信源について、「十分提供している」、「どちらかという提供している」、「どちらかという提供していない」及び「全く提供していない」の4の選択肢から単数選択。

「新聞」及び「テレビ」以外の機関や「科学者」にあつては、科学技術情報の提供度が40%前後であり、一般市民にとって、どちらかという科学技術情報が提供されていないと感じられているものと考えられ、科学技術情報の主要取得源による違いは見られない。

なお、科学技術情報の主要取得源による χ^2 検定の結果、 p 値 ≤ 0.050 かつCramer's $V=0.1$ に該当する5%以下の水準で有意差が認められ、その効果量もある程度認められるメディア、機関等は「新聞」及び「テレビ」であり、これ以外は基本的に科学技術情報の主要取得源による違いはないものと考えられる。

科学技術情報の主要取得源と科学技術情報の提供との関連性の強さを把握するため、科学技術情報の提供度に基づきコレスポネン分析を行った結果を図8-2に示す。また、コレスポネン分析により得られたスコアを用いて式3.1を用いて数値化した結果を図8-3に示す。

これによれば、科学技術情報の主要取得源が『新聞』及び『テレビ』の者と『本／雑誌』及び『インターネット』の者は対極的な関係にある。

科学技術情報の主要取得源が『新聞』及び『テレビ』の者は、科学技術情報の主要取得源が『本／雑誌』及び『インターネット』の者と比べ、「新聞」及び「テレビ」との関連が高く、「公的研究機関」、「大学」、「民間企業・団体」、「科学者」及び「学会」との関連が低い。

このように、科学技術情報の提供に関しては、科学技術情報の主要取得源により、『新聞』・『テレビ』及び『本／雑誌』・『インターネット』の2グループに大別される。

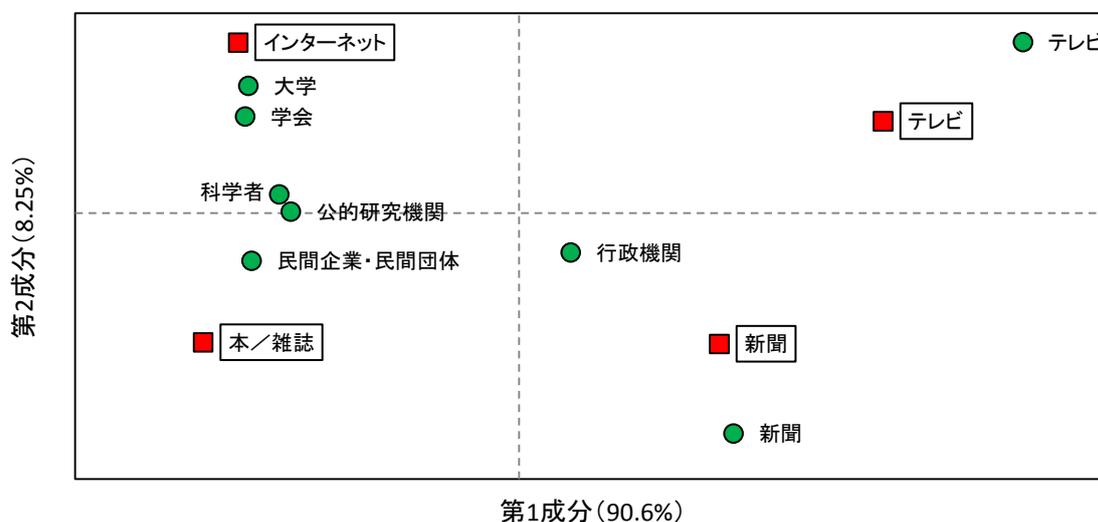


図 8-2 科学技術情報の提供のコレスポネン分析

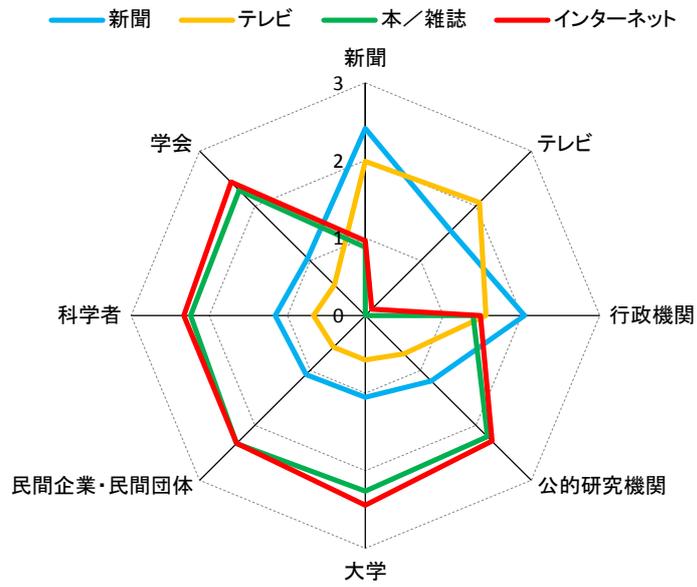


図 8-3 科学技術情報の主要取得源と科学技術情報の提供の関連度

9 科学技術情報の主要取得源と不足している科学技術情報

一般市民が取得している科学技術情報に関して、総体的に不足していると感じている情報に科学技術情報の主要取得源による違いがあるかについて、その結果を図 9-1 に示す¹⁸。

これによれば、不足している情報として「信頼性の高い情報」を挙げている者は、科学技術情報の主要取得源によらず 50%強と最も高い。これに関連して情報の信頼に関わる「根拠が明確な情報」及び「情報源が明確な情報」については、科学技術情報の主要取得源が『本／雑誌』の者は、それぞれ 27%と 30%であるのに対し、他の科学技術情報の主要取得源の者は、どちらもとも 15%前後であり、科学技術情報の主要取得源が『本／雑誌』の者の方が 2 倍近く高い。

次いで不足している情報として「わかりやすい情報」を挙げている者が科学技術情報の主要取得源によらず 50%前後と高くなっている。これに関連して情報の理解しやすさに関わる「簡潔な情報」及び「整理された情報」については、科学技術情報の主要取得源が『本／雑誌』の者は、それぞれ 18%と 42%であるのに対し、他の科学技術情報の主要取得源の者は、それぞれ 20%強と 30%弱であり、科学技術情報の主要取得源が『本／雑誌』の者の方が「整理された情報」が高く、「簡潔な情報」が若干低い傾向にある。

情報の範囲に関わる「深く掘り下げられている情報」及び「周辺情報を含めた幅広い情報」については、科学技術情報の主要取得源が『本／雑誌』の者は、それぞれ 39%と 20%であるのに対し、他の科学技術情報の主要取得源の者は、それぞれ 20%前後と 15%弱であり、科学技術情報の主要取得源が『本／雑誌』の者の方が高い。

メリット及びデメリットに関する情報については、科学技術情報の主要取得源によらず、「メリットに関する情報」が 10%強、「デメリットに関する情報」が 30%強と「デメリットに関する情報」の方が高い。

「迅速な情報」については、科学技術情報の主要取得源が『本／雑誌』の者の方が 23%と他の科学技術情報の主要取得源の者と比べ低い傾向が見られ、「中立・公正な情報」については、科学技術情報の主要取得源が『本／雑誌』及び『インターネット』の者が『新聞』及び『テレビ』の者と比べ高い傾向にある。

このように、不足している科学技術情報に関して、科学技術情報の主要取得源が『本／雑誌』の者は、他の科学技術情報の主要取得源の者と比べ、信頼性があり、多岐に渡った理解しやすい科学技術情報を求めている傾向がある。

¹⁸ 質問文「様々なメディアや機関などから発信されている科学技術に関する情報について、総体的に足りないと感じることは何ですか。次のうち、当てはまるものをいくつでもお選びください。」に対し、「迅速な情報」、「信頼性の高い情報」、「簡潔な情報」など 14 の選択肢から複数選択。

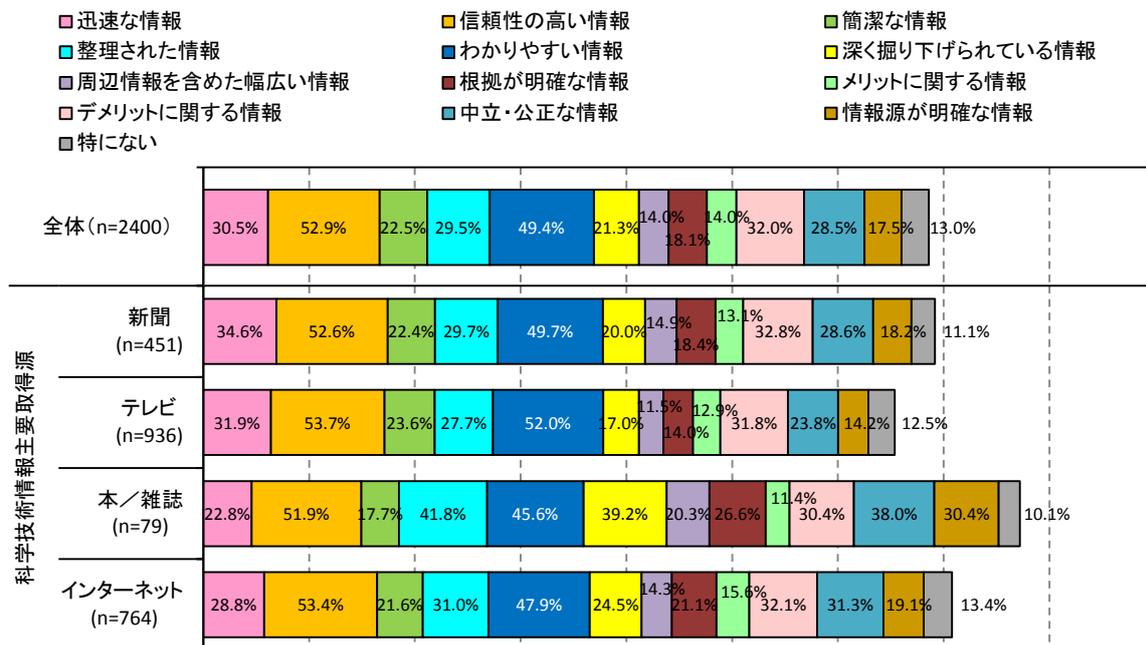


図 9-1 不足している科学技術情報

科学技術情報の主要取得源と不足している科学技術情報との関連性の強さを把握するため、不足している科学技術情報の選択割合に基づきコレスポンデンス分析を行った結果を図 9-2 に示す。また、コレスポンデンス分析により得られたスコアを用いて式 3.1 を用いて数値化した結果を図 9-3 に示す。

これによれば、科学技術情報の主要取得源が『本／雑誌』の者と『新聞』、『テレビ』及び『インターネット』の者是对極的な関係にある。

科学技術情報の主要取得源が『本／雑誌』の者は、科学技術情報の主要取得源が『新聞』、『テレビ』及び『インターネット』の者と比べ、不足している科学技術情報として「迅速な情報」、「信頼性の高い情報」、「簡潔な情報」、「わかりやすい情報」、「メリットに関する情報」及び「デメリットに関する情報」よりも「深く掘り下げられている情報」、「周辺情報を含めた幅広い情報」、「根拠が明確な情報」及び「情報源が明確な情報」との関連が高い。

また科学技術情報の主要取得源が『新聞』、『テレビ』及び『インターネット』の者にあつては、『インターネット』の者が比較的『本／雑誌』の者に近い位置づけにあるようである。

このように、不足している科学技術情報に関しては、科学技術情報の主要取得源により、『本／雑誌』及び『新聞』・『テレビ』・『インターネット』の 2 グループに大別される。

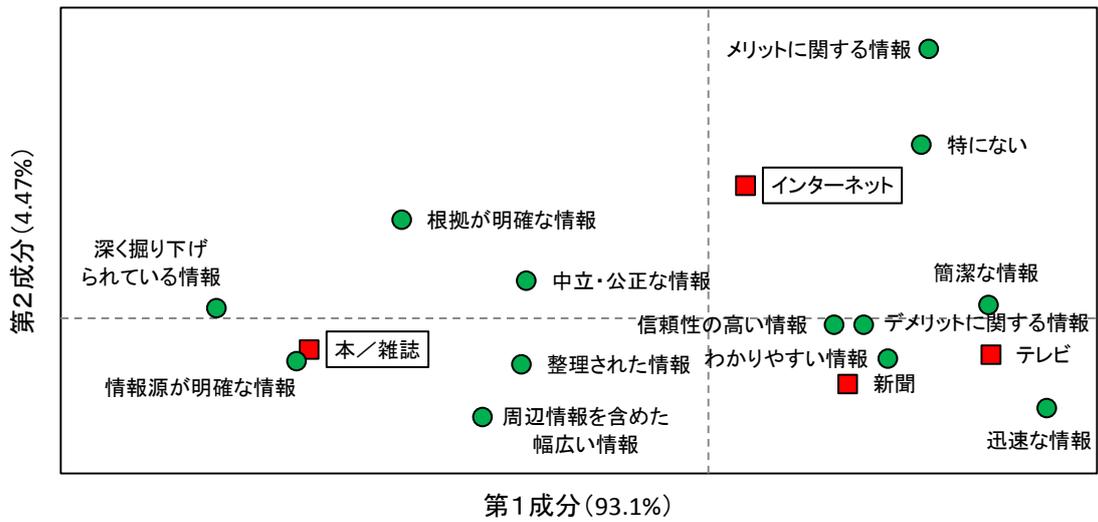


図 9-2 不足している科学技術情報のコレスポネンス分析

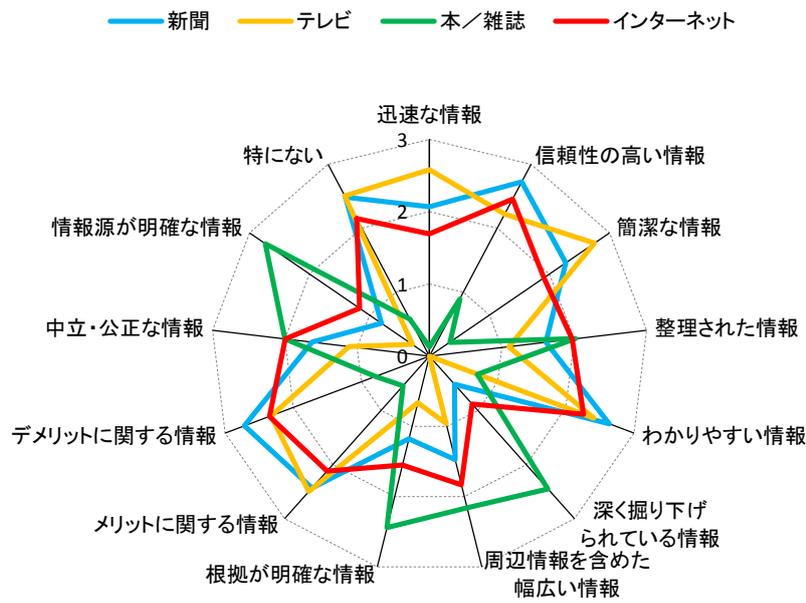


図 9-3 科学技術情報の主要取得源と不足している科学技術情報の関連度

10 科学技術情報の主要取得源と科学技術に関する知識

一般市民の科学技術に関する知識について、その自己申告状況に科学技術情報の主要取得源による違いがあるかについて、その結果を図 10-1 に示す¹⁹。

これによれば、科学技術情報の主要取得源が『本／雑誌』の者は、科学技術に関する知識がある者（「非常にある」又は「どちらかというところ」とある）の割合、以下同じ。）の割合が 69%と他の科学技術情報の主要取得源の者と比べ非常に高い。

次いで科学技術情報の主要取得源が『新聞』及び『インターネット』の者の科学技術情報がある者の割合が 35%強と全体よりも若干高くなっている。

また、科学技術情報の主要取得源が『テレビ』の者にあつては、科学技術に関する知識がある者の割合が 20%と非常に低い。

なお χ^2 検定の結果（表 10-1）、 p 値=0.000、Cramer's V=0.157 となり、科学技術情報の主要取得源による科学技術に関する知識の自己申告状況において有意差が認められた。

このように、科学技術情報の主要取得源により、科学技術に関する知識の自己申告状況に違いが見られる。

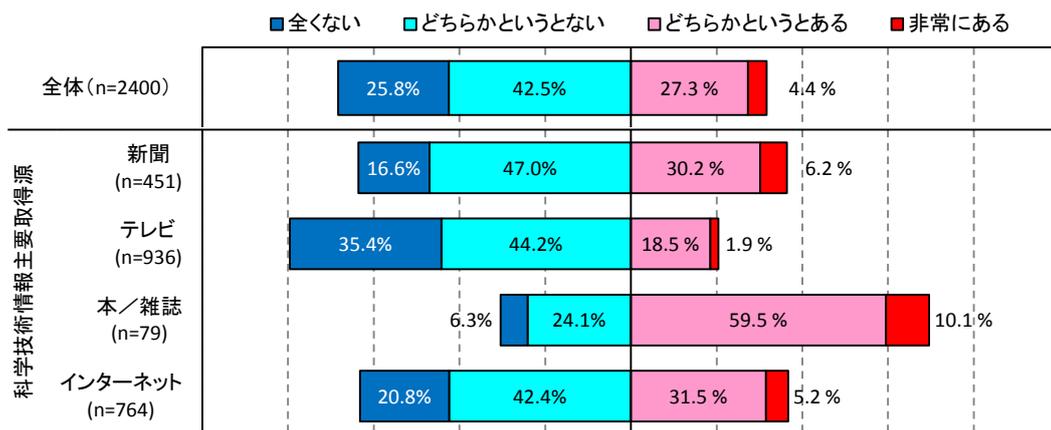


図 10-1 科学技術に関する知識の自己申告状況

表 10-1 科学技術に関する知識の自己申告状況に関する χ^2 検定結果

χ^2 値	自由度	p 値	検定結果	Cramer's V	調整済み標準化残差				
					主要取得源	非常にある	どちらかというところ	どちらかというところ	全くない
164.310	9	0.000	**	0.157	新	2.359 *	1.817 †	1.705 †	-4.868 **
					テ	-4.582 **	-7.518 **	0.630	9.026 **
					本	2.662 **	6.688 **	-3.542 **	-3.990 **
					イ	1.731 †	3.675 **	-0.718	-3.712 **

備考 1. 検定結果欄及び調整済み標準化残差欄の記号 = **: $p < 0.01$, *: $p < 0.05$, †: $p < 0.1$, 空白: 有意差なし
2. 「主要取得源」欄の「新」=新聞、「テ」=テレビ、「本」=本／雑誌、「イ」=インターネットを表す。

¹⁹ 質問文「あなたは、あなた自身、科学技術に関する知識がある方だと思いますか。次のうち、当てはまるものを1つお選びください。」に対し、「非常にある」、「どちらかというところ」、「どちらかというところ」とない」及び「全くない」の4の選択肢から単数選択。

11 科学技術情報の主要取得源と科学技術に関する意見に対する意識

科学技術に関する様々な意見や考えに対して、一般市民がどのような考えを示し、科学技術情報の主要取得源による違いがあるかについて、

- 「科学技術の発展はプラス面が多い」(以下、「科学技術のプラス面」という。)
- 「科学技術の進歩につれて、生活はより便利で快適なものになる」(以下、「生活の利便性向上」という。)
- 「日常生活で科学技術について知っておくことは、私にとって重要なことである」(以下、「科学知識の重要性」という。)
- 「科学技術によって次世代はより多くの機会に恵まれる」(以下、「次世代の機会増加」という。)
- 「科学技術によって私たちの生活様式は急激に変化している」(以下、「生活様式の急変」という。)
- 「たとえすぐに利益をもたらさなくても、最先端の学問を前進させる科学研究は必要であり、政府によって支援されなければならない」(以下、「政府支援」という。)
- 「少しでもリスクのある科学技術は使用するべきではない」(以下、「ゼロリスク」という。)
- 「科学技術の研究開発の方向性は、内容をよく知っている専門家が決めるのがよい」(以下、「専門家による決定」という。)
- 「科学技術の利用には、予想もできない危険が潜んでいる」(以下、「想定外の危険」という。)
- 「科学技術の利便性を享受するためには、ある程度のリスクを受容しなければならない」(以下、「リスクの受容」という。)
- 「社会的影響力の大きい科学技術の評価には、市民も参加すべきだ」(以下、「科学技術評価の市民参加」という。)
- 「科学技術に関連する事故や事件の情報は、多少不正確でも早く発表すべきだ」(以下、「事故情報発表の迅速性」という。)

の12の科学技術に関する意見や考えに対する意識の結果を図11-1に示す²⁰。

²⁰ 質問文「科学技術に関する次の意見や考えについて、あなたはどうかお考えですか。あなたのお考えに当てはまるものを1つお選びください。」に対し、「科学技術の進歩につれて、生活はより便利で快適なものになる」、「日常生活で科学について知っておくことは、私にとって重要なことである」、「科学技術によって次世代はより多くの機会に恵まれる」など11の意見や考えについて、「そう思う」、「どちらかというと思う」、「どちらともいえない」、「どちらかというと思わない」及び「そう思わない」の5の選択肢から単数選択。

なお、「科学技術のプラス面」については、質問文「科学技術の発展には、プラス面とマイナス面があるとされており、全体的に見た場合、あなたはそのどちらが多いと思いますか。次のうち、当てはまるものを1つお選びください。」に対し、「プラス面が多い」、「どちらかというプラス面が多い」、「両方同じくらいである」、「どちらかというマイナス面が多い」及び「マイナス面が多い」の5の選択肢から単数選択の結果であり、便宜上、質問文は「科学技術の発展はプラス面が多い」と同等、選択肢は「プラス面が多い」を「そう思う」、「どちらかというプラス面が多い」を「どちらかというと思う」、「両方同じくらいである」を「どちらともいえない」、「どちらかというマイナス面が多い」を「どちらかというと思わない」、「マイナス面が多い」を「そう思わない」と同等として取り扱った。

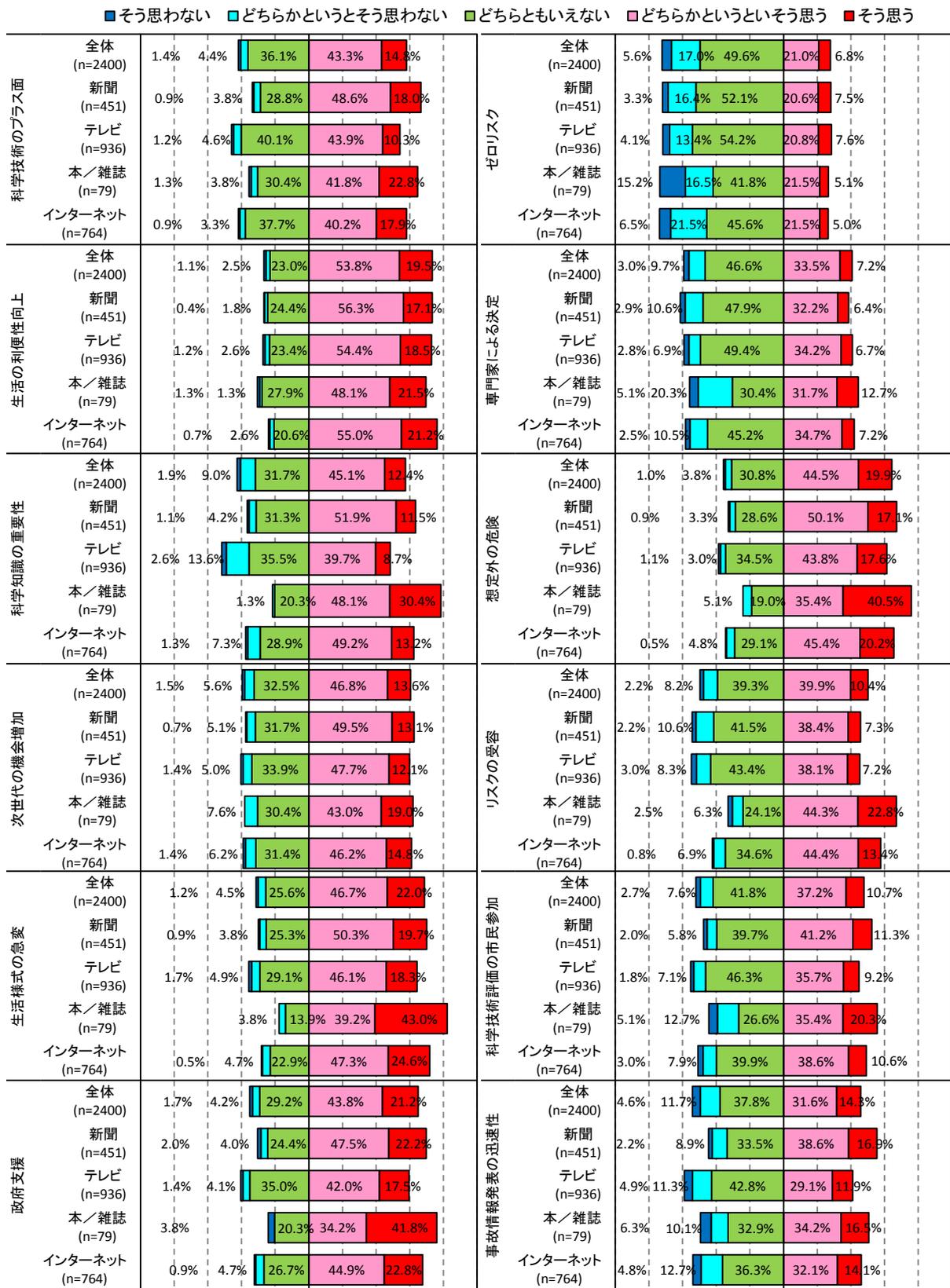


図 11-1 科学技術に関する意見や考えに対する意識(科学技術情報の主要取得源別)

これによれば、科学技術に関する意見や考えに対する同意度（「そう思う」又は「どちらかというと思う」のいずれかを回答した者の割合、以下同じ。）が最も科学技術情報の主要取得源による違いが顕著なのは「科学知識の重要性」意識である。科学技術情報の主要取得源が『本／雑誌』の者は、同意度が 78%、反意度が 1%であるのに対し、科学技術情報の主要取得源が『テレビ』の者は、同意度が 48%、反意度が 16%と同意度、反意度両方において大きく異なり、科学技術情報の主要取得源が『新聞』及び『インターネット』の者は、同意度が 60%強、反意度が 10%弱とこれらの中間的な位置づけとなっている。

また、「リスクの受容」意識については、科学技術情報の主要取得源が『本／雑誌』の者の同意度が 67%、『インターネット』の者の同意度が 58%、『新聞』及び『テレビ』の者の同意度が 45%となっており、比較的大きな違いとなっている。

科学技術情報の主要取得源による違いが見られないのは、「生活の利便性の向上」意識（70%前後）、「次世代の機会の増加」意識（60%前後）、「ゼロリスク」意識（25%強）及び「専門家による決定」意識（40%前後）であった。このうち、「ゼロリスク」意識にあつては、科学技術情報の主要取得源が『本／雑誌』及び『インターネット』の者の反意度（「そう思わない」又は「どちらかというと思う」のいずれかを回答した者の割合、以下同じ。）が 30%前後と他の科学技術情報の主要取得源の者（20%前後）と比べ高く、「専門家による決定」意識にあつては、科学技術情報の主要取得源が『本／雑誌』の者の反意度が 25%と他の科学技術情報の主要取得源の者（10%前後）と比べ高くなっている。

その他の科学技術に関する意見や考えについては、「科学技術のプラス面」意識は、科学技術情報の主要取得源が『新聞』及び『本／雑誌』の者の同意度が 65%前後、『インターネット』の者の同意度が 58%、『テレビ』の者の同意度が 54%、「生活様式の急変」意識は、科学技術情報の主要取得源が『本／雑誌』の者の同意度が 82%、『新聞』及び『インターネット』の者の同意度が 70%強、『テレビ』の者の同意度が 64%、「政府支援」意識は、科学技術情報の主要取得源が『本／雑誌』の者の同意度が 66%、『新聞』及び『インターネット』の者の同意度が 70%弱、『テレビ』の者の同意度が 59%、「想定外の危険」意識は、科学技術情報の主要取得源が『本／雑誌』の者の同意度が 76%、『新聞』及び『インターネット』の者の同意度が 65%強、『テレビ』の者の同意度が 61%、「科学技術評価の市民参加」意識は、科学技術情報の主要取得源が『本／雑誌』の者の同意度が 56%、『新聞』及び『インターネット』の者の同意度が 50%前後、『テレビ』の者の同意度が 45%、「事故情報の迅速性」意識は、科学技術情報の主要取得源が『新聞』及び『本／雑誌』の者の同意度が 50%強、『新聞』及び『テレビ』の者の同意度が 40%強となっている。

このように、総体的に科学技術に関する意見や考えに対する同意度は、科学技術情報の主要取得源が『本／雑誌』の者が高く、『テレビ』の者が最も低くなっている傾向が見られる。

科学技術情報の主要取得源と科学技術に関する意見や考えに対する意識との関連性の強さを把握するため、科学技術に関する意見や考えに対する同意度に基づきコレスポネンダ分析を行った結果を図 11-2 に示す。また、コレスポネンダ分析により得られたスコアを用いて式 3.1 を用いて数値化した結果を図 11-3 に示す。

これによれば、科学技術情報の主要取得源が『新聞』の者は、他の科学技術情報の主要取得源の者と比べ、「科学技術のプラス面」意識及び「事故情報の迅速性」意識との関連が高い。

科学技術情報の主要取得源が『テレビ』の者は、他の科学技術情報の主要取得源の者と比べ、「生活の利便性向上」意識、「次世代の機会増加」意識及び「ゼロリスク」意識との関連が高い。

科学技術情報の主要取得源が『本／雑誌』の者は、他の科学技術情報の主要取得源の者と比べ、「科学知識の重要性」意識及び「リスク受容」意識との関連が高い。

科学技術情報の主要取得源が『インターネット』の者は、他の科学技術情報の主要取得源の者と比べ、「生活様式の急変」意識及び「想定外の危険」意識との関連が高い。

このように、科学技術に関する意見や考えに対する同意度に関しては、科学技術情報の主要取得源により、4者4様の状況となっている。

科学技術情報の主要取得源が『新聞』の者は、科学技術の発展はプラス面が多いと感じているが、日常生活において科学に関する知識を持っていることの必要性はあまり感じておらず、リスクの受容についても否定的であり、科学技術情報の主要取得源が『テレビ』の者は、科学技術の進歩により生活の利便性が向上したと感じているが、日常生活において科学に関する知識を持っていることの必要性はあまり感じておらず、科学技術のもつリスクに否定的であり、比較的、科学技術情報の主要取得源が『新聞』の者と近い意識である。

また、科学技術情報の主要取得源が『本／雑誌』の者は、日常生活において科学に関する知識を持っていることの必要性を痛感しており、リスクの受容について肯定的であり、科学技術情報の主要取得源が『インターネット』の者は、科学技術によって生活様式が急変していると強く感じており、科学技術には想定外の危険が付き物だと感じており、日常生活において科学に関する知識を持っていることの必要性やリスクの受容などに対して否定的ではないといった、科学技術に対する意識の違いがあるようだ。

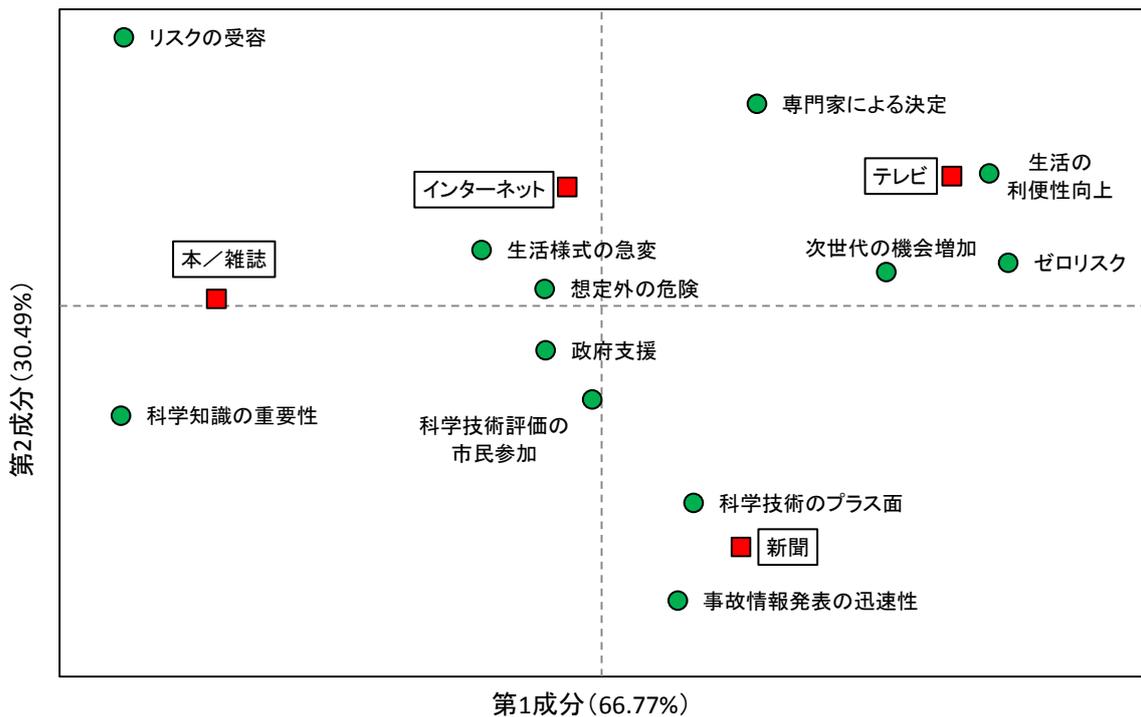


図 11-2 科学技術に関する意見や考えに対する同意度のコレスポンデンス分析

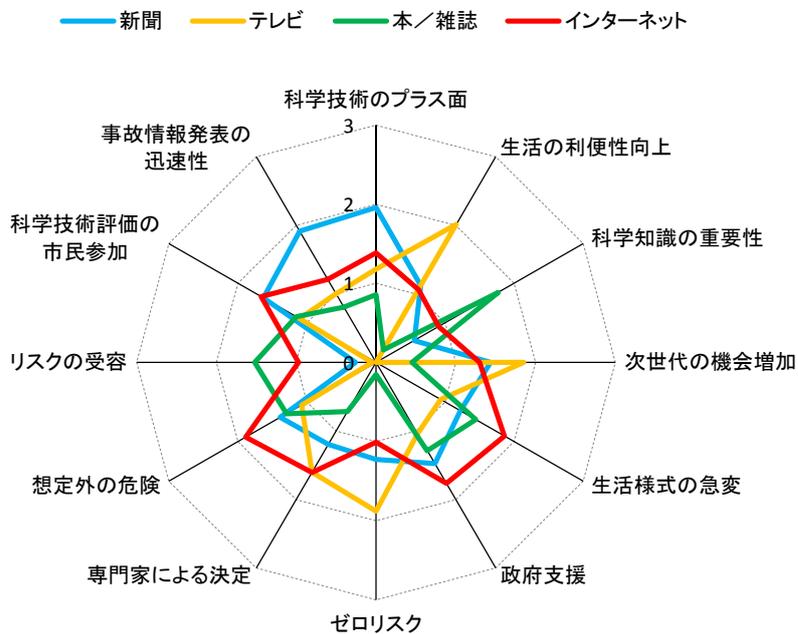


図 11-3 科学技術情報の主要取得源と科学技術に関する意見や考えの関連度

なお、米国における一般的な科学技術に関する意識について図 11-4 に示す²¹。

調査方法、選択肢等が異なり直接的に比較することは難しいが、「benefits and harms of scientific research」と「科学技術のプラス面」、「science and technology results in more opportunities for the next generation」と「次世代の機会増加」、「science makes life change too fast」と「生活様式の急変」、「federal government should fund basic scientific research」と「政府支援」を対比させた場合、日本と比べ米国は、「科学技術のプラス面」意識、「次世代の機会増加」意識及び「政府支援」意識は高く、「生活様式の急変」意識は低いことがわかる。

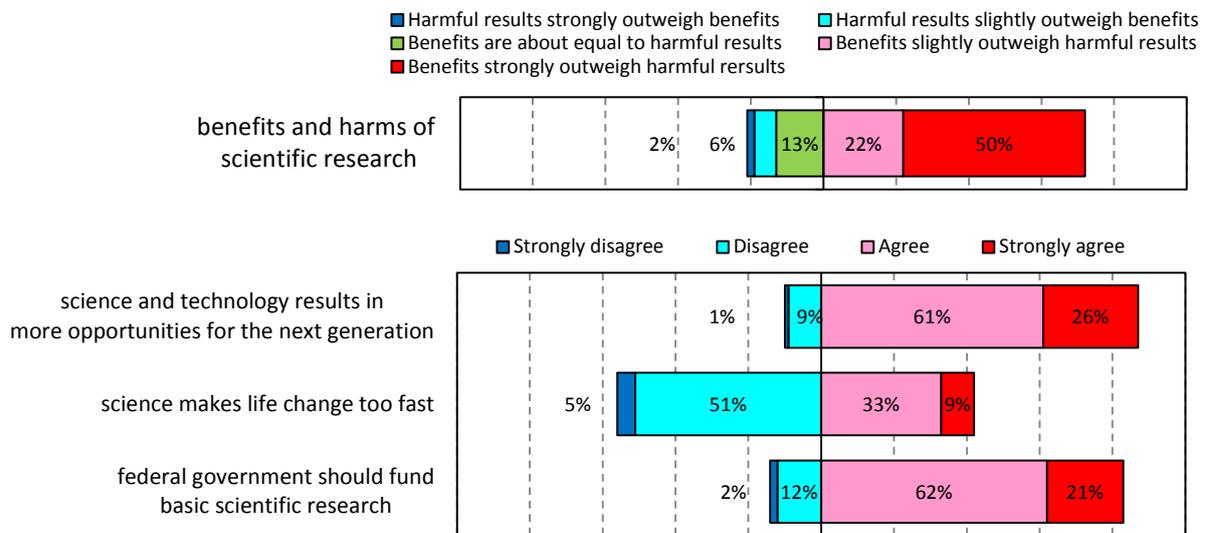


図 11-4 米国における科学技術に関する意識 (n=2256)

²¹ 「Science and Engineering Indicators 2014」(<http://www.nsf.gov/statistics/seind14/>)の Appendix table 7-16、7-17、7-18、7-23 から作成。

質問文「People have frequently noted that scientific research has produced benefits and harmful results. Would you say that, on balance, the benefits of scientific research have outweighed the harmful results, or have the harmful results of scientific research been greater than its benefits?」、「I'm going to read to you some statements like those you might find in a newspaper or magazine article. For each statement, please tell me if you strongly agree, agree, disagree or strongly disagree. Because of science and technology, there will be more opportunities for the next generation.」、「I'm going to read to you some statements like those you might find in a newspaper or magazine article. For each statement, please tell me if you strongly agree, agree, disagree or strongly disagree. Science makes our way of life change too fast.」、「I'm going to read to you some statements like those you might find in a newspaper or magazine article. For each statement, please tell me if you strongly agree, agree, disagree or strongly disagree. Even if it brings no immediate benefits, scientific research that advances the frontiers of knowledge is necessary and should be supported by the federal government.」に対する回答結果。

12 科学技術情報の主要取得源と重視する科学技術の評価事項

上記 11 によると、全体で 48% の者が「科学技術評価の市民参加」意識にポジティブな意識を示しているところであるが、社会的に影響力の大きい科学技術进行评估する場合、重視する評価事項に科学技術情報の主要取得源による違いがあるかについて、

- 「国や企業などの科学技術を開発・利用する主体が信頼できるかどうか」(以下、「開発・利用する主体の信頼」という。)
- 「その科学技術によって人々が経済的に豊かになるかどうか」(以下、「経済的豊かさ」という。)
- 「その科学技術を技術的にコントロールできるかどうか」(以下、「技術的コントロール」という。)
- 「社会が規制して、その科学技術の誤用や悪用を防ぐことができるかどうか」(以下、「社会規制による誤用・悪用の防止」という。)
- 「その社会技術が社会にとって必要かどうか」(以下、「社会における必要性」という。)
- 「起こりうる事故の規模の大きさ」(以下、「事故の規模の大きさ」という。)
- 「責任の所在がはっきりしているかどうか」(以下、「責任の所在」という。)
- 「事故の起こる確率の高さ」(以下、「事故の起こる確率」という。)
- 「将来、その科学技術によって何が起こるか予想できるかどうか」(以下、「将来予測」という。)

の 9 の科学技術の評価事項に対する複数選択の結果を図 12-1 に示す²²。

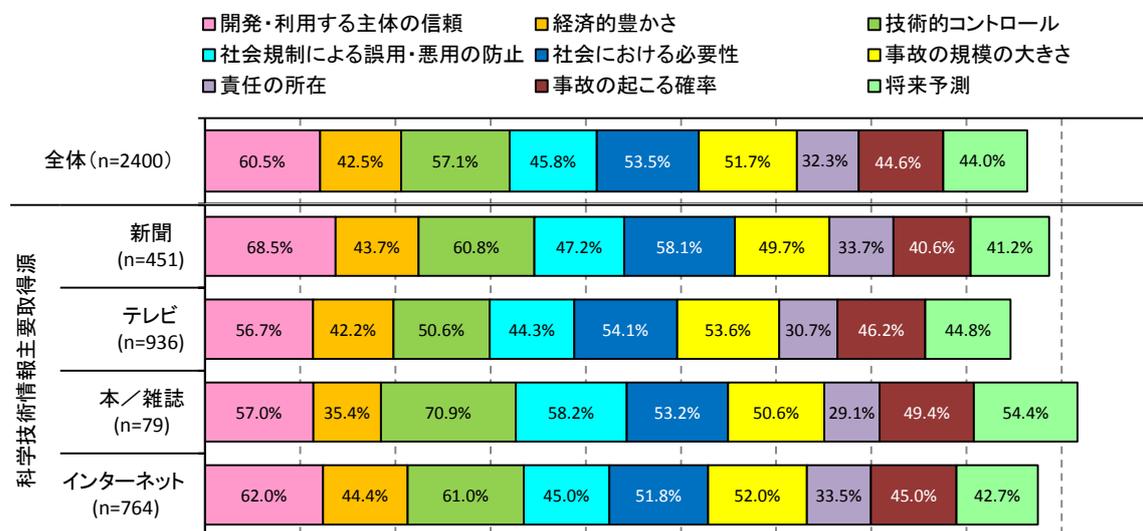


図 12-1 重視する科学技術の評価事項(複数選択)

²² 質問文「あなたが社会的に影響力の大きい科学技術进行评估する時に重視することは何ですか。次のうち、重視するものをいくつでもお選びください。また、そのうち最も重視するものを1つお選びください。」に対し、「国や企業などの科学技術を開発・利用する主体が信頼できるかどうか」、「その科学技術によって人々が経済的に豊かになるかどうか」、「その科学技術を技術的にコントロールできるかどうか」など 9 の選択肢から複数選択及び単数選択。

これによれば、選択率が50%を超える評価事項は、科学技術情報の主要取得源が『新聞』の者の場合、「開発・利用する主体の信頼」(69%)、「技術的コントロール」(61%)、「社会における必要性」(58%)の3つの評価事項となっている。

科学技術情報の主要取得源が『テレビ』の者の場合、「開発・利用する主体の信頼」(57%)、「社会における必要性」(54%)、「事故の規模の大きさ」(54%)、「技術的コントロール」(51%)の4つの評価事項となっている。

科学技術情報の主要取得源が『本／雑誌』の者の場合、「技術的コントロール」(71%)、「開発・利用する主体の信頼」(57%)、「社会規制による誤用・悪用の防止」(58%)、「将来予測」(54%)、「社会における必要性」(53%)、「事故の規模の大きさ」(51%)の6つの評価事項となっている。

科学技術情報の主要取得源が『インターネット』の者の場合、「開発・利用する主体の信頼」(62%)、「技術的コントロール」(61%)、「事故の規模の大きさ」(52%)、「社会における必要性」(52%)の4つの評価事項となっている。

このように、科学技術情報の主要取得源が『本／雑誌』の者は、他の科学技術情報の主要取得源の者と大きく異なっている。

科学技術情報の主要取得源と重視する科学技術の評価事項との関連性の強さを把握するため、科学技術情報の主要取得源ごとの選択割合に基づきコレスポネンズ分析を行った結果を図12-2に示す。また、コレスポネンズ分析により得られたスコアを用いて式3.1を用いて数値化した結果を図12-3に示す。

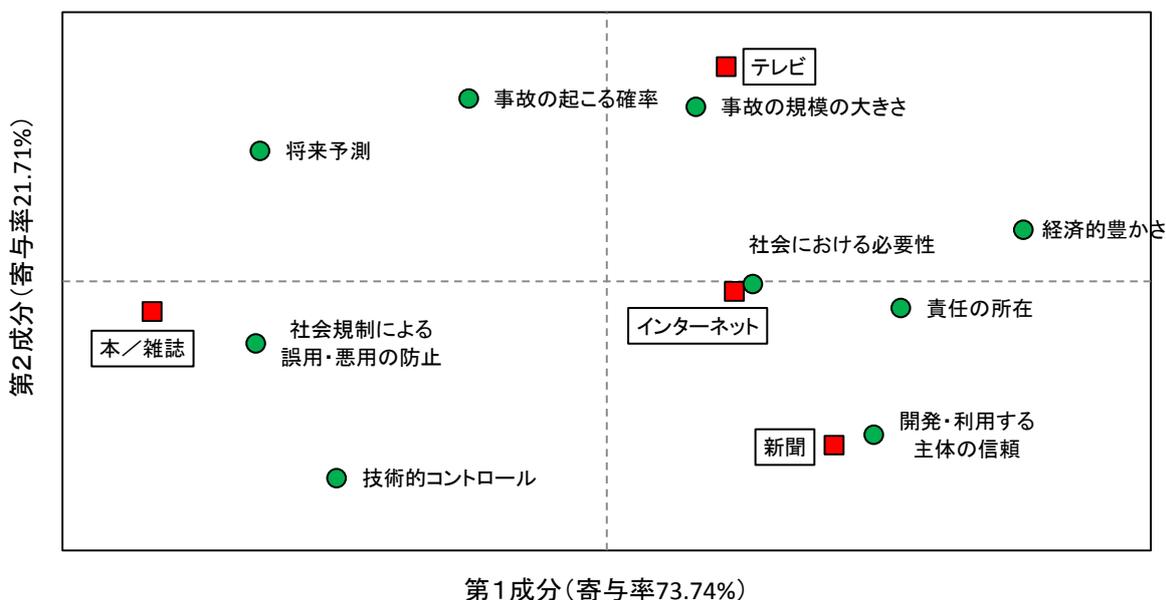


図 12-2 重視する科学技術の評価事項のコレスポネンズ分析

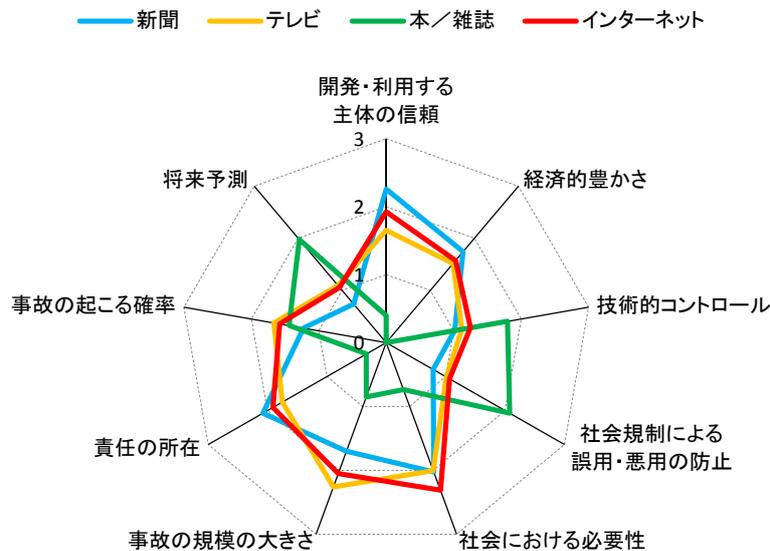


図 12-3 科学技術情報の主要取得源と重視する科学技術の評価事項の関連度

これによれば、科学技術情報の主要取得源が『本／雑誌』の者と『新聞』、『テレビ』及び『インターネット』の者是对極的な関係にある。

科学技術情報の主要取得源が『本／雑誌』の者は、他の科学技術情報の主要取得源の者と比べ、「技術的コントロール」、「社会規制による誤用・悪用の防止」及び「将来予測」といった科学技術の利用を前提とした科学技術の社会への実装後に関連する評価事項との関連が高い。

一方、科学技術情報の主要取得源が『新聞』、『テレビ』及び『インターネット』の者は、『本／雑誌』の者と比べ、「開発・利用する主体の信頼」、「経済的豊かさ」、「社会における必要性」、「事故の規模の大きさ」、「責任の所在」といったその科学技術の利用以前に関連する評価事項との関連が高い。

このように、重視する科学技術の評価事項に関しては、科学技術情報の主要取得源により、『本／雑誌』及び『新聞』・『テレビ』・『インターネット』の2グループに大別される。

次に最も重視する科学技術の評価事項の結果を図 12-4 に示す。

これによれば、科学技術情報の主要取得源が『新聞』の者は、「開発・利用する主体の信頼」(22%)が最も高く、次いで「社会における必要性」及び「技術的コントロール」(18%)が高い。

科学技術情報の主要取得源が『テレビ』の者は、「社会における必要性」(18%)が最も高く、次いで「開発・利用する主体の信頼」(17%)、「技術的コントロール」(16%)が高いが、これらにほとんど差はない。

科学技術情報の主要取得源が『本／雑誌』の者は、「技術的コントロール」(30%)が最も高く、次いで「社会における必要性」(20%)、「開発・利用する主体の信頼」(14%)となっている。

科学技術情報の主要取得源が『インターネット』の者は、「技術的コントロール」(23%)が最も高く、次いで「開発・利用する主体の信頼」(17%)、「社会における必要性」(15%)となっている。

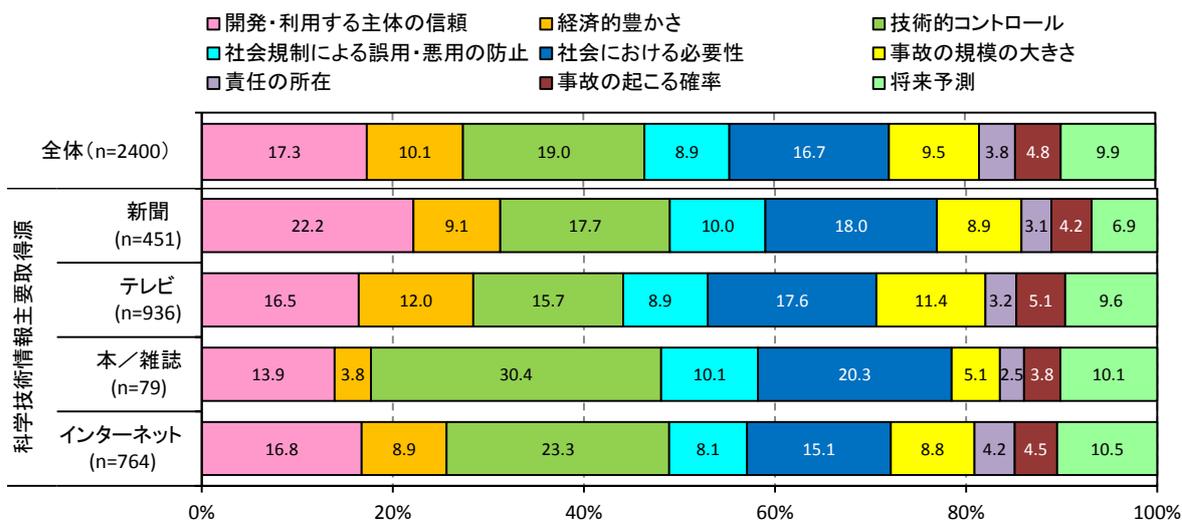


図 12-4 最も重視する科学技術の評価事項(単数選択)

このように、最も重視する科学技術の評価事項は、科学技術情報の主要取得源によらず、「開発・利用する主体の信頼」、「技術的コントロール」及び「社会における必要性」が上位を占めているが、科学技術情報の主要取得源が『新聞』及び『テレビ』の者と『本/雑誌』及び『インターネット』の者とでは、その選択率が大きく異なっている。

なお χ^2 検定の結果(表 12-1)、 p 値=0.002、Cramer's V=0.086 となり、科学技術情報の主要取得源による最も重視する科学技術の評価事項において有意差が認められ、特に「技術的コントロール」の違いが顕著となった。

表 12-1 最も重視する科学技術の評価事項に関する χ^2 検定結果

χ^2 値	自由度	p 値	検定結果	Cramer's V	調整済み標準化残差					
					主要取得源	開発・利用する主体の信頼	経済的豊かさ	技術的コントロール	社会規制による誤用・悪用の防止	社会における必要性
49.238	24	0.002	**	0.086	新	2.839 **	-0.755	-0.904	0.919	0.669
					テ	-1.234	2.567 *	-3.560 **	-0.016	0.774
					本	-0.879	-1.881 †	2.558 *	0.397	0.808
					イ	-0.778	-1.298	3.512 **	-0.915	-1.686 †

調整済み標準化残差			
事故の規模の大きさ	責任の所在	事故の起こる確率	将来予測
-0.726	-0.509	-0.508	-2.038 *
2.239 *	-0.640	0.885	0.335
-1.436	-0.476	-0.372	0.234
-1.155	1.282	-0.345	1.286

備考 1. 検定結果欄及び調整済み標準化残差欄の記号 = **: $p < 0.01$, *: $p < 0.05$, †: $p < 0.1$, 空白: 有意差なし
 2. 「主要取得源」欄の「新」=新聞、「テ」=テレビ、「本」=本/雑誌、「イ」=インターネットを表す。

科学技術情報の主要取得源と最も重視する科学技術の評価事項との関連性の強さを把握するため、科学技術情報の主要取得源ごとの選択割合に基づきコレスポネンス分析を行った結果を図 12-5 に示す。また、コレスポネンス分析により得られたスコアを用いて式 3.1 を用いて数値化した結果を図 12-6 に示す。

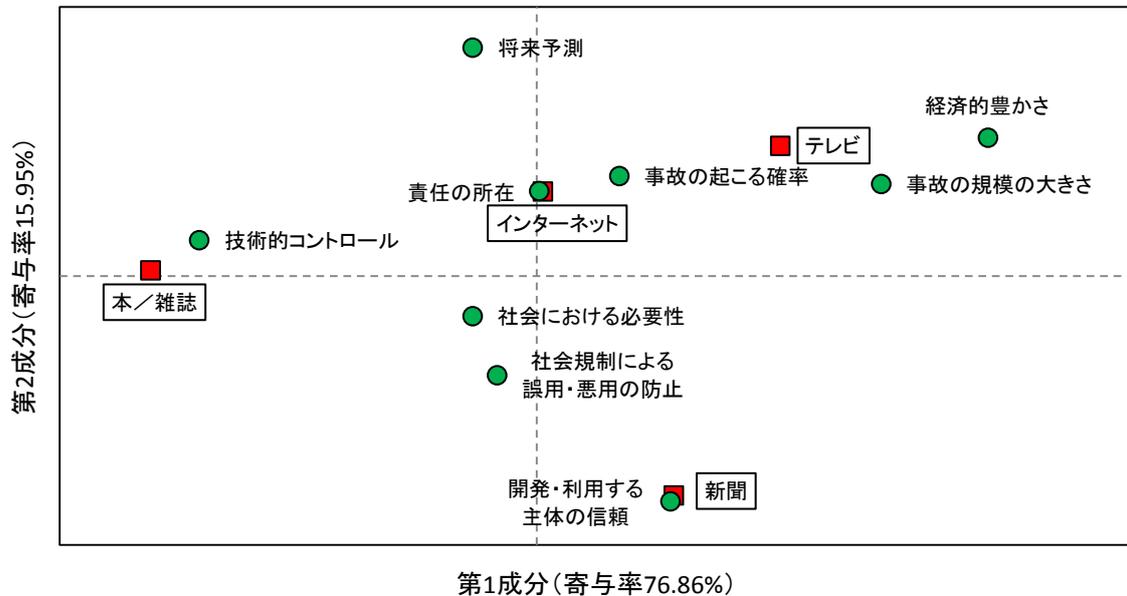


図 12-5 最も重視する科学技術の評価事項のコレスポネンス分析

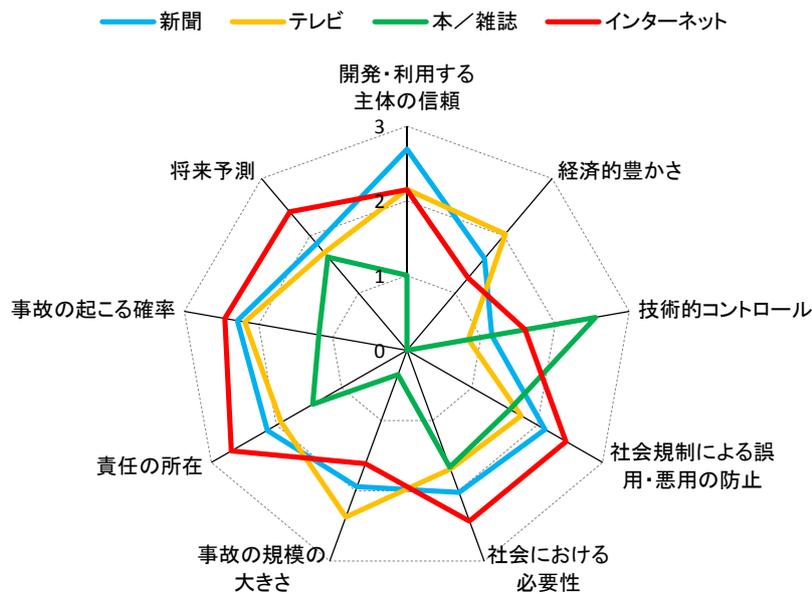


図 12-6 科学技術情報の主要取得源と最も重視する科学技術の評価事項の関連度

これによれば、科学技術情報の主要取得源が『本／雑誌』の者は、他の科学技術情報の主要取得源の者と比べ、「技術的コントロール」との関連が高く、「開発・利用する主体の信頼」、「経済的豊かさ」、「事故の規模の大きさ」、「事故の起こる確率」、「責任の所在」との関連が低い。

また、科学技術情報の主要取得源が『新聞』、『テレビ』及び『インターネット』の者を比べると、科学技術情報の主要取得源が『新聞』の者は「開発・利用する主体の信頼」との関連が、『テレビ』の者は「事故の規模の大きさ」との関連が、『インターネット』の者は「責任の所在」との関連が高い傾向にあるもののおおむね同等である。

このように、最も重視する科学技術の評価事項に関しては、科学技術情報の主要取得源により、おおむね『本／雑誌』とその他の2グループに大別される。

13 科学技術情報の主要取得源と福島第一原子力発電所の事故の影響に対する不安

本調査実施時において、東日本大震災の発生に伴う福島第一原子力発電所の事故から3年7ヶ月経過しているところであるが、福島第一原子力発電所の事故の影響に対する不安に関して、科学技術情報の主要取得源による違いがあるかについて、その結果を図13-1に示す²³。

これによれば、科学技術情報の主要取得源が『新聞』及び『テレビ』の者は、福島第一原子力発電所の事故の影響に対する不安度（「非常に不安である」又は「どちらかという不安である」のいずれかを選択した者の割合、以下同じ。）が75%強と科学技術情報の主要取得源が『本／雑誌』及び『インターネット』の者の不安度（65%強）と比べ高い。

なお、 χ^2 検定の結果（表13-1）、 p 値=0.000、Cramer's V=0.097となり、科学技術情報の主要取得源による福島第一原子力発電所の事故の影響に対する不安において有意差が認められるものの、効果量は非常に低い。

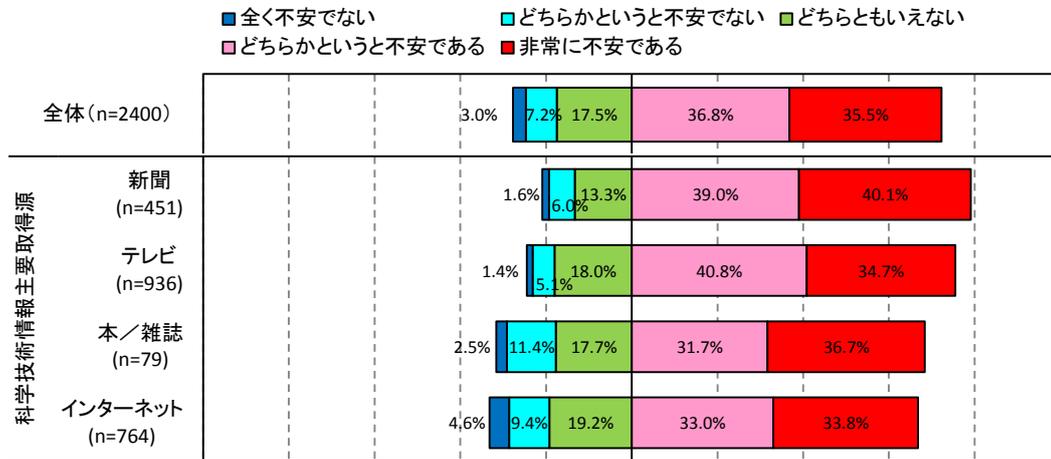


図13-1 福島第一原子力発電所の事故の影響に対する不安

表13-1 福島第一原子力発電所の事故の不安に関する χ^2 検定結果

χ^2 値	自由度	p 値	検定結果	Cramer's V	調整済み標準化残差			
					主要取得源	不安である ⁽¹⁾	どちらともいえない	不安でない ⁽²⁾
41.851	6	0.000	**	0.097	新	3.296 **	-2.594 **	-1.628
					テ	2.287 *	0.534	-4.146 **
					本	-0.948	0.066	1.346
					イ	-4.800 **	1.614	5.166 **

- 備考 1. 検定結果欄及び調整済み標準化残差欄の記号 = **: $p < 0.01$, *: $p < 0.05$, †: $p < 0.1$, 空白: 有意差なし
 2. 「主要取得源」欄の「新」=新聞、「テ」=テレビ、「本」=本／雑誌、「イ」=インターネットを表す。
 3. (1: 「非常に不安である」又は「どちらかという不安である」のいずれかの回答を表す。
 4. (2: 「全く不安でない」又は「どちらかという不安でない」のいずれかの回答を表す。

²³ 質問文「2011年3月11日の東日本大震災の発生に伴い、福島第一原子力発電所の事故が起きました。福島第一原子力発電所の事故の影響に対する不安について、あなたは現在どのように感じていますか。次のうち、あてはまるものを1つお選びください。」に対し、「非常に不安である」、「どちらかという不安である」、「どちらともいえない」、「どちらかという不安でない」及び「全く不安でない」の5の選択肢から単数選択。

第3章 まとめ

科学技術イノベーション政策を幅広い国民の理解と信頼と支持の下に推進していくためには、国民の科学技術に対する関心を高め、理解を深めることが不可欠である。そのためには、国民が科学技術に対して関心をもち、科学技術に関する正しい知識を習得し、自らの判断や行動に活かせるような良質な情報の発信が求められている。

本調査は、情報メディアの多様化が進む中で、現状、科学技術に関する情報の主要取得源により、科学技術に関する意識や行動等にどのような違いがあるかについて検討を行った。

その結果、主に以下のことが明らかになった。

- (1) 科学技術情報の主要取得源は、テレビ、新聞からインターネットへとシフトしてきている。
- (2) 科学技術情報の主要取得源が『本／雑誌』の者の科学技術に関する知識が高く、『テレビ』の者が最も低い。
- (3) 科学技術に関連する話題に対して、総体的に科学技術情報の主要取得源が『本／雑誌』の者の関心が高く、『テレビ』の者の関心が最も低い。
- (4) 不安や嫌悪を感じるようなネガティブ情報に対して、科学技術情報の主要取得源が『本／雑誌』の者は、その情報を信じることなく、さらに詳しく調べる傾向が強いのに対し、『テレビ』の者は、その情報を疑うことなく、さらに詳しく調べることをしない傾向が強く、両者は対極的な関係にある。
- (5) 不安や嫌悪を感じるようなネガティブ情報に対して、科学技術情報の主要取得源が『新聞』又は『テレビ』の者は、マスメディアの記者や著名人、評論家等に意見や判断を左右される傾向が強いのに対し、『本／雑誌』又は『インターネット』の者は、科学技術関連施設や機関、行政機関、一般の人や家族、友人、知人に意見や判断を左右される傾向が強い。
- (6) 科学技術情報の信頼度に関して、科学者や医師の話の信頼度は、科学技術情報の主要取得源による違いは見られないが、マスメディアの記者や著名人、評論家の話の信頼度は、科学技術情報の主要取得源が『新聞』及び『テレビ』の者が高く、公的研究機関や大学、行政機関からの情報の信頼度は、『新聞』及び『本／雑誌』の者が高い傾向が見られた。
- (7) 科学技術情報に関して、科学技術情報の主要取得源が『本／雑誌』の者は、幅広く、深く掘り下げられた情報や根拠が明確な情報が不足していると感じているのに対し、それ以外の科学技術情報の主要取得源の者は、迅速で信頼性が高く、わかりやすい情報が不足していると感じている。
- (8) 日常生活における科学技術に関する知識の重要性意識や科学技術の利用に伴う想定外の危険意識、リスクの受容意識といった科学技術に対してポジティブな意識は、科学技術情報の主要取得源が『本／雑誌』の者が高く、『テレビ』の者が低い。
- (9) 科学技術の評価に関して、科学技術情報の主要取得源が『本／雑誌』の者は、技術的にコントロールできるかどうか、社会規制により悪用・誤用を防ぐことができるかどうかといった科学技術の利用を前提とした評価事項を重視する傾向が強いのに対し、それ以外の科学技術情報の主要取得源の者は、開発・利用する主体を信頼できるかどうか、経済的に豊かになるかどうか、社会にとって必要かどうか、起こりうる事故の規模や確率といった科学技術の利用以前に係る評価事項やリスクに関する評価事項を重視する傾向が強い。

このように、科学技術情報の主要取得源によって、意識や考え方に違いが認められ、特に科学技術情報の主要取得源が『本／雑誌』の者と『テレビ』の者の違いが全般的に大きかった。

各科学技術情報の主要取得源の者の特徴を大雑把に言えば、科学技術情報の主要取得源が『本／雑誌』の者は、科学技術に関連する話題に非常に関心が高く、科学技術に関する知識を持ち合わせており、得られた情報をそのまま信じるのではなく、さらに様々なメディアを利用して確認するタイプであり、科学技術に対してポジティブであると言えるだろう。

科学技術情報の主要取得源が『テレビ』の者は、社会的課題、科学技術に関する話題に対する関心や科学技術に関する知識は低く、得られた情報をそのまま信じ、マスメディアに露出する著名人や評論家の意見に左右されやすいタイプであり、科学技術のメリットや必要性をあまり感じていないと言えるだろう。

科学技術情報の主要取得源が『新聞』及び『インターネット』の者は、『本／雑誌』と『テレビ』の者の中間的なタイプで、『新聞』の者はどちらかという『テレビ』の者に近く、『インターネット』の者は『本／雑誌』の者に近いと言えるだろう。

このような科学技術情報の主要取得源による違いは、情報源が影響を及ぼしているのか、その情報源を選択している者の影響なのか定かではないが、いずれにせよ一般市民が科学技術に関する情報を得ようとする場合、どのような基準でその情報源を選択しているのか、各情報源による情報の発信方法、内容等にどのような違いがあるのか、また各情報源から情報を受け取る側の態度(受動的、能動的等)にどのような違いがあるかなど、さらに突っ込んだ調査が必要と思われ、各情報源のメリット、デメリットを勘案した良質な情報発信が求められるものと考えられる。

インターネットの普及に伴い、特に若年層を中心に情報源としてインターネットの利活用が増大しているが、インターネットによる情報取得は、自分が必要とする情報や興味を持つ情報、意見を同じくする情報にしか接触しないと偏った情報になりがちであるとの指摘がある。このことが、今後、科学技術に関する意識や考え方、行動にどのような影響を及ぼすのか興味深いところである。

謝辞

本調査の実施並びに報告書の作成に当たり、当研究所の岡本総括上席研究官、細坪上席研究官、川本客員研究官をはじめ多くの方々の助言をいただきました。この場をお借りして感謝申し上げます。

参考文献

- 栗山喬行・関口洋美・茶山秀一 2010:「インターネットを利用した科学技術に関する意識調査の可能性」 文部科学省科学技術政策研究所 DISCUSSION PAPER No.62
- 栗山喬行・関口洋美・大竹洋平・茶山秀一 2011:「日・米・英における国民の科学技術に関する意識の比較分析 ―インターネットを利用した比較調査―」 文部科学省科学技術政策研究所 調査資料-196
- 文部科学省科学技術政策研究所 2012:「科学技術に対する国民意識の変化に関する調査 ―インターネットによる月次意識調査および面接調査の結果から―」 調査資料-211
- 早川雄司・茶山秀一 2013a:「日本人のノーベル賞受賞が国民の科学技術に関する意識に与える影響 ―2012年のノーベル医学生理学賞受賞の影響―」 文部科学省科学技術・学術政策研究所 調査資料-222
- 早川雄司・茶山秀一 2013b:「自然科学イベントが国民の科学技術に関する意識に与える影響 ―2012年の金環日食の影響―」 文部科学省科学技術・学術政策研究所 調査資料-223
- 早川雄司 2014:「国民の科学技術に対する関心と科学技術に関する意識との関連」 文部科学省科学技術・学術政策研究所 DISCUSSION PAPER No.108
- 日本新聞協会 2002:「2001年全国メディア接触・評価調査報告書」
- 日本新聞協会 2004:「2003年全国メディア接触・評価調査報告書」
- 日本新聞協会 2006:「2005年全国メディア接触・評価調査報告書」
- 日本新聞協会 2008:「2007年全国メディア接触・評価調査報告書」
- 日本新聞協会 2010:「2009年全国メディア接触・評価調査報告書」
- 日本新聞協会 2012:「2011年全国メディア接触・評価調査報告書」
- 日本新聞協会 2014:「2013年全国メディア接触・評価調査報告書」
- 経済広報センター2013:「情報源に関する意識・実態調査報告書」
- 経済広報センター2012:「インターネット利用に関する意識・実態調査報告書」
- 鈴木万希枝 2011:「若年層のニュース消費に関する研究 ―情報源接触パターンおよびニュース情報への選択的接触の検討―」 哲学第128集, 179-206
- 河野武司 2005:「国民の対外意識に及ぼすマスメディアの影響 ―テレビニュースの内容分析とパネル調査から―」 年報政治学 2005(2), 69-86
- 鷹野重之・縣 秀彦 2009:「科学技術への社会的関心に関する調査 ～各研究分野への関心～」 天文教育 21(1), 13-19
- 平田明裕・西久美子・関根智江 2012:「情報ツールとして根強いテレビと存在感を増すポータルサイト ～情報とメディア利用に関する世論調査から～」 放送研究と調査 62(7), 44-65
- 新聞通信調査会 2013:「第6回メディアに関する全国世論調査(2013年)」
- 新しい大人文化研究所 2013:「新大人研レポートX いま高齢社会は“新しい大人社会”へと大きく変化③ 自ら情報収集し、メディアを賢く使いこなす“メディアエルダー”へ」 博報堂
<http://www.hakuhodo.co.jp/uploads/2013/11/20131106.pdf>

John B. Horrigan 2006:”The Internet as a Resource for News and Information about Science”
Pew Research Center

<http://www.pewinternet.org/2006/11/20/the-internet-as-a-resource-for-news-and-information-about-science/>

National Science Board (NSB) 2014:”Science and Engineering Indicators 2014” National Science Foundation <http://www.nsf.gov/statistics/seind14/>

National Opinion Research Center (NORC) at the University of Chicago 2012:”General Social Survey 2012” <http://www.norc.org/Research/Projects/Pages/general-social-survey.aspx>

Edelman 2015:”TRUST AROUND THE WORLD -2015 Edelman Trust Barometer”

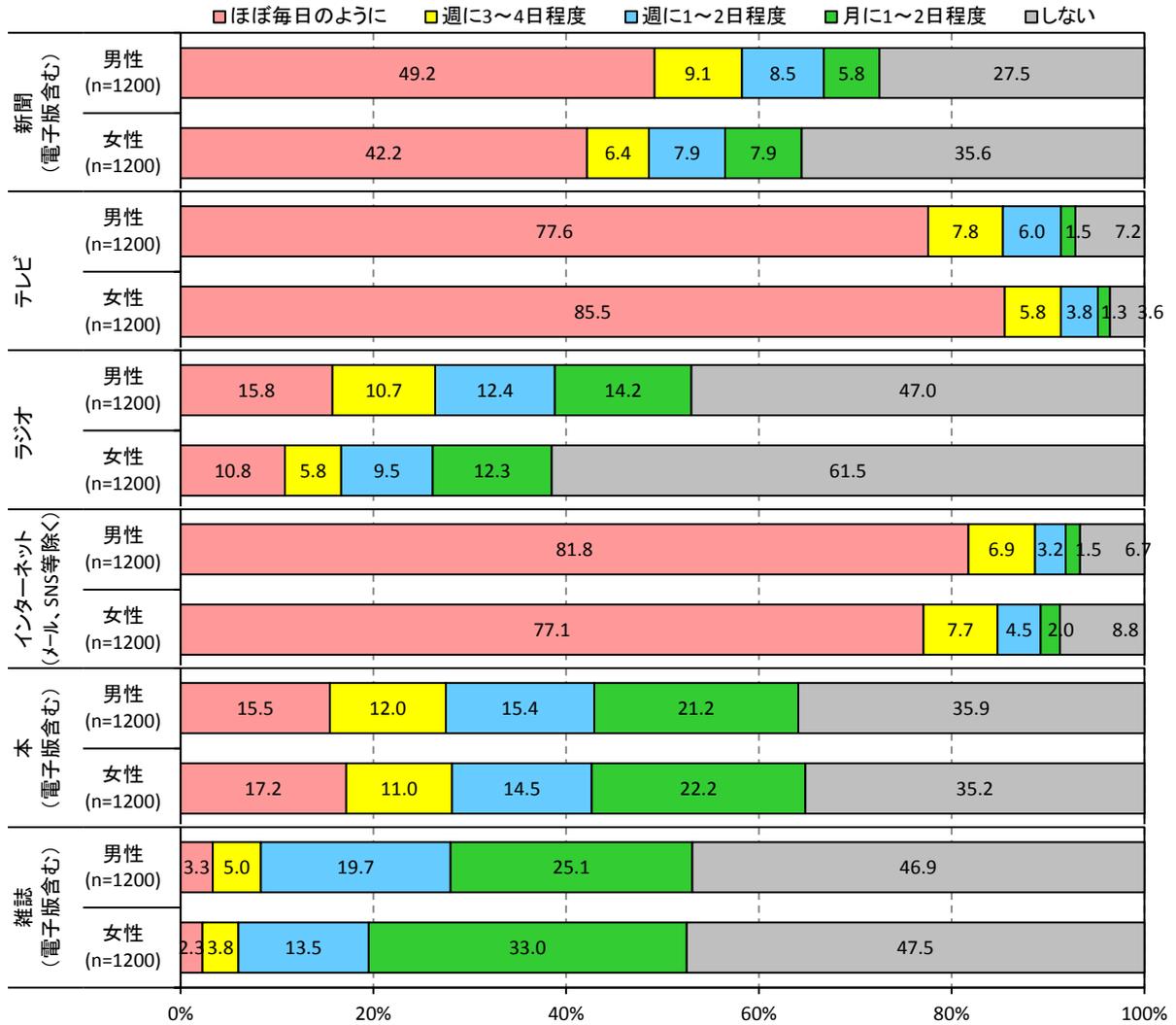
<http://www.edelman.com/insights/intellectual-property/2015-edelman-trust-barometer/trust-around-world/>

参考資料

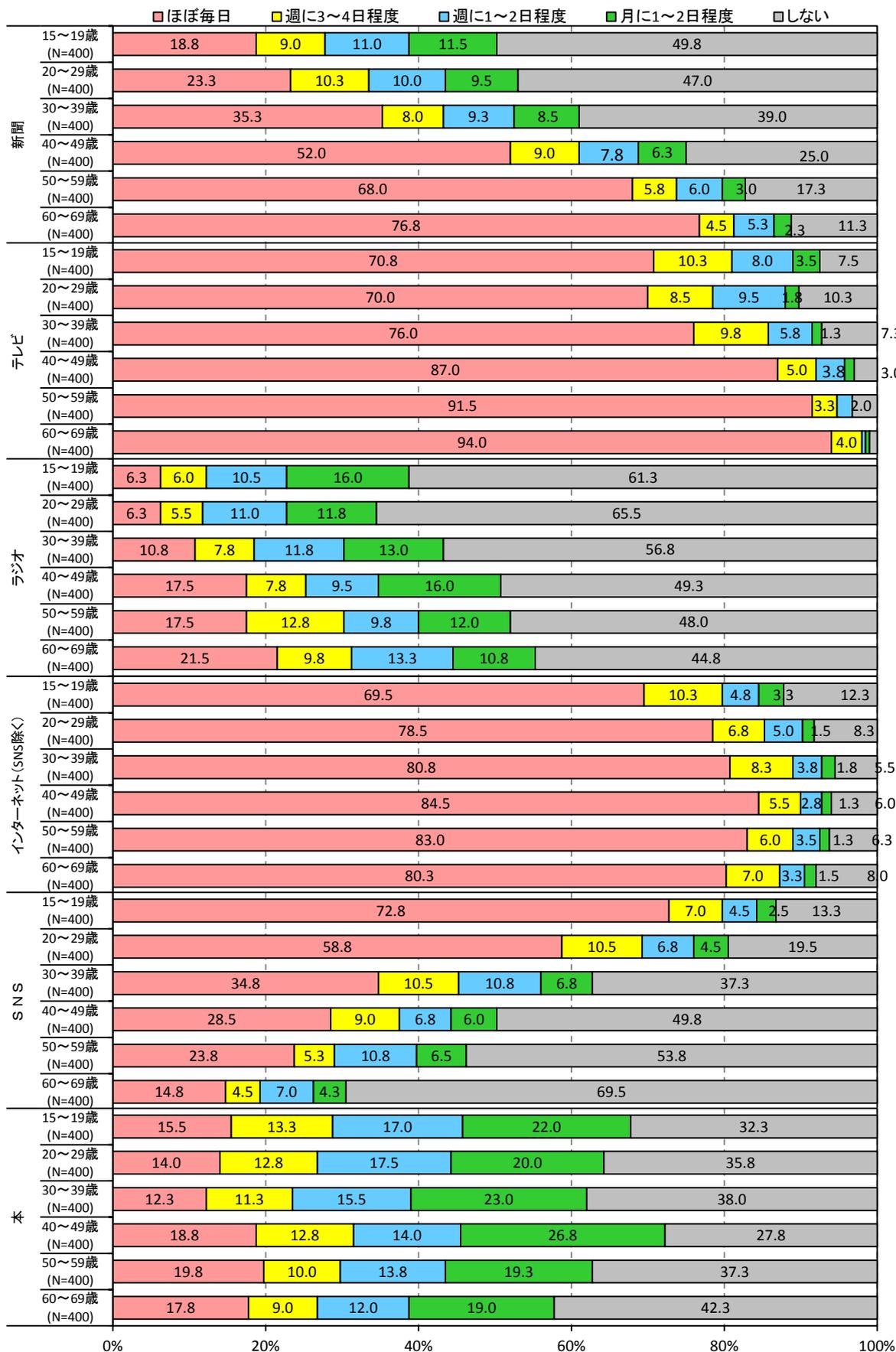
- I 性別及び年代別グラフ
- II 性・年代別集計表
- III 主要な科学技術関連意識の経時変化
- IV 調査画面

I 性別及び年代別グラフ

1 情報媒体の接触頻度

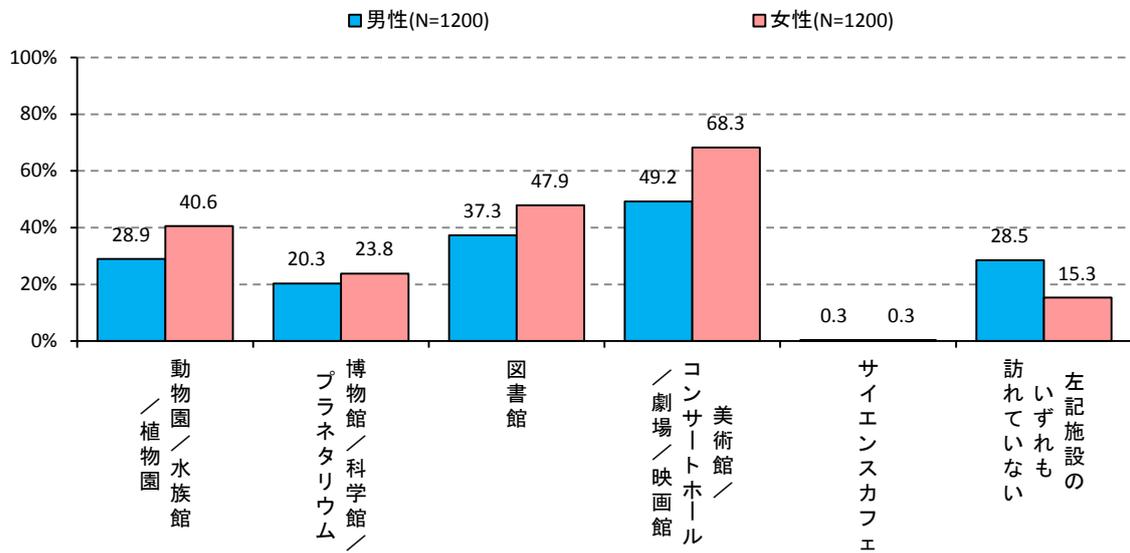


附図 1 情報媒体の接触頻度(性別)

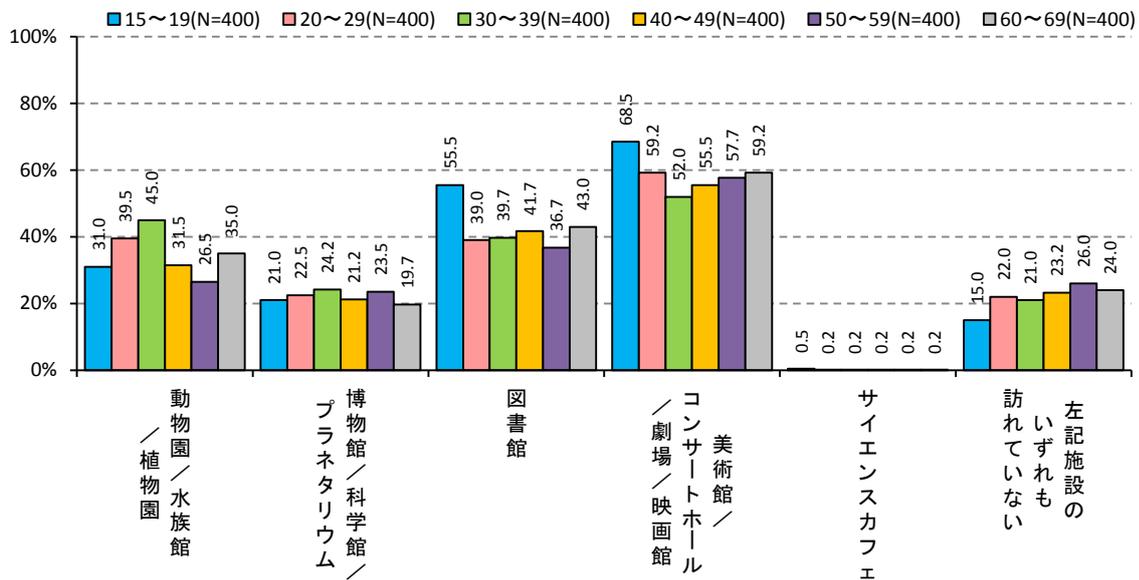


附図2 情報媒体の接触頻度(年代別)

2 各施設等の訪問状況



附図3 過去1年間の施設訪問状況(性別)

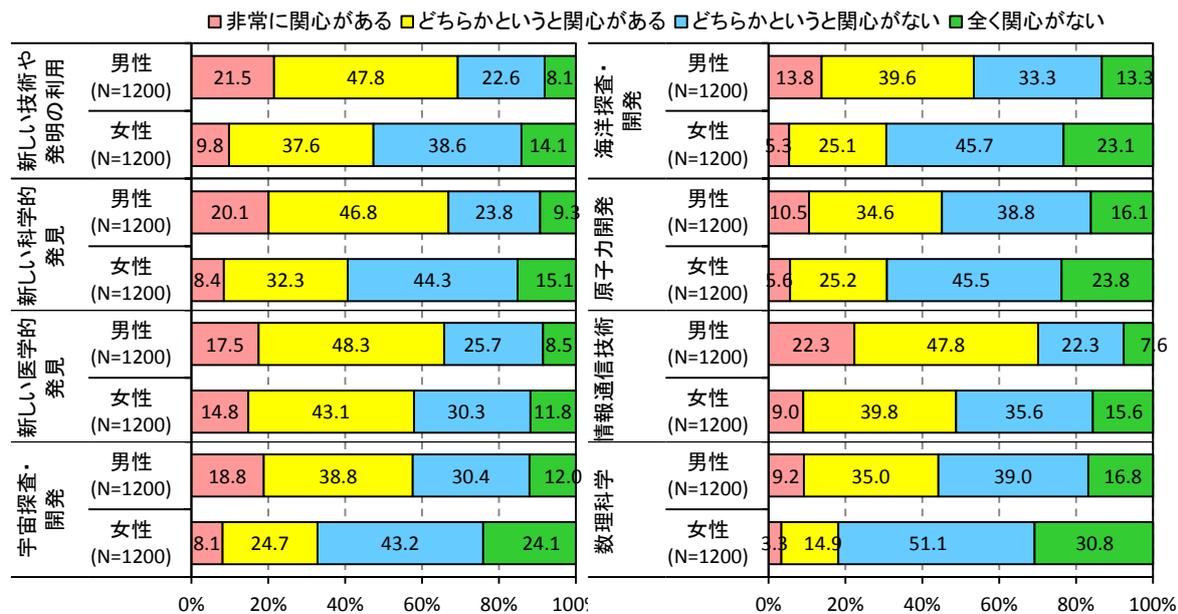


附図4 過去1年間の施設訪問状況(年代別)

3 社会的課題や科学技術の話題に対する関心

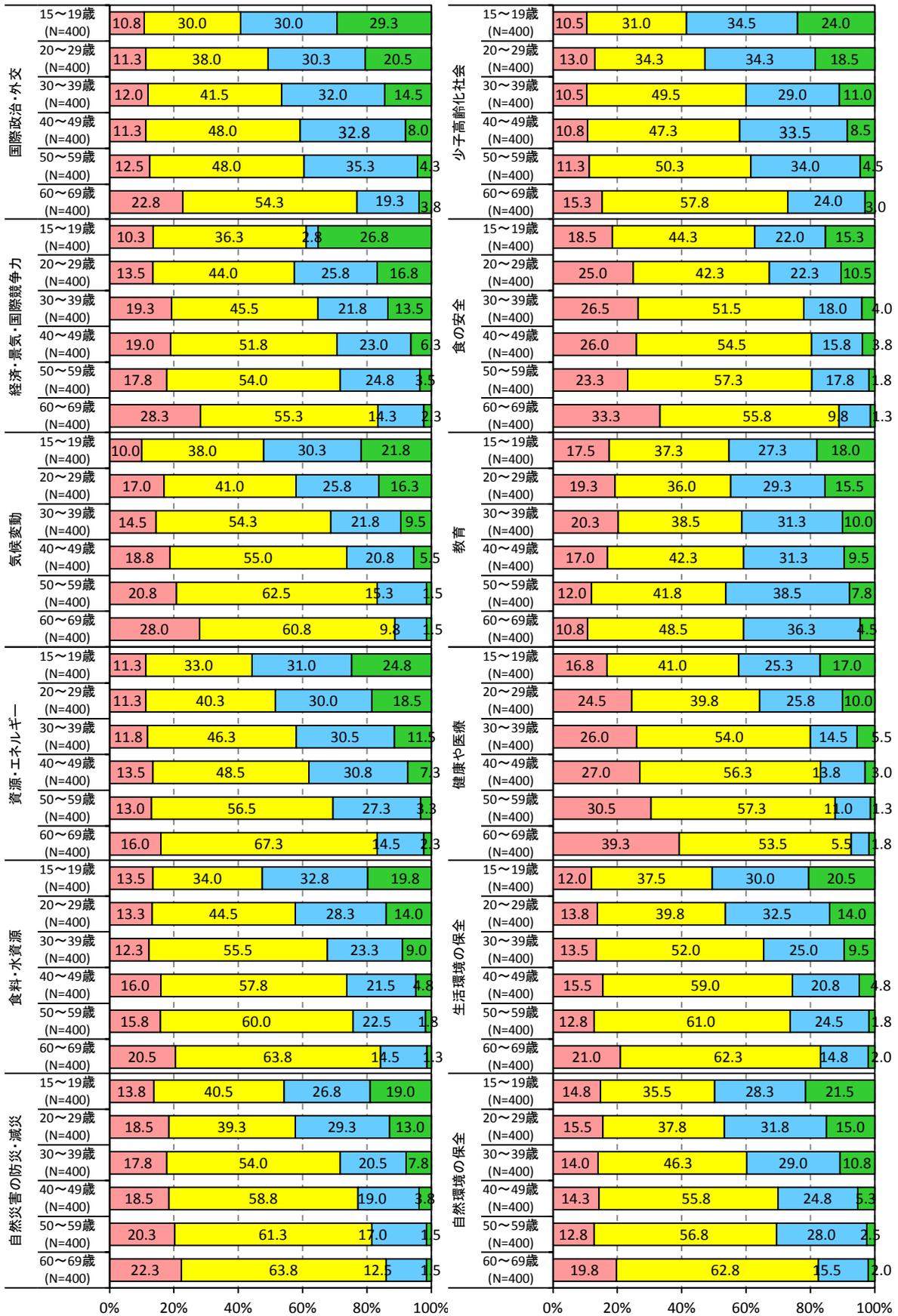


附図5 社会的課題に対する関心(性別)

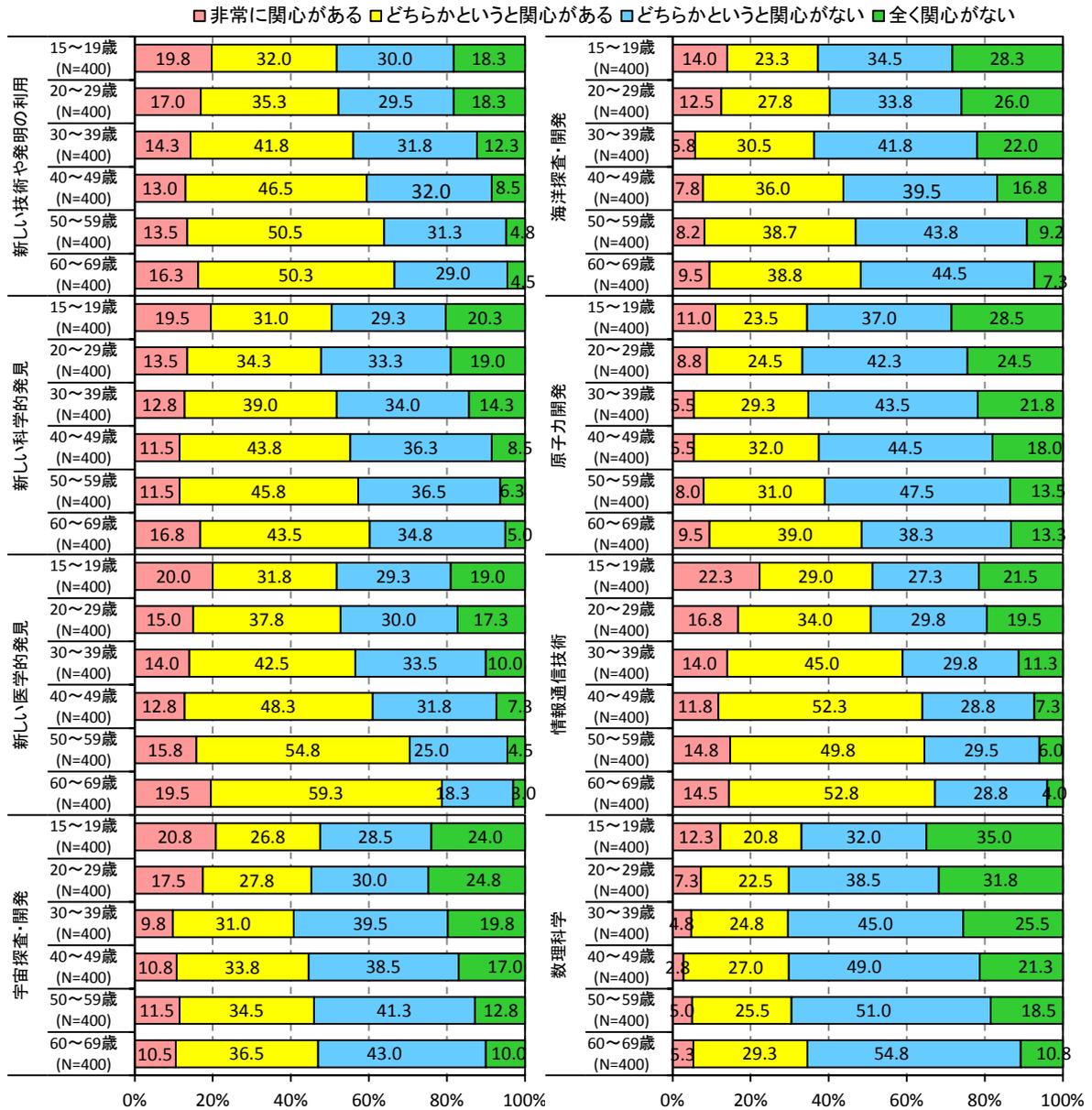


附図6 科学技術の話題に対する関心(性別)

■非常に興味がある ■どちらかというところに関心がある ■どちらかというところに関心がない ■全く関心がない

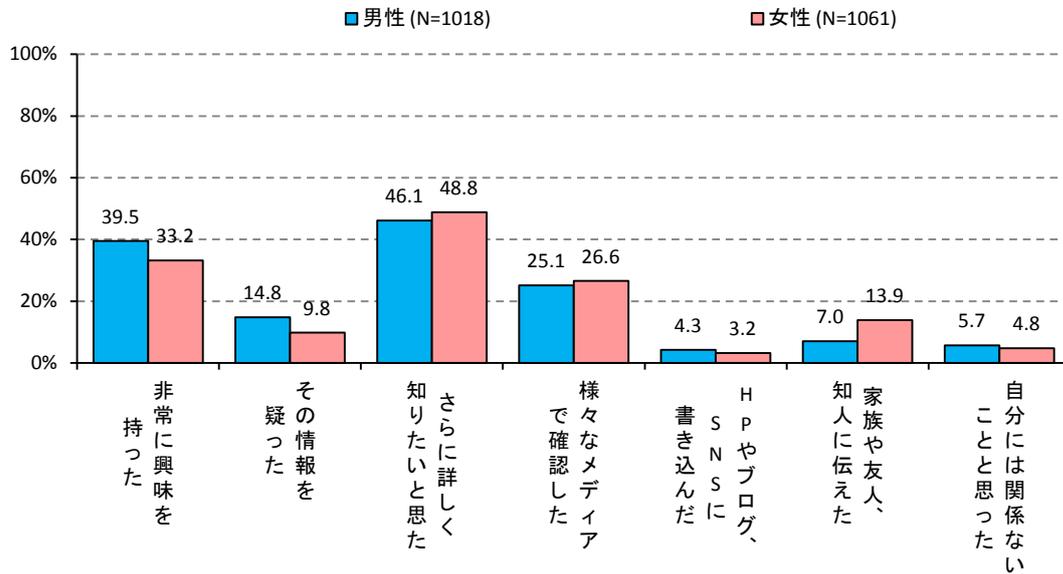


附図 7 社会的課題に対する関心(年代別)

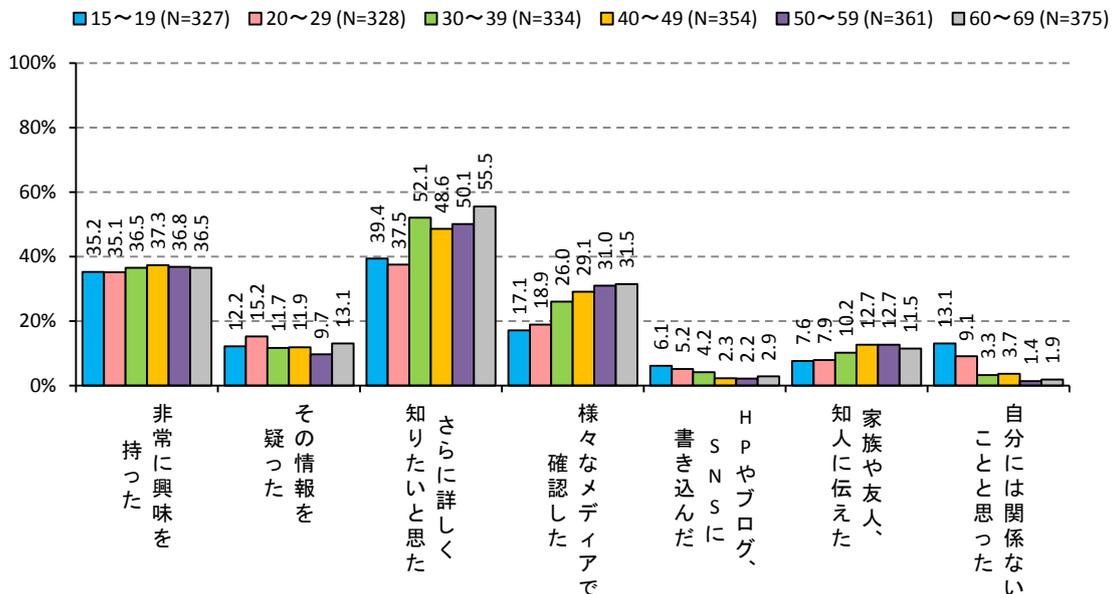


附図 8 科学技術に関連した話題に対する関心(年代別)

4 不安や嫌悪を感じた情報の受け取り方

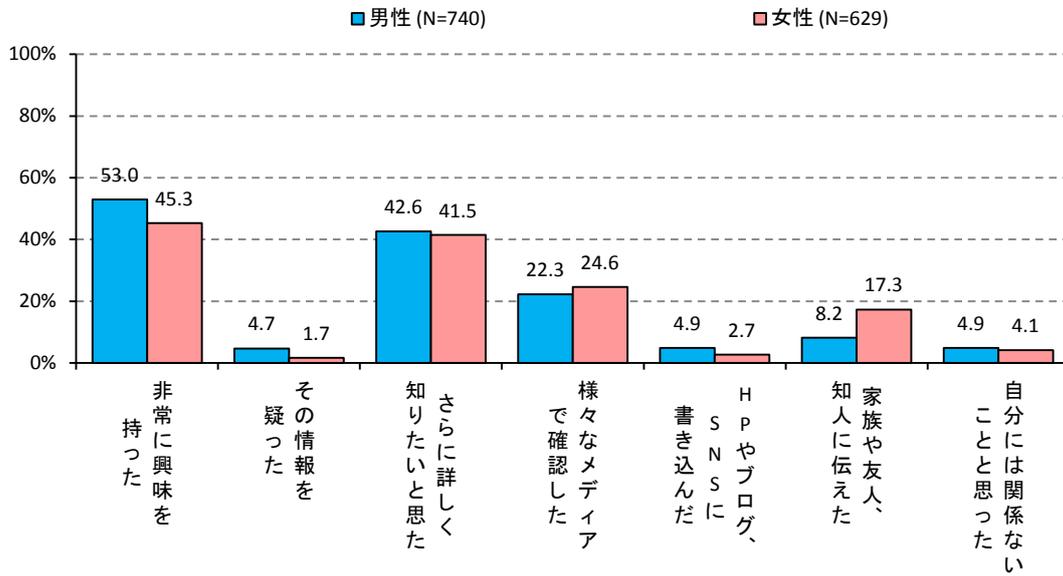


附図 9 不安や嫌悪を感じた情報の受け取り方(性別)

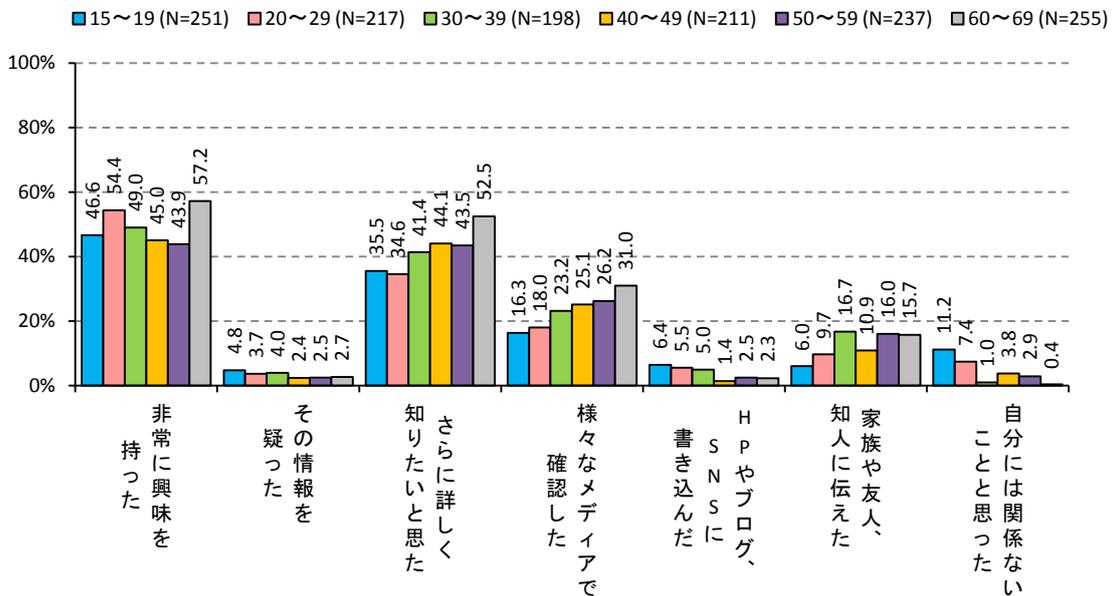


附図 10 不安や嫌悪を感じた情報の受け取り方(年代別)

5 感動や安心を感じた情報の受け取り方

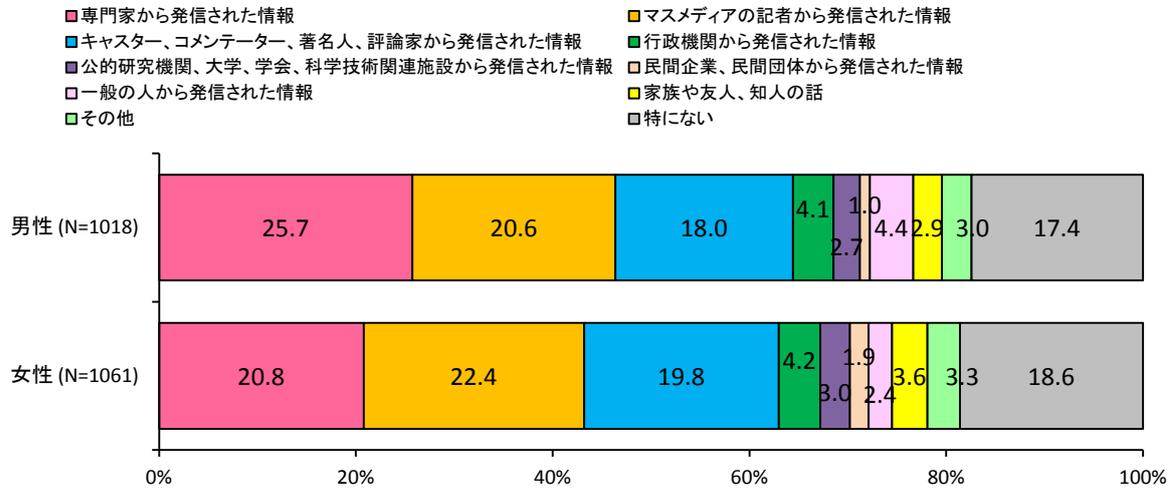


附図 11 感動や安心を感じた情報の受け取り方(性別)

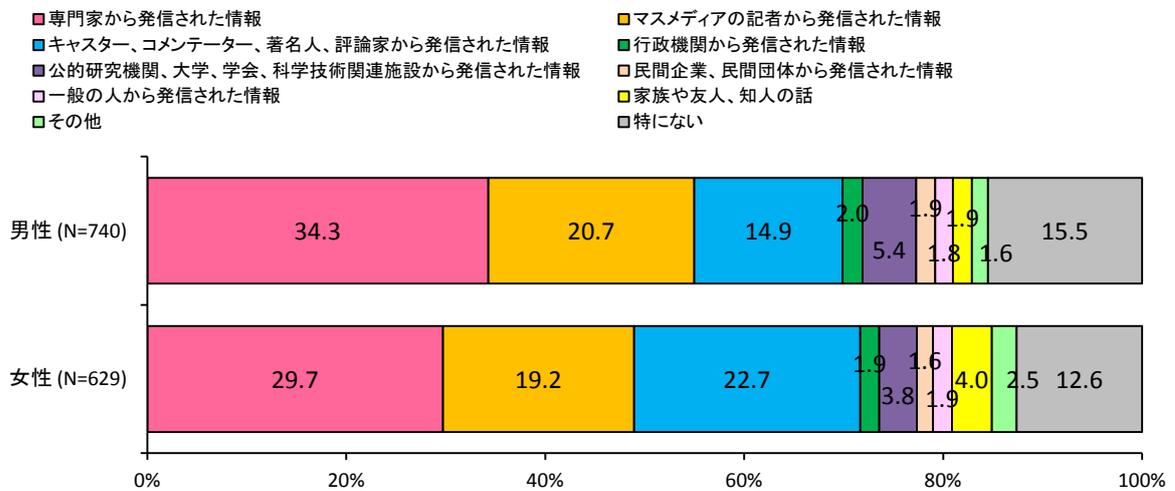


附図 12 感動や安心を感じた情報の受け取り方(年代別)

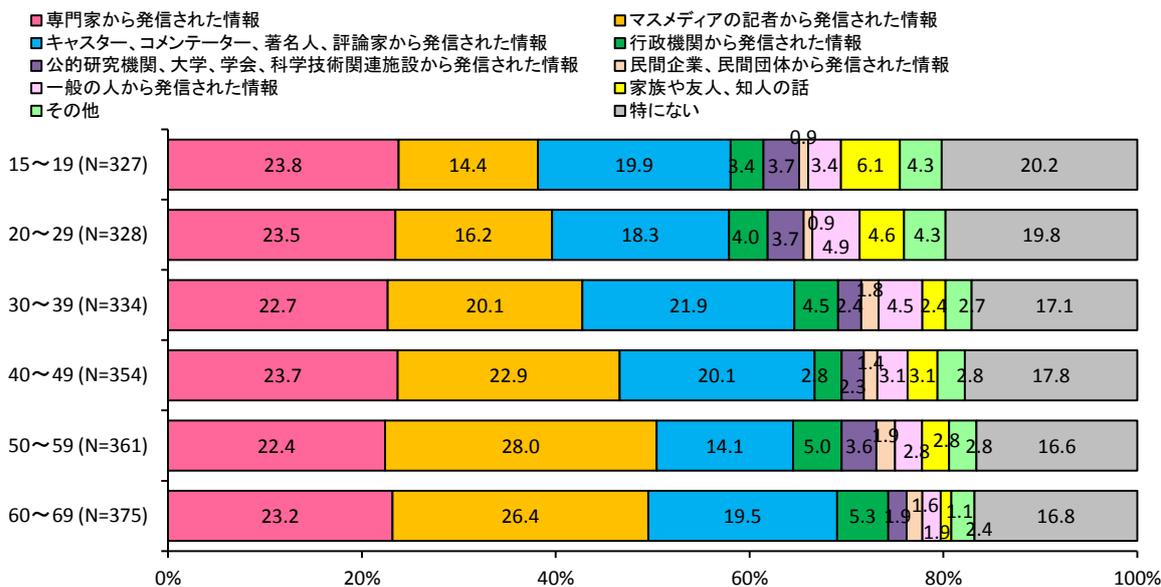
6 最も意見や判断を左右した情報



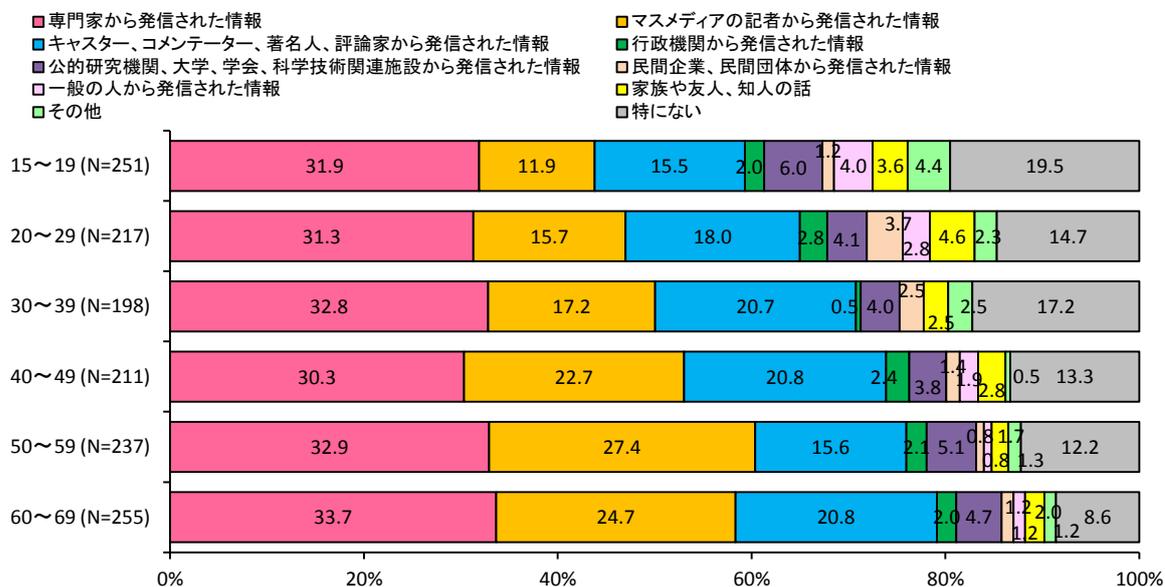
附図 13 不安や嫌悪を感じた情報において最も意見や判断を左右した情報(性別)



附図 14 感動や安心を感じた情報において最も意見や判断を左右した情報(性別)

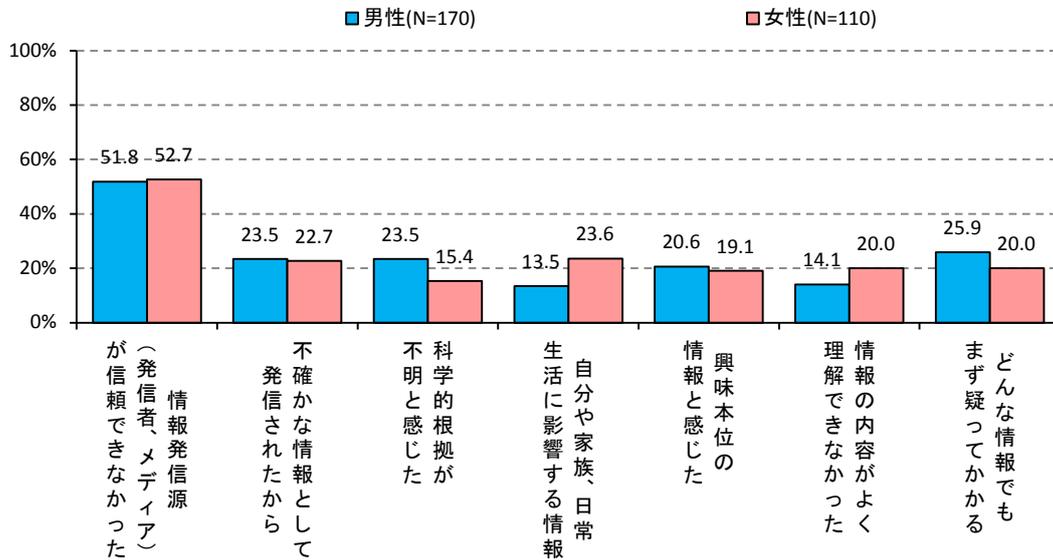


附図 15 不安や嫌悪を感じた情報において最も意見や判断を左右した情報(年代別)

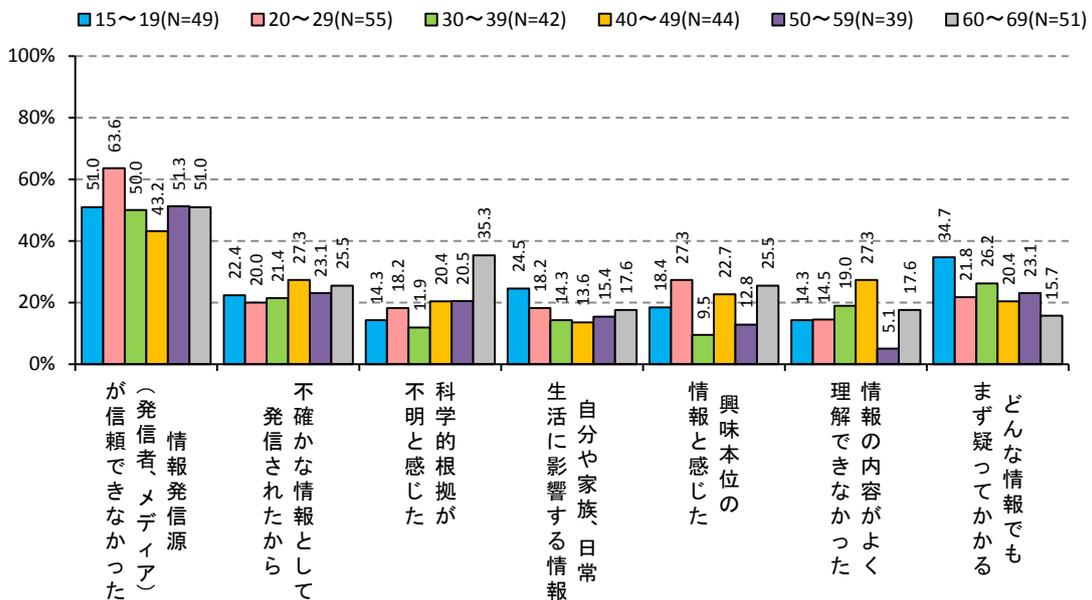


附図 16 感動や安心を感じた情報において最も意見や判断を左右した情報(年代別)

7 情報を疑った理由

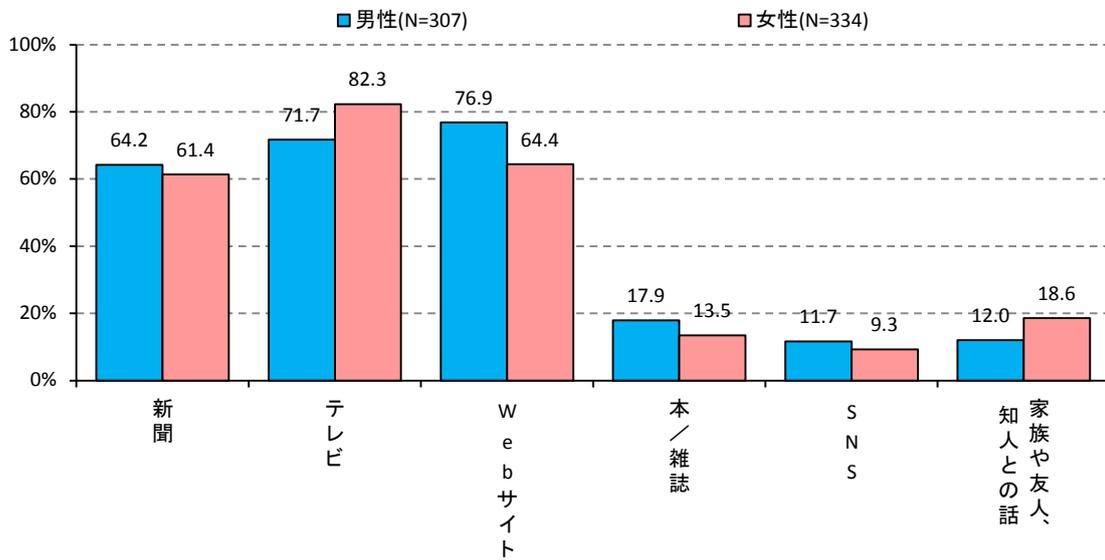


附図 17 情報を疑った理由(性別)

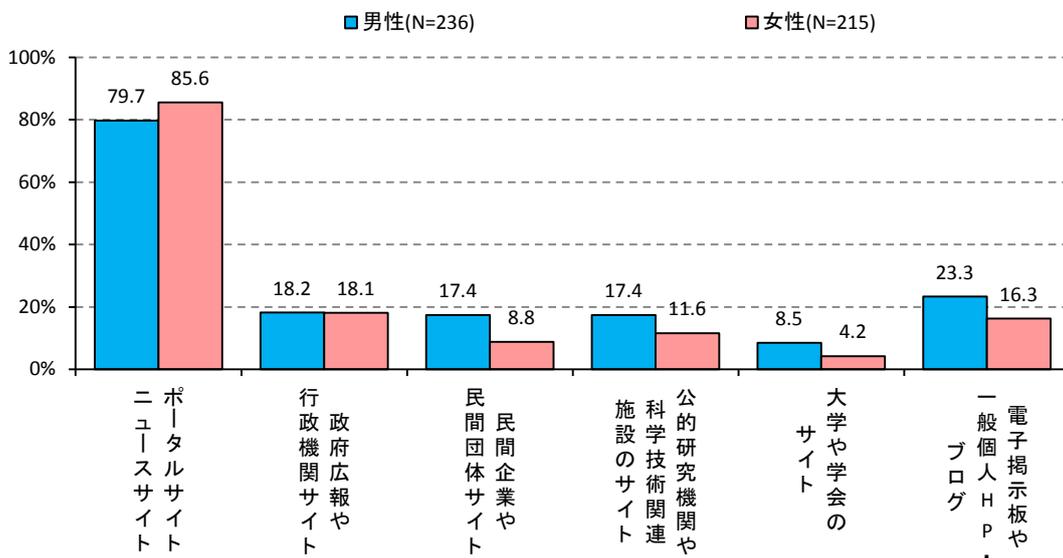


附図 18 情報を疑った理由(年代別)

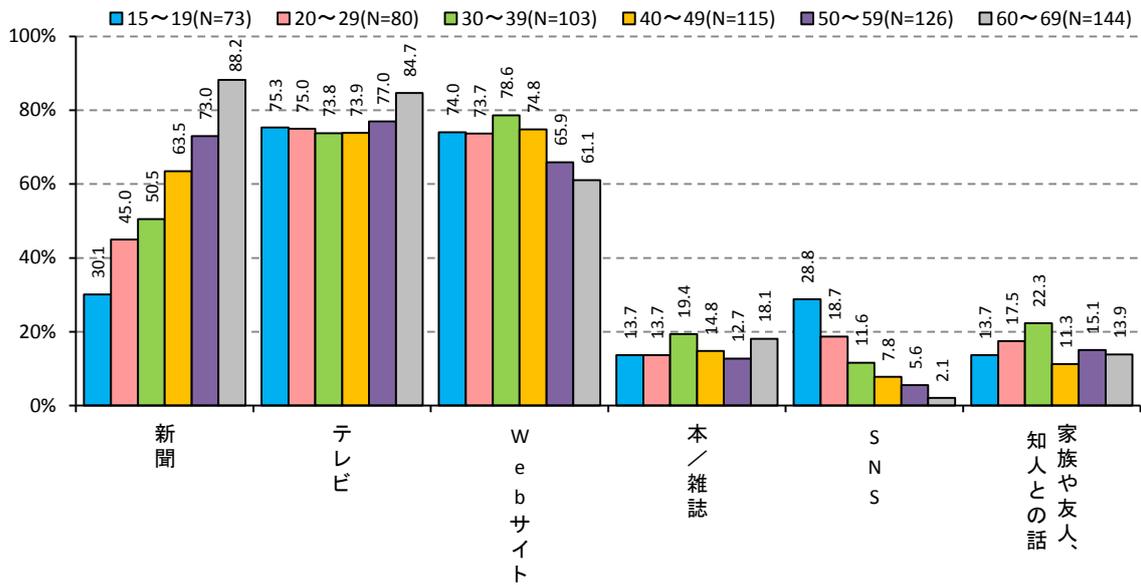
8 関連情報等を確認した情報媒体



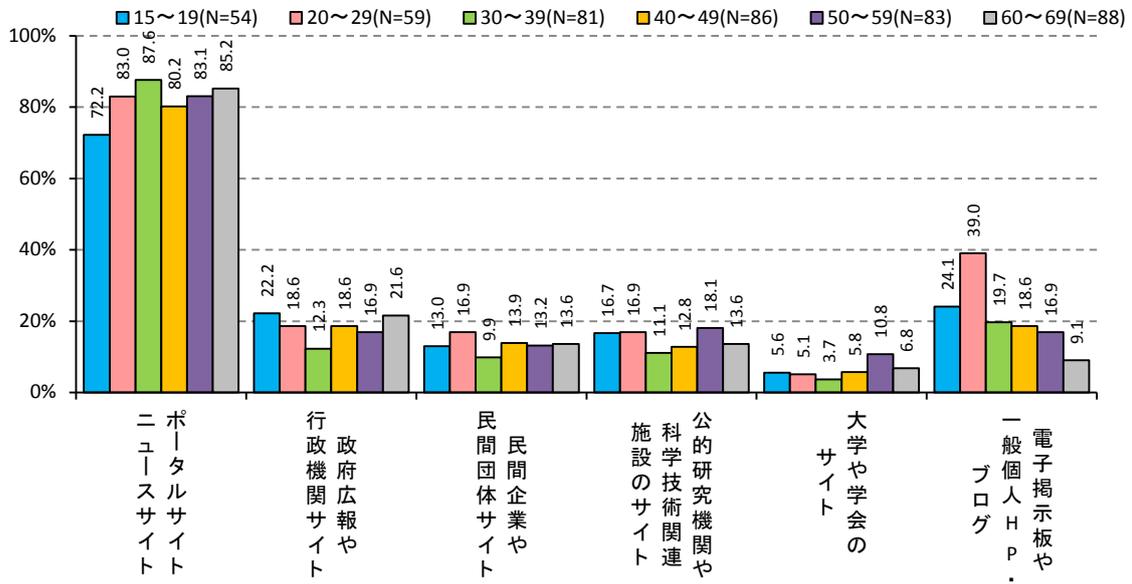
附図 19 関連情報等を確認した情報媒体(性別)



附図 20 関連情報等を確認した Web サイト(性別)

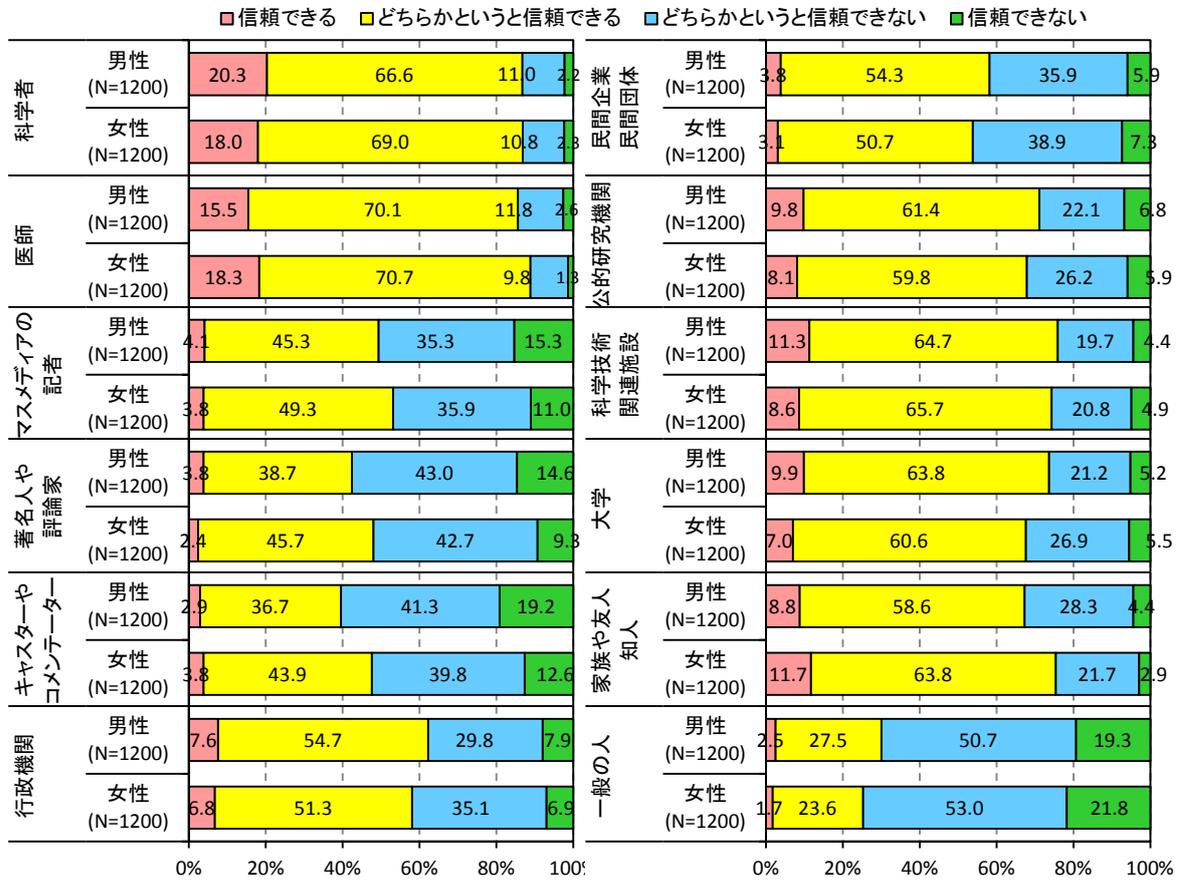


附図 21 関連情報等を確認した情報媒体(年代別)

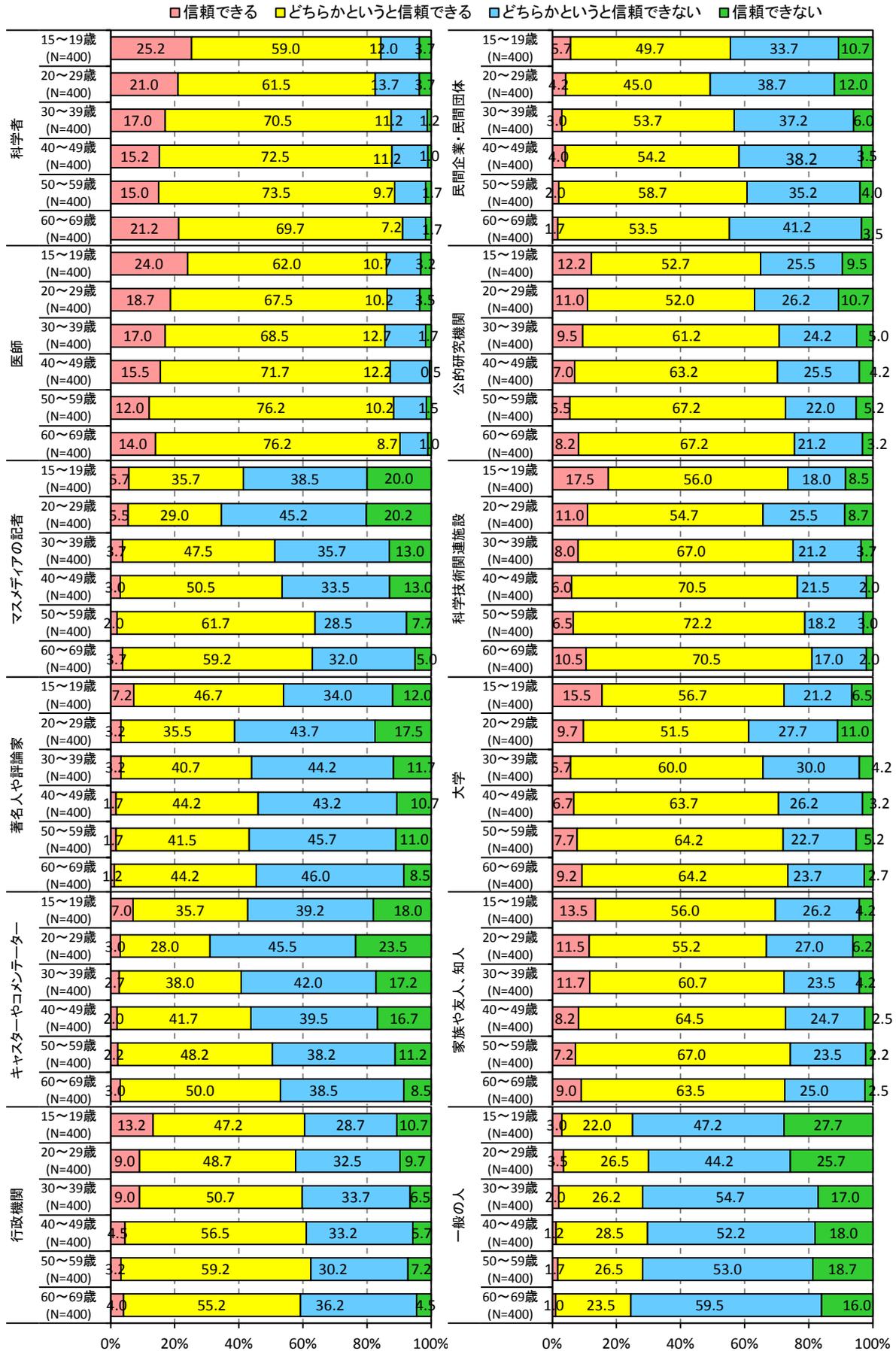


附図 22 関連情報等を確認した Web サイト(年代別)

9 科学技術情報の信頼

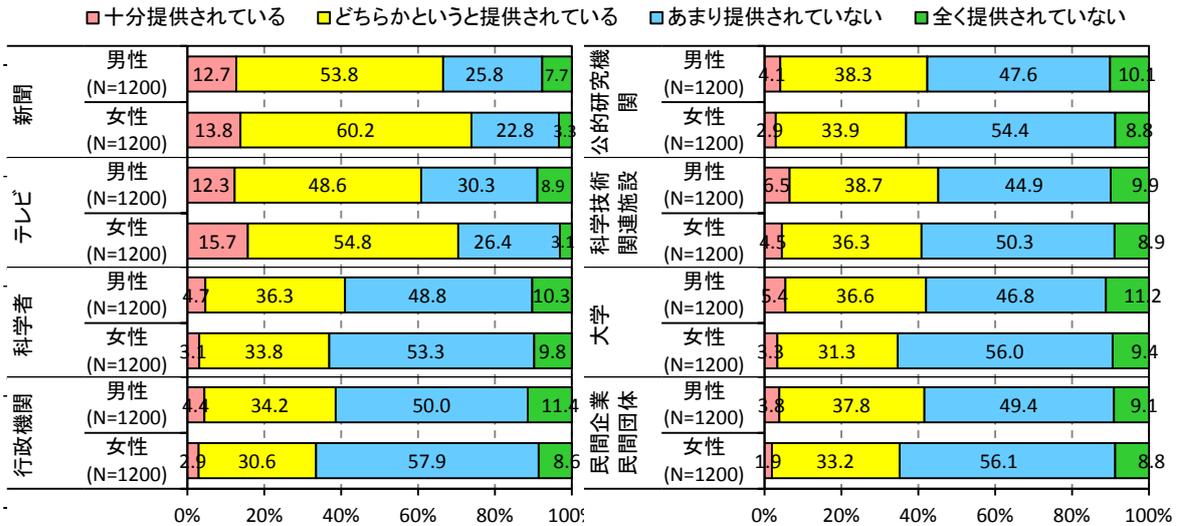


附図 23 科学技術情報の信頼(性別)

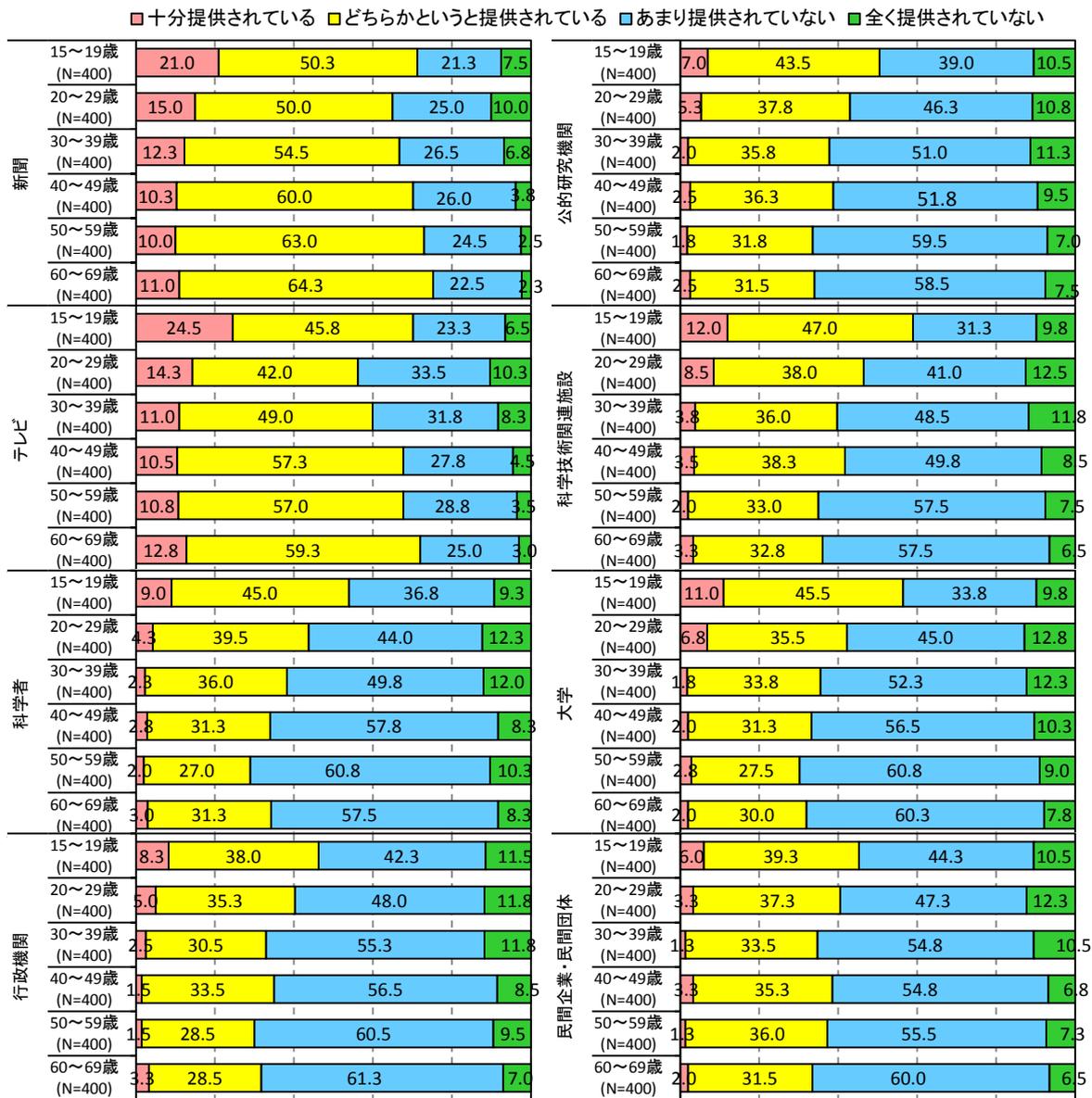


附図 24 科学技術情報の信頼(年代別)

10 科学技術情報の提供

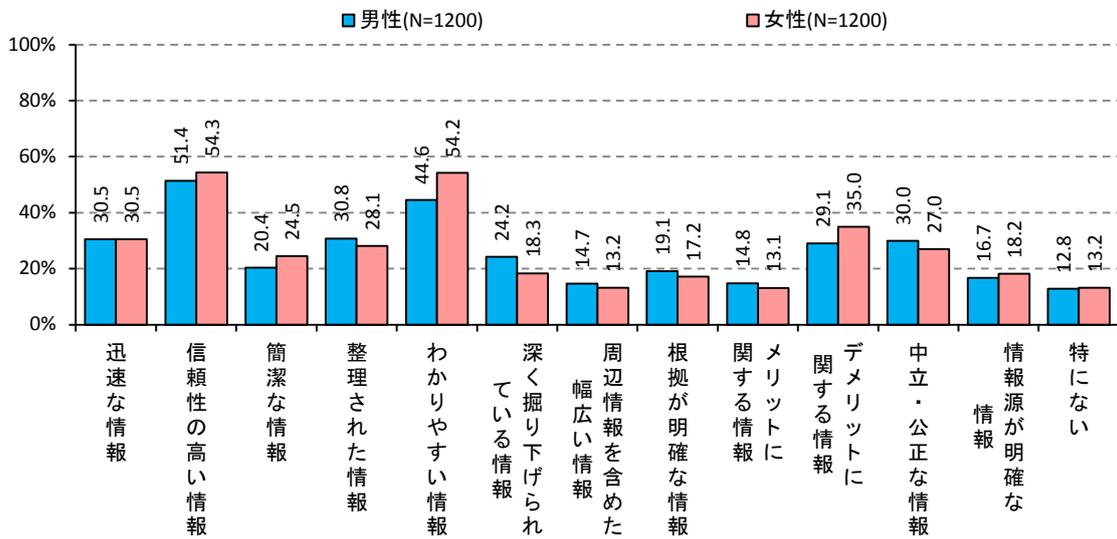


附図 25 メディア、機関等による科学技術情報の提供に対する意識(性別)

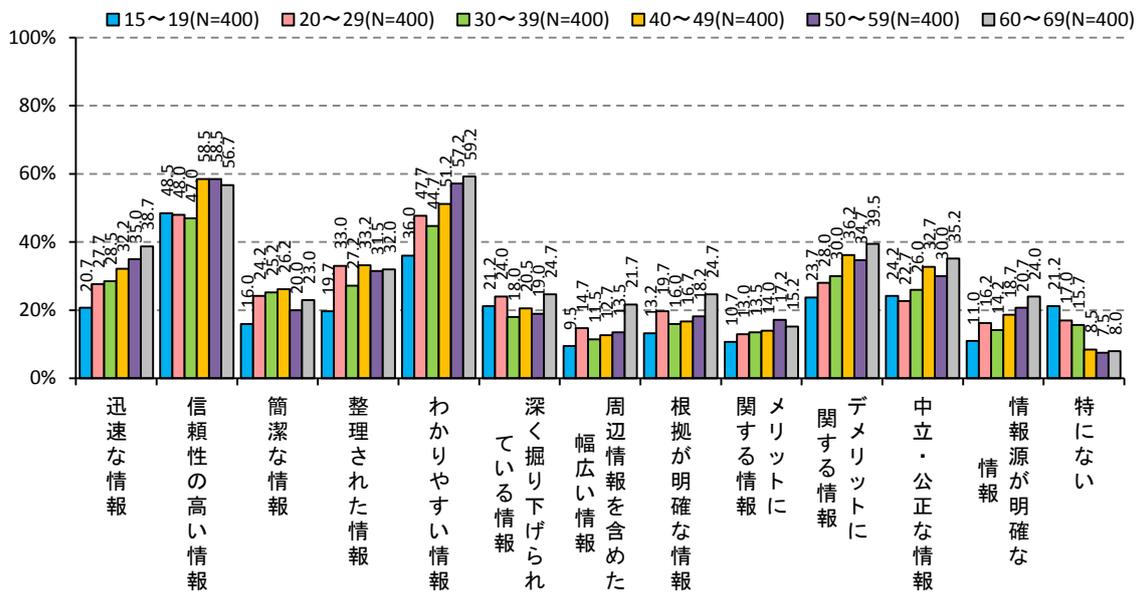


附図 26 メディア、機関等による科学技術情報の提供に対する意識(年代別)

11 科学技術情報で不足していると感じる事項

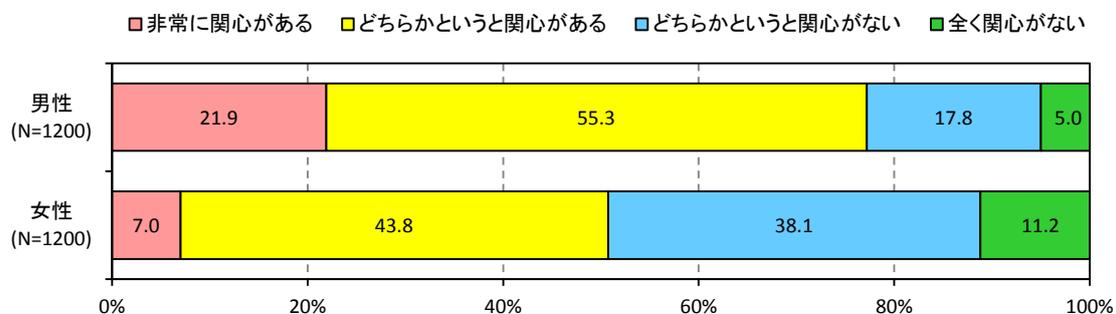


附図 27 科学技術情報で不足していると感じる事項(性別)

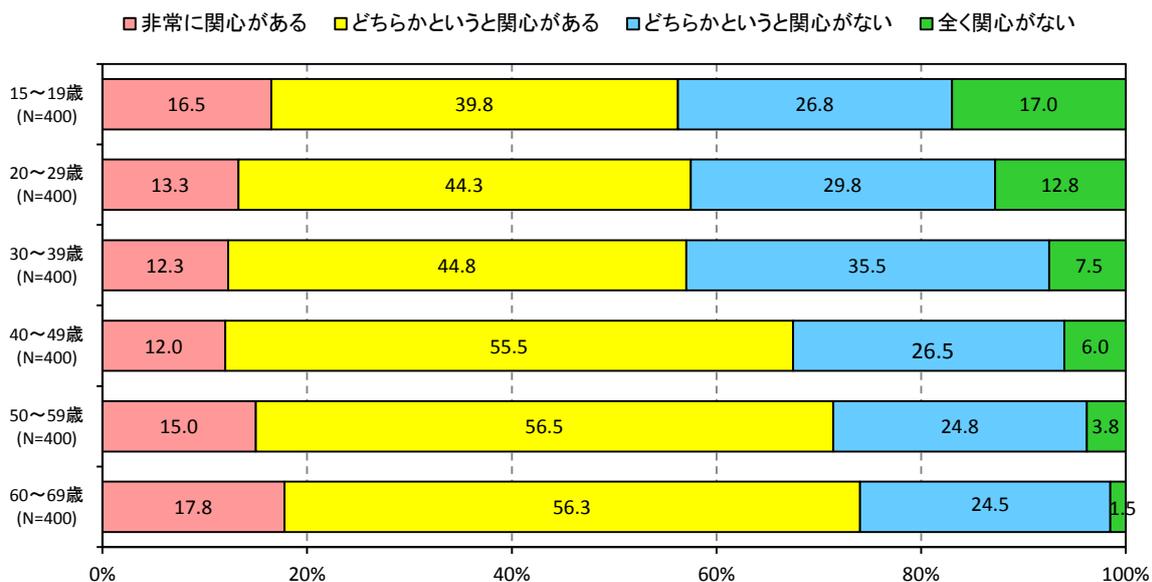


附図 28 科学技術情報で不足していると感じる事項(年代別)

12 科学技術に関するニュースや話題に対する関心

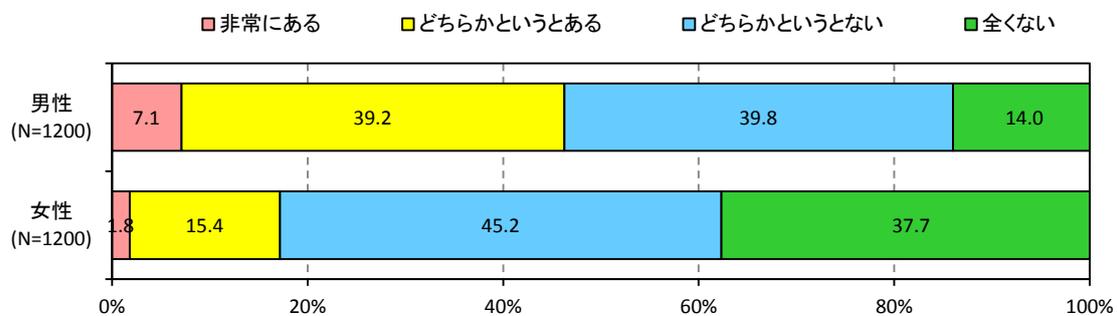


附図 29 科学技術に関するニュースや話題に対する関心(性別)

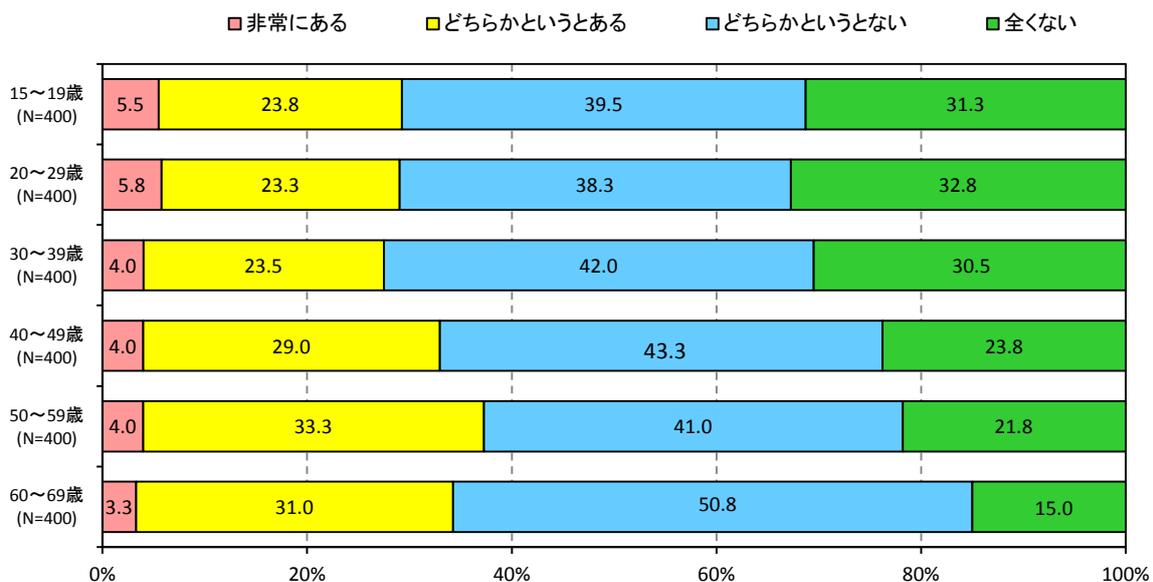


附図 30 科学技術に関するニュースや話題に対する関心(年代別)

13 科学技術に関する知識の自己申告状況

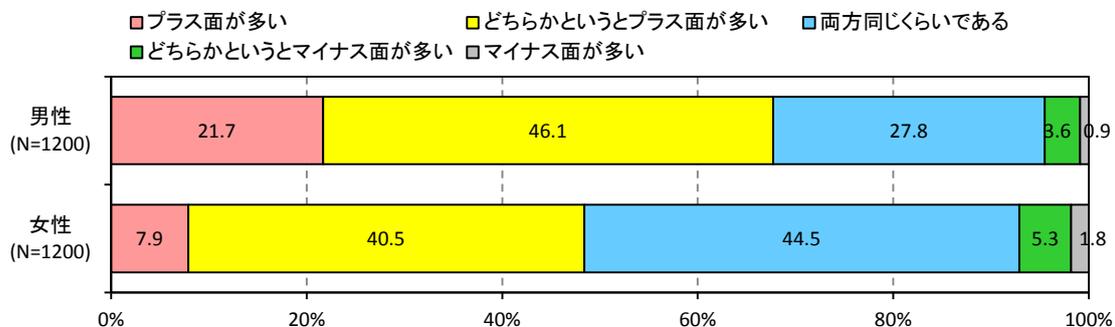


附図 31 科学技術に関する知識(性別)

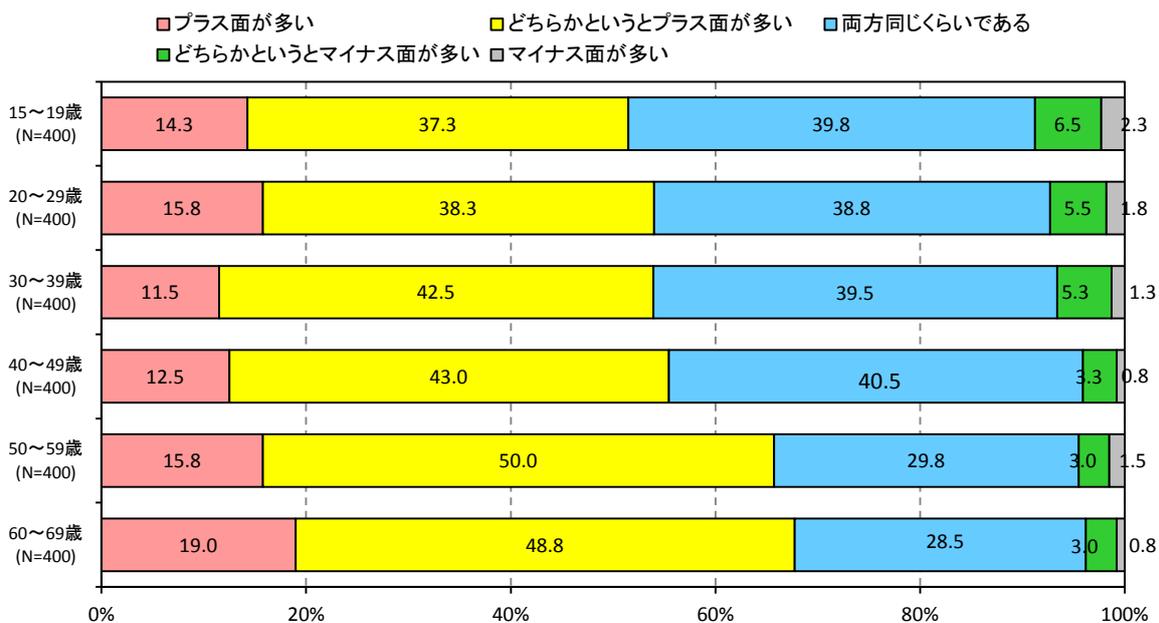


附図 32 科学技術に関する知識(年代別)

14 科学技術の発展によるプラス面／マイナス面の意識

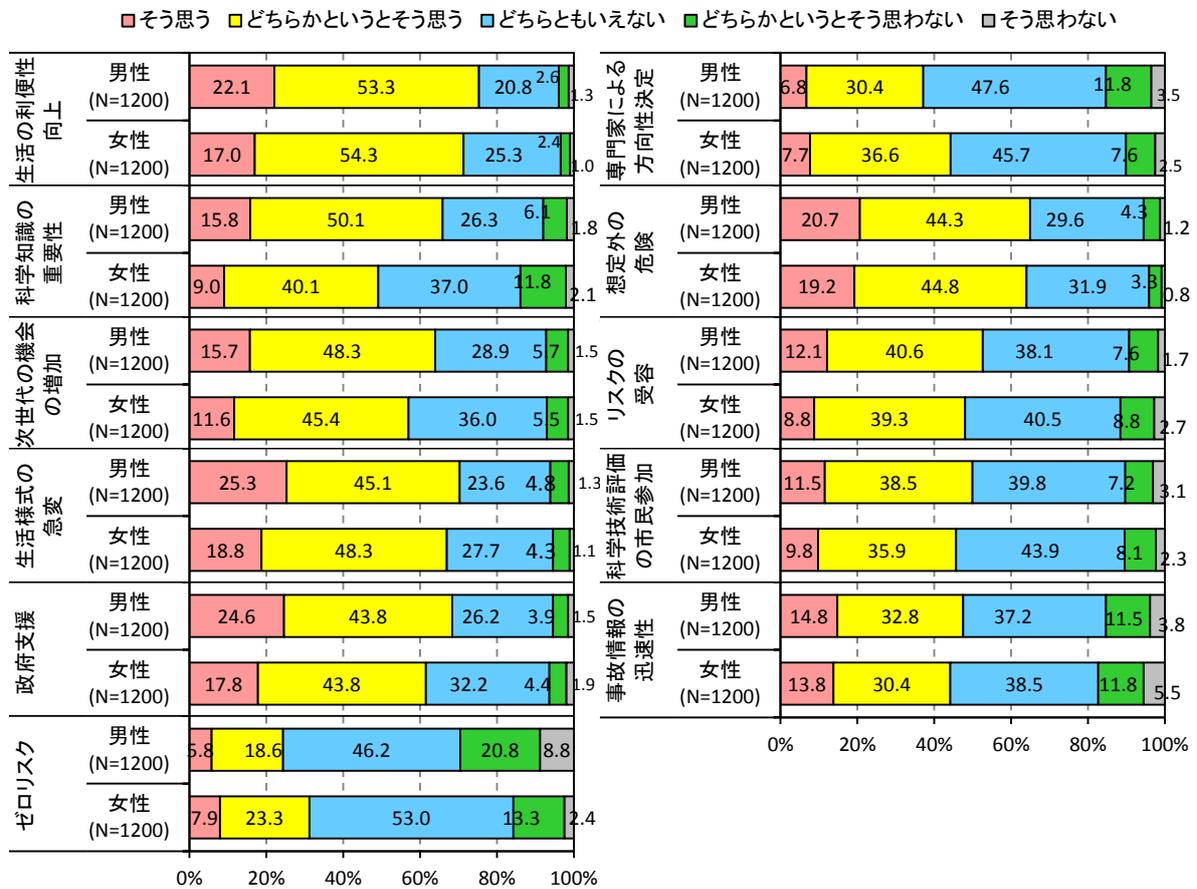


附図 33 科学技術の発展に対する意識(性別)

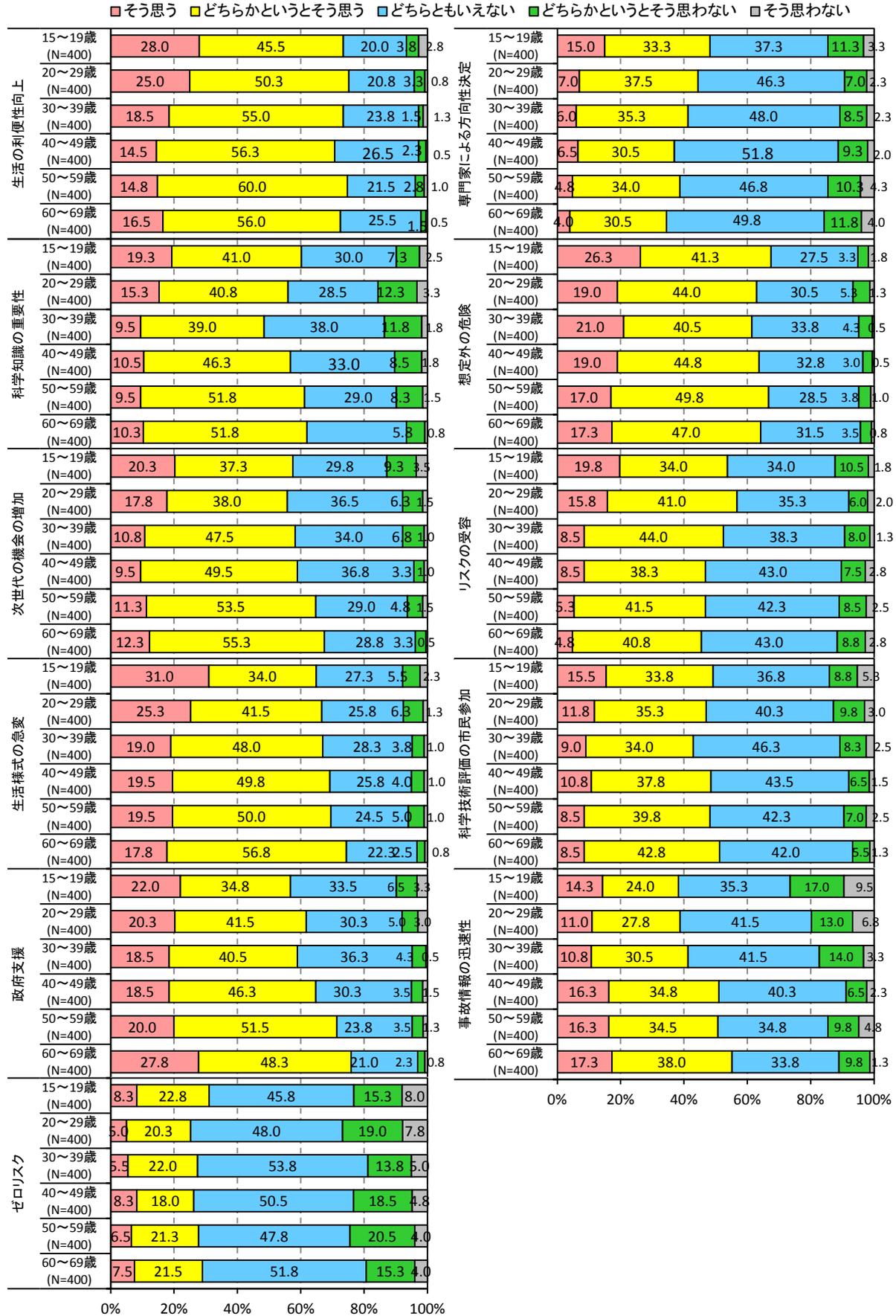


附図 34 科学技術の発展に対する意識(年代別)

15 科学技術に関する意見に対する考え

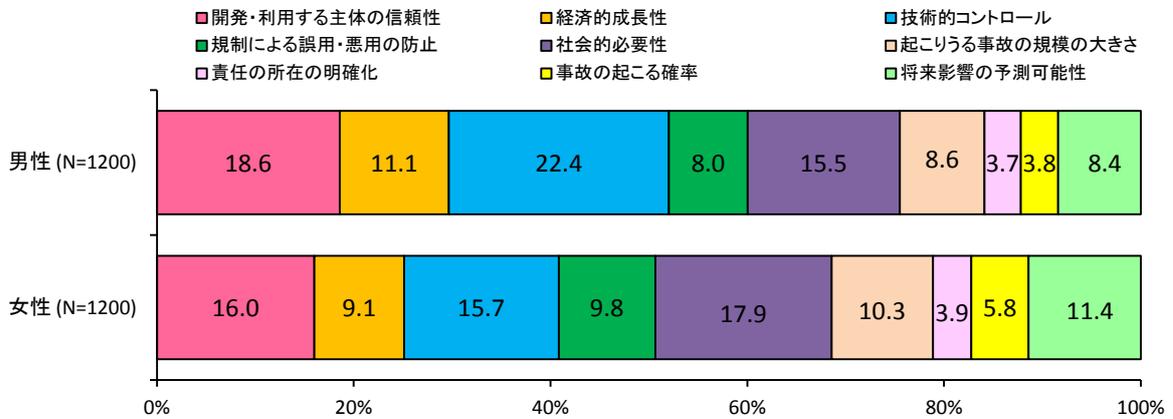


附図 35 科学技術に関する意見に対する意識(性別)

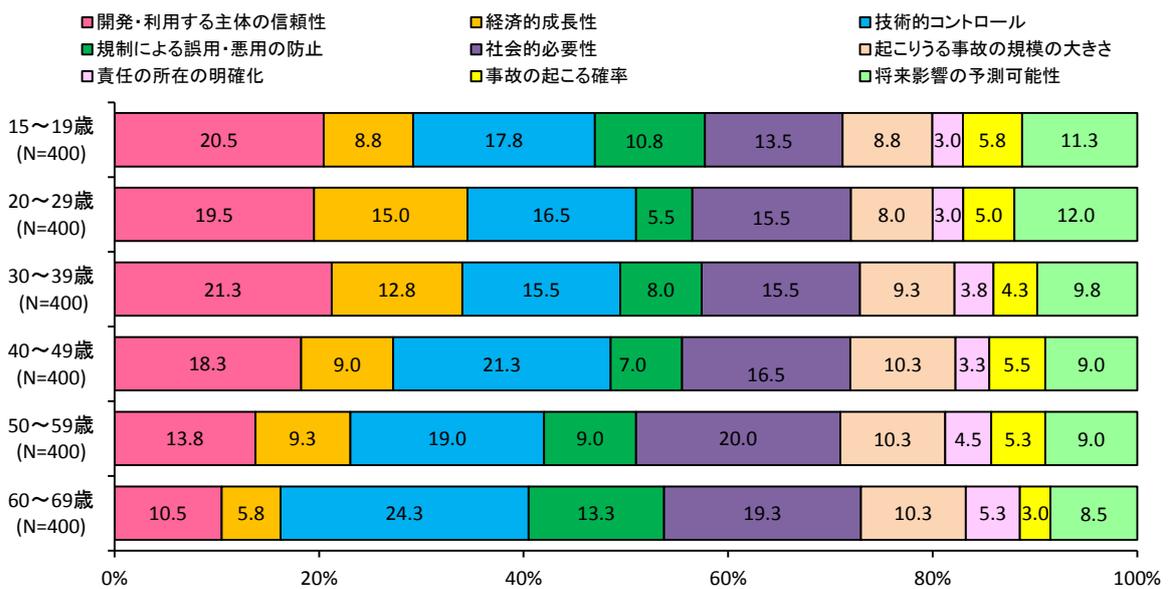


附図 36 科学技術に関する意見に対する意識(年代別)

16 科学技術の評価

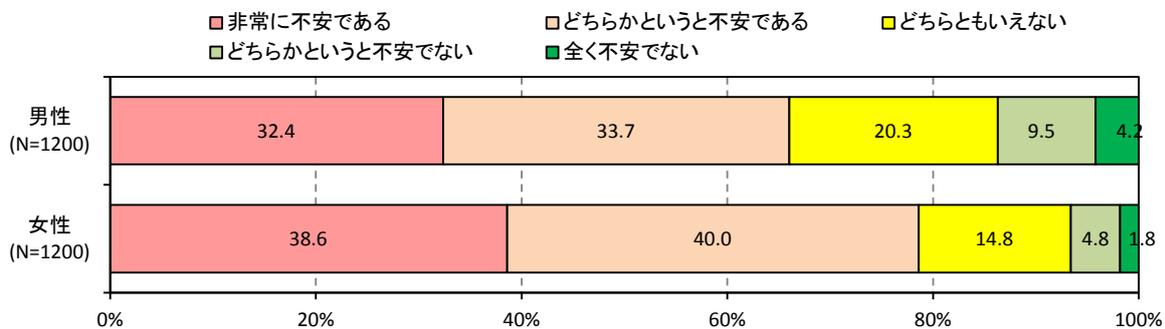


附図 37 科学技術の評価時に最も重視する事項(性別)

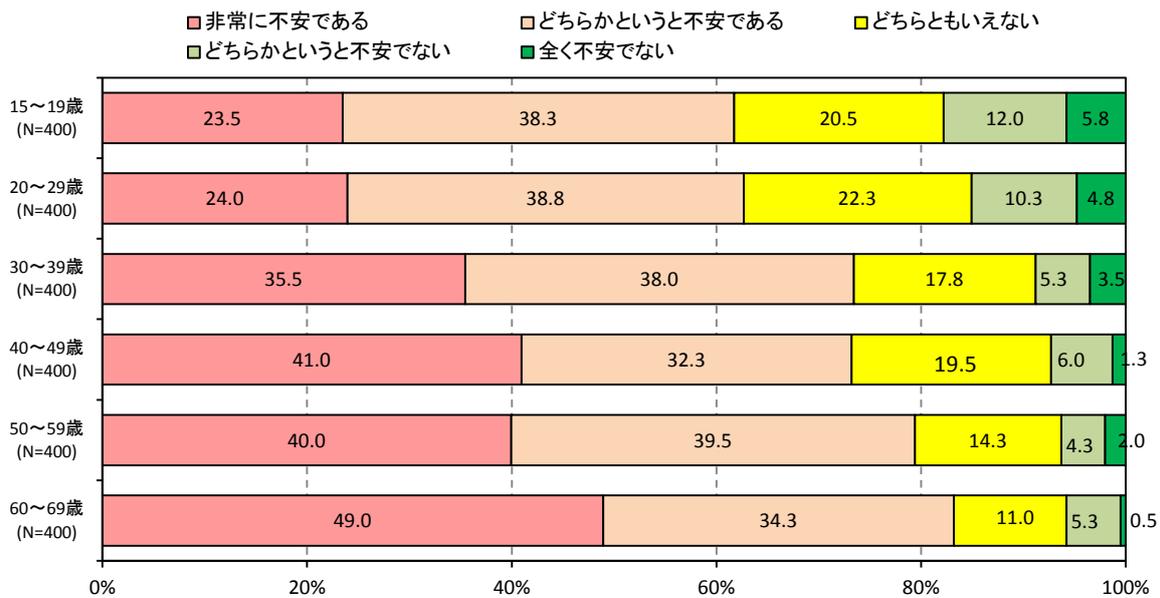


附図 38 科学技術の評価時に最も重視する事項(年代別)

17 福島第一原子力発電所の事故の影響



附図 39 福島第一原子力発電所の事故に対する不安(性別)



附図 40 福島第一原子力発電所の事故に対する不安(年代別)

性・年代別集計表

附表1 性・年代別集計表

上段:実数、下段:比率

問	選択肢	男性							女性							全体		
		10代	20代	30代	40代	50代	60代	計	10代	20代	30代	40代	50代	60代	計			
Q1	あなたは、普段、仕事や授業で行う場合を除いて、次にあげたものを、どのくらい見聞きしたり、読んだりしますか。それぞれについて、最も近いものを1つお選びください。	新聞（印刷版）	37 (18.5%)	45 (22.5%)	66 (33.0%)	99 (49.5%)	122 (61.0%)	153 (76.5%)	522 (43.5%)	23 (11.5%)	33 (16.5%)	62 (31.0%)	86 (43.0%)	128 (64.0%)	134 (67.0%)	466 (38.8%)	988 (41.2%)	
		週に3～4日程度	24 (12.0%)	21 (10.5%)	15 (7.5%)	15 (7.5%)	11 (5.5%)	4 (2.0%)	90 (7.5%)	10 (5.0%)	13 (6.5%)	12 (6.0%)	11 (5.5%)	10 (5.0%)	11 (5.5%)	67 (5.6%)	157 (6.5%)	
		週に1～2日程度	21 (10.5%)	14 (7.0%)	18 (9.0%)	16 (8.0%)	14 (7.0%)	8 (4.0%)	91 (7.6%)	17 (8.5%)	21 (10.5%)	12 (6.0%)	16 (8.0%)	9 (4.5%)	10 (5.0%)	10 (7.1%)	85 (7.3%)	176 (7.3%)
		月に1～2日程度	24 (12.0%)	21 (10.5%)	13 (6.5%)	11 (5.5%)	9 (4.5%)	4 (2.0%)	82 (6.8%)	31 (15.5%)	19 (9.0%)	17 (8.5%)	10 (5.0%)	7 (3.5%)	9 (4.5%)	9 (7.7%)	92 (7.3%)	174 (7.3%)
		見聞きしない／読まない	94 (47.0%)	99 (49.5%)	88 (44.0%)	59 (29.5%)	44 (22.0%)	31 (15.5%)	415 (34.6%)	119 (59.5%)	115 (57.5%)	97 (48.5%)	77 (38.5%)	46 (23.0%)	36 (18.0%)	490 (40.8%)	905 (37.7%)	
新聞（電子版）	ほぼ毎日のように	13 (6.5%)	17 (8.5%)	19 (9.5%)	40 (20.0%)	41 (20.5%)	44 (22.0%)	174 (14.5%)	9 (4.5%)	6 (3.0%)	8 (4.0%)	14 (7.0%)	23 (11.5%)	18 (9.0%)	78 (6.5%)	252 (10.5%)		
	週に3～4日程度	10 (5.0%)	10 (5.0%)	15 (7.5%)	17 (8.5%)	18 (9.0%)	15 (7.5%)	85 (7.1%)	2 (1.0%)	9 (4.5%)	4 (2.0%)	7 (3.5%)	12 (6.0%)	8 (4.0%)	42 (3.5%)	127 (5.3%)		
	週に1～2日程度	15 (7.5%)	8 (4.0%)	18 (9.0%)	12 (6.0%)	23 (11.5%)	22 (11.0%)	98 (8.2%)	6 (3.0%)	15 (7.5%)	10 (5.0%)	12 (6.0%)	10 (5.0%)	12 (6.0%)	65 (5.4%)	163 (6.8%)		
	月に1～2日程度	12 (6.0%)	22 (11.0%)	13 (6.5%)	11 (5.5%)	13 (6.5%)	7 (3.5%)	78 (6.5%)	14 (7.0%)	5 (2.5%)	15 (7.5%)	17 (8.5%)	11 (5.5%)	11 (5.5%)	73 (6.1%)	151 (6.3%)		
	見聞きしない／読まない	150 (75.0%)	143 (71.5%)	135 (67.5%)	120 (60.0%)	105 (52.5%)	112 (56.0%)	765 (63.8%)	169 (84.5%)	165 (82.5%)	163 (81.5%)	150 (75.0%)	144 (72.0%)	151 (75.5%)	942 (78.5%)	1707 (71.1%)		
テレビ	ほぼ毎日のように	127 (63.5%)	127 (63.5%)	137 (68.5%)	167 (83.5%)	180 (90.0%)	193 (96.5%)	931 (77.6%)	156 (78.0%)	153 (76.5%)	167 (83.5%)	181 (90.5%)	186 (93.0%)	183 (91.5%)	1026 (85.5%)	1957 (81.5%)		
	週に3～4日程度	21 (10.5%)	18 (9.0%)	29 (14.5%)	14 (7.0%)	7 (3.5%)	4 (2.0%)	93 (7.8%)	20 (10.0%)	16 (8.0%)	10 (5.0%)	6 (3.0%)	6 (3.0%)	12 (6.0%)	70 (5.8%)	163 (6.8%)		
	週に1～2日程度	22 (11.0%)	25 (12.5%)	11 (5.5%)	9 (4.5%)	4 (2.0%)	1 (0.5%)	72 (6.0%)	10 (5.0%)	13 (6.5%)	12 (6.0%)	6 (3.0%)	4 (2.0%)	1 (0.5%)	46 (3.8%)	118 (4.9%)		
	月に1～2日程度	8 (4.0%)	5 (2.5%)	1 (0.5%)	3 (1.5%)	0 (0.0%)	1 (0.5%)	18 (1.5%)	6 (3.0%)	2 (1.0%)	4 (2.0%)	2 (1.0%)	0 (0.0%)	1 (0.5%)	15 (1.3%)	33 (1.4%)		
	見聞きしない／読まない	22 (11.0%)	25 (12.5%)	22 (11.0%)	7 (3.5%)	9 (4.5%)	1 (0.5%)	86 (7.2%)	8 (4.0%)	16 (8.0%)	7 (3.5%)	5 (2.5%)	4 (2.0%)	3 (1.5%)	43 (3.6%)	129 (5.4%)		
ラジオ	ほぼ毎日のように	15 (7.5%)	15 (7.5%)	26 (13.0%)	38 (19.0%)	44 (22.0%)	51 (25.5%)	189 (15.8%)	10 (5.0%)	10 (5.0%)	17 (8.5%)	32 (16.0%)	26 (13.0%)	35 (17.5%)	130 (10.8%)	319 (13.3%)		
	週に3～4日程度	17 (8.5%)	12 (6.0%)	24 (12.0%)	20 (10.0%)	29 (14.5%)	26 (13.0%)	128 (10.7%)	7 (3.5%)	10 (5.0%)	7 (3.5%)	11 (5.5%)	22 (11.0%)	13 (6.5%)	70 (5.8%)	198 (8.3%)		
	週に1～2日程度	18 (9.0%)	25 (12.5%)	27 (13.5%)	20 (10.0%)	24 (12.0%)	35 (17.5%)	149 (12.4%)	24 (12.0%)	19 (9.5%)	20 (10.0%)	18 (9.0%)	15 (7.5%)	18 (9.0%)	114 (9.5%)	263 (11.0%)		
	月に1～2日程度	27 (13.5%)	30 (15.0%)	24 (12.0%)	41 (20.5%)	26 (13.0%)	22 (11.0%)	170 (14.2%)	37 (18.5%)	17 (8.5%)	28 (14.0%)	23 (11.5%)	22 (11.0%)	21 (10.5%)	148 (12.3%)	318 (13.3%)		
	見聞きしない／読まない	123 (61.5%)	118 (59.0%)	99 (49.5%)	81 (40.5%)	77 (38.5%)	66 (33.0%)	564 (47.0%)	122 (61.0%)	144 (72.0%)	128 (64.0%)	116 (58.0%)	115 (57.5%)	113 (56.5%)	738 (61.5%)	1302 (54.3%)		
インターネット（新聞や本、雑誌の電子版、SNS及びメールでの利用は除く）	ほぼ毎日のように	141 (70.5%)	168 (84.0%)	162 (81.0%)	174 (87.0%)	166 (83.0%)	170 (85.0%)	981 (81.8%)	137 (68.5%)	146 (73.0%)	161 (80.5%)	164 (82.0%)	166 (83.0%)	151 (75.5%)	925 (77.1%)	1906 (79.4%)		
	週に3～4日程度	17 (8.5%)	7 (3.5%)	19 (9.5%)	12 (6.0%)	15 (7.5%)	13 (6.5%)	83 (6.9%)	24 (12.0%)	20 (10.0%)	14 (7.0%)	10 (5.0%)	9 (4.5%)	15 (7.5%)	92 (7.7%)	175 (7.3%)		
	週に1～2日程度	9 (4.5%)	7 (3.5%)	6 (3.0%)	4 (2.0%)	7 (3.5%)	5 (2.5%)	38 (3.2%)	10 (5.0%)	13 (6.5%)	9 (4.5%)	7 (3.5%)	7 (3.5%)	8 (4.0%)	54 (4.5%)	92 (3.8%)		
	月に1～2日程度	5 (2.5%)	6 (3.0%)	2 (1.0%)	3 (1.5%)	1 (0.5%)	1 (0.5%)	18 (1.5%)	8 (4.0%)	0 (0.0%)	5 (2.5%)	2 (1.0%)	4 (2.0%)	5 (2.5%)	24 (2.0%)	42 (1.8%)		
	見聞きしない／読まない	28 (14.0%)	12 (6.0%)	11 (5.5%)	7 (3.5%)	11 (5.5%)	11 (5.5%)	80 (6.7%)	21 (10.5%)	21 (10.5%)	11 (5.5%)	17 (8.5%)	14 (7.0%)	21 (10.5%)	105 (8.8%)	185 (7.7%)		
LINEなどのSNSやFacebookや	ほぼ毎日のように	125 (62.5%)	91 (45.5%)	60 (30.0%)	55 (27.5%)	47 (23.5%)	35 (17.5%)	413 (34.4%)	166 (83.0%)	144 (72.0%)	79 (39.5%)	59 (29.5%)	48 (24.0%)	24 (12.0%)	520 (43.3%)	933 (38.9%)		
	週に3～4日程度	16 (8.0%)	27 (13.5%)	19 (9.5%)	18 (9.0%)	11 (5.5%)	10 (5.0%)	101 (8.4%)	12 (6.0%)	15 (7.5%)	23 (11.5%)	18 (9.0%)	10 (5.0%)	8 (4.0%)	86 (7.2%)	187 (7.8%)		
	週に1～2日程度	12 (6.0%)	11 (5.5%)	24 (12.0%)	16 (8.0%)	21 (10.5%)	20 (10.0%)	110 (9.2%)	6 (3.0%)	10 (5.0%)	19 (9.5%)	11 (5.5%)	22 (11.0%)	8 (4.0%)	76 (6.3%)	186 (7.8%)		
	月に1～2日程度	7 (3.5%)	16 (8.0%)	20 (10.0%)	14 (7.0%)	17 (8.5%)	8 (4.0%)	82 (6.8%)	3 (1.5%)	2 (1.0%)	7 (3.5%)	10 (5.0%)	9 (4.5%)	9 (4.5%)	40 (3.3%)	122 (5.1%)		
	見聞きしない／読まない	40 (20.0%)	49 (24.5%)	77 (38.5%)	97 (48.5%)	104 (52.0%)	127 (63.5%)	494 (41.2%)	13 (6.5%)	29 (14.5%)	72 (36.0%)	102 (51.0%)	111 (55.5%)	151 (75.5%)	478 (39.8%)	972 (40.5%)		

上段:実数、下段:比率

問	選択肢	男性							女性							全体
		10代	20代	30代	40代	50代	60代	計	10代	20代	30代	40代	50代	60代	計	
本 (電子版を含む)	ほぼ毎日のように	26 (13.0%)	31 (15.5%)	29 (14.5%)	31 (15.5%)	36 (18.0%)	33 (16.5%)	186 (15.5%)	36 (18.0%)	25 (12.5%)	20 (10.0%)	44 (22.0%)	43 (21.5%)	38 (19.0%)	206 (17.2%)	392 (16.3%)
	週に3~4日程度	26 (13.0%)	30 (15.0%)	23 (11.5%)	24 (12.0%)	19 (9.5%)	22 (11.0%)	144 (12.0%)	27 (13.5%)	21 (10.5%)	22 (11.0%)	27 (13.5%)	21 (10.5%)	14 (7.0%)	132 (11.0%)	276 (11.5%)
	週に1~2日程度	36 (18.0%)	37 (18.5%)	33 (16.5%)	27 (13.5%)	30 (15.0%)	22 (11.0%)	185 (15.4%)	32 (16.0%)	33 (16.5%)	29 (14.5%)	29 (14.5%)	25 (12.5%)	26 (13.0%)	174 (14.5%)	359 (15.0%)
	月に1~2日程度	40 (20.0%)	35 (17.5%)	52 (26.0%)	52 (26.0%)	39 (19.5%)	36 (18.0%)	254 (21.2%)	48 (24.0%)	45 (22.5%)	40 (20.0%)	55 (27.5%)	38 (19.0%)	40 (20.0%)	266 (22.2%)	520 (21.7%)
	見聞きしない/読まない	72 (36.0%)	67 (33.5%)	63 (31.5%)	66 (33.0%)	76 (38.0%)	87 (43.5%)	431 (35.9%)	57 (28.5%)	76 (38.0%)	89 (44.5%)	45 (22.5%)	73 (36.5%)	82 (41.0%)	422 (35.2%)	853 (35.5%)
週刊誌などの雑誌	ほぼ毎日のように	9 (4.5%)	7 (3.5%)	6 (3.0%)	7 (3.5%)	8 (4.0%)	3 (1.5%)	40 (3.3%)	9 (4.5%)	1 (0.5%)	5 (2.5%)	5 (2.5%)	3 (1.5%)	4 (2.0%)	27 (2.3%)	67 (2.8%)
	週に3~4日程度	10 (5.0%)	9 (4.5%)	12 (6.0%)	11 (5.5%)	7 (3.5%)	11 (5.5%)	60 (5.0%)	14 (7.0%)	6 (3.0%)	9 (4.5%)	9 (4.5%)	5 (2.5%)	2 (1.0%)	45 (3.8%)	105 (4.4%)
	週に1~2日程度	24 (12.0%)	51 (25.5%)	55 (27.5%)	45 (22.5%)	32 (16.0%)	29 (14.5%)	236 (19.7%)	25 (12.5%)	32 (16.0%)	25 (12.5%)	30 (15.0%)	29 (14.5%)	21 (10.5%)	162 (13.5%)	398 (16.6%)
	月に1~2日程度	30 (15.0%)	45 (22.5%)	53 (26.5%)	65 (32.5%)	59 (29.5%)	49 (24.5%)	301 (25.1%)	51 (25.5%)	56 (28.0%)	71 (35.5%)	78 (39.0%)	64 (32.0%)	76 (38.0%)	396 (33.0%)	697 (29.0%)
	見聞きしない/読まない	127 (63.5%)	88 (44.0%)	74 (37.0%)	72 (36.0%)	94 (47.0%)	108 (54.0%)	563 (46.9%)	101 (50.5%)	105 (52.5%)	90 (45.0%)	78 (39.0%)	99 (49.5%)	97 (48.5%)	570 (47.5%)	1133 (47.2%)

Q2 Q1で「インターネット(新聞や本、雑誌の電子版、SNS及びメールでの利用は除く)又は「FacebookやTwitter、LINEなどのSNS)を利用している方にお聞きします。普段、それらを利用する時、どんな機器を使っていますか。次のうち、利用頻度の高い機器上位3つまでお選びください。

1位	パソコン	83 (44.6%)	127 (65.5%)	133 (69.3%)	156 (80.4%)	171 (89.1%)	184 (96.3%)	854 (74.3%)	26 (13.4%)	43 (22.3%)	86 (44.1%)	126 (67.4%)	165 (88.7%)	162 (89.0%)	608 (53.5%)	1462 (64.0%)
	iPadなどのタブレット端末	10 (5.4%)	5 (2.6%)	9 (4.7%)	4 (2.1%)	6 (3.1%)	1 (0.5%)	35 (3.0%)	5 (2.6%)	5 (2.6%)	3 (1.5%)	6 (3.2%)	3 (1.6%)	7 (3.8%)	29 (2.6%)	64 (2.8%)
	スマートフォン	91 (48.9%)	61 (31.4%)	49 (25.0%)	33 (17.0%)	14 (7.3%)	6 (3.1%)	253 (22.0%)	158 (81.4%)	143 (74.1%)	105 (53.8%)	50 (26.7%)	18 (9.7%)	10 (5.5%)	484 (42.6%)	737 (32.2%)
	携帯電話 (スマートフォンを除く)	1 (0.5%)	1 (0.5%)	1 (0.5%)	0 (0.0%)	1 (0.5%)	0 (0.0%)	4 (0.3%)	5 (2.6%)	2 (1.0%)	1 (0.5%)	4 (2.1%)	0 (0.0%)	1 (0.5%)	13 (1.1%)	17 (0.7%)
	インターネットに接続したテレビ	1 (0.5%)	0 (0.0%)	1 (0.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (0.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.5%)	0 (0.0%)	2 (1.1%)	3 (0.3%)	5 (0.2%)
	インターネットに接続したゲーム機	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	1 (0.0%)						
	2位	パソコン	72 (38.7%)	44 (22.7%)	38 (19.8%)	28 (14.4%)	15 (7.8%)	3 (1.6%)	200 (17.4%)	110 (56.7%)	96 (49.7%)	65 (33.3%)	38 (20.3%)	13 (7.0%)	12 (6.6%)	334 (29.4%)
iPadなどのタブレット端末		16 (8.6%)	28 (14.4%)	18 (9.4%)	27 (13.9%)	23 (12.0%)	26 (13.6%)	138 (12.0%)	13 (6.7%)	17 (8.8%)	10 (5.1%)	20 (10.7%)	16 (8.6%)	10 (5.5%)	86 (7.6%)	224 (9.8%)
スマートフォン		43 (23.1%)	70 (36.1%)	73 (38.0%)	66 (34.0%)	72 (37.5%)	36 (18.8%)	360 (31.3%)	10 (5.2%)	28 (14.5%)	39 (20.0%)	45 (24.1%)	55 (29.6%)	23 (12.6%)	200 (17.6%)	560 (24.5%)
携帯電話 (スマートフォンを除く)		11 (5.9%)	12 (6.2%)	18 (9.4%)	21 (10.8%)	18 (9.4%)	35 (18.3%)	115 (10.0%)	8 (4.1%)	10 (5.2%)	11 (5.6%)	14 (7.5%)	27 (14.5%)	21 (11.5%)	91 (8.0%)	206 (9.0%)
インターネットに接続したテレビ		2 (1.1%)	1 (0.5%)	0 (0.0%)	3 (1.5%)	1 (0.5%)	4 (2.1%)	11 (1.0%)	7 (3.6%)	4 (2.1%)	2 (1.0%)	4 (2.1%)	2 (1.1%)	0 (0.0%)	19 (1.7%)	30 (1.3%)
インターネットに接続したゲーム機		11 (5.9%)	6 (3.1%)	5 (2.6%)	3 (1.5%)	1 (0.5%)	1 (0.5%)	27 (2.3%)	6 (3.1%)	2 (1.0%)	1 (0.5%)	1 (0.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	10 (0.9%)	37 (1.6%)
3位		パソコン	10 (5.4%)	11 (5.7%)	12 (6.3%)	5 (2.6%)	5 (2.6%)	0 (0.0%)	43 (3.7%)	16 (8.2%)	15 (7.8%)	4 (2.1%)	8 (4.3%)	5 (2.7%)	1 (0.5%)	49 (4.3%)
	iPadなどのタブレット端末	14 (7.5%)	18 (9.3%)	16 (8.3%)	26 (13.4%)	23 (12.0%)	10 (5.2%)	107 (9.3%)	11 (5.7%)	16 (8.3%)	13 (6.7%)	6 (3.2%)	8 (4.3%)	1 (0.5%)	55 (4.8%)	162 (7.1%)
	スマートフォン	7 (3.8%)	7 (3.6%)	8 (4.2%)	4 (2.1%)	10 (5.2%)	6 (3.1%)	42 (3.7%)	2 (1.0%)	2 (1.0%)	0 (0.0%)	4 (2.1%)	4 (2.2%)	2 (1.1%)	14 (1.2%)	56 (2.4%)
	携帯電話 (スマートフォンを除く)	7 (3.8%)	12 (6.2%)	7 (3.6%)	6 (3.1%)	5 (2.6%)	10 (5.2%)	47 (4.1%)	4 (2.1%)	2 (1.0%)	6 (3.1%)	7 (3.7%)	3 (1.6%)	2 (1.1%)	24 (2.1%)	71 (3.1%)
	インターネットに接続したテレビ	7 (3.8%)	8 (4.1%)	4 (2.1%)	7 (3.6%)	1 (0.5%)	4 (2.1%)	31 (2.7%)	6 (3.1%)	8 (4.1%)	2 (1.0%)	1 (0.5%)	6 (3.2%)	1 (0.5%)	24 (2.1%)	55 (2.4%)
	インターネットに接続したゲーム機	16 (8.6%)	9 (4.6%)	3 (1.6%)	2 (1.0%)	1 (0.5%)	2 (1.0%)	33 (2.9%)	5 (2.6%)	6 (3.1%)	1 (0.5%)	3 (1.6%)	0 (0.0%)	1 (0.5%)	16 (1.4%)	49 (2.1%)

問	選択肢	男性							女性							全体
		10代	20代	30代	40代	50代	60代	計	10代	20代	30代	40代	50代	60代	計	
Q3 あなたは、見聞きした話題の内容や自分の意見・感想を他の人に伝えることはありますか。それぞれについて、最も近いものを1つお選びください																
新聞社に手紙やメールで投書する	よくする	6 (3.0%)	3 (1.5%)	3 (1.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.5%)	13 (1.1%)	1 (0.5%)	3 (1.5%)	1 (0.5%)	0 (0.0%)	1 (0.5%)	1 (0.5%)	7 (0.6%)	20 (0.8%)
	たまにする	6 (3.0%)	4 (2.0%)	3 (1.5%)	3 (1.5%)	4 (2.0%)	6 (3.0%)	26 (2.2%)	6 (3.0%)	2 (1.0%)	0 (0.0%)	6 (3.0%)	8 (4.0%)	4 (2.0%)	26 (2.2%)	52 (2.2%)
	ほとんどしない	12 (6.0%)	16 (8.0%)	10 (5.0%)	16 (8.0%)	15 (7.5%)	22 (11.0%)	91 (7.6%)	4 (2.0%)	3 (1.5%)	7 (3.5%)	11 (5.5%)	20 (10.0%)	16 (8.0%)	61 (5.1%)	152 (6.3%)
	全くない	176 (88.0%)	177 (88.5%)	184 (92.0%)	181 (90.5%)	181 (90.5%)	171 (85.5%)	1070 (89.2%)	189 (94.5%)	192 (96.0%)	192 (96.0%)	183 (91.5%)	171 (85.5%)	179 (89.5%)	1106 (92.2%)	2176 (90.7%)
テレビ局に手紙やメールで投書する	よくする	4 (2.0%)	3 (1.5%)	0 (0.0%)	1 (0.5%)	1 (0.5%)	0 (0.0%)	9 (0.8%)	1 (0.5%)	3 (1.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (0.3%)	13 (0.5%)
	たまにする	7 (3.5%)	3 (1.5%)	11 (5.5%)	3 (1.5%)	3 (1.5%)	7 (3.5%)	34 (2.8%)	5 (2.5%)	2 (1.0%)	3 (1.5%)	3 (1.5%)	10 (5.0%)	2 (1.0%)	25 (2.1%)	59 (2.5%)
	ほとんどしない	12 (6.0%)	12 (6.0%)	9 (4.5%)	11 (5.5%)	14 (7.0%)	16 (8.0%)	74 (6.2%)	9 (4.5%)	12 (6.0%)	12 (6.0%)	15 (7.5%)	16 (8.0%)	13 (6.5%)	77 (6.4%)	151 (6.3%)
	全くない	177 (88.5%)	182 (91.0%)	180 (90.0%)	185 (92.5%)	182 (91.0%)	177 (88.5%)	1083 (90.3%)	185 (92.5%)	183 (91.5%)	185 (92.5%)	182 (91.0%)	174 (87.0%)	185 (92.5%)	1094 (91.2%)	2177 (90.7%)
ラジオ局に手紙やメールで投書する	よくする	4 (2.0%)	4 (2.0%)	1 (0.5%)	2 (1.0%)	1 (0.5%)	0 (0.0%)	12 (1.0%)	1 (0.5%)	4 (2.0%)	1 (0.5%)	2 (1.0%)	1 (0.5%)	0 (0.0%)	9 (0.8%)	21 (0.9%)
	たまにする	13 (6.5%)	5 (2.5%)	7 (3.5%)	3 (1.5%)	6 (3.0%)	2 (1.0%)	36 (3.0%)	5 (2.5%)	1 (0.5%)	2 (1.0%)	3 (1.5%)	4 (2.0%)	4 (2.0%)	19 (1.6%)	55 (2.3%)
	ほとんどしない	20 (10.0%)	15 (7.5%)	12 (6.0%)	16 (8.0%)	11 (5.5%)	13 (6.5%)	87 (7.3%)	12 (6.0%)	11 (5.5%)	10 (5.0%)	10 (5.0%)	11 (5.5%)	7 (3.5%)	61 (5.1%)	148 (6.2%)
	全くない	163 (81.5%)	176 (88.0%)	180 (90.0%)	179 (89.5%)	182 (91.0%)	185 (92.5%)	1065 (88.8%)	182 (91.0%)	184 (92.0%)	187 (93.5%)	185 (92.5%)	184 (92.0%)	189 (94.5%)	1111 (92.6%)	2176 (90.7%)
雑誌社に手紙やメールで投書する	よくする	4 (2.0%)	4 (2.0%)	3 (1.5%)	0 (0.0%)	1 (0.5%)	0 (0.0%)	12 (1.0%)	1 (0.5%)	2 (1.0%)	1 (0.5%)	0 (0.0%)	1 (0.5%)	0 (0.0%)	5 (0.4%)	17 (0.7%)
	たまにする	6 (3.0%)	2 (1.0%)	6 (3.0%)	3 (1.5%)	6 (3.0%)	2 (1.0%)	25 (2.1%)	9 (4.5%)	3 (1.5%)	4 (2.0%)	3 (1.5%)	5 (2.5%)	3 (1.5%)	27 (2.3%)	52 (2.2%)
	ほとんどしない	11 (5.5%)	16 (8.0%)	7 (3.5%)	13 (6.5%)	9 (4.5%)	19 (9.5%)	75 (6.3%)	11 (5.5%)	6 (3.0%)	7 (3.5%)	8 (4.0%)	11 (5.5%)	8 (4.0%)	51 (4.3%)	126 (5.3%)
	全くない	179 (89.5%)	178 (89.0%)	184 (92.0%)	184 (92.0%)	184 (92.0%)	179 (89.5%)	1088 (90.7%)	179 (89.5%)	189 (94.5%)	188 (94.0%)	189 (94.5%)	183 (91.5%)	189 (94.5%)	1117 (93.1%)	2205 (91.9%)
ホームページやブログ、電子掲示板に書き込む	よくする	13 (6.5%)	13 (6.5%)	4 (2.0%)	8 (4.0%)	3 (1.5%)	3 (1.5%)	44 (3.7%)	10 (5.0%)	6 (3.0%)	5 (2.5%)	6 (3.0%)	4 (2.0%)	1 (0.5%)	32 (2.7%)	76 (3.2%)
	たまにする	25 (12.5%)	27 (13.5%)	24 (12.0%)	27 (13.5%)	18 (9.0%)	18 (9.0%)	139 (11.6%)	21 (10.5%)	22 (11.0%)	19 (9.5%)	22 (11.0%)	17 (8.5%)	8 (4.0%)	109 (9.1%)	248 (10.3%)
	ほとんどしない	28 (14.0%)	28 (14.0%)	32 (16.0%)	30 (15.0%)	31 (15.5%)	29 (14.5%)	178 (14.8%)	29 (14.5%)	35 (17.5%)	22 (11.0%)	29 (14.5%)	30 (15.0%)	18 (9.0%)	163 (13.6%)	341 (14.2%)
	全くない	134 (67.0%)	132 (66.0%)	140 (70.0%)	135 (67.5%)	148 (74.0%)	150 (75.0%)	839 (69.9%)	140 (70.0%)	137 (68.5%)	154 (77.0%)	143 (71.5%)	149 (74.5%)	173 (86.5%)	896 (74.7%)	1735 (72.3%)
FacebookやTwitter、LINEなどのSNSに書き込む	よくする	43 (21.5%)	25 (12.5%)	17 (8.5%)	5 (2.5%)	10 (5.0%)	11 (5.5%)	111 (9.3%)	77 (38.5%)	36 (18.0%)	15 (7.5%)	14 (7.0%)	7 (3.5%)	7 (3.5%)	156 (13.0%)	267 (11.1%)
	たまにする	61 (30.5%)	49 (24.5%)	34 (17.0%)	33 (16.5%)	25 (12.5%)	15 (7.5%)	217 (18.1%)	47 (23.5%)	56 (29.0%)	36 (18.0%)	26 (13.0%)	25 (12.5%)	8 (4.0%)	200 (16.7%)	417 (17.4%)
	ほとんどしない	25 (12.5%)	25 (12.5%)	28 (14.0%)	17 (8.5%)	28 (14.0%)	24 (12.0%)	147 (12.3%)	21 (10.5%)	32 (16.0%)	23 (11.5%)	22 (11.0%)	13 (6.5%)	8 (4.0%)	119 (9.9%)	266 (11.1%)
	全くない	71 (35.5%)	101 (50.5%)	121 (60.5%)	145 (72.5%)	137 (68.5%)	150 (75.0%)	725 (60.4%)	55 (27.5%)	74 (37.0%)	126 (63.0%)	138 (69.0%)	155 (77.5%)	177 (88.5%)	725 (60.4%)	1450 (60.4%)
家族や友人、知人に話をする	よくする	57 (28.5%)	41 (20.5%)	49 (24.5%)	43 (21.5%)	51 (25.5%)	35 (17.5%)	276 (23.0%)	99 (49.5%)	99 (49.5%)	60 (30.0%)	79 (39.5%)	58 (29.0%)	79 (39.5%)	474 (39.5%)	750 (31.3%)
	たまにする	83 (41.5%)	74 (37.0%)	85 (42.5%)	86 (43.0%)	83 (41.5%)	93 (46.5%)	504 (42.0%)	62 (31.0%)	65 (32.5%)	92 (46.0%)	85 (42.5%)	101 (50.5%)	77 (38.5%)	482 (40.2%)	986 (41.1%)
	ほとんどしない	21 (10.5%)	30 (15.0%)	27 (13.5%)	28 (14.0%)	29 (14.5%)	31 (15.5%)	166 (13.8%)	9 (4.5%)	10 (5.0%)	19 (9.5%)	8 (4.0%)	16 (8.0%)	16 (8.0%)	78 (6.5%)	244 (10.2%)
	全くない	39 (19.5%)	55 (27.5%)	39 (19.5%)	43 (21.5%)	37 (18.5%)	41 (20.5%)	254 (21.2%)	30 (15.0%)	26 (13.0%)	29 (14.5%)	28 (14.0%)	25 (12.5%)	28 (14.0%)	166 (13.8%)	420 (17.5%)

問	選択肢	男性						女性						全体		
		10代	20代	30代	40代	50代	60代	計	10代	20代	30代	40代	50代		60代	計
Q4	あなたは、最近1年間に、次の施設等を訪れたことがありますか。訪れたことのある施設をいくつでもお選びください															
	動物園	34 (17.0%)	26 (13.0%)	49 (24.5%)	33 (16.5%)	25 (12.5%)	38 (19.0%)	205 (17.1%)	44 (22.0%)	64 (32.0%)	85 (42.5%)	37 (18.5%)	31 (15.5%)	34 (17.0%)	295 (24.6%)	500 (20.8%)
	水族館	31 (15.5%)	40 (20.0%)	59 (29.5%)	53 (26.5%)	30 (15.0%)	38 (19.0%)	251 (20.9%)	47 (23.5%)	81 (40.5%)	72 (36.0%)	43 (21.5%)	33 (16.5%)	50 (25.0%)	326 (27.2%)	577 (24.0%)
	植物園	12 (6.0%)	7 (3.5%)	11 (5.5%)	11 (5.5%)	16 (8.0%)	21 (10.5%)	78 (6.5%)	12 (6.0%)	20 (10.0%)	17 (8.5%)	15 (7.5%)	24 (12.0%)	32 (16.0%)	120 (10.0%)	198 (8.3%)
	博物館	30 (15.0%)	22 (11.0%)	29 (14.5%)	24 (12.0%)	32 (16.0%)	27 (13.5%)	164 (13.7%)	24 (12.0%)	34 (17.0%)	26 (13.0%)	27 (13.5%)	39 (19.5%)	39 (19.5%)	189 (15.8%)	353 (14.7%)
	科学館	23 (11.5%)	12 (6.0%)	22 (11.0%)	19 (9.5%)	18 (9.0%)	11 (5.5%)	105 (8.8%)	13 (6.5%)	24 (12.0%)	25 (12.5%)	17 (8.5%)	12 (6.0%)	10 (5.0%)	101 (8.4%)	206 (8.6%)
	プラネタリウム	15 (7.5%)	13 (6.5%)	14 (7.0%)	10 (5.0%)	8 (4.0%)	6 (3.0%)	66 (5.5%)	17 (8.5%)	29 (14.5%)	25 (12.5%)	15 (7.5%)	13 (6.5%)	10 (5.0%)	109 (9.1%)	175 (7.3%)
	図書館	100 (50.0%)	71 (35.5%)	69 (34.5%)	65 (32.5%)	60 (30.0%)	83 (41.5%)	448 (37.3%)	122 (61.0%)	85 (42.5%)	90 (45.0%)	102 (51.0%)	87 (43.5%)	89 (44.5%)	575 (47.9%)	1023 (42.6%)
	美術館	19 (9.5%)	23 (11.5%)	29 (14.5%)	19 (9.5%)	32 (16.0%)	56 (28.0%)	178 (14.8%)	30 (15.0%)	43 (21.5%)	36 (18.0%)	42 (21.0%)	64 (32.0%)	78 (39.0%)	293 (24.4%)	471 (19.6%)
	コンサートホール	29 (14.5%)	25 (12.5%)	23 (11.5%)	24 (12.0%)	34 (17.0%)	34 (17.0%)	169 (14.1%)	83 (41.5%)	57 (28.5%)	42 (21.0%)	46 (23.0%)	64 (32.0%)	57 (28.5%)	349 (29.1%)	518 (21.6%)
	劇場	19 (9.5%)	9 (4.5%)	10 (5.0%)	8 (4.0%)	18 (9.0%)	14 (7.0%)	78 (6.5%)	27 (13.5%)	32 (16.0%)	15 (7.5%)	21 (10.5%)	44 (22.0%)	41 (20.5%)	180 (15.0%)	258 (10.8%)
	映画館	85 (42.5%)	82 (41.0%)	72 (36.0%)	80 (40.0%)	76 (38.0%)	74 (37.0%)	469 (39.1%)	145 (72.5%)	120 (60.0%)	99 (49.5%)	104 (52.0%)	100 (50.0%)	78 (39.0%)	646 (53.8%)	1115 (46.5%)
	サイエンスカフェ	0 (0.0%)	1 (0.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.5%)	1 (0.5%)	3 (0.3%)	2 (1.0%)	0 (0.0%)	1 (0.5%)	1 (0.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (0.3%)	7 (0.3%)
	いずれも訪れていない	45 (22.5%)	63 (31.5%)	56 (28.0%)	60 (30.0%)	67 (33.5%)	51 (25.5%)	342 (28.5%)	15 (7.5%)	29 (14.5%)	28 (14.0%)	33 (16.5%)	37 (18.5%)	45 (22.5%)	183 (15.3%)	525 (21.9%)
Q5	あなたは、次のことにどのくらい関心をもっていますか。それぞれについて、当てはまるものをお選びください。															
国際政治・外交	非常に関心がある	27 (13.5%)	34 (17.0%)	36 (19.0%)	32 (16.0%)	32 (16.0%)	63 (31.5%)	226 (18.8%)	16 (8.0%)	11 (5.5%)	10 (5.0%)	13 (6.5%)	18 (9.0%)	28 (14.0%)	96 (8.0%)	322 (13.4%)
	どちらかというに関心がある	70 (35.0%)	92 (46.0%)	101 (50.5%)	112 (56.0%)	111 (55.5%)	105 (52.5%)	591 (49.3%)	50 (25.0%)	60 (30.0%)	65 (32.5%)	80 (40.0%)	81 (40.5%)	112 (56.0%)	448 (37.3%)	1039 (43.3%)
	どちらかというに関心がない	54 (27.0%)	47 (23.5%)	45 (22.5%)	50 (25.0%)	47 (23.5%)	25 (12.5%)	268 (22.3%)	66 (33.0%)	74 (37.0%)	83 (41.5%)	81 (40.5%)	94 (47.0%)	52 (26.0%)	450 (37.5%)	718 (29.9%)
	全く関心がない	49 (24.5%)	27 (13.5%)	16 (8.0%)	6 (3.0%)	10 (5.0%)	7 (3.5%)	115 (9.6%)	68 (34.0%)	55 (27.5%)	42 (21.0%)	26 (13.0%)	7 (3.5%)	8 (4.0%)	206 (17.2%)	321 (13.4%)
経済・景気・国際競争力	非常に関心がある	26 (13.0%)	40 (20.0%)	55 (27.5%)	55 (27.5%)	48 (24.0%)	76 (38.0%)	300 (25.0%)	15 (7.5%)	14 (7.0%)	22 (11.0%)	21 (10.5%)	23 (11.5%)	37 (18.5%)	132 (11.0%)	432 (18.0%)
	どちらかというに関心がある	83 (41.5%)	94 (47.0%)	99 (49.5%)	109 (54.5%)	117 (58.5%)	101 (50.5%)	603 (50.3%)	62 (31.0%)	82 (41.0%)	83 (41.5%)	98 (49.0%)	99 (49.5%)	120 (60.0%)	544 (45.3%)	1147 (47.8%)
	どちらかというに関心がない	50 (25.0%)	47 (23.5%)	29 (14.5%)	31 (15.5%)	28 (14.0%)	18 (9.0%)	203 (16.9%)	57 (28.5%)	56 (28.0%)	58 (29.0%)	61 (30.5%)	71 (35.5%)	39 (19.5%)	342 (28.5%)	545 (22.7%)
	全く関心がない	41 (20.5%)	19 (9.5%)	17 (8.5%)	5 (2.5%)	7 (3.5%)	5 (2.5%)	94 (7.8%)	66 (33.0%)	48 (24.0%)	37 (18.5%)	20 (10.0%)	7 (3.5%)	4 (2.0%)	182 (15.2%)	276 (11.5%)
気候変動	非常に関心がある	27 (13.5%)	30 (15.0%)	24 (12.0%)	35 (17.5%)	37 (18.5%)	59 (29.5%)	212 (17.7%)	13 (6.5%)	38 (19.0%)	34 (17.0%)	40 (20.0%)	46 (23.0%)	53 (26.5%)	224 (18.7%)	436 (18.2%)
	どちらかというに関心がある	81 (40.5%)	84 (42.0%)	111 (55.5%)	111 (55.5%)	133 (66.5%)	115 (57.5%)	635 (52.9%)	71 (35.5%)	80 (40.0%)	106 (53.0%)	109 (54.5%)	117 (58.5%)	128 (64.0%)	611 (50.9%)	1246 (51.9%)
	どちらかというに関心がない	57 (28.5%)	57 (28.5%)	49 (24.5%)	42 (21.0%)	25 (12.5%)	22 (11.0%)	252 (21.0%)	64 (32.0%)	46 (23.0%)	38 (19.0%)	41 (20.5%)	36 (18.0%)	17 (8.5%)	242 (20.2%)	494 (20.6%)
	全く関心がない	35 (17.5%)	29 (14.5%)	16 (8.0%)	12 (6.0%)	5 (2.5%)	4 (2.0%)	101 (8.4%)	52 (26.0%)	36 (18.0%)	22 (11.0%)	10 (5.0%)	1 (0.5%)	2 (1.0%)	123 (10.3%)	224 (9.3%)
資源・エネルギー	非常に関心がある	37 (18.5%)	28 (14.0%)	27 (13.5%)	34 (17.0%)	33 (16.5%)	34 (17.0%)	193 (16.1%)	8 (4.0%)	17 (8.5%)	20 (10.0%)	20 (10.0%)	19 (9.5%)	30 (15.0%)	114 (9.5%)	307 (12.8%)
	どちらかというに関心がある	80 (40.0%)	91 (45.5%)	110 (55.0%)	103 (51.5%)	119 (59.5%)	135 (67.5%)	638 (53.2%)	52 (26.0%)	70 (35.0%)	75 (37.5%)	91 (45.5%)	107 (53.5%)	134 (67.0%)	529 (44.1%)	1167 (48.6%)
	どちらかというに関心がない	49 (24.5%)	52 (26.0%)	50 (25.0%)	50 (25.0%)	41 (20.5%)	27 (13.5%)	269 (22.4%)	75 (37.5%)	68 (34.0%)	72 (36.0%)	73 (36.5%)	68 (34.0%)	31 (15.5%)	387 (32.3%)	656 (27.3%)
	全く関心がない	34 (17.0%)	29 (14.5%)	13 (6.5%)	13 (6.5%)	7 (3.5%)	4 (2.0%)	100 (8.3%)	65 (32.5%)	45 (22.5%)	33 (16.5%)	16 (8.0%)	6 (3.0%)	5 (2.5%)	170 (14.2%)	270 (11.3%)

上段：実数、下段：比率

問	選択肢	男性							女性							全体
		10代	20代	30代	40代	50代	60代	計	10代	20代	30代	40代	50代	60代	計	
食料・水資源	非常に関心がある	31 (15.5%)	22 (11.0%)	20 (10.0%)	29 (14.5%)	25 (12.5%)	38 (19.0%)	165 (13.8%)	23 (11.5%)	31 (15.5%)	29 (14.5%)	35 (17.5%)	38 (19.0%)	44 (22.0%)	200 (16.7%)	365 (15.2%)
	どちらかというに関心がある	74 (37.0%)	84 (42.0%)	113 (56.5%)	114 (57.0%)	121 (60.5%)	121 (60.5%)	627 (52.3%)	62 (31.0%)	94 (47.0%)	109 (54.5%)	117 (58.5%)	119 (59.5%)	134 (67.0%)	635 (52.9%)	1262 (52.6%)
	どちらかというに関心がない	61 (30.5%)	69 (34.5%)	54 (27.0%)	46 (23.0%)	49 (24.5%)	37 (18.5%)	316 (26.3%)	70 (35.0%)	44 (22.0%)	39 (19.5%)	40 (20.0%)	41 (20.5%)	21 (10.5%)	255 (21.3%)	571 (23.8%)
	全く関心がない	34 (17.0%)	25 (12.5%)	13 (6.5%)	11 (5.5%)	5 (2.5%)	4 (2.0%)	92 (7.7%)	45 (22.5%)	31 (15.5%)	23 (11.5%)	8 (4.0%)	2 (1.0%)	1 (0.5%)	110 (9.2%)	202 (8.4%)
自然災害に対する防災・減災	非常に関心がある	29 (14.5%)	31 (15.5%)	31 (15.5%)	32 (16.0%)	40 (20.0%)	43 (21.5%)	206 (17.2%)	26 (13.0%)	43 (21.5%)	40 (20.0%)	42 (21.0%)	41 (20.5%)	46 (23.0%)	238 (19.8%)	444 (18.5%)
	どちらかというに関心がある	79 (39.5%)	75 (37.5%)	108 (54.0%)	119 (59.5%)	120 (60.0%)	124 (62.0%)	625 (52.1%)	83 (41.5%)	82 (41.0%)	108 (54.0%)	116 (58.0%)	125 (62.5%)	131 (65.5%)	645 (53.8%)	1270 (52.9%)
	どちらかというに関心がない	56 (28.0%)	71 (35.5%)	51 (25.5%)	40 (20.0%)	36 (18.0%)	29 (14.5%)	283 (23.6%)	51 (25.5%)	46 (23.0%)	31 (15.5%)	36 (18.0%)	32 (16.0%)	21 (10.5%)	217 (18.1%)	500 (20.8%)
	全く関心がない	36 (18.0%)	23 (11.5%)	10 (5.0%)	9 (4.5%)	4 (2.0%)	4 (2.0%)	86 (7.2%)	40 (20.0%)	29 (14.5%)	21 (10.5%)	6 (3.0%)	2 (1.0%)	2 (1.0%)	100 (8.3%)	186 (7.8%)
少子高齢化社会	非常に関心がある	23 (11.5%)	24 (12.0%)	22 (11.0%)	23 (11.5%)	21 (10.5%)	34 (17.0%)	147 (12.3%)	19 (9.5%)	28 (14.0%)	20 (10.0%)	20 (10.0%)	24 (12.0%)	27 (13.5%)	138 (11.5%)	285 (11.9%)
	どちらかというに関心がある	56 (28.0%)	62 (31.0%)	100 (50.0%)	92 (46.0%)	100 (50.0%)	107 (53.5%)	517 (43.1%)	68 (34.0%)	75 (37.5%)	98 (49.0%)	97 (48.5%)	101 (50.5%)	124 (62.0%)	563 (46.9%)	1080 (45.0%)
	どちらかというに関心がない	71 (35.5%)	79 (39.5%)	59 (29.5%)	67 (33.5%)	68 (34.0%)	54 (27.0%)	398 (33.2%)	67 (33.5%)	58 (29.0%)	57 (28.5%)	67 (33.5%)	68 (34.0%)	42 (21.0%)	359 (29.9%)	757 (31.5%)
	全く関心がない	50 (25.0%)	35 (17.5%)	19 (9.5%)	18 (9.0%)	11 (5.5%)	5 (2.5%)	138 (11.5%)	46 (23.0%)	39 (19.5%)	25 (12.5%)	16 (8.0%)	7 (3.5%)	7 (3.5%)	140 (11.7%)	278 (11.6%)
食の安全	非常に関心がある	31 (15.5%)	35 (17.5%)	38 (19.0%)	33 (16.5%)	30 (15.0%)	48 (24.0%)	215 (17.9%)	43 (21.5%)	65 (32.5%)	68 (34.0%)	71 (35.5%)	63 (31.5%)	85 (42.5%)	395 (32.9%)	610 (25.4%)
	どちらかというに関心がある	86 (43.0%)	84 (42.0%)	110 (55.0%)	116 (58.0%)	111 (55.5%)	122 (61.0%)	629 (52.4%)	91 (45.5%)	85 (42.5%)	96 (48.0%)	102 (51.0%)	118 (59.0%)	101 (50.5%)	593 (49.4%)	1222 (50.9%)
	どちらかというに関心がない	51 (25.5%)	59 (29.5%)	42 (21.0%)	42 (21.0%)	52 (26.0%)	26 (13.0%)	272 (22.7%)	37 (18.5%)	30 (15.0%)	30 (15.0%)	21 (10.5%)	19 (9.5%)	13 (6.5%)	150 (12.5%)	422 (17.6%)
	全く関心がない	32 (16.0%)	22 (11.0%)	10 (5.0%)	9 (4.5%)	7 (3.5%)	4 (2.0%)	84 (7.0%)	29 (14.5%)	20 (10.0%)	6 (3.0%)	6 (3.0%)	0 (0.0%)	1 (0.5%)	62 (5.2%)	146 (6.1%)
教育	非常に関心がある	41 (20.5%)	24 (12.0%)	27 (13.5%)	24 (12.0%)	22 (11.0%)	21 (10.5%)	159 (13.3%)	29 (14.5%)	53 (26.5%)	54 (27.0%)	44 (22.0%)	26 (13.0%)	22 (11.0%)	228 (19.0%)	387 (16.1%)
	どちらかというに関心がある	70 (35.0%)	68 (34.0%)	90 (45.0%)	95 (47.5%)	80 (40.0%)	90 (45.0%)	493 (41.1%)	79 (39.5%)	76 (38.0%)	64 (32.0%)	74 (37.0%)	87 (43.5%)	104 (52.0%)	484 (40.3%)	977 (40.7%)
	どちらかというに関心がない	53 (26.5%)	71 (35.5%)	65 (32.5%)	65 (32.5%)	79 (39.5%)	83 (41.5%)	416 (34.7%)	56 (28.0%)	46 (23.0%)	60 (30.0%)	60 (30.0%)	75 (37.5%)	62 (31.0%)	359 (29.9%)	775 (32.3%)
	全く関心がない	36 (18.0%)	37 (18.5%)	18 (9.0%)	16 (8.0%)	19 (9.5%)	6 (3.0%)	132 (11.0%)	36 (18.0%)	25 (12.5%)	22 (11.0%)	22 (11.0%)	12 (6.0%)	12 (6.0%)	129 (10.8%)	261 (10.9%)
健康や医療	非常に関心がある	24 (12.0%)	29 (14.5%)	36 (18.0%)	32 (16.0%)	40 (20.0%)	70 (35.0%)	231 (19.3%)	43 (21.5%)	69 (34.5%)	68 (34.0%)	76 (38.0%)	82 (41.0%)	87 (43.5%)	425 (35.4%)	656 (27.3%)
	どちらかというに関心がある	82 (41.0%)	79 (39.5%)	109 (54.5%)	122 (61.0%)	125 (62.5%)	108 (54.0%)	625 (52.1%)	82 (41.0%)	80 (40.0%)	107 (53.5%)	103 (51.5%)	104 (52.0%)	106 (53.0%)	582 (48.5%)	1207 (50.3%)
	どちらかというに関心がない	58 (29.0%)	68 (34.0%)	40 (20.0%)	38 (19.0%)	31 (15.5%)	16 (8.0%)	251 (20.9%)	43 (21.5%)	35 (17.5%)	18 (9.0%)	17 (8.5%)	13 (6.5%)	6 (3.0%)	132 (11.0%)	383 (16.0%)
	全く関心がない	36 (18.0%)	24 (12.0%)	15 (7.5%)	8 (4.0%)	4 (2.0%)	6 (3.0%)	93 (7.8%)	32 (16.0%)	16 (8.0%)	7 (3.5%)	4 (2.0%)	1 (0.5%)	1 (0.5%)	61 (5.1%)	154 (6.4%)
生活環境の保全	非常に関心がある	23 (11.5%)	23 (11.5%)	17 (8.5%)	22 (11.0%)	19 (9.5%)	39 (19.5%)	143 (11.9%)	25 (12.5%)	32 (16.0%)	37 (18.5%)	40 (20.0%)	32 (16.0%)	45 (22.5%)	211 (17.6%)	354 (14.8%)
	どちらかというに関心がある	76 (38.0%)	73 (36.5%)	113 (56.5%)	114 (57.0%)	122 (61.0%)	120 (60.0%)	618 (51.5%)	74 (37.0%)	86 (43.0%)	95 (47.5%)	122 (61.0%)	122 (61.0%)	129 (64.5%)	628 (52.3%)	1246 (51.9%)
	どちらかというに関心がない	63 (31.5%)	71 (35.5%)	59 (29.5%)	53 (26.5%)	54 (27.0%)	35 (17.5%)	329 (27.4%)	57 (28.5%)	59 (29.5%)	47 (23.5%)	30 (15.0%)	44 (22.0%)	24 (12.0%)	261 (21.8%)	590 (24.6%)
	全く関心がない	38 (19.0%)	33 (16.5%)	17 (8.5%)	11 (5.5%)	5 (2.5%)	6 (3.0%)	110 (9.2%)	44 (22.0%)	23 (11.5%)	21 (10.5%)	8 (4.0%)	2 (1.0%)	2 (1.0%)	100 (8.3%)	210 (8.8%)
自然環境の保全	非常に関心がある	29 (14.5%)	26 (13.0%)	17 (8.5%)	23 (11.5%)	26 (13.0%)	40 (20.0%)	161 (13.4%)	30 (15.0%)	36 (18.0%)	39 (19.5%)	34 (17.0%)	25 (12.5%)	39 (19.5%)	203 (16.9%)	364 (15.2%)
	どちらかというに関心がある	73 (36.5%)	72 (36.0%)	103 (51.5%)	112 (56.0%)	113 (56.5%)	122 (61.0%)	595 (49.6%)	69 (34.5%)	79 (39.5%)	82 (41.0%)	111 (55.5%)	114 (57.0%)	129 (64.5%)	584 (48.7%)	1179 (49.1%)
	どちらかというに関心がない	61 (30.5%)	71 (35.5%)	60 (30.0%)	52 (26.0%)	56 (28.0%)	34 (17.0%)	334 (27.8%)	52 (26.0%)	56 (28.0%)	56 (28.0%)	47 (23.5%)	56 (28.0%)	28 (14.0%)	295 (24.6%)	629 (26.2%)
	全く関心がない	37 (18.5%)	31 (15.5%)	20 (10.0%)	13 (6.5%)	5 (2.5%)	4 (2.0%)	110 (9.2%)	49 (24.5%)	29 (14.5%)	23 (11.5%)	8 (4.0%)	5 (2.5%)	4 (2.0%)	118 (9.8%)	228 (9.5%)

問	選択肢	男性							女性							全体
		10代	20代	30代	40代	50代	60代	計	10代	20代	30代	40代	50代	60代	計	
新しい技術や発明の利用 (既存の知識を用いた新製品の開発など)	非常に関心がある	58 (29.0%)	41 (20.5%)	40 (20.0%)	40 (20.0%)	33 (16.5%)	46 (23.0%)	258 (21.5%)	21 (10.5%)	27 (13.5%)	17 (8.5%)	12 (6.0%)	21 (10.5%)	19 (9.5%)	117 (9.8%)	375 (15.6%)
	どちらかというに関心がある	70 (35.0%)	78 (39.0%)	100 (50.0%)	104 (52.0%)	118 (59.0%)	104 (52.0%)	574 (47.8%)	58 (29.0%)	63 (31.5%)	67 (33.5%)	82 (41.0%)	84 (42.0%)	97 (48.5%)	451 (37.6%)	1025 (42.7%)
	どちらかというに関心がない	49 (24.5%)	52 (26.0%)	46 (23.0%)	42 (21.0%)	40 (20.0%)	42 (21.0%)	271 (22.6%)	71 (35.5%)	66 (33.0%)	81 (40.5%)	86 (43.0%)	85 (42.5%)	74 (37.0%)	463 (38.6%)	734 (30.6%)
	全く関心がない	23 (11.5%)	29 (14.5%)	14 (7.0%)	14 (7.0%)	9 (4.5%)	8 (4.0%)	97 (8.1%)	50 (25.0%)	44 (22.0%)	35 (17.5%)	20 (10.0%)	10 (5.0%)	10 (5.0%)	169 (14.1%)	266 (11.1%)
新しい科学的発見 (観察や実験、思考などに基づいた新事実や理論の発見など)	非常に関心がある	57 (28.5%)	31 (15.5%)	39 (19.5%)	37 (18.5%)	27 (13.5%)	50 (25.0%)	241 (20.1%)	21 (10.5%)	23 (11.5%)	12 (6.0%)	9 (4.5%)	19 (9.5%)	17 (8.5%)	101 (8.4%)	342 (14.3%)
	どちらかというに関心がある	69 (34.5%)	87 (43.5%)	95 (47.5%)	102 (51.0%)	114 (57.0%)	95 (47.5%)	562 (46.8%)	55 (27.5%)	50 (25.0%)	61 (30.5%)	73 (36.5%)	69 (34.5%)	79 (39.5%)	387 (32.3%)	949 (39.5%)
	どちらかというに関心がない	45 (22.5%)	52 (26.0%)	50 (25.0%)	48 (24.0%)	45 (22.5%)	45 (22.5%)	285 (23.8%)	72 (36.0%)	81 (40.5%)	86 (43.0%)	97 (48.5%)	101 (50.5%)	94 (47.0%)	531 (44.3%)	816 (34.0%)
	全く関心がない	29 (14.5%)	30 (15.0%)	16 (8.0%)	13 (6.5%)	14 (7.0%)	10 (5.0%)	112 (9.3%)	52 (26.0%)	46 (23.0%)	41 (20.5%)	21 (10.5%)	11 (5.5%)	10 (5.0%)	181 (15.1%)	293 (12.2%)
新しい医学的発見 (生体や疾病などに関する発見など)	非常に関心がある	49 (24.5%)	33 (16.5%)	33 (16.5%)	25 (12.5%)	27 (13.5%)	43 (21.5%)	210 (17.5%)	31 (15.5%)	27 (13.5%)	23 (11.5%)	26 (13.0%)	36 (18.0%)	35 (17.5%)	178 (14.8%)	388 (16.2%)
	どちらかというに関心がある	66 (33.0%)	84 (42.0%)	91 (45.5%)	105 (52.5%)	116 (58.0%)	118 (59.0%)	580 (48.3%)	61 (30.5%)	67 (33.5%)	79 (39.5%)	88 (44.0%)	103 (51.5%)	119 (59.5%)	517 (43.1%)	1097 (45.7%)
	どちらかというに関心がない	56 (28.0%)	51 (25.5%)	63 (31.5%)	57 (28.5%)	48 (24.0%)	33 (16.5%)	308 (25.7%)	61 (30.5%)	69 (34.5%)	71 (35.5%)	70 (35.0%)	52 (26.0%)	40 (20.0%)	363 (30.3%)	671 (28.0%)
	全く関心がない	29 (14.5%)	32 (16.0%)	13 (6.5%)	13 (6.5%)	9 (4.5%)	6 (3.0%)	102 (8.5%)	47 (23.5%)	37 (18.5%)	27 (13.5%)	16 (8.0%)	9 (4.5%)	6 (3.0%)	142 (11.8%)	244 (10.2%)
宇宙探査・開発	非常に関心がある	56 (28.0%)	43 (21.5%)	27 (13.5%)	34 (17.0%)	31 (15.5%)	35 (17.5%)	226 (18.8%)	27 (13.5%)	27 (13.5%)	12 (6.0%)	9 (4.5%)	15 (7.5%)	7 (3.5%)	97 (8.1%)	323 (13.5%)
	どちらかというに関心がある	59 (29.5%)	64 (32.0%)	81 (40.5%)	82 (41.0%)	87 (43.5%)	92 (46.0%)	465 (38.8%)	48 (24.0%)	47 (23.5%)	43 (21.5%)	53 (26.5%)	51 (25.5%)	54 (27.0%)	296 (24.7%)	761 (31.7%)
	どちらかというに関心がない	54 (27.0%)	53 (26.5%)	70 (35.0%)	61 (30.5%)	65 (32.5%)	62 (31.0%)	365 (30.4%)	60 (30.0%)	67 (33.5%)	88 (44.0%)	93 (46.5%)	100 (50.0%)	110 (55.0%)	518 (43.2%)	883 (36.8%)
	全く関心がない	31 (15.5%)	40 (20.0%)	22 (11.0%)	23 (11.5%)	17 (8.5%)	11 (5.5%)	144 (12.0%)	65 (32.5%)	59 (29.5%)	57 (28.5%)	45 (22.5%)	34 (17.0%)	29 (14.5%)	289 (24.1%)	433 (18.0%)
海洋探査・開発	非常に関心がある	39 (19.5%)	32 (16.0%)	17 (8.5%)	25 (12.5%)	23 (11.5%)	30 (15.0%)	166 (13.8%)	17 (8.5%)	18 (9.0%)	6 (3.0%)	6 (3.0%)	9 (4.5%)	8 (4.0%)	64 (5.3%)	230 (9.6%)
	どちらかというに関心がある	53 (26.5%)	61 (30.5%)	81 (40.5%)	90 (45.0%)	95 (47.5%)	95 (47.5%)	475 (39.6%)	40 (20.0%)	50 (25.0%)	41 (20.5%)	54 (27.0%)	56 (28.0%)	60 (30.0%)	301 (25.1%)	776 (32.3%)
	どちらかというに関心がない	70 (35.0%)	61 (30.5%)	78 (39.0%)	57 (28.5%)	66 (33.0%)	67 (33.5%)	399 (33.3%)	68 (34.0%)	74 (37.0%)	89 (44.5%)	101 (50.5%)	105 (52.5%)	111 (55.5%)	548 (45.7%)	947 (39.5%)
	全く関心がない	38 (19.0%)	46 (23.0%)	24 (12.0%)	28 (14.0%)	16 (8.0%)	8 (4.0%)	160 (13.3%)	75 (37.5%)	58 (29.0%)	64 (32.0%)	39 (19.5%)	20 (10.0%)	21 (10.5%)	277 (23.1%)	437 (18.2%)
原子力開発	非常に関心がある	35 (17.5%)	24 (12.0%)	15 (7.5%)	11 (5.5%)	17 (8.5%)	24 (12.0%)	126 (10.5%)	9 (4.5%)	11 (5.5%)	7 (3.5%)	11 (5.5%)	15 (7.5%)	14 (7.0%)	67 (5.6%)	193 (8.0%)
	どちらかというに関心がある	55 (27.5%)	61 (30.5%)	79 (39.5%)	77 (38.5%)	63 (31.5%)	80 (40.0%)	415 (34.6%)	39 (19.5%)	37 (18.5%)	38 (19.0%)	51 (25.5%)	61 (30.5%)	76 (38.0%)	302 (25.2%)	717 (29.9%)
	どちらかというに関心がない	66 (33.0%)	75 (37.5%)	74 (37.0%)	82 (41.0%)	95 (47.5%)	74 (37.0%)	466 (38.8%)	82 (41.0%)	94 (47.0%)	100 (50.0%)	96 (48.0%)	95 (47.5%)	79 (39.5%)	546 (45.5%)	1012 (42.2%)
	全く関心がない	44 (22.0%)	40 (20.0%)	32 (16.0%)	30 (15.0%)	25 (12.5%)	22 (11.0%)	193 (16.1%)	70 (35.0%)	58 (29.0%)	55 (27.5%)	42 (21.0%)	29 (14.5%)	31 (15.5%)	285 (23.8%)	478 (19.9%)
情報通信技術 (インターネットや電子商取引、 情報セキュリティなどの技術)	非常に関心がある	71 (35.5%)	47 (23.5%)	38 (19.0%)	35 (17.5%)	37 (18.5%)	40 (20.0%)	268 (22.3%)	18 (9.0%)	20 (10.0%)	18 (9.0%)	12 (6.0%)	22 (11.0%)	18 (9.0%)	108 (9.0%)	376 (15.7%)
	どちらかというに関心がある	60 (30.0%)	74 (37.0%)	103 (51.5%)	111 (55.5%)	104 (52.0%)	121 (60.5%)	573 (47.8%)	56 (28.0%)	62 (31.0%)	77 (38.5%)	98 (49.0%)	95 (47.5%)	90 (45.0%)	478 (39.8%)	1051 (43.8%)
	どちらかというに関心がない	46 (23.0%)	50 (25.0%)	47 (23.5%)	43 (21.5%)	49 (24.5%)	33 (16.5%)	268 (22.3%)	63 (31.5%)	69 (34.5%)	72 (36.0%)	72 (36.0%)	69 (34.5%)	82 (41.0%)	427 (35.6%)	695 (29.0%)
	全く関心がない	23 (11.5%)	29 (14.5%)	12 (6.0%)	11 (5.5%)	10 (5.0%)	6 (3.0%)	91 (7.6%)	63 (31.5%)	49 (24.5%)	33 (16.5%)	18 (9.0%)	14 (7.0%)	10 (5.0%)	187 (15.6%)	278 (11.6%)
数理科学 (最近の数学の成果を応用した 技術開発など)	非常に関心がある	40 (20.0%)	19 (9.5%)	14 (7.0%)	7 (3.5%)	17 (8.5%)	13 (6.5%)	110 (9.2%)	9 (4.5%)	10 (5.0%)	5 (2.5%)	4 (2.0%)	3 (1.5%)	8 (4.0%)	39 (3.3%)	149 (6.2%)
	どちらかというに関心がある	60 (30.0%)	58 (29.0%)	79 (39.5%)	76 (38.0%)	63 (31.5%)	84 (42.0%)	420 (35.0%)	23 (11.5%)	32 (16.0%)	20 (10.0%)	32 (16.0%)	39 (19.5%)	33 (16.5%)	179 (14.9%)	599 (25.0%)
	どちらかというに関心がない	54 (27.0%)	71 (35.5%)	81 (40.5%)	84 (42.0%)	95 (47.5%)	83 (41.5%)	468 (39.0%)	74 (37.0%)	83 (41.5%)	99 (49.5%)	112 (56.0%)	109 (54.5%)	136 (68.0%)	613 (51.1%)	1081 (45.0%)
	全く関心がない	46 (23.0%)	52 (26.0%)	26 (13.0%)	33 (16.5%)	25 (12.5%)	20 (10.0%)	202 (16.8%)	94 (47.0%)	75 (37.5%)	76 (38.0%)	52 (26.0%)	49 (24.5%)	23 (11.5%)	369 (30.8%)	571 (23.8%)

上段:実数、下段:比率

問	選択肢	男性							女性							全体
		10代	20代	30代	40代	50代	60代	計	10代	20代	30代	40代	50代	60代	計	
Q6	あなたは、最近(過去2年以内)、次のことについて、印象や記憶に残ったことがありますか。「不安や嫌悪を感じたもの」、「感動や安心を感じたもの」、それぞれについて、当てはまるものをいくつかもお選びください。また、それらの中で最も強く印象や記憶に残ったものはどれですか。それぞれについて、当てはまるものをお選びください。															
	不安や嫌悪を感じたもの	国際政治・外交	118 (59.0%)	115 (57.5%)	118 (59.0%)	141 (70.5%)	139 (69.5%)	162 (81.0%)	793 (66.1%)	107 (53.5%)	113 (56.5%)	109 (54.5%)	130 (65.0%)	133 (66.5%)	144 (72.0%)	736 (61.3%)
経済・景気・国際競争力		85 (42.5%)	82 (41.0%)	94 (47.0%)	97 (48.5%)	118 (59.0%)	125 (62.5%)	601 (50.1%)	94 (47.0%)	108 (54.0%)	99 (49.5%)	115 (57.5%)	107 (53.5%)	113 (56.5%)	636 (53.0%)	1237 (51.5%)
気候変動		61 (30.5%)	59 (29.5%)	77 (38.5%)	99 (49.5%)	118 (59.0%)	141 (70.5%)	555 (46.3%)	57 (28.5%)	82 (41.0%)	100 (50.0%)	120 (60.0%)	139 (69.5%)	156 (78.0%)	654 (54.5%)	1209 (50.4%)
資源・エネルギー		50 (25.0%)	35 (17.5%)	59 (29.5%)	76 (38.0%)	66 (33.0%)	88 (44.0%)	374 (31.2%)	41 (20.5%)	46 (23.0%)	46 (23.0%)	75 (37.5%)	83 (41.5%)	98 (49.0%)	389 (32.4%)	763 (31.8%)
食料・水資源		38 (19.0%)	34 (17.0%)	47 (23.5%)	53 (26.5%)	50 (25.0%)	73 (36.5%)	295 (24.6%)	33 (16.5%)	41 (20.5%)	51 (25.5%)	64 (32.0%)	65 (32.5%)	85 (42.5%)	339 (28.3%)	634 (26.4%)
自然災害に対する防災・減災		62 (31.0%)	52 (26.0%)	79 (39.5%)	93 (46.5%)	110 (55.0%)	127 (63.5%)	523 (43.6%)	72 (36.0%)	91 (45.5%)	104 (52.0%)	114 (57.0%)	134 (67.0%)	136 (68.0%)	651 (54.3%)	1174 (48.9%)
少子高齢化社会		57 (28.5%)	54 (27.0%)	65 (32.5%)	74 (37.0%)	61 (30.5%)	84 (42.0%)	395 (32.9%)	55 (27.5%)	69 (34.5%)	55 (27.5%)	63 (31.5%)	75 (37.5%)	88 (44.0%)	405 (33.8%)	800 (33.3%)
食の安全		68 (34.0%)	51 (25.5%)	82 (41.0%)	95 (47.5%)	87 (43.5%)	109 (54.5%)	498 (41.5%)	75 (37.5%)	91 (45.5%)	96 (48.0%)	112 (56.0%)	121 (60.5%)	122 (61.0%)	623 (51.9%)	1121 (46.7%)
教育		35 (17.5%)	34 (17.0%)	40 (20.0%)	39 (19.5%)	35 (17.5%)	46 (23.0%)	229 (19.1%)	37 (18.5%)	49 (24.5%)	39 (19.5%)	46 (23.0%)	44 (22.0%)	56 (28.0%)	271 (22.6%)	500 (20.8%)
健康や医療		26 (13.0%)	31 (15.5%)	38 (19.0%)	42 (21.0%)	49 (24.5%)	64 (32.0%)	250 (20.8%)	30 (15.0%)	40 (20.0%)	44 (22.0%)	74 (37.0%)	75 (37.5%)	82 (41.0%)	345 (28.8%)	595 (24.8%)
生活環境の保全		22 (11.0%)	20 (10.0%)	29 (14.5%)	29 (14.5%)	31 (15.5%)	36 (18.0%)	167 (13.9%)	24 (12.0%)	24 (12.0%)	33 (16.5%)	50 (25.0%)	38 (19.0%)	59 (29.5%)	228 (19.0%)	395 (16.5%)
自然環境の保全		24 (12.0%)	21 (10.5%)	32 (16.0%)	41 (20.5%)	48 (24.0%)	57 (28.5%)	223 (18.6%)	30 (15.0%)	26 (13.0%)	37 (18.5%)	50 (25.0%)	48 (24.0%)	70 (35.0%)	261 (21.8%)	484 (20.2%)
新しい技術や発明の利用 (既存の知識を用いた新製品の開発など)		15 (7.5%)	11 (5.5%)	11 (5.5%)	9 (4.5%)	11 (5.5%)	18 (9.0%)	75 (6.3%)	6 (3.0%)	3 (1.5%)	5 (2.5%)	10 (5.0%)	11 (5.5%)	18 (9.0%)	53 (4.4%)	128 (5.3%)
新しい科学的発見 (観察や実験、思考などに基づいた 新事実や理論の発見など)		13 (6.5%)	10 (5.0%)	12 (6.0%)	7 (3.5%)	8 (4.0%)	17 (8.5%)	67 (5.6%)	9 (4.5%)	6 (3.0%)	4 (2.0%)	15 (7.5%)	8 (4.0%)	17 (8.5%)	59 (4.9%)	126 (5.3%)
新しい医学的発見 (生体や疾病などに関する発見など)		20 (10.0%)	12 (6.0%)	13 (6.5%)	10 (5.0%)	14 (7.0%)	22 (11.0%)	91 (7.6%)	14 (7.0%)	11 (5.5%)	11 (5.5%)	12 (6.0%)	15 (7.5%)	24 (12.0%)	87 (7.3%)	178 (7.4%)
宇宙探査・開発		10 (5.0%)	8 (4.0%)	4 (2.0%)	6 (3.0%)	12 (6.0%)	13 (6.5%)	53 (4.4%)	2 (1.0%)	4 (2.0%)	3 (1.5%)	9 (4.5%)	6 (3.0%)	13 (6.5%)	37 (3.1%)	90 (3.8%)
海洋探査・開発		7 (3.5%)	7 (3.5%)	4 (2.0%)	8 (4.0%)	14 (7.0%)	10 (5.0%)	50 (4.2%)	3 (1.5%)	4 (2.0%)	3 (1.5%)	9 (4.5%)	5 (2.5%)	11 (5.5%)	35 (2.9%)	85 (3.5%)
原子力開発		45 (22.5%)	37 (18.5%)	47 (23.5%)	65 (32.5%)	65 (32.5%)	79 (39.5%)	338 (28.2%)	53 (26.5%)	40 (20.0%)	48 (24.0%)	60 (30.0%)	59 (29.5%)	78 (39.0%)	338 (28.2%)	676 (28.2%)
情報通信技術 (インターネットや電子取引、情報 セキュリティなどの技術)		18 (9.0%)	18 (9.0%)	16 (8.0%)	28 (14.0%)	23 (11.5%)	28 (14.0%)	131 (10.9%)	19 (9.5%)	20 (10.0%)	21 (10.5%)	30 (15.0%)	34 (17.0%)	37 (18.5%)	161 (13.4%)	292 (12.2%)
数理科学 (最近の数学の成果を応用した技術 開発など)		4 (2.0%)	7 (3.5%)	5 (2.5%)	7 (3.5%)	8 (4.0%)	10 (5.0%)	41 (3.4%)	6 (3.0%)	3 (1.5%)	4 (2.0%)	10 (5.0%)	4 (2.0%)	14 (7.0%)	41 (3.4%)	82 (3.4%)
特にない	38 (19.0%)	43 (21.5%)	39 (19.5%)	27 (13.5%)	24 (12.0%)	11 (5.5%)	182 (15.2%)	35 (17.5%)	29 (14.5%)	27 (13.5%)	19 (9.5%)	15 (7.5%)	14 (7.0%)	139 (11.6%)	321 (13.4%)	
最も不安や嫌悪	国際政治・外交	64 (39.5%)	52 (33.1%)	48 (29.8%)	56 (32.4%)	50 (28.4%)	59 (31.2%)	329 (27.4%)	43 (26.1%)	31 (18.1%)	25 (14.5%)	27 (14.9%)	27 (14.6%)	42 (22.6%)	195 (16.3%)	524 (25.2%)
	経済・景気・国際競争力	25 (15.4%)	35 (22.3%)	29 (18.0%)	24 (13.9%)	25 (14.2%)	15 (7.9%)	153 (12.8%)	22 (13.3%)	30 (17.5%)	28 (16.2%)	26 (14.4%)	19 (10.3%)	8 (4.3%)	133 (11.1%)	286 (13.8%)
	気候変動	12 (7.4%)	11 (7.0%)	15 (9.3%)	22 (12.7%)	20 (11.4%)	31 (16.4%)	111 (9.3%)	12 (7.3%)	9 (5.3%)	24 (13.9%)	32 (17.7%)	32 (17.3%)	40 (21.5%)	149 (12.4%)	260 (12.5%)
	資源・エネルギー	4 (2.5%)	1 (0.6%)	2 (1.2%)	3 (1.7%)	4 (2.3%)	3 (1.6%)	17 (1.4%)	2 (1.2%)	3 (1.8%)	1 (0.6%)	3 (1.7%)	3 (1.6%)	6 (3.2%)	18 (1.5%)	35 (1.5%)
	食料・水資源	2 (1.2%)	3 (1.9%)	2 (1.2%)	2 (1.2%)	2 (1.1%)	2 (1.1%)	13 (1.1%)	3 (1.8%)	3 (1.8%)	4 (2.3%)	3 (1.7%)	1 (0.5%)	2 (1.1%)	16 (1.3%)	29 (1.2%)
	自然災害に対する防災・減災	17 (10.5%)	13 (8.3%)	17 (10.6%)	22 (12.7%)	30 (17.0%)	32 (16.9%)	131 (10.9%)	17 (10.3%)	34 (19.9%)	44 (25.4%)	33 (18.2%)	44 (23.8%)	37 (19.9%)	209 (17.4%)	340 (14.2%)
	少子高齢化社会	8 (4.9%)	9 (5.7%)	9 (5.6%)	8 (4.6%)	3 (1.7%)	3 (1.6%)	40 (3.3%)	7 (4.2%)	13 (7.6%)	4 (2.3%)	3 (1.7%)	6 (3.2%)	2 (1.1%)	35 (2.9%)	75 (3.1%)
	食の安全	10 (6.2%)	11 (7.0%)	20 (12.4%)	13 (7.5%)	7 (4.0%)	7 (3.7%)	68 (5.7%)	20 (12.1%)	29 (13.5%)	17 (9.8%)	27 (14.9%)	27 (14.6%)	17 (9.1%)	131 (10.9%)	199 (8.3%)
	教育	2 (1.2%)	6 (3.8%)	2 (1.2%)	2 (1.2%)	0 (0.0%)	2 (1.1%)	14 (1.2%)	10 (6.1%)	4 (2.3%)	6 (3.5%)	3 (1.7%)	0 (0.0%)	2 (1.1%)	25 (2.1%)	39 (1.6%)
	健康や医療	2 (1.2%)	6 (3.8%)	1 (0.6%)	3 (1.7%)	5 (2.8%)	2 (1.1%)	19 (1.6%)	4 (2.4%)	6 (3.5%)	3 (1.7%)	3 (1.7%)	4 (2.2%)	7 (3.8%)	27 (2.3%)	46 (1.9%)

上段:実数、下段:比率

問	選択肢	男性							女性							全体
		10代	20代	30代	40代	50代	60代	計	10代	20代	30代	40代	50代	60代	計	
思 を 感 じ た も の	生活環境の保全	1 (0.6%)	2 (1.3%)	0 (0.0%)	1 (0.6%)	1 (0.6%)	0 (0.0%)	5 (0.4%)	1 (0.6%)	2 (1.2%)	1 (0.6%)	3 (1.7%)	1 (0.5%)	0 (0.0%)	8 (0.7%)	13 (0.5%)
	自然環境の保全	0 (0.0%)	1 (0.6%)	1 (0.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.5%)	3 (0.3%)	3 (1.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (1.6%)	0 (0.0%)	6 (0.5%)	9 (0.4%)
	新しい技術や発明の利用 (既存の知識を用いた新製品の開発 など)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.6%)	0 (0.0%)	1 (0.6%)	1 (0.5%)	3 (0.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.1%)	4 (0.2%)
	新しい科学的発見 (観察や実験、思考などに基づいた 新事実や理論の発見など)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (1.2%)	1 (0.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (0.3%)	4 (2.4%)	1 (0.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (0.4%)	8 (0.3%)
	新しい医学的発見 (生体や疾病などに関する発見など)	1 (0.6%)	0 (0.0%)	1 (0.6%)	2 (1.2%)	0 (0.0%)	1 (0.5%)	5 (0.4%)	1 (0.6%)	2 (1.2%)	1 (0.6%)	0 (0.0%)	1 (0.5%)	0 (0.0%)	5 (0.4%)	10 (0.4%)
	宇宙探査・開発	1 (0.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (0.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (0.1%)
	海洋探査・開発	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	原子力開発	8 (4.9%)	7 (4.5%)	11 (6.8%)	12 (6.9%)	25 (14.2%)	28 (14.8%)	91 (7.6%)	14 (8.5%)	9 (5.3%)	13 (7.5%)	13 (7.2%)	16 (8.6%)	21 (11.3%)	86 (7.2%)	177 (7.4%)
	情報通信技術 (インターネットや電子商取引、情報 セキュリティなどの技術)	5 (3.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.6%)	3 (1.7%)	1 (0.5%)	10 (0.8%)	2 (1.2%)	1 (0.6%)	2 (1.2%)	4 (2.2%)	1 (0.5%)	2 (1.1%)	12 (1.0%)	22 (0.9%)
	数理学 (最近の数学の成果を応用した技術 開発など)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.5%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.0%)
感 動 や 安 心 を 感 じ た も の	国際政治・外交	6 (3.0%)	14 (7.0%)	5 (2.5%)	15 (7.5%)	9 (4.5%)	14 (7.0%)	63 (5.3%)	6 (3.0%)	5 (2.5%)	2 (1.0%)	5 (2.5%)	2 (1.0%)	5 (2.5%)	25 (2.1%)	88 (3.7%)
	経済・景気・国際競争力	15 (7.5%)	18 (9.0%)	7 (3.5%)	10 (5.0%)	8 (4.0%)	16 (8.0%)	74 (6.2%)	8 (4.0%)	1 (0.5%)	2 (1.0%)	2 (1.0%)	2 (1.0%)	5 (2.5%)	20 (1.7%)	94 (3.9%)
	気候変動	11 (5.5%)	9 (4.5%)	3 (1.5%)	5 (2.5%)	8 (4.0%)	7 (3.5%)	43 (3.6%)	5 (2.5%)	2 (1.0%)	2 (1.0%)	5 (2.5%)	6 (3.0%)	4 (2.0%)	24 (2.0%)	67 (2.8%)
	資源・エネルギー	11 (5.5%)	13 (6.5%)	9 (4.5%)	7 (3.5%)	16 (8.0%)	15 (7.5%)	71 (5.9%)	9 (4.5%)	6 (3.0%)	1 (0.5%)	7 (3.5%)	4 (2.0%)	7 (3.5%)	34 (2.8%)	105 (4.4%)
	食料・水資源	10 (5.0%)	13 (6.5%)	4 (2.0%)	7 (3.5%)	8 (4.0%)	13 (6.5%)	55 (4.6%)	9 (4.5%)	3 (1.5%)	3 (1.5%)	3 (1.5%)	1 (0.5%)	5 (2.5%)	24 (2.0%)	79 (3.3%)
	自然災害に対する防災・減災	6 (3.0%)	15 (7.5%)	6 (3.0%)	9 (4.5%)	12 (6.0%)	15 (7.5%)	63 (5.3%)	12 (6.0%)	7 (3.5%)	4 (2.0%)	7 (3.5%)	5 (2.5%)	7 (3.5%)	42 (3.5%)	105 (4.4%)
	少子高齢化社会	9 (4.5%)	7 (3.5%)	4 (2.0%)	4 (2.0%)	6 (3.0%)	6 (3.0%)	36 (3.0%)	8 (4.0%)	3 (1.5%)	2 (1.0%)	1 (0.5%)	4 (2.0%)	4 (2.0%)	22 (1.8%)	58 (2.4%)
	食の安全	8 (4.0%)	10 (5.0%)	5 (2.5%)	5 (2.5%)	11 (5.5%)	14 (7.0%)	53 (4.4%)	13 (6.5%)	4 (2.0%)	6 (3.0%)	4 (2.0%)	4 (2.0%)	7 (3.5%)	38 (3.2%)	91 (3.8%)
	教育	13 (6.5%)	9 (4.5%)	7 (3.5%)	8 (4.0%)	10 (5.0%)	15 (7.5%)	62 (5.2%)	12 (6.0%)	9 (4.5%)	11 (5.5%)	7 (3.5%)	6 (3.0%)	5 (2.5%)	50 (4.2%)	112 (4.7%)
	健康や医療	17 (8.5%)	21 (10.5%)	15 (7.5%)	11 (5.5%)	21 (10.5%)	31 (15.5%)	116 (9.7%)	15 (7.5%)	16 (8.0%)	15 (7.5%)	11 (5.5%)	18 (9.0%)	19 (9.5%)	94 (7.8%)	210 (8.8%)
	生活環境の保全	10 (5.0%)	12 (6.0%)	3 (1.5%)	9 (4.5%)	7 (3.5%)	16 (8.0%)	57 (4.8%)	10 (5.0%)	3 (1.5%)	3 (1.5%)	6 (3.0%)	1 (0.5%)	12 (6.0%)	35 (2.9%)	92 (3.8%)
	自然環境の保全	7 (3.5%)	6 (3.0%)	4 (2.0%)	8 (4.0%)	5 (2.5%)	20 (10.0%)	50 (4.2%)	4 (2.0%)	6 (3.0%)	4 (2.0%)	6 (3.0%)	9 (4.5%)	11 (5.5%)	40 (3.3%)	90 (3.8%)
	新しい技術や発明の利用 (既存の知識を用いた新製品の開発 など)	49 (24.5%)	49 (24.5%)	55 (27.5%)	60 (30.0%)	63 (31.5%)	87 (43.5%)	363 (30.3%)	45 (22.5%)	48 (24.0%)	42 (21.0%)	46 (23.0%)	59 (29.5%)	58 (29.0%)	298 (24.8%)	661 (27.5%)
	新しい科学的発見 (観察や実験、思考などに基づいた 新事実や理論の発見など)	36 (18.0%)	47 (23.5%)	46 (23.0%)	54 (27.0%)	52 (26.0%)	71 (35.5%)	306 (25.5%)	35 (17.5%)	38 (19.0%)	30 (15.0%)	39 (19.5%)	52 (26.0%)	54 (27.0%)	248 (20.7%)	554 (23.1%)
	新しい医学的発見 (生体や疾病などに関する発見など)	32 (16.0%)	38 (19.0%)	39 (19.5%)	44 (22.0%)	53 (26.5%)	78 (39.0%)	284 (23.7%)	44 (22.0%)	45 (22.5%)	39 (19.5%)	43 (21.5%)	58 (29.0%)	73 (36.5%)	302 (25.2%)	586 (24.4%)
	宇宙探査・開発	39 (19.5%)	40 (20.0%)	43 (21.5%)	47 (23.5%)	48 (24.0%)	63 (31.5%)	280 (23.3%)	36 (18.0%)	27 (13.5%)	23 (11.5%)	32 (16.0%)	30 (15.0%)	37 (18.5%)	185 (15.4%)	465 (19.4%)
	海洋探査・開発	14 (7.0%)	22 (11.0%)	28 (14.0%)	28 (14.0%)	24 (12.0%)	41 (20.5%)	157 (13.1%)	23 (11.5%)	15 (7.5%)	15 (7.5%)	20 (10.0%)	20 (10.0%)	34 (17.0%)	127 (10.6%)	284 (11.8%)
	原子力開発	9 (4.5%)	9 (4.5%)	9 (4.5%)	6 (3.0%)	3 (1.5%)	10 (5.0%)	46 (3.8%)	5 (2.5%)	5 (2.5%)	4 (2.0%)	2 (1.0%)	4 (2.0%)	4 (2.0%)	24 (2.0%)	70 (2.9%)
	情報通信技術 (インターネットや電子商取引、情報 セキュリティなどの技術)	32 (16.0%)	29 (14.5%)	20 (10.0%)	26 (13.0%)	25 (12.5%)	32 (16.0%)	164 (13.7%)	16 (8.0%)	1 (0.5%)	4 (2.0%)	13 (6.5%)	10 (5.0%)	16 (8.0%)	70 (5.8%)	234 (9.8%)
	数理学 (最近の数学の成果を応用した技術 開発など)	19 (9.5%)	15 (7.5%)	13 (6.5%)	16 (8.0%)	21 (10.5%)	34 (17.0%)	118 (9.8%)	11 (5.5%)	10 (5.0%)	6 (3.0%)	10 (5.0%)	18 (9.0%)	26 (13.0%)	81 (6.8%)	199 (8.3%)
特になし	65 (32.5%)	86 (43.0%)	90 (45.0%)	90 (45.0%)	73 (36.5%)	56 (28.0%)	460 (38.3%)	84 (42.0%)	97 (48.5%)	112 (56.0%)	99 (49.5%)	90 (45.0%)	89 (44.5%)	571 (47.6%)	1031 (43.0%)	

上段:実数、下段:比率

問	選択肢	男性							女性							全体
		10代	20代	30代	40代	50代	60代	計	10代	20代	30代	40代	50代	60代	計	
最も感動や安心を感じたもの	国際政治・外交	4 (3.0%)	5 (4.4%)	4 (3.6%)	7 (6.4%)	1 (0.8%)	3 (2.1%)	24 (3.2%)	3 (2.6%)	4 (3.9%)	0 (0.0%)	3 (3.0%)	1 (0.9%)	0 (0.0%)	11 (1.7%)	35 (2.6%)
	経済・景気・国際競争力	9 (6.7%)	10 (8.8%)	5 (4.5%)	3 (2.7%)	4 (3.1%)	2 (1.4%)	33 (4.5%)	1 (0.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (1.0%)	1 (0.9%)	3 (2.7%)	6 (1.0%)	39 (2.8%)
	気候変動	4 (3.0%)	1 (0.9%)	1 (0.9%)	1 (0.9%)	3 (2.4%)	1 (0.7%)	11 (1.5%)	1 (0.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (3.6%)	0 (0.0%)	5 (0.8%)	16 (1.2%)
	資源・エネルギー	1 (0.7%)	2 (1.8%)	3 (2.7%)	3 (2.7%)	2 (1.6%)	1 (0.7%)	12 (1.6%)	2 (1.7%)	2 (1.9%)	0 (0.0%)	4 (4.0%)	1 (0.9%)	0 (0.0%)	9 (1.4%)	21 (1.5%)
	食料・水資源	3 (2.2%)	3 (2.6%)	0 (0.0%)	1 (0.9%)	2 (1.6%)	3 (2.1%)	12 (1.6%)	3 (2.6%)	1 (1.0%)	2 (2.3%)	1 (1.0%)	1 (0.9%)	1 (0.9%)	9 (1.4%)	21 (1.5%)
	自然災害に対する防災・減災	3 (2.2%)	3 (2.6%)	5 (4.5%)	4 (3.6%)	1 (0.8%)	7 (4.9%)	23 (3.1%)	5 (4.3%)	2 (1.9%)	2 (2.3%)	3 (3.0%)	2 (1.8%)	4 (3.6%)	18 (2.9%)	41 (3.0%)
	少子高齢化社会	4 (3.0%)	0 (0.0%)	2 (1.8%)	0 (0.0%)	1 (0.8%)	0 (0.0%)	7 (0.9%)	2 (1.7%)	1 (1.0%)	1 (1.1%)	0 (0.0%)	1 (0.9%)	0 (0.0%)	5 (0.8%)	12 (0.9%)
	食の安全	2 (1.5%)	2 (1.8%)	2 (1.8%)	1 (0.9%)	3 (2.4%)	2 (1.4%)	12 (1.6%)	7 (6.0%)	2 (1.9%)	4 (4.5%)	3 (3.0%)	1 (0.9%)	1 (0.9%)	18 (2.9%)	30 (2.2%)
	教育	3 (2.2%)	3 (2.6%)	1 (0.9%)	2 (1.8%)	1 (0.8%)	0 (0.0%)	10 (1.4%)	5 (4.9%)	4 (4.5%)	4 (4.0%)	0 (0.0%)	2 (1.8%)	2 (2.5%)	16 (2.5%)	26 (1.9%)
	健康や医療	6 (4.4%)	5 (4.4%)	9 (8.2%)	4 (3.6%)	8 (6.3%)	7 (4.9%)	39 (5.3%)	6 (5.2%)	5 (4.9%)	12 (13.6%)	4 (4.0%)	7 (6.4%)	3 (2.7%)	37 (5.9%)	76 (5.6%)
	生活環境の保全	3 (2.2%)	2 (1.8%)	2 (1.8%)	2 (1.8%)	0 (0.0%)	2 (1.4%)	11 (1.5%)	4 (3.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (3.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7 (1.1%)	18 (1.3%)
	自然環境の保全	1 (0.7%)	0 (0.0%)	1 (0.9%)	3 (2.7%)	0 (0.0%)	2 (1.4%)	7 (0.9%)	1 (0.9%)	3 (2.9%)	2 (2.3%)	0 (0.0%)	2 (1.8%)	2 (1.8%)	10 (1.6%)	17 (1.2%)
	新しい技術や発明の利用 (既存の知識を用いた新製品の開発など)	29 (21.5%)	27 (23.7%)	27 (24.5%)	29 (26.4%)	30 (23.6%)	43 (29.9%)	185 (25.0%)	19 (16.4%)	22 (21.4%)	21 (23.9%)	26 (25.7%)	30 (27.3%)	25 (22.5%)	143 (22.7%)	328 (24.0%)
	新しい科学的発見 (観察や実験、思考などに基づいた 新事実や理論の発見など)	12 (8.9%)	15 (13.2%)	13 (11.8%)	13 (11.8%)	15 (11.8%)	18 (12.5%)	86 (11.6%)	12 (10.3%)	12 (11.7%)	8 (9.1%)	10 (9.9%)	12 (10.9%)	14 (12.6%)	68 (10.8%)	154 (11.2%)
	新しい医学的発見 (生体や疾病などに関する発見など)	15 (11.1%)	11 (9.6%)	8 (7.3%)	10 (9.1%)	20 (15.7%)	29 (20.1%)	93 (12.6%)	18 (15.5%)	24 (23.3%)	14 (15.9%)	20 (19.8%)	30 (27.3%)	42 (37.8%)	148 (23.5%)	241 (17.6%)
	宇宙探査・開発	15 (11.1%)	16 (14.0%)	13 (11.8%)	14 (12.7%)	13 (10.2%)	11 (7.6%)	82 (11.1%)	18 (15.5%)	12 (11.7%)	9 (10.2%)	10 (9.9%)	7 (6.4%)	5 (4.5%)	61 (9.7%)	143 (10.4%)
	海洋探査・開発	1 (0.7%)	2 (1.8%)	6 (5.5%)	3 (2.7%)	7 (5.5%)	4 (2.8%)	23 (3.1%)	4 (3.4%)	5 (4.9%)	5 (5.7%)	2 (2.0%)	2 (1.8%)	2 (1.8%)	20 (3.2%)	43 (3.1%)
	原子力開発	1 (0.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.8%)	1 (0.7%)	3 (0.4%)	2 (1.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (1.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (0.5%)	6 (0.4%)
	情報通信技術 (インターネットや電子商取引、情報 セキュリティなどの技術)	12 (8.9%)	6 (5.3%)	5 (4.5%)	8 (7.3%)	4 (3.1%)	1 (0.7%)	36 (4.9%)	5 (4.3%)	3 (2.9%)	1 (1.1%)	4 (4.0%)	2 (1.8%)	1 (0.9%)	16 (2.5%)	52 (3.8%)
	数理科学 (最近の数学の成果を応用した技術 開発など)	7 (5.2%)	1 (0.9%)	3 (2.7%)	2 (1.8%)	11 (8.7%)	7 (4.9%)	31 (4.2%)	2 (1.7%)	0 (0.0%)	3 (3.4%)	2 (2.0%)	6 (5.5%)	6 (5.4%)	19 (3.0%)	50 (3.7%)

Q8 Q6で「不安や嫌悪を感じたもの」がある方にお聞きます。あなたは、その不安や嫌悪を感じた情報を最初に見聞きした時、どうすることが多かったですか。次のうち、当てはまるものをいくつでもお選びください。

非常に興味をもった	59 (36.4%)	64 (40.8%)	61 (37.9%)	72 (41.6%)	71 (40.3%)	75 (39.7%)	402 (39.5%)	56 (33.9%)	51 (29.8%)	61 (35.3%)	60 (33.1%)	62 (33.5%)	62 (33.3%)	352 (33.2%)	754 (36.3%)
その情報をそのまま信じた	29 (17.9%)	20 (12.7%)	40 (24.8%)	28 (16.2%)	39 (22.2%)	38 (20.1%)	194 (19.1%)	31 (18.8%)	35 (20.5%)	49 (28.3%)	47 (26.0%)	52 (28.1%)	40 (21.5%)	254 (23.9%)	448 (21.5%)
その情報を疑った	24 (14.8%)	28 (17.8%)	18 (11.2%)	27 (15.6%)	23 (13.1%)	31 (16.4%)	151 (14.8%)	16 (9.7%)	22 (12.9%)	21 (12.1%)	15 (8.3%)	12 (6.5%)	18 (9.7%)	104 (9.8%)	255 (12.3%)
さらに詳しく知りたいと思った	62 (38.3%)	52 (33.1%)	79 (49.1%)	84 (48.6%)	88 (50.0%)	104 (55.0%)	469 (46.1%)	67 (40.6%)	71 (41.5%)	95 (54.9%)	88 (48.6%)	93 (50.3%)	104 (55.9%)	518 (48.8%)	987 (47.5%)
その情報や関連する情報を様々なメディアで確認した	29 (17.9%)	22 (14.0%)	38 (23.6%)	50 (28.9%)	56 (31.8%)	61 (32.3%)	256 (25.1%)	27 (16.4%)	40 (23.4%)	49 (28.3%)	53 (29.3%)	56 (30.3%)	57 (30.6%)	282 (26.6%)	538 (25.9%)
ホームページやブログ、電子掲示板にその内容や自分の意見・感想を書き込んだ	4 (2.5%)	2 (1.3%)	7 (4.3%)	3 (1.7%)	3 (1.7%)	6 (3.2%)	25 (2.5%)	1 (0.6%)	3 (1.8%)	2 (1.2%)	4 (2.2%)	1 (0.5%)	1 (0.5%)	12 (1.1%)	37 (1.8%)
FacebookやTwitter、LINEなどのSNSにその内容や自分の意見・感想を書き込んだ	6 (3.7%)	7 (4.5%)	7 (4.3%)	1 (0.6%)	3 (1.7%)	3 (1.6%)	27 (2.7%)	11 (6.7%)	6 (3.5%)	4 (2.3%)	1 (0.6%)	3 (1.6%)	2 (1.1%)	27 (2.5%)	54 (2.6%)
家族や友人、知人に会話やメールで伝えた	5 (3.1%)	5 (3.2%)	13 (8.1%)	14 (8.1%)	20 (11.4%)	14 (7.4%)	71 (7.0%)	20 (12.1%)	21 (12.3%)	21 (12.1%)	31 (17.1%)	26 (14.1%)	29 (15.6%)	148 (13.9%)	219 (10.5%)
自分には関係ないことと思った	22 (13.6%)	16 (10.2%)	7 (4.3%)	7 (4.0%)	2 (1.1%)	4 (2.1%)	58 (5.7%)	21 (12.7%)	14 (8.2%)	4 (2.3%)	6 (3.3%)	3 (1.6%)	3 (1.6%)	51 (4.8%)	109 (5.2%)
その他	0 (0.0%)	1 (0.6%)	1 (0.6%)	1 (0.6%)	3 (1.7%)	4 (2.1%)	10 (1.0%)	0 (0.0%)	4 (2.3%)	2 (1.2%)	1 (0.6%)	3 (1.6%)	4 (2.2%)	14 (1.3%)	24 (1.2%)

上段:実数、下段:比率

問	選択肢	男性						女性						全体		
		10代	20代	30代	40代	50代	60代	計	10代	20代	30代	40代	50代		60代	計
Q9	Q6で「感動や安心を感じたもの」がある方にお聞きします。あなたは、その感動や安心を感じた情報を最初に見聞きした時、どうすることが多かったですか。次のうち、当てはまるものをいくつかもお選びください。															
	非常に興味をもった	69 (51.1%)	66 (57.9%)	59 (53.6%)	56 (50.9%)	64 (50.4%)	78 (54.2%)	392 (53.0%)	48 (41.4%)	52 (50.5%)	38 (43.2%)	39 (38.6%)	40 (36.4%)	68 (61.3%)	285 (45.3%)	677 (49.5%)
	その情報をそのまま信じた	28 (20.7%)	22 (19.3%)	36 (32.7%)	37 (33.6%)	32 (25.2%)	52 (36.1%)	207 (28.0%)	32 (27.6%)	32 (31.1%)	30 (34.1%)	43 (42.6%)	42 (38.2%)	42 (37.8%)	221 (35.1%)	428 (31.3%)
	その情報を疑った	8 (5.9%)	7 (6.1%)	5 (4.5%)	3 (2.7%)	5 (3.9%)	7 (4.9%)	35 (4.7%)	4 (3.4%)	1 (1.0%)	3 (3.4%)	2 (2.0%)	1 (0.9%)	0 (0.0%)	11 (1.7%)	46 (3.4%)
	さらに詳しく知りたいと思った	50 (37.0%)	34 (29.8%)	39 (34.5%)	54 (49.1%)	59 (46.5%)	80 (55.6%)	315 (42.6%)	39 (33.6%)	4 (39.8%)	44 (50.0%)	39 (38.6%)	44 (40.0%)	54 (48.6%)	261 (41.5%)	576 (42.1%)
	その情報や関連する情報を様々なメディアで確認した	24 (17.8%)	18 (15.8%)	21 (19.1%)	34 (30.9%)	30 (23.6%)	38 (26.4%)	165 (22.3%)	17 (14.7%)	21 (20.4%)	25 (28.4%)	19 (18.8%)	32 (29.1%)	41 (36.9%)	155 (24.6%)	320 (23.4%)
	ホームページやブログ、電子掲示板にその内容や自分の意見・感想を書き込んだ	9 (6.7%)	4 (3.5%)	3 (2.7%)	1 (0.9%)	1 (0.8%)	2 (1.4%)	20 (2.7%)	0 (0.0%)	2 (1.9%)	3 (3.4%)	2 (2.0%)	1 (0.9%)	1 (0.9%)	9 (1.4%)	29 (2.1%)
	FacebookやTwitter、LINEなどのSNSにその内容や自分の意見・感想を書き込んだ	5 (3.7%)	6 (5.3%)	5 (4.5%)	0 (0.0%)	3 (2.4%)	3 (2.1%)	22 (3.0%)	3 (2.6%)	3 (2.9%)	3 (3.4%)	0 (0.0%)	2 (1.8%)	0 (0.0%)	11 (1.7%)	33 (2.4%)
	家族や友人、知人に会話やメールで伝えた	5 (3.7%)	7 (6.1%)	14 (12.7%)	7 (6.4%)	14 (11.0%)	14 (9.7%)	61 (8.2%)	10 (8.6%)	14 (13.6%)	19 (21.6%)	16 (15.8%)	24 (21.8%)	26 (23.4%)	109 (17.3%)	170 (12.4%)
	自分には関係ないことと思った	19 (14.1%)	9 (7.9%)	1 (0.9%)	4 (3.6%)	2 (1.6%)	1 (0.7%)	36 (4.9%)	9 (7.8%)	7 (6.8%)	1 (1.1%)	4 (4.0%)	5 (4.5%)	0 (0.0%)	26 (4.1%)	62 (4.5%)
	その他	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (2.7%)	0 (0.0%)	2 (1.6%)	1 (0.7%)	6 (0.8%)	1 (0.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (1.0%)	0 (0.0%)	2 (1.8%)	4 (0.6%)	10 (0.7%)

Q10 Q6で「不安や嫌悪を感じたもの」がある方にお聞きします。あなたは、その不安や嫌悪を感じた情報に関して、あなたの意見や判断を左右したのがありますか。次のうち、当てはまるものをいくつかもお選びください。また、それらのうち、最も左右したのとして当てはまるものを1つお選びください。

意見や判断を左右したもの	Q6で「不安や嫌悪を感じたもの」がある方にお聞きします。あなたは、その不安や嫌悪を感じた情報に関して、あなたの意見や判断を左右したのがありますか。次のうち、当てはまるものをいくつかもお選びください。また、それらのうち、最も左右したのとして当てはまるものを1つお選びください。															
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	計	10代	20代	30代	40代	50代	60代	計	全体	
科学者などの専門家から発信された情報	69 (42.6%)	58 (36.9%)	64 (39.8%)	65 (37.6%)	70 (39.8%)	72 (38.1%)	398 (39.1%)	62 (37.6%)	67 (39.2%)	59 (34.1%)	71 (39.2%)	67 (36.2%)	67 (36.0%)	393 (37.0%)	791 (38.0%)	
科学者などの専門家が学会や学術論文で発表した情報	31 (19.1%)	28 (17.8%)	24 (14.9%)	23 (13.3%)	22 (12.5%)	33 (17.5%)	161 (15.8%)	18 (10.9%)	17 (9.9%)	15 (8.7%)	20 (11.0%)	20 (10.8%)	25 (13.4%)	115 (10.8%)	276 (13.3%)	
新聞社や雑誌社、テレビ局の記者から発信された情報	56 (34.6%)	51 (32.5%)	64 (39.8%)	78 (45.1%)	97 (55.1%)	98 (51.9%)	444 (43.6%)	48 (29.1%)	80 (46.8%)	82 (47.4%)	93 (51.4%)	102 (55.1%)	110 (59.1%)	515 (48.5%)	959 (46.1%)	
ニュースキャスターやコメンテーターから発信された情報	56 (34.6%)	56 (35.7%)	64 (39.8%)	79 (45.7%)	71 (40.3%)	99 (52.4%)	425 (41.7%)	70 (42.4%)	79 (46.2%)	91 (52.6%)	83 (45.9%)	84 (45.4%)	87 (46.8%)	494 (46.6%)	919 (44.2%)	
著名人や評論家から発信された情報	28 (17.3%)	28 (17.8%)	22 (13.7%)	28 (16.2%)	32 (18.2%)	55 (29.1%)	193 (19.0%)	28 (17.0%)	25 (14.6%)	32 (18.5%)	23 (12.7%)	28 (15.1%)	37 (19.9%)	173 (16.3%)	366 (17.6%)	
タレントや芸能人から発信された情報	14 (8.6%)	12 (7.6%)	12 (7.5%)	3 (1.7%)	4 (2.3%)	5 (2.6%)	50 (4.9%)	20 (12.1%)	18 (10.5%)	16 (9.2%)	4 (2.2%)	5 (2.7%)	4 (2.2%)	67 (6.3%)	117 (5.6%)	
国の行政機関や地方公共団体から発信された情報	22 (13.6%)	26 (16.6%)	29 (18.0%)	37 (21.4%)	33 (18.8%)	54 (28.6%)	201 (19.7%)	23 (13.9%)	31 (18.1%)	31 (17.9%)	35 (19.3%)	34 (18.4%)	47 (25.3%)	201 (18.9%)	402 (19.3%)	
国会議員や地方議会議員から発信された情報	23 (14.2%)	20 (12.7%)	9 (5.6%)	16 (9.2%)	12 (6.8%)	18 (9.5%)	98 (9.6%)	15 (9.1%)	21 (12.3%)	13 (7.5%)	11 (6.1%)	19 (10.3%)	15 (8.1%)	94 (8.9%)	192 (9.2%)	
国立や公立などの公的研究機関から発信された情報	13 (8.0%)	16 (10.2%)	10 (6.2%)	11 (6.4%)	15 (8.5%)	18 (9.5%)	83 (8.2%)	13 (7.9%)	17 (9.9%)	15 (8.7%)	11 (6.1%)	18 (9.7%)	19 (10.2%)	93 (8.8%)	176 (8.5%)	
大学から発信された情報	20 (12.3%)	12 (7.6%)	5 (3.1%)	3 (1.7%)	9 (5.1%)	11 (5.8%)	60 (5.9%)	17 (10.3%)	15 (8.8%)	6 (3.5%)	5 (2.8%)	9 (4.9%)	4 (2.2%)	56 (5.3%)	116 (5.6%)	
学会から発信された情報	15 (9.3%)	11 (7.0%)	7 (4.3%)	11 (6.4%)	9 (5.1%)	21 (11.1%)	74 (7.3%)	8 (4.8%)	7 (4.1%)	7 (4.0%)	4 (2.2%)	7 (3.8%)	8 (4.3%)	41 (3.9%)	115 (5.5%)	
科学館や博物館など科学技術関連施設から発信された情報	10 (6.2%)	10 (6.4%)	4 (2.5%)	7 (4.0%)	6 (3.4%)	16 (8.5%)	53 (5.2%)	4 (2.4%)	4 (2.3%)	9 (5.2%)	6 (3.3%)	5 (2.7%)	8 (4.3%)	36 (3.4%)	89 (4.3%)	
民間企業や民間団体から発信された情報	14 (8.6%)	14 (8.9%)	9 (5.6%)	14 (8.1%)	18 (10.2%)	10 (5.3%)	79 (7.8%)	10 (6.1%)	14 (8.2%)	16 (9.2%)	14 (7.7%)	15 (8.1%)	12 (6.5%)	81 (7.6%)	160 (7.7%)	
一般人から発信された情報や意見	28 (17.3%)	24 (15.3%)	27 (16.8%)	19 (11.0%)	17 (9.7%)	21 (11.1%)	136 (13.4%)	18 (10.9%)	28 (16.4%)	29 (16.8%)	23 (12.7%)	24 (13.0%)	14 (7.5%)	136 (12.8%)	272 (13.1%)	
家族や友人、知人の話	21 (13.0%)	18 (11.5%)	20 (12.4%)	16 (9.2%)	13 (7.4%)	14 (7.4%)	102 (10.0%)	35 (21.2%)	39 (22.8%)	32 (18.5%)	33 (18.2%)	30 (16.2%)	23 (12.4%)	192 (18.1%)	294 (14.1%)	
その他	1 (0.6%)	1 (0.6%)	1 (0.6%)	2 (1.2%)	2 (1.1%)	3 (1.6%)	10 (1.0%)	1 (0.6%)	1 (0.6%)	1 (0.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.5%)	4 (0.4%)	14 (0.7%)	
特になし	27 (16.7%)	33 (21.0%)	28 (17.4%)	27 (15.6%)	30 (17.0%)	32 (16.9%)	177 (17.4%)	39 (23.6%)	32 (18.7%)	29 (16.8%)	36 (19.9%)	30 (16.2%)	31 (16.7%)	197 (18.6%)	374 (18.0%)	

上段:実数、下段:比率

問	選択肢	男性							女性							全体
		10代	20代	30代	40代	50代	60代	計	10代	20代	30代	40代	50代	60代	計	
最も意見や判断を左右したものの	科学者などの専門家から発信された情報	38 (28.1%)	31 (25.0%)	35 (26.3%)	32 (21.9%)	40 (27.4%)	33 (21.0%)	209 (20.5%)	27 (21.4%)	34 (24.5%)	30 (20.8%)	40 (27.6%)	31 (20.0%)	37 (23.9%)	199 (18.8%)	408 (19.6%)
	科学者などの専門家が学会や学術論文で発表した情報	9 (6.7%)	9 (7.3%)	9 (6.8%)	8 (5.5%)	6 (4.1%)	12 (7.6%)	53 (5.2%)	4 (3.2%)	3 (2.2%)	2 (1.4%)	4 (2.8%)	4 (2.6%)	5 (3.2%)	22 (2.1%)	75 (3.6%)
	新聞社や雑誌社、テレビ局の記者から発信された情報	24 (17.8%)	21 (16.9%)	31 (23.3%)	35 (24.0%)	50 (34.2%)	49 (31.2%)	210 (20.6%)	23 (18.3%)	32 (23.0%)	36 (25.0%)	46 (31.7%)	51 (32.9%)	50 (32.3%)	238 (22.4%)	448 (21.5%)
	ニュースキャスターやコメンテーターから発信された情報	21 (15.6%)	23 (18.5%)	20 (15.0%)	36 (24.7%)	16 (11.0%)	26 (16.6%)	142 (13.9%)	31 (24.6%)	27 (19.4%)	43 (29.9%)	29 (20.0%)	28 (18.1%)	32 (20.6%)	190 (17.9%)	332 (16.0%)
	著名人や評論家から発信された情報	8 (5.9%)	7 (5.6%)	6 (4.5%)	5 (3.4%)	5 (3.4%)	10 (6.4%)	41 (4.0%)	5 (4.0%)	3 (2.2%)	4 (2.8%)	1 (0.7%)	2 (1.3%)	5 (3.2%)	20 (1.9%)	61 (2.9%)
	タレントや芸能人から発信された情報	2 (1.5%)	1 (0.8%)	1 (0.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (0.4%)	5 (4.0%)	2 (1.4%)	4 (2.8%)	0 (0.0%)	1 (0.6%)	1 (0.6%)	13 (1.2%)	17 (0.8%)
	国の行政機関や地方公共団体から発信された情報	5 (3.7%)	3 (2.4%)	6 (4.5%)	6 (4.1%)	9 (6.2%)	13 (8.3%)	42 (4.1%)	6 (4.8%)	10 (7.2%)	9 (6.3%)	4 (2.8%)	9 (5.8%)	7 (4.5%)	45 (4.2%)	87 (4.2%)
	国会議員や地方議会議員から発信された情報	3 (2.2%)	6 (4.8%)	1 (0.8%)	4 (2.7%)	4 (2.7%)	1 (0.6%)	19 (1.9%)	3 (2.4%)	3 (2.2%)	2 (1.4%)	5 (3.4%)	3 (1.9%)	3 (1.9%)	19 (1.8%)	38 (1.8%)
	国立や公立などの公的研究機関から発信された情報	1 (0.7%)	4 (3.2%)	4 (3.0%)	0 (0.0%)	3 (2.1%)	1 (0.6%)	13 (1.3%)	0 (0.0%)	5 (3.6%)	2 (1.4%)	2 (1.4%)	3 (1.9%)	2 (1.3%)	14 (1.3%)	27 (1.3%)
	大学から発信された情報	2 (1.5%)	2 (1.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.7%)	0 (0.0%)	5 (0.5%)	3 (2.4%)	14 (10.1%)	0 (0.0%)	2 (1.4%)	3 (1.9%)	0 (0.0%)	22 (2.1%)	27 (1.3%)
	学会から発信された情報	4 (3.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (1.4%)	0 (0.0%)	1 (0.6%)	7 (0.7%)	1 (0.8%)	0 (0.0%)	1 (0.7%)	0 (0.0%)	1 (0.6%)	0 (0.0%)	3 (0.3%)	10 (0.5%)
	科学館や博物館など科学技術関連施設から発信された情報	1 (0.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.7%)	0 (0.0%)	1 (0.6%)	3 (0.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.7%)	1 (0.7%)	2 (1.3%)	2 (1.3%)	6 (0.6%)	9 (0.4%)
	民間企業や民間団体から発信された情報	2 (1.5%)	0 (0.0%)	3 (2.3%)	2 (1.4%)	3 (2.1%)	0 (0.0%)	10 (1.0%)	1 (0.8%)	3 (2.2%)	3 (2.1%)	3 (2.1%)	4 (2.6%)	6 (3.9%)	20 (1.9%)	30 (1.4%)
	一般人から発信された情報や意見	8 (5.9%)	8 (6.5%)	11 (8.3%)	8 (5.5%)	5 (3.4%)	5 (3.2%)	45 (4.4%)	3 (2.4%)	8 (5.8%)	4 (2.8%)	3 (2.1%)	5 (3.2%)	2 (1.3%)	25 (2.4%)	70 (3.4%)
	家族や友人、知人の話	7 (5.2%)	8 (6.5%)	5 (3.8%)	6 (4.1%)	2 (1.4%)	2 (1.3%)	30 (2.9%)	13 (10.3%)	7 (5.0%)	3 (2.1%)	5 (3.4%)	8 (5.2%)	2 (1.3%)	38 (3.6%)	68 (3.3%)
	その他	0 (0.0%)	1 (0.8%)	1 (0.8%)	1 (0.7%)	2 (1.4%)	3 (1.9%)	8 (0.8%)	1 (0.8%)	1 (0.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.6%)	3 (0.3%)	11 (0.5%)

Q11 Q6で「感動や安心を感じたもの」がある方にお聞きます。あなたは、その感動や安心を感じた情報に関して、あなたの意見や判断を左右したのがありますか。次のうち、当てはまるものをいくつかもお選びください。また、それらのうち、最も左右したのとして当てはまるものを1つお選びください。

意見や判断を左右したものの	科学者などの専門家から発信された情報	53 (39.3%)	52 (45.6%)	50 (45.5%)	51 (46.4%)	64 (50.4%)	72 (50.0%)	342 (46.2%)	52 (44.8%)	43 (41.7%)	39 (44.3%)	46 (45.5%)	51 (46.4%)	52 (46.8%)	283 (45.0%)	625 (45.7%)
	科学者などの専門家が学会や学術論文で発表した情報	31 (23.0%)	28 (24.6%)	26 (23.6%)	28 (25.5%)	32 (25.2%)	45 (31.3%)	190 (25.7%)	20 (17.2%)	19 (18.4%)	17 (19.3%)	22 (21.8%)	27 (24.5%)	27 (24.3%)	132 (21.0%)	322 (23.5%)
	新聞社や雑誌社、テレビ局の記者から発信された情報	44 (32.6%)	38 (33.3%)	42 (38.2%)	56 (50.9%)	71 (55.9%)	84 (58.3%)	335 (45.3%)	36 (31.0%)	51 (49.5%)	43 (48.9%)	53 (52.5%)	69 (62.7%)	68 (61.3%)	320 (50.9%)	655 (47.8%)
	ニュースキャスターやコメンテーターから発信された情報	38 (28.1%)	41 (36.0%)	36 (32.7%)	50 (45.5%)	46 (36.2%)	81 (56.3%)	292 (39.5%)	50 (43.1%)	53 (51.5%)	49 (55.7%)	54 (53.5%)	54 (49.1%)	54 (48.6%)	314 (49.9%)	606 (44.3%)
	著名人や評論家から発信された情報	17 (12.6%)	18 (15.8%)	17 (15.5%)	19 (17.3%)	20 (15.7%)	35 (24.3%)	126 (17.0%)	16 (13.8%)	18 (17.5%)	12 (13.6%)	13 (12.9%)	12 (10.9%)	30 (27.0%)	101 (16.1%)	227 (16.6%)
	タレントや芸能人から発信された情報	11 (8.1%)	7 (6.1%)	5 (4.5%)	4 (3.6%)	3 (2.4%)	4 (2.8%)	34 (4.6%)	14 (12.1%)	11 (10.7%)	10 (11.4%)	2 (2.0%)	5 (4.5%)	1 (0.9%)	43 (6.8%)	77 (5.6%)
	国の行政機関や地方公共団体から発信された情報	12 (8.9%)	17 (14.9%)	7 (6.4%)	11 (10.0%)	12 (9.4%)	18 (12.5%)	77 (10.4%)	7 (6.0%)	12 (11.7%)	6 (6.8%)	9 (8.9%)	5 (4.5%)	17 (15.3%)	56 (8.9%)	133 (9.7%)
	国会議員や地方議会議員から発信された情報	8 (5.9%)	9 (7.9%)	5 (4.5%)	4 (3.6%)	3 (2.4%)	4 (2.8%)	33 (4.5%)	4 (3.4%)	4 (3.9%)	1 (1.1%)	3 (3.0%)	2 (1.8%)	3 (2.7%)	17 (2.7%)	50 (3.7%)
	国立や公立などの公的研究機関から発信された情報	6 (4.4%)	15 (13.2%)	8 (7.3%)	11 (10.0%)	11 (8.7%)	16 (11.1%)	67 (9.1%)	9 (7.8%)	4 (3.9%)	6 (6.8%)	11 (10.9%)	12 (10.9%)	13 (11.7%)	55 (8.7%)	122 (8.9%)
	大学から発信された情報	18 (13.3%)	11 (9.6%)	5 (4.5%)	8 (7.3%)	8 (6.3%)	15 (10.4%)	65 (8.8%)	13 (11.2%)	5 (4.9%)	4 (4.5%)	6 (5.9%)	11 (10.0%)	7 (6.3%)	46 (7.3%)	111 (8.1%)
	学会から発信された情報	9 (6.7%)	11 (9.6%)	4 (3.6%)	7 (6.4%)	7 (5.5%)	16 (11.1%)	54 (7.3%)	9 (7.8%)	3 (2.9%)	3 (3.4%)	5 (5.0%)	13 (11.8%)	10 (9.0%)	43 (6.8%)	97 (7.1%)
	科学館や博物館など科学技術関連施設から発信された情報	9 (6.7%)	10 (8.8%)	8 (7.3%)	9 (8.2%)	12 (9.4%)	19 (13.2%)	67 (9.1%)	10 (8.6%)	7 (6.8%)	6 (6.8%)	6 (5.9%)	12 (10.9%)	9 (8.1%)	50 (7.9%)	117 (8.5%)
	民間企業や民間団体から発信された情報	11 (8.1%)	13 (11.4%)	14 (12.7%)	9 (8.2%)	8 (6.3%)	11 (7.6%)	66 (8.9%)	3 (2.6%)	10 (9.7%)	2 (2.3%)	8 (7.9%)	6 (5.5%)	12 (10.8%)	41 (6.5%)	107 (7.8%)
	一般人から発信された情報や意見	18 (13.3%)	10 (8.8%)	16 (14.5%)	11 (10.0%)	3 (2.4%)	6 (4.2%)	64 (8.6%)	13 (11.2%)	17 (16.5%)	11 (12.5%)	7 (6.9%)	7 (6.4%)	9 (8.1%)	64 (10.2%)	128 (9.3%)
	家族や友人、知人の話	10 (7.4%)	14 (12.3%)	10 (9.1%)	11 (10.0%)	3 (2.4%)	7 (4.9%)	55 (7.4%)	16 (13.8%)	14 (13.6%)	12 (13.6%)	14 (13.9%)	14 (12.7%)	14 (12.6%)	84 (13.4%)	139 (10.2%)

上段:実数、下段:比率

問	選択肢	男性						女性						全体		
		10代	20代	30代	40代	50代	60代	計	10代	20代	30代	40代	50代		60代	計
	その他	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	1	0	0	1	3
	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(1.4%)	(0.3%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(1.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.2%)	(0.2%)	
	特にない	28	16	20	17	18	14	115	21	14	14	11	11	8	79	194
		(20.7%)	(15.8%)	(18.2%)	(15.5%)	(14.2%)	(9.7%)	(15.5%)	(18.1%)	(13.6%)	(15.9%)	(10.9%)	(10.0%)	(7.2%)	(12.6%)	(14.2%)
最も意見や判断を左右したもの	科学者などの専門家から発信された情報	34	28	32	26	33	39	192	32	27	18	29	29	27	162	354
		(31.8%)	(29.2%)	(35.6%)	(28.0%)	(30.3%)	(30.0%)	(25.9%)	(33.7%)	(30.3%)	(24.3%)	(32.2%)	(29.3%)	(26.2%)	(25.8%)	(25.9%)
	科学者などの専門家や学会や学術論文で発表した情報	7	11	10	7	10	17	62	7	2	5	2	6	3	25	87
		(6.5%)	(11.5%)	(11.1%)	(7.5%)	(9.2%)	(13.1%)	(8.4%)	(7.4%)	(2.2%)	(6.8%)	(2.2%)	(6.1%)	(2.9%)	(4.0%)	(6.4%)
	新聞社や雑誌社、テレビ局の記者から発信された情報	19	18	16	29	38	33	153	11	16	18	19	27	30	121	274
		(17.8%)	(18.8%)	(17.8%)	(31.2%)	(34.9%)	(25.4%)	(20.7%)	(11.6%)	(18.0%)	(24.3%)	(21.1%)	(27.3%)	(29.1%)	(19.2%)	(20.0%)
	ニュースキャスターやコメンテーターから発信された情報	13	17	15	15	10	22	92	23	16	23	24	24	24	134	226
		(12.1%)	(17.7%)	(16.7%)	(16.1%)	(9.2%)	(16.9%)	(12.4%)	(24.2%)	(18.0%)	(31.1%)	(26.7%)	(24.2%)	(23.3%)	(21.3%)	(16.5%)
	著名人や評論家から発信された情報	2	4	3	4	1	4	18	1	2	0	1	2	3	9	27
		(1.9%)	(4.2%)	(3.3%)	(4.3%)	(0.9%)	(3.1%)	(2.4%)	(1.1%)	(2.2%)	(0.0%)	(1.1%)	(2.0%)	(2.9%)	(1.4%)	(2.0%)
	タレントや芸能人から発信された情報	3	0	1	0	0	0	4	6	3	2	0	1	0	12	16
		(2.8%)	(0.0%)	(1.1%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.5%)	(6.3%)	(3.4%)	(2.7%)	(0.0%)	(1.0%)	(0.0%)	(1.9%)	(1.2%)
	国の行政機関や地方公共団体から発信された情報	3	2	1	3	4	2	15	2	4	0	2	1	3	12	27
		(2.8%)	(2.1%)	(1.1%)	(3.2%)	(3.7%)	(1.5%)	(2.0%)	(2.1%)	(4.5%)	(0.0%)	(2.2%)	(1.0%)	(2.9%)	(1.9%)	(2.0%)
	国会議員や地方議会議員から発信された情報	1	1	2	0	1	1	6	1	1	0	0	0	0	2	8
		(0.9%)	(1.0%)	(2.2%)	(0.0%)	(0.9%)	(0.8%)	(0.8%)	(1.1%)	(1.1%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.3%)	(0.6%)
	国立や公立などの公的研究機関から発信された情報	3	2	2	2	3	2	14	0	0	1	1	1	4	7	21
	(2.8%)	(2.1%)	(2.2%)	(2.2%)	(2.8%)	(1.5%)	(1.9%)	(0.0%)	(0.0%)	(1.4%)	(1.1%)	(1.0%)	(3.9%)	(1.1%)	(1.5%)	
大学から発信された情報	5	1	0	0	2	0	8	1	2	0	0	0	1	4	12	
	(4.7%)	(1.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(1.8%)	(0.0%)	(1.1%)	(1.1%)	(2.2%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(1.0%)	(0.6%)	(0.9%)	
学会から発信された情報	3	0	0	1	1	0	5	2	0	2	0	1	0	5	10	
	(2.8%)	(0.0%)	(0.0%)	(1.1%)	(0.9%)	(0.0%)	(0.7%)	(2.1%)	(0.0%)	(2.7%)	(0.0%)	(1.0%)	(0.0%)	(0.8%)	(0.7%)	
科学館や博物館など科学技術関連施設から発信された情報	0	2	2	2	4	3	13	1	2	1	2	0	2	8	21	
	(0.0%)	(2.1%)	(2.2%)	(2.2%)	(3.7%)	(2.3%)	(1.8%)	(1.1%)	(2.2%)	(1.4%)	(2.2%)	(0.0%)	(1.9%)	(1.3%)	(1.5%)	
民間企業や民間団体から発信された情報	3	3	5	0	2	1	14	0	5	0	3	0	2	10	24	
	(2.8%)	(3.1%)	(5.6%)	(0.0%)	(1.8%)	(0.8%)	(1.9%)	(0.0%)	(5.6%)	(0.0%)	(3.3%)	(0.0%)	(1.9%)	(1.6%)	(1.8%)	
一般人から発信された情報や意見	7	3	0	2	0	1	13	3	3	0	2	2	2	12	25	
	(6.5%)	(3.1%)	(0.0%)	(2.2%)	(0.0%)	(0.8%)	(1.8%)	(3.2%)	(3.4%)	(0.0%)	(2.2%)	(2.0%)	(1.9%)	(1.9%)	(1.8%)	
家族や友人、知人の話	4	4	1	2	0	3	14	5	6	4	4	4	2	25	39	
	(3.7%)	(4.2%)	(1.1%)	(2.2%)	(0.0%)	(2.3%)	(1.9%)	(5.3%)	(6.7%)	(5.4%)	(4.4%)	(4.0%)	(1.9%)	(4.0%)	(2.8%)	
その他	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	1	1	0	2	4	
	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(1.5%)	(0.3%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(1.1%)	(1.0%)	(0.0%)	(0.3%)	(0.3%)	

Q12 Q8又はQ9で「その情報を疑った」をお選びの方にお聞きします。あなたは、なぜその情報を疑ったのですか。次のうち、当てはまるものをいくつもお選びください。

情報発信者が信頼できなかったから	11	11	6	7	10	12	57	3	7	5	5	5	7	32	89
	(35.5%)	(34.4%)	(28.6%)	(25.9%)	(38.5%)	(36.4%)	(33.5%)	(16.7%)	(30.4%)	(23.8%)	(29.4%)	(38.5%)	(38.9%)	(29.1%)	(31.8%)
情報発信メディアが信頼できなかったから	12	18	10	10	8	14	72	9	13	6	5	6	6	45	117
	(38.7%)	(56.3%)	(47.6%)	(37.0%)	(30.8%)	(42.4%)	(42.4%)	(50.0%)	(56.5%)	(28.6%)	(29.4%)	(46.2%)	(33.3%)	(40.9%)	(41.8%)
不確かな情報として発信されたから	7	6	5	7	7	8	40	4	5	4	5	2	5	25	65
	(22.6%)	(18.8%)	(23.8%)	(25.9%)	(26.9%)	(24.2%)	(23.5%)	(22.2%)	(21.7%)	(19.0%)	(29.4%)	(15.4%)	(27.8%)	(22.7%)	(23.2%)
科学的根拠が不明と感じたから	5	6	2	7	7	13	40	2	4	3	2	1	5	17	57
	(16.1%)	(18.8%)	(9.5%)	(25.9%)	(26.9%)	(39.4%)	(23.5%)	(11.1%)	(17.4%)	(14.3%)	(11.8%)	(7.7%)	(27.8%)	(15.5%)	(20.4%)
自分や家族、日常生活に影響する情報と感じたから	8	4	1	2	2	6	23	4	6	5	4	4	3	26	49
	(25.8%)	(12.5%)	(4.8%)	(7.4%)	(7.7%)	(18.2%)	(13.5%)	(22.2%)	(26.1%)	(23.8%)	(23.5%)	(30.8%)	(16.7%)	(23.6%)	(17.5%)
とりあげ方が興味本位の情報と感じたから	6	10	2	6	4	7	35	3	5	2	4	1	6	21	56
	(19.4%)	(31.3%)	(9.5%)	(22.2%)	(15.4%)	(21.2%)	(20.6%)	(16.7%)	(21.7%)	(9.5%)	(23.5%)	(7.7%)	(33.3%)	(19.1%)	(20.0%)
情報の内容がよく理解できなかったから	4	3	2	6	1	8	24	3	5	6	6	1	1	22	46
	(12.9%)	(9.4%)	(9.5%)	(22.2%)	(3.8%)	(24.2%)	(14.1%)	(16.7%)	(21.7%)	(28.6%)	(35.3%)	(7.7%)	(5.6%)	(20.0%)	(16.4%)
どんな情報でもまず疑ってかかるほうだから	11	8	6	6	7	6	44	6	4	5	3	2	2	22	66
	(35.5%)	(25.0%)	(28.6%)	(22.2%)	(26.9%)	(18.2%)	(25.9%)	(33.3%)	(17.4%)	(23.8%)	(17.6%)	(15.4%)	(11.1%)	(20.0%)	(23.6%)
その他	0	1	0	2	2	2	7	0	1	1	0	0	0	2	9
	(0.0%)	(3.1%)	(0.0%)	(7.4%)	(7.7%)	(6.1%)	(4.1%)	(0.0%)	(4.3%)	(4.8%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(1.8%)	(3.2%)

上段:実数、下段:比率

問	選択肢	男性						女性						全体
		10代	20代	30代	40代	50代	60代	計	10代	20代	30代	40代	50代	

Q13 Q8又はQ9で「その情報や関連する情報を様々なメディアで確認した」をお選びの方にお聞きします。その時あなたが利用したメディアは何ですか。次のうち、当てはまるものをいくつかもお選びください。

新聞(印刷版)	9 (23.1%)	1 (36.7%)	17 (38.6%)	31 (50.8%)	39 (61.9%)	58 (82.9%)	165 (53.7%)	10 (29.4%)	19 (38.0%)	24 (40.7%)	30 (55.6%)	39 (61.9%)	55 (74.3%)	177 (53.0%)	342 (53.4%)
新聞(電子版)	6 (15.4%)	2 (6.7%)	12 (27.3%)	18 (29.5%)	19 (30.2%)	18 (25.7%)	75 (24.4%)	3 (8.8%)	9 (18.0%)	6 (10.2%)	10 (18.5%)	14 (22.2%)	11 (14.9%)	53 (15.9%)	128 (20.0%)
テレビ	28 (71.8%)	21 (70.0%)	27 (61.4%)	41 (67.2%)	42 (66.7%)	61 (87.1%)	220 (71.7%)	27 (79.4%)	39 (78.0%)	49 (83.1%)	44 (81.5%)	55 (87.3%)	61 (82.4%)	275 (82.3%)	495 (77.2%)
ラジオ	4 (10.3%)	3 (10.0%)	4 (9.1%)	13 (21.3%)	11 (17.5%)	14 (20.0%)	49 (16.0%)	1 (2.9%)	3 (6.0%)	4 (6.8%)	8 (14.8%)	4 (6.3%)	11 (14.9%)	31 (9.3%)	80 (12.5%)
本(電子版を含む)	6 (15.4%)	2 (6.7%)	5 (11.4%)	6 (9.8%)	6 (9.5%)	10 (14.3%)	35 (11.4%)	3 (8.8%)	4 (8.0%)	6 (10.2%)	4 (7.4%)	4 (6.3%)	5 (6.8%)	26 (7.8%)	61 (9.5%)
雑誌(電子版を含む)	1 (2.6%)	5 (16.7%)	7 (15.9%)	9 (14.8%)	7 (11.1%)	8 (11.4%)	37 (12.1%)	3 (8.8%)	4 (8.0%)	6 (10.2%)	3 (5.6%)	4 (6.3%)	9 (12.2%)	29 (8.7%)	66 (10.3%)
Yahoo!やMSNなどのポータルサイトや新聞社などのニュースサイト	19 (48.7%)	17 (56.7%)	29 (63.6%)	42 (68.9%)	39 (61.9%)	43 (61.4%)	188 (61.2%)	20 (58.8%)	32 (64.0%)	43 (72.9%)	27 (50.0%)	30 (47.6%)	32 (43.2%)	184 (55.1%)	372 (58.0%)
首相官邸や政府広報のサイト	3 (7.7%)	2 (6.7%)	3 (6.8%)	4 (6.6%)	6 (9.5%)	4 (5.7%)	22 (7.2%)	3 (8.8%)	4 (8.0%)	2 (3.4%)	1 (1.9%)	2 (3.2%)	3 (4.1%)	15 (4.5%)	37 (5.8%)
国の行政機関や地方公共団体の公式サイト	5 (12.8%)	4 (13.3%)	5 (11.4%)	8 (13.1%)	7 (11.1%)	9 (12.9%)	38 (12.4%)	4 (11.8%)	6 (12.0%)	4 (6.8%)	8 (14.8%)	5 (7.9%)	6 (8.1%)	33 (9.9%)	71 (11.1%)
民間企業や民間団体の公式サイト	7 (17.9%)	5 (16.7%)	5 (11.4%)	6 (9.8%)	9 (14.3%)	9 (12.9%)	41 (13.4%)	0 (0.0%)	5 (10.0%)	3 (5.1%)	6 (11.1%)	2 (3.2%)	3 (4.1%)	19 (5.7%)	60 (9.4%)
国立や公立などの公的研究機関の公式サイト	6 (15.4%)	6 (20.0%)	5 (11.4%)	6 (9.8%)	7 (11.1%)	4 (5.7%)	34 (11.1%)	2 (5.9%)	3 (6.0%)	1 (1.7%)	2 (3.7%)	3 (4.8%)	4 (5.4%)	15 (4.5%)	49 (7.6%)
大学の公式サイト	3 (7.7%)	1 (3.3%)	1 (2.3%)	2 (3.3%)	5 (7.9%)	4 (5.7%)	16 (5.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (1.7%)	1 (1.9%)	2 (3.2%)	0 (0.0%)	4 (1.2%)	20 (3.1%)
学会の公式サイト	1 (2.6%)	0 (0.0%)	2 (4.5%)	0 (0.0%)	5 (7.9%)	4 (5.7%)	12 (3.9%)	0 (0.0%)	2 (4.0%)	1 (1.7%)	2 (3.7%)	0 (0.0%)	1 (1.4%)	6 (1.8%)	18 (2.8%)
科学館や博物館など科学技術関連施設の公式サイト	3 (7.7%)	2 (6.7%)	0 (0.0%)	4 (6.6%)	3 (4.8%)	5 (7.1%)	17 (5.5%)	0 (0.0%)	1 (2.0%)	4 (6.8%)	1 (1.9%)	4 (6.3%)	4 (5.4%)	14 (4.2%)	31 (4.8%)
電子掲示板や一般個人のホームページ、ブログ	10 (25.6%)	10 (33.3%)	11 (25.0%)	11 (18.0%)	9 (14.3%)	4 (5.7%)	55 (17.9%)	3 (8.8%)	19 (26.0%)	5 (8.5%)	5 (9.3%)	5 (7.9%)	4 (5.4%)	35 (10.5%)	90 (14.0%)
FacebookやTwitter、LINEなどのSNS	11 (28.2%)	5 (16.7%)	7 (15.9%)	6 (9.8%)	5 (7.9%)	2 (2.9%)	36 (11.7%)	10 (29.4%)	10 (20.0%)	5 (8.5%)	3 (5.6%)	2 (3.2%)	1 (1.4%)	31 (9.3%)	67 (10.5%)
家族や友人、知人の話	5 (12.8%)	5 (16.7%)	9 (20.5%)	7 (11.5%)	5 (7.9%)	6 (8.6%)	37 (12.1%)	5 (14.7%)	9 (18.0%)	14 (23.7%)	6 (11.1%)	14 (22.2%)	14 (18.9%)	62 (18.6%)	99 (15.4%)
その他	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (1.6%)	1 (1.6%)	0 (0.0%)	2 (0.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (1.6%)	1 (1.4%)	2 (0.6%)	4 (0.6%)

Q14 人々は、さまざまなメディアを通じて、新しい技術や発明、科学的発見など科学技術に関するプラス面の情報やリスクなどの科学技術に関するマイナス面の情報に触れていますが、あなたはこれらの情報の発信源について、どの程度信頼できますか。それぞれについて、あなたの考えに最も近いものを1つお答えください。

科学者の話	信頼できる	60 (30.0%)	42 (21.0%)	32 (16.0%)	30 (15.0%)	29 (14.5%)	50 (25.0%)	243 (20.3%)	41 (20.5%)	42 (21.0%)	36 (18.0%)	31 (15.5%)	31 (15.5%)	35 (17.5%)	216 (18.0%)	459 (19.1%)
	どちらかという信頼できる	112 (56.0%)	124 (62.0%)	143 (71.5%)	145 (72.5%)	145 (72.5%)	130 (65.0%)	799 (66.6%)	124 (62.0%)	122 (61.0%)	139 (69.5%)	145 (72.5%)	149 (74.5%)	149 (74.5%)	828 (69.0%)	1627 (67.8%)
	どちらかという信頼できない	19 (9.5%)	28 (14.0%)	23 (11.5%)	23 (11.5%)	23 (11.5%)	16 (8.0%)	132 (11.0%)	29 (14.5%)	27 (13.5%)	22 (11.0%)	22 (11.0%)	16 (8.0%)	13 (6.5%)	129 (10.8%)	261 (10.9%)
	信頼できない	9 (4.5%)	6 (3.0%)	2 (1.0%)	2 (1.0%)	3 (1.5%)	4 (2.0%)	26 (2.2%)	6 (3.0%)	9 (4.5%)	3 (1.5%)	2 (1.0%)	4 (2.0%)	3 (1.5%)	27 (2.3%)	53 (2.2%)
医師の話	信頼できる	43 (21.5%)	34 (17.0%)	29 (14.5%)	29 (14.5%)	23 (11.5%)	28 (14.0%)	186 (15.5%)	53 (26.5%)	41 (20.5%)	39 (19.5%)	33 (16.5%)	25 (12.5%)	28 (14.0%)	219 (18.3%)	405 (16.9%)
	どちらかという信頼できる	125 (62.5%)	135 (67.5%)	134 (67.0%)	146 (73.0%)	150 (75.0%)	151 (75.5%)	841 (70.1%)	123 (61.5%)	135 (67.5%)	140 (70.0%)	141 (70.5%)	155 (77.5%)	154 (77.0%)	848 (70.7%)	1689 (70.4%)
	どちらかという信頼できない	23 (11.5%)	22 (11.0%)	34 (17.0%)	23 (11.5%)	22 (11.0%)	18 (9.0%)	142 (11.8%)	20 (10.0%)	19 (9.5%)	17 (8.5%)	26 (13.0%)	19 (9.5%)	17 (8.5%)	118 (9.8%)	260 (10.8%)
	信頼できない	9 (4.5%)	9 (4.5%)	3 (1.5%)	2 (1.0%)	5 (2.5%)	3 (1.5%)	31 (2.6%)	4 (2.0%)	5 (2.5%)	4 (2.0%)	0 (0.0%)	1 (0.5%)	1 (0.5%)	15 (1.3%)	46 (1.9%)
著名人や評論家の話	信頼できる	18 (9.0%)	8 (4.0%)	7 (3.5%)	6 (3.0%)	2 (1.0%)	4 (2.0%)	45 (3.8%)	11 (5.5%)	5 (2.5%)	6 (3.0%)	1 (0.5%)	5 (2.5%)	1 (0.5%)	29 (2.4%)	74 (3.1%)
	どちらかという信頼できる	86 (43.0%)	68 (34.0%)	77 (38.5%)	76 (38.0%)	75 (37.5%)	82 (41.0%)	464 (38.7%)	101 (50.5%)	74 (37.0%)	86 (43.0%)	101 (50.5%)	91 (45.5%)	95 (47.5%)	548 (45.7%)	1012 (42.2%)
	どちらかという信頼できない	67 (33.5%)	84 (42.0%)	81 (40.5%)	92 (46.0%)	97 (48.5%)	95 (47.5%)	516 (43.0%)	69 (34.5%)	91 (45.5%)	96 (48.0%)	81 (40.5%)	86 (43.0%)	89 (44.5%)	512 (42.7%)	1028 (42.8%)
	信頼できない	29 (14.5%)	40 (20.0%)	35 (17.5%)	26 (13.0%)	26 (13.0%)	19 (9.5%)	175 (14.6%)	19 (9.5%)	30 (15.0%)	12 (6.0%)	17 (8.5%)	18 (9.0%)	15 (7.5%)	111 (9.3%)	286 (11.9%)

上段：実数、下段：比率

問	選択肢	男性							女性							全体
		10代	20代	30代	40代	50代	60代	計	10代	20代	30代	40代	50代	60代	計	
新聞社や雑誌社、テレビ局の記者の話	信頼できる	12 (6.0%)	12 (6.0%)	5 (2.5%)	8 (4.0%)	3 (1.5%)	9 (4.5%)	49 (4.1%)	11 (5.5%)	10 (5.0%)	10 (5.0%)	4 (2.0%)	5 (2.5%)	6 (3.0%)	46 (3.8%)	95 (4.0%)
	どちらかという信頼できる	72 (36.0%)	58 (29.0%)	89 (44.5%)	91 (45.5%)	114 (57.0%)	120 (60.0%)	544 (45.3%)	71 (35.5%)	58 (29.0%)	101 (50.5%)	111 (55.5%)	133 (66.5%)	117 (58.5%)	591 (49.3%)	1135 (47.3%)
	どちらかという信頼できない	74 (37.0%)	89 (44.5%)	72 (36.0%)	65 (32.5%)	64 (32.0%)	59 (29.5%)	423 (35.3%)	80 (40.0%)	92 (46.0%)	71 (35.5%)	69 (34.5%)	50 (25.0%)	69 (34.5%)	431 (35.9%)	854 (35.6%)
	信頼できない	42 (21.0%)	41 (20.5%)	34 (17.0%)	36 (18.0%)	19 (9.5%)	12 (6.0%)	184 (15.3%)	38 (19.0%)	40 (20.0%)	18 (9.0%)	16 (8.0%)	12 (6.0%)	8 (4.0%)	132 (11.0%)	316 (13.2%)
ニュースキャスターやコメンテーターの話	信頼できる	14 (7.0%)	5 (2.5%)	3 (1.5%)	7 (3.5%)	2 (1.0%)	4 (2.0%)	35 (2.9%)	14 (7.0%)	7 (3.5%)	8 (4.0%)	1 (0.5%)	7 (3.5%)	8 (4.0%)	45 (3.8%)	80 (3.3%)
	どちらかという信頼できる	69 (34.5%)	45 (22.5%)	66 (33.0%)	70 (35.0%)	88 (44.0%)	102 (51.0%)	440 (36.7%)	74 (37.0%)	67 (33.5%)	86 (43.0%)	97 (48.5%)	105 (52.5%)	98 (49.0%)	527 (43.9%)	967 (40.3%)
	どちらかという信頼できない	84 (42.0%)	94 (47.0%)	87 (43.5%)	77 (38.5%)	81 (40.5%)	72 (36.0%)	495 (41.3%)	73 (36.5%)	88 (44.0%)	81 (40.5%)	81 (40.5%)	72 (36.0%)	82 (41.0%)	477 (39.8%)	972 (40.5%)
	信頼できない	33 (16.5%)	56 (28.0%)	44 (22.0%)	46 (23.0%)	29 (14.5%)	22 (11.0%)	230 (19.2%)	39 (19.5%)	38 (19.0%)	25 (12.5%)	21 (10.5%)	16 (8.0%)	12 (6.0%)	151 (12.6%)	381 (15.9%)
タレントや芸能人の話	信頼できる	8 (4.0%)	2 (1.0%)	2 (1.0%)	2 (1.0%)	0 (0.0%)	1 (0.5%)	15 (1.3%)	7 (3.5%)	3 (1.5%)	5 (2.5%)	0 (0.0%)	1 (0.5%)	0 (0.0%)	16 (1.3%)	31 (1.3%)
	どちらかという信頼できる	40 (20.0%)	19 (9.5%)	22 (11.0%)	23 (11.5%)	13 (6.5%)	12 (6.0%)	129 (10.8%)	41 (20.5%)	26 (13.0%)	23 (11.5%)	23 (11.5%)	13 (6.5%)	18 (9.0%)	144 (12.0%)	273 (11.4%)
	どちらかという信頼できない	96 (48.0%)	91 (45.5%)	108 (54.0%)	94 (47.0%)	111 (55.5%)	111 (55.5%)	611 (50.9%)	91 (45.5%)	101 (50.5%)	114 (57.0%)	123 (61.5%)	123 (61.5%)	107 (53.5%)	659 (54.9%)	1270 (52.9%)
	信頼できない	56 (28.0%)	88 (44.0%)	68 (34.0%)	81 (40.5%)	76 (38.0%)	76 (38.0%)	445 (37.1%)	61 (30.5%)	70 (35.0%)	58 (29.0%)	54 (27.0%)	63 (31.5%)	75 (37.5%)	381 (31.8%)	826 (34.4%)
国会議員や地方議会議員の話	信頼できる	9 (4.5%)	2 (1.0%)	2 (1.0%)	3 (1.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	16 (1.3%)	7 (3.5%)	5 (2.5%)	2 (1.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	14 (1.2%)	30 (1.3%)
	どちらかという信頼できる	44 (22.0%)	35 (17.5%)	38 (19.0%)	30 (15.0%)	26 (13.0%)	19 (9.5%)	192 (16.0%)	31 (15.5%)	17 (8.5%)	20 (10.0%)	23 (11.5%)	20 (10.0%)	32 (16.0%)	143 (11.9%)	335 (14.0%)
	どちらかという信頼できない	91 (45.5%)	88 (44.0%)	102 (51.0%)	107 (53.5%)	114 (57.0%)	114 (57.0%)	616 (51.3%)	96 (48.0%)	104 (52.0%)	121 (60.5%)	111 (55.5%)	112 (56.0%)	103 (51.5%)	647 (53.9%)	1263 (52.6%)
	信頼できない	56 (28.0%)	75 (37.5%)	58 (29.0%)	60 (30.0%)	60 (30.0%)	67 (33.5%)	376 (31.3%)	66 (33.0%)	74 (37.0%)	57 (28.5%)	66 (33.0%)	68 (34.0%)	65 (32.5%)	396 (33.0%)	772 (32.2%)
家族や友人、知人の話	信頼できる	24 (12.0%)	18 (9.0%)	19 (9.5%)	15 (7.5%)	10 (5.0%)	19 (9.5%)	105 (8.8%)	30 (15.0%)	28 (14.0%)	28 (14.0%)	18 (9.0%)	19 (9.5%)	17 (8.5%)	140 (11.7%)	245 (10.2%)
	どちらかという信頼できる	111 (55.5%)	102 (51.0%)	120 (60.0%)	131 (65.5%)	125 (62.5%)	114 (57.0%)	703 (58.6%)	113 (56.5%)	119 (59.5%)	123 (61.5%)	127 (63.5%)	143 (71.5%)	140 (70.0%)	765 (63.8%)	1468 (61.2%)
	どちらかという信頼できない	56 (28.0%)	65 (32.5%)	50 (25.0%)	49 (24.5%)	60 (30.0%)	59 (29.5%)	339 (28.3%)	49 (24.5%)	43 (21.5%)	43 (21.5%)	50 (25.0%)	34 (17.0%)	41 (20.5%)	260 (21.7%)	599 (25.0%)
	信頼できない	9 (4.5%)	15 (7.5%)	11 (5.5%)	5 (2.5%)	5 (2.5%)	8 (4.0%)	53 (4.4%)	8 (4.0%)	10 (5.0%)	6 (3.0%)	5 (2.5%)	4 (2.0%)	2 (1.0%)	35 (2.9%)	88 (3.7%)
国の行政機関や地方公共団体からの情報	信頼できる	33 (16.5%)	15 (7.5%)	17 (8.5%)	12 (6.0%)	7 (3.5%)	7 (3.5%)	91 (7.6%)	20 (10.0%)	21 (10.5%)	19 (9.5%)	6 (3.0%)	6 (3.0%)	9 (4.5%)	81 (6.8%)	172 (7.2%)
	どちらかという信頼できる	95 (47.5%)	105 (52.5%)	106 (53.0%)	118 (59.0%)	121 (60.5%)	111 (55.5%)	656 (54.7%)	94 (47.0%)	90 (45.0%)	97 (48.5%)	108 (54.0%)	116 (58.0%)	110 (55.0%)	615 (51.3%)	1271 (53.0%)
	どちらかという信頼できない	52 (26.0%)	64 (32.0%)	65 (32.5%)	56 (28.0%)	54 (27.0%)	67 (33.5%)	358 (29.8%)	63 (31.5%)	66 (33.0%)	70 (35.0%)	77 (38.5%)	67 (33.5%)	78 (39.0%)	421 (35.1%)	779 (32.5%)
	信頼できない	20 (10.0%)	16 (8.0%)	12 (6.0%)	14 (7.0%)	18 (9.0%)	15 (7.5%)	95 (7.9%)	23 (11.5%)	23 (11.5%)	14 (7.0%)	9 (4.5%)	11 (5.5%)	3 (1.5%)	83 (6.9%)	178 (7.4%)
国立や公立などの公的研究機関からの情報	信頼できる	31 (15.5%)	22 (11.0%)	16 (8.0%)	17 (8.5%)	15 (7.5%)	16 (8.0%)	117 (9.8%)	18 (9.0%)	22 (11.0%)	22 (11.0%)	11 (5.5%)	7 (3.5%)	17 (8.5%)	97 (8.1%)	214 (8.9%)
	どちらかという信頼できる	101 (50.5%)	113 (56.5%)	127 (63.5%)	133 (66.5%)	129 (64.5%)	134 (67.0%)	737 (61.4%)	110 (55.0%)	95 (47.5%)	118 (59.0%)	120 (60.0%)	140 (70.0%)	135 (67.5%)	718 (59.8%)	1455 (60.6%)
	どちらかという信頼できない	52 (26.0%)	47 (23.5%)	45 (22.5%)	40 (20.0%)	43 (21.5%)	38 (19.0%)	265 (22.1%)	50 (25.0%)	58 (29.0%)	52 (26.0%)	62 (31.0%)	45 (22.5%)	47 (23.5%)	314 (26.2%)	579 (24.1%)
	信頼できない	16 (8.0%)	18 (9.0%)	12 (6.0%)	10 (5.0%)	13 (6.5%)	12 (6.0%)	81 (6.8%)	22 (11.0%)	25 (12.5%)	8 (4.0%)	7 (3.5%)	8 (4.0%)	1 (0.5%)	71 (5.9%)	152 (6.3%)
大学からの情報	信頼できる	35 (17.5%)	19 (9.5%)	14 (7.0%)	16 (8.0%)	17 (8.5%)	18 (9.0%)	119 (9.9%)	27 (13.5%)	20 (10.0%)	9 (4.5%)	7 (3.5%)	6 (3.0%)	15 (7.5%)	84 (7.0%)	203 (8.5%)
	どちらかという信頼できる	113 (56.5%)	113 (56.5%)	123 (61.5%)	141 (70.5%)	137 (68.5%)	138 (69.0%)	765 (63.8%)	114 (57.0%)	93 (46.5%)	117 (58.5%)	123 (61.5%)	143 (71.5%)	137 (68.5%)	727 (60.6%)	1492 (62.2%)
	どちらかという信頼できない	43 (21.5%)	50 (25.0%)	54 (27.0%)	35 (17.5%)	36 (18.0%)	36 (18.0%)	254 (21.2%)	42 (21.0%)	61 (30.5%)	66 (33.0%)	65 (32.5%)	44 (22.0%)	45 (22.5%)	323 (26.9%)	577 (24.0%)
	信頼できない	9 (4.5%)	18 (9.0%)	12 (6.0%)	8 (4.0%)	10 (5.0%)	8 (4.0%)	62 (5.2%)	17 (8.5%)	26 (13.0%)	8 (4.0%)	5 (2.5%)	7 (3.5%)	3 (1.5%)	66 (5.5%)	128 (5.3%)

上段:実数、下段:比率

問	選択肢	男性							女性							全体
		10代	20代	30代	40代	50代	60代	計	10代	20代	30代	40代	50代	60代	計	
学会からの情報	信頼できる	29 (14.5%)	25 (12.5%)	19 (9.5%)	18 (9.0%)	23 (11.5%)	19 (9.5%)	133 (11.1%)	19 (9.5%)	22 (11.5%)	10 (5.0%)	9 (4.5%)	8 (4.0%)	18 (9.0%)	87 (7.3%)	220 (9.2%)
	どちらかという信頼できる	118 (59.0%)	103 (51.5%)	118 (59.0%)	135 (67.5%)	120 (60.0%)	129 (64.5%)	723 (60.3%)	108 (54.0%)	87 (43.5%)	123 (61.5%)	120 (60.0%)	137 (68.5%)	128 (64.0%)	703 (58.6%)	1426 (59.4%)
	どちらかという信頼できない	40 (20.0%)	54 (27.0%)	53 (26.5%)	37 (18.5%)	46 (23.0%)	45 (22.5%)	275 (22.9%)	51 (25.5%)	63 (31.5%)	60 (30.0%)	68 (34.0%)	45 (22.5%)	50 (25.0%)	337 (28.1%)	612 (25.5%)
	信頼できない	13 (6.5%)	16 (9.0%)	10 (5.0%)	10 (5.0%)	11 (5.5%)	7 (3.5%)	69 (5.8%)	22 (11.0%)	27 (13.5%)	7 (3.5%)	3 (1.5%)	10 (5.0%)	4 (2.0%)	73 (6.1%)	142 (5.9%)
科学館や博物館など科学技術関連施設からの情報	信頼できる	45 (22.5%)	18 (9.0%)	18 (9.0%)	16 (8.0%)	15 (7.5%)	23 (11.5%)	135 (11.3%)	25 (12.5%)	26 (13.0%)	14 (7.0%)	8 (4.0%)	11 (5.5%)	19 (9.5%)	103 (8.6%)	238 (9.9%)
	どちらかという信頼できる	110 (55.0%)	114 (57.0%)	127 (63.5%)	144 (72.0%)	140 (70.0%)	141 (70.5%)	776 (64.7%)	114 (57.0%)	105 (52.5%)	141 (70.5%)	138 (69.0%)	149 (74.5%)	141 (70.5%)	788 (65.7%)	1564 (65.2%)
	どちらかという信頼できない	32 (16.0%)	52 (26.0%)	47 (23.5%)	36 (18.0%)	39 (19.5%)	30 (15.0%)	236 (19.7%)	40 (20.0%)	50 (25.0%)	38 (19.0%)	50 (25.0%)	34 (17.0%)	38 (19.0%)	250 (20.8%)	486 (20.3%)
	信頼できない	13 (6.5%)	16 (8.0%)	8 (4.0%)	4 (2.0%)	6 (3.0%)	6 (3.0%)	53 (4.4%)	21 (10.5%)	19 (9.5%)	7 (3.5%)	4 (2.0%)	6 (3.0%)	2 (1.0%)	59 (4.9%)	112 (4.7%)
民間企業や民間団体からの情報	信頼できる	13 (6.5%)	7 (3.5%)	7 (3.5%)	12 (6.0%)	4 (2.0%)	3 (1.5%)	46 (3.8%)	10 (5.0%)	10 (5.0%)	5 (2.5%)	4 (2.0%)	4 (2.0%)	4 (2.0%)	37 (3.1%)	83 (3.5%)
	どちらかという信頼できる	115 (57.5%)	98 (49.0%)	114 (57.0%)	106 (53.0%)	115 (57.5%)	104 (52.0%)	652 (54.3%)	84 (42.0%)	82 (41.0%)	101 (50.5%)	111 (55.5%)	120 (60.0%)	110 (55.0%)	608 (50.7%)	1260 (52.5%)
	どちらかという信頼できない	57 (28.5%)	74 (37.0%)	66 (33.0%)	76 (38.0%)	74 (37.0%)	84 (42.0%)	431 (35.9%)	78 (39.0%)	87 (40.5%)	83 (41.5%)	77 (38.5%)	67 (33.5%)	81 (40.5%)	467 (38.9%)	898 (37.4%)
	信頼できない	15 (7.5%)	21 (10.5%)	13 (6.5%)	6 (3.0%)	7 (3.5%)	9 (4.5%)	71 (5.9%)	28 (14.0%)	27 (13.5%)	11 (5.5%)	8 (4.0%)	9 (4.5%)	5 (2.5%)	88 (7.3%)	159 (6.6%)
ホームページやブログ、電子掲示板などを通じた一般の人からの情報	信頼できる	9 (4.5%)	9 (4.5%)	3 (1.5%)	3 (1.5%)	3 (1.5%)	3 (1.5%)	30 (2.5%)	3 (1.5%)	5 (2.5%)	5 (2.5%)	2 (1.0%)	4 (2.0%)	1 (0.5%)	20 (1.7%)	50 (2.1%)
	どちらかという信頼できる	50 (25.0%)	56 (28.0%)	63 (31.5%)	63 (31.5%)	56 (28.0%)	42 (21.0%)	330 (27.5%)	38 (19.0%)	50 (25.0%)	42 (21.0%)	51 (25.5%)	50 (25.0%)	52 (26.0%)	283 (23.6%)	613 (25.5%)
	どちらかという信頼できない	100 (50.0%)	88 (44.0%)	104 (52.0%)	99 (49.5%)	102 (51.0%)	115 (57.5%)	608 (50.7%)	89 (44.5%)	89 (44.5%)	115 (57.5%)	110 (55.0%)	110 (55.0%)	123 (61.5%)	636 (53.0%)	1244 (51.8%)
	信頼できない	41 (20.5%)	47 (23.5%)	30 (15.0%)	35 (17.5%)	39 (19.5%)	40 (20.0%)	232 (19.3%)	70 (35.0%)	56 (28.0%)	38 (19.0%)	37 (18.5%)	36 (18.0%)	24 (12.0%)	261 (21.8%)	493 (20.5%)

Q15 様々なメディアや機関などから科学技術に関する情報が発信されていますが、一般の人々に十分に提供していると思いますか。次のそれぞれについて、あなたの考えに最も近いものを1つお選びください。

新聞	十分提供されている	35 (17.5%)	31 (15.5%)	20 (10.0%)	22 (11.0%)	19 (9.5%)	25 (12.5%)	152 (12.7%)	49 (24.5%)	29 (14.5%)	29 (14.5%)	19 (9.5%)	21 (10.5%)	19 (9.5%)	166 (13.8%)	318 (13.3%)
	どちらかという提供されている	93 (46.5%)	92 (46.0%)	109 (54.5%)	106 (53.0%)	122 (61.0%)	124 (62.0%)	646 (53.8%)	108 (54.0%)	108 (54.0%)	109 (54.5%)	134 (67.0%)	130 (65.0%)	133 (66.5%)	722 (60.2%)	1368 (57.0%)
	あまり提供されていない	53 (26.5%)	46 (23.0%)	50 (25.0%)	61 (30.5%)	53 (26.5%)	47 (23.5%)	310 (25.8%)	32 (16.0%)	54 (27.0%)	56 (28.0%)	43 (21.5%)	45 (22.5%)	43 (21.5%)	273 (22.8%)	583 (24.3%)
	全く提供されていない	19 (9.5%)	31 (15.5%)	21 (10.5%)	11 (5.5%)	6 (3.0%)	4 (2.0%)	92 (7.7%)	11 (5.5%)	9 (4.5%)	6 (3.0%)	4 (2.0%)	4 (2.0%)	5 (2.5%)	39 (3.3%)	131 (5.5%)
テレビ	十分提供されている	38 (19.0%)	25 (12.5%)	16 (8.0%)	20 (10.0%)	19 (9.5%)	29 (14.5%)	147 (12.3%)	60 (30.0%)	32 (16.0%)	28 (14.0%)	22 (11.0%)	24 (12.0%)	22 (11.0%)	188 (15.7%)	335 (14.0%)
	どちらかという提供されている	86 (43.0%)	80 (40.0%)	89 (44.5%)	104 (52.0%)	111 (55.5%)	113 (56.5%)	583 (48.6%)	97 (48.5%)	88 (44.0%)	107 (53.5%)	125 (62.5%)	117 (58.5%)	124 (62.0%)	658 (54.8%)	1241 (51.7%)
	あまり提供されていない	56 (28.0%)	63 (31.5%)	70 (35.0%)	61 (30.5%)	61 (30.5%)	52 (26.0%)	363 (30.3%)	37 (18.5%)	71 (35.5%)	57 (28.5%)	50 (25.0%)	54 (27.0%)	48 (24.0%)	317 (26.4%)	680 (28.3%)
	全く提供されていない	20 (10.0%)	32 (16.0%)	25 (12.5%)	15 (7.5%)	9 (4.5%)	6 (3.0%)	107 (8.9%)	6 (3.0%)	9 (4.5%)	8 (4.0%)	3 (1.5%)	5 (2.5%)	6 (3.0%)	37 (3.1%)	144 (6.0%)
国の行政機関や地方公共団体	十分提供されている	21 (10.5%)	14 (7.0%)	7 (3.5%)	3 (1.5%)	2 (1.0%)	6 (3.0%)	53 (4.4%)	12 (6.0%)	6 (3.0%)	3 (1.5%)	3 (1.5%)	4 (2.0%)	7 (3.5%)	35 (2.9%)	88 (3.7%)
	どちらかという提供されている	79 (39.5%)	76 (38.0%)	63 (31.5%)	66 (33.0%)	62 (31.0%)	64 (32.0%)	410 (34.2%)	73 (36.5%)	65 (32.5%)	59 (29.5%)	68 (34.0%)	52 (26.0%)	50 (25.0%)	367 (30.6%)	777 (32.4%)
	あまり提供されていない	75 (37.5%)	84 (42.0%)	107 (53.5%)	110 (55.0%)	111 (55.5%)	113 (56.5%)	600 (50.0%)	94 (47.0%)	108 (54.0%)	114 (57.0%)	116 (58.0%)	131 (65.5%)	132 (66.0%)	695 (57.9%)	1295 (54.0%)
	全く提供されていない	25 (12.5%)	26 (13.0%)	23 (11.5%)	21 (10.5%)	25 (12.5%)	17 (8.5%)	137 (11.4%)	21 (10.5%)	21 (10.5%)	24 (12.0%)	13 (6.5%)	13 (6.5%)	11 (5.5%)	103 (8.6%)	240 (10.0%)

上段:実数、下段:比率

問	選択肢	男性							女性							全体
		10代	20代	30代	40代	50代	60代	計	10代	20代	30代	40代	50代	60代	計	
国立や公立などの公的研究機関	十分提供されている	20 (10.0%)	14 (7.0%)	5 (2.5%)	4 (2.0%)	3 (1.5%)	3 (1.5%)	49 (4.1%)	8 (4.0%)	7 (3.5%)	3 (1.5%)	6 (3.0%)	4 (2.0%)	7 (3.5%)	35 (2.9%)	84 (3.5%)
	どちらかという提供されている	87 (43.5%)	77 (38.5%)	82 (41.0%)	78 (39.0%)	68 (34.0%)	67 (33.5%)	459 (38.3%)	87 (43.5%)	74 (37.0%)	61 (30.5%)	67 (33.5%)	59 (29.5%)	59 (29.5%)	407 (33.9%)	866 (36.1%)
	あまり提供されていない	73 (36.5%)	85 (42.5%)	94 (47.0%)	95 (47.5%)	111 (55.5%)	113 (56.5%)	571 (47.6%)	83 (41.5%)	100 (50.0%)	110 (55.0%)	112 (56.0%)	127 (63.5%)	121 (60.5%)	653 (54.4%)	1224 (51.0%)
	全く提供されていない	20 (10.0%)	24 (12.0%)	19 (9.5%)	23 (11.5%)	18 (9.0%)	17 (8.5%)	121 (10.1%)	22 (11.0%)	19 (9.5%)	26 (13.0%)	15 (7.5%)	10 (5.0%)	13 (6.5%)	105 (8.8%)	226 (9.4%)
大学	十分提供されている	27 (13.5%)	17 (8.5%)	6 (3.0%)	3 (1.5%)	7 (3.5%)	5 (2.5%)	65 (5.4%)	17 (8.5%)	10 (5.0%)	1 (0.5%)	5 (2.5%)	4 (2.0%)	3 (1.5%)	40 (3.3%)	105 (4.4%)
	どちらかという提供されている	90 (45.0%)	82 (41.0%)	76 (38.0%)	66 (33.0%)	61 (30.5%)	64 (32.0%)	439 (36.6%)	92 (46.0%)	60 (30.0%)	59 (29.5%)	59 (29.5%)	49 (24.5%)	56 (28.0%)	375 (31.3%)	814 (33.9%)
	あまり提供されていない	57 (28.5%)	74 (37.0%)	101 (50.5%)	104 (52.0%)	113 (56.5%)	113 (56.5%)	562 (46.8%)	78 (39.0%)	106 (53.0%)	108 (54.0%)	122 (61.0%)	130 (65.0%)	128 (64.0%)	672 (56.0%)	1234 (51.4%)
	全く提供されていない	26 (13.0%)	27 (13.5%)	17 (8.5%)	27 (13.5%)	19 (9.5%)	18 (9.0%)	134 (11.2%)	13 (6.5%)	24 (12.0%)	32 (16.0%)	14 (7.0%)	17 (8.5%)	13 (6.5%)	113 (9.4%)	247 (10.3%)
科学館や博物館など科学技術関連施設	十分提供されている	32 (16.0%)	20 (10.0%)	11 (5.5%)	5 (2.5%)	3 (1.5%)	7 (3.5%)	78 (6.5%)	16 (8.0%)	14 (7.0%)	4 (2.0%)	9 (4.5%)	5 (2.5%)	6 (3.0%)	54 (4.5%)	132 (5.5%)
	どちらかという提供されている	89 (44.5%)	76 (38.0%)	81 (40.5%)	76 (38.0%)	74 (37.0%)	68 (34.0%)	464 (38.7%)	99 (49.5%)	76 (38.0%)	63 (31.5%)	77 (38.5%)	58 (29.0%)	63 (31.5%)	436 (36.3%)	900 (37.5%)
	あまり提供されていない	59 (29.5%)	76 (38.0%)	86 (43.0%)	100 (50.0%)	111 (55.5%)	107 (53.5%)	539 (44.9%)	66 (33.0%)	88 (44.0%)	108 (54.0%)	99 (49.5%)	119 (59.5%)	123 (61.5%)	603 (50.3%)	1142 (47.6%)
	全く提供されていない	20 (10.0%)	28 (14.0%)	22 (11.0%)	19 (9.5%)	12 (6.0%)	18 (9.0%)	119 (9.9%)	19 (9.5%)	22 (11.0%)	25 (12.5%)	15 (7.5%)	18 (9.0%)	8 (4.0%)	107 (8.9%)	226 (9.4%)
民間企業や民間団体	十分提供されている	16 (8.0%)	11 (5.5%)	3 (1.5%)	8 (4.0%)	3 (1.5%)	4 (2.0%)	45 (3.8%)	8 (4.0%)	2 (1.0%)	2 (1.0%)	5 (2.5%)	2 (1.0%)	4 (2.0%)	23 (1.9%)	68 (2.8%)
	どちらかという提供されている	82 (41.0%)	83 (41.5%)	81 (40.5%)	74 (37.0%)	72 (36.0%)	61 (30.5%)	453 (37.8%)	75 (37.5%)	66 (33.0%)	53 (26.5%)	67 (33.5%)	72 (36.0%)	65 (32.5%)	398 (33.2%)	851 (35.5%)
	あまり提供されていない	82 (41.0%)	82 (41.0%)	96 (48.0%)	102 (51.0%)	112 (56.0%)	119 (59.5%)	593 (49.4%)	95 (47.5%)	107 (53.5%)	123 (61.5%)	117 (58.5%)	110 (55.0%)	121 (60.5%)	673 (56.1%)	1266 (52.8%)
	全く提供されていない	20 (10.0%)	24 (12.0%)	20 (10.0%)	16 (8.0%)	13 (6.5%)	16 (8.0%)	109 (9.1%)	22 (11.0%)	25 (12.5%)	22 (11.0%)	11 (5.5%)	16 (8.0%)	10 (5.0%)	106 (8.8%)	215 (9.0%)
科学者	十分提供されている	23 (11.5%)	10 (5.0%)	5 (2.5%)	5 (2.5%)	4 (2.0%)	9 (4.5%)	56 (4.7%)	13 (6.5%)	7 (3.5%)	4 (2.0%)	6 (3.0%)	4 (2.0%)	3 (1.5%)	37 (3.1%)	93 (3.9%)
	どちらかという提供されている	94 (47.0%)	81 (40.5%)	87 (43.5%)	58 (29.0%)	54 (27.0%)	61 (30.5%)	435 (36.3%)	86 (43.0%)	77 (38.5%)	57 (28.5%)	67 (33.5%)	54 (27.0%)	64 (32.0%)	405 (33.8%)	840 (35.0%)
	あまり提供されていない	68 (34.0%)	83 (41.5%)	87 (43.5%)	117 (58.5%)	121 (60.5%)	110 (55.0%)	586 (48.8%)	79 (39.5%)	93 (46.5%)	112 (56.0%)	114 (57.0%)	122 (61.0%)	120 (60.0%)	640 (53.3%)	1226 (51.1%)
	全く提供されていない	15 (7.5%)	26 (13.0%)	21 (10.5%)	20 (10.0%)	21 (10.5%)	20 (10.0%)	123 (10.3%)	22 (11.0%)	23 (11.5%)	27 (13.5%)	13 (6.5%)	20 (10.0%)	13 (6.5%)	118 (9.8%)	241 (10.0%)
学会	十分提供されている	15 (7.5%)	14 (7.0%)	5 (2.5%)	4 (2.0%)	3 (1.5%)	7 (3.5%)	48 (4.0%)	12 (6.0%)	5 (2.5%)	5 (2.5%)	7 (3.5%)	4 (2.0%)	1 (0.5%)	34 (2.8%)	82 (3.4%)
	どちらかという提供されている	85 (42.5%)	67 (33.5%)	74 (37.0%)	52 (26.0%)	51 (25.5%)	48 (24.0%)	377 (31.4%)	71 (35.5%)	62 (31.0%)	60 (30.0%)	49 (24.5%)	46 (23.0%)	45 (22.5%)	333 (27.8%)	710 (29.6%)
	あまり提供されていない	81 (40.5%)	85 (42.5%)	93 (46.5%)	113 (56.5%)	119 (59.5%)	113 (56.5%)	604 (50.3%)	86 (43.0%)	102 (51.0%)	102 (51.0%)	124 (62.0%)	127 (63.5%)	137 (68.5%)	678 (56.5%)	1282 (53.4%)
	全く提供されていない	19 (9.5%)	34 (17.0%)	29 (14.0%)	31 (15.5%)	27 (13.5%)	32 (16.0%)	171 (14.3%)	31 (15.5%)	31 (15.5%)	33 (16.5%)	20 (10.0%)	23 (11.5%)	17 (8.5%)	155 (12.9%)	326 (13.6%)

Q16 様々なメディアや機関などから発信されている科学技術に関する情報について、総合的に足りないと感じることは何ですか。次のうち、当てはまるものをいくつでもお選びください。

迅速な情報	50 (25.0%)	49 (24.5%)	57 (28.5%)	70 (35.0%)	66 (33.0%)	74 (37.0%)	366 (30.5%)	33 (16.5%)	62 (31.0%)	57 (28.5%)	59 (29.5%)	74 (37.0%)	81 (40.5%)	366 (30.5%)	732 (30.5%)
信頼性の高い情報	92 (46.0%)	93 (46.5%)	90 (45.0%)	117 (58.5%)	108 (54.0%)	117 (58.5%)	617 (51.4%)	102 (51.0%)	99 (49.5%)	98 (49.0%)	117 (58.5%)	126 (63.0%)	110 (55.0%)	652 (54.3%)	1269 (52.9%)
簡潔な情報	32 (16.0%)	41 (20.5%)	42 (21.0%)	53 (26.5%)	39 (19.5%)	38 (19.0%)	245 (20.4%)	32 (16.0%)	56 (28.0%)	59 (29.5%)	52 (26.0%)	41 (20.5%)	54 (27.0%)	294 (24.5%)	539 (22.5%)
整理された情報	45 (22.5%)	62 (31.0%)	55 (26.5%)	74 (37.0%)	67 (33.5%)	69 (34.5%)	370 (30.8%)	34 (17.0%)	70 (35.0%)	56 (28.0%)	59 (29.5%)	59 (29.5%)	59 (29.5%)	337 (28.1%)	707 (29.5%)
わかりやすい情報	68 (34.0%)	80 (40.0%)	78 (39.0%)	94 (47.0%)	105 (52.5%)	110 (55.0%)	535 (44.6%)	76 (38.0%)	111 (55.5%)	101 (50.5%)	111 (55.5%)	124 (62.0%)	127 (63.5%)	650 (54.2%)	1185 (49.4%)
深く掘り下げられている情報	45 (22.5%)	50 (25.0%)	34 (17.0%)	45 (22.5%)	54 (27.0%)	62 (31.0%)	290 (24.2%)	40 (20.0%)	46 (23.0%)	38 (19.0%)	37 (18.5%)	22 (11.0%)	37 (18.5%)	220 (18.3%)	510 (21.3%)
周辺情報を含めた幅広い情報	23 (11.5%)	27 (13.5%)	27 (13.5%)	27 (13.5%)	27 (13.5%)	45 (22.5%)	176 (14.7%)	15 (7.5%)	32 (16.0%)	19 (9.5%)	24 (12.0%)	27 (13.5%)	42 (21.0%)	159 (13.3%)	335 (14.0%)

上段:実数、下段:比率

問	選択肢	男性							女性							全体
		10代	20代	30代	40代	50代	60代	計	10代	20代	30代	40代	50代	60代	計	
	科学的知見や法律的知見など根拠が明確な情報	29 (14.5%)	39 (19.5%)	37 (18.5%)	38 (19.0%)	37 (18.5%)	49 (24.5%)	229 (19.1%)	24 (12.0%)	40 (20.0%)	27 (13.5%)	29 (14.5%)	36 (18.0%)	50 (25.0%)	206 (17.2%)	435 (18.1%)
	メリットに関する情報	30 (15.0%)	25 (12.5%)	27 (13.5%)	29 (14.5%)	39 (19.5%)	28 (14.0%)	178 (14.8%)	13 (6.5%)	27 (13.5%)	27 (13.5%)	27 (13.5%)	30 (15.0%)	33 (16.5%)	157 (13.1%)	335 (14.0%)
	デメリットやリスク、不確実性に関する情報	49 (24.5%)	46 (23.0%)	45 (22.5%)	69 (34.5%)	68 (34.0%)	72 (36.0%)	349 (29.1%)	46 (23.0%)	66 (33.0%)	75 (37.5%)	76 (38.0%)	71 (35.5%)	86 (43.0%)	420 (35.0%)	769 (32.0%)
	中立・公正な情報	53 (26.5%)	45 (22.5%)	56 (28.0%)	69 (34.5%)	63 (31.5%)	74 (37.0%)	360 (30.0%)	44 (22.0%)	46 (23.0%)	48 (24.0%)	62 (31.0%)	57 (28.5%)	67 (33.5%)	324 (27.0%)	684 (28.5%)
	情報の提供者、入手元、発信源など情報源が明確な情報	21 (10.5%)	31 (15.5%)	29 (14.0%)	37 (18.5%)	33 (16.5%)	51 (25.5%)	201 (16.8%)	23 (11.5%)	34 (17.0%)	29 (14.5%)	38 (19.0%)	50 (25.0%)	45 (22.5%)	219 (18.3%)	420 (17.5%)
	その他	0 (0.0%)	1 (0.5%)	1 (0.5%)	1 (0.5%)	1 (0.5%)	0 (0.0%)	4 (0.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.5%)	1 (0.1%)	5 (0.2%)
	特になし	39 (19.5%)	36 (18.0%)	36 (18.0%)	14 (7.0%)	17 (8.5%)	12 (6.0%)	154 (12.8%)	46 (23.0%)	32 (16.0%)	27 (13.5%)	20 (10.0%)	13 (6.5%)	20 (10.0%)	158 (13.2%)	312 (13.0%)

Q17 あなたは、科学技術に関するニュースや話題に関心がありますか。次のうち、当てはまるものを1つお選びください。

非常に関心がある	56 (28.0%)	33 (16.5%)	37 (18.5%)	39 (19.5%)	41 (20.5%)	57 (28.5%)	263 (21.9%)	10 (5.0%)	20 (10.0%)	12 (6.0%)	9 (4.5%)	19 (9.5%)	14 (7.0%)	84 (7.0%)	347 (14.5%)
どちらかというに関心がある	86 (43.0%)	100 (50.0%)	115 (57.5%)	122 (61.0%)	122 (61.0%)	118 (59.0%)	663 (55.3%)	73 (36.5%)	77 (38.5%)	64 (32.0%)	100 (50.0%)	104 (52.0%)	107 (53.5%)	525 (43.8%)	1188 (49.5%)
どちらかというに関心がない	40 (20.0%)	50 (25.0%)	39 (19.5%)	34 (17.0%)	29 (14.5%)	22 (11.0%)	214 (17.8%)	67 (33.5%)	69 (34.5%)	100 (51.5%)	72 (36.0%)	70 (35.0%)	76 (38.0%)	457 (38.1%)	671 (28.0%)
全く関心がない	18 (9.0%)	17 (8.5%)	9 (4.5%)	5 (2.5%)	8 (4.0%)	3 (1.5%)	60 (5.0%)	50 (25.0%)	34 (17.0%)	21 (10.5%)	19 (9.5%)	7 (3.5%)	3 (1.5%)	134 (11.2%)	194 (8.1%)

Q18 あなたは、あなた自身、科学技術に関する知識がある方だと思いますか。次のうち、当てはまるものを1つお選びください。

非常にある	18 (9.0%)	19 (9.5%)	14 (7.0%)	13 (6.5%)	10 (5.0%)	11 (5.5%)	85 (7.1%)	4 (2.0%)	4 (2.0%)	2 (1.0%)	3 (1.5%)	6 (3.0%)	2 (1.0%)	21 (1.8%)	106 (4.4%)
どちらかというにある	65 (32.5%)	62 (31.0%)	71 (35.5%)	89 (44.5%)	93 (46.5%)	90 (45.0%)	470 (39.2%)	30 (15.0%)	31 (15.5%)	23 (11.5%)	27 (13.5%)	40 (20.0%)	34 (17.0%)	185 (15.4%)	655 (27.3%)
どちらかというにない	79 (39.5%)	78 (39.0%)	81 (40.5%)	72 (36.0%)	77 (38.5%)	90 (45.0%)	477 (39.8%)	79 (39.5%)	75 (37.5%)	87 (43.5%)	101 (50.5%)	87 (43.5%)	113 (56.5%)	542 (45.2%)	1019 (42.5%)
全くない	38 (19.0%)	41 (20.5%)	34 (17.0%)	26 (13.0%)	20 (10.0%)	9 (4.5%)	168 (14.0%)	87 (43.5%)	90 (45.0%)	88 (44.0%)	69 (34.5%)	67 (33.5%)	51 (25.5%)	452 (37.7%)	620 (25.8%)

Q19 あなたは、普段、科学技術に関連した情報をどこから得ていますか。次のうち、当てはまるものをいくつでもお選びください。また、それらのうち、最も多いところを1つお選びください。

情報を得るところ	新聞(印刷版)	72 (36.0%)	76 (38.0%)	92 (46.0%)	110 (55.0%)	134 (67.0%)	157 (78.5%)	641 (53.4%)	57 (28.5%)	66 (33.0%)	88 (44.0%)	104 (52.0%)	140 (70.0%)	151 (75.5%)	606 (50.5%)	1247 (52.0%)
	新聞(電子版)	30 (15.0%)	30 (15.0%)	30 (15.0%)	40 (20.0%)	50 (25.0%)	42 (21.0%)	222 (18.5%)	17 (8.5%)	16 (8.0%)	16 (8.0%)	20 (10.0%)	28 (14.0%)	17 (8.5%)	114 (9.5%)	336 (14.0%)
	テレビ	133 (66.5%)	130 (65.0%)	133 (66.5%)	147 (73.5%)	163 (81.5%)	174 (87.0%)	880 (73.3%)	158 (79.0%)	163 (81.5%)	167 (83.5%)	172 (86.0%)	188 (94.0%)	182 (91.0%)	1030 (85.8%)	1910 (79.6%)
	ラジオ	26 (13.0%)	23 (11.5%)	32 (16.0%)	27 (13.5%)	34 (17.0%)	43 (21.5%)	185 (15.4%)	16 (8.0%)	15 (7.5%)	18 (9.0%)	15 (7.5%)	22 (11.0%)	29 (14.5%)	115 (9.6%)	300 (12.5%)
	本(電子版を含む)	45 (22.5%)	47 (23.5%)	54 (27.0%)	58 (29.0%)	58 (29.0%)	59 (29.5%)	321 (26.8%)	26 (13.0%)	39 (19.5%)	23 (11.5%)	26 (13.0%)	32 (16.0%)	28 (14.0%)	174 (14.5%)	495 (20.6%)
	雑誌(電子版を含む)	35 (17.5%)	27 (13.5%)	40 (20.0%)	51 (25.5%)	45 (22.5%)	48 (24.0%)	246 (20.5%)	11 (5.5%)	22 (11.0%)	23 (11.5%)	17 (8.5%)	26 (13.0%)	20 (10.0%)	119 (9.9%)	365 (15.2%)
	インターネット	137 (68.5%)	151 (75.5%)	156 (78.0%)	164 (82.0%)	160 (80.0%)	143 (71.5%)	911 (75.9%)	128 (64.0%)	130 (65.0%)	131 (65.5%)	126 (63.0%)	126 (63.0%)	123 (61.5%)	764 (63.7%)	1675 (69.8%)
	国や地方の行政機関	18 (9.0%)	18 (9.0%)	13 (6.5%)	18 (9.0%)	22 (11.0%)	27 (13.5%)	116 (9.7%)	7 (3.5%)	12 (6.0%)	10 (5.0%)	9 (4.5%)	10 (5.0%)	23 (11.5%)	71 (5.9%)	187 (7.8%)
	国立や公立などの公的研究機関	22 (11.0%)	14 (7.0%)	15 (7.5%)	17 (8.5%)	22 (11.0%)	29 (14.5%)	119 (9.9%)	5 (2.5%)	11 (5.5%)	9 (4.5%)	11 (5.5%)	9 (4.5%)	20 (10.0%)	65 (5.4%)	184 (7.7%)
	科学館や博物館など科学技術関連施設	20 (10.0%)	11 (5.5%)	19 (9.5%)	19 (9.5%)	23 (11.5%)	33 (16.5%)	125 (10.4%)	9 (4.5%)	16 (8.0%)	13 (6.5%)	14 (7.0%)	16 (8.0%)	25 (12.5%)	93 (7.8%)	218 (9.1%)
	大学	46 (23.0%)	23 (11.5%)	16 (8.0%)	7 (3.5%)	19 (9.5%)	17 (8.5%)	128 (10.7%)	25 (12.5%)	18 (9.0%)	3 (1.5%)	5 (2.5%)	5 (2.5%)	7 (3.5%)	63 (5.3%)	191 (8.0%)
	講演会やシンポジウム、市民講座	10 (5.0%)	4 (2.0%)	11 (5.5%)	9 (4.5%)	22 (11.0%)	28 (14.0%)	84 (7.0%)	6 (3.0%)	5 (2.5%)	4 (2.0%)	6 (3.0%)	7 (3.5%)	21 (10.5%)	49 (4.1%)	133 (5.5%)
	家族や友人、知人の話	41 (20.5%)	36 (18.0%)	24 (12.0%)	15 (7.5%)	30 (15.0%)	34 (17.0%)	180 (15.0%)	48 (24.0%)	50 (25.0%)	43 (21.5%)	46 (23.0%)	54 (27.0%)	55 (27.5%)	296 (24.7%)	476 (19.8%)
	その他	1 (0.5%)	1 (0.5%)	4 (2.0%)	2 (1.0%)	1 (0.5%)	0 (0.0%)	9 (0.8%)	1 (0.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.5%)	1 (0.5%)	3 (0.3%)	12 (0.5%)

上段:実数、下段:比率

問	選択肢	男性							女性							全体
		10代	20代	30代	40代	50代	60代	計	10代	20代	30代	40代	50代	60代	計	
最も情報を得るところ	新聞(印刷版)	20 (10.0%)	20 (10.0%)	29 (14.0%)	38 (19.0%)	45 (22.5%)	71 (35.5%)	222 (18.5%)	14 (7.0%)	13 (6.5%)	18 (9.0%)	33 (16.5%)	37 (18.5%)	61 (30.5%)	176 (14.7%)	398 (16.6%)
	新聞(電子版)	7 (3.5%)	11 (5.5%)	7 (3.5%)	7 (3.5%)	4 (2.0%)	3 (1.5%)	39 (3.3%)	1 (0.5%)	1 (0.5%)	3 (1.5%)	3 (1.5%)	3 (1.5%)	3 (1.5%)	14 (1.2%)	53 (2.2%)
	テレビ	56 (28.0%)	53 (26.5%)	49 (24.0%)	48 (24.0%)	49 (24.5%)	58 (29.0%)	312 (26.0%)	108 (54.0%)	105 (52.5%)	114 (57.0%)	101 (50.5%)	111 (55.5%)	85 (42.5%)	624 (52.0%)	936 (39.0%)
	ラジオ	1 (0.5%)	6 (3.0%)	2 (1.0%)	1 (0.5%)	3 (1.5%)	1 (0.5%)	14 (1.2%)	1 (0.5%)	1 (0.5%)	4 (2.0%)	4 (2.0%)	0 (0.0%)	1 (0.5%)	11 (0.9%)	25 (1.0%)
	本(電子版を含む)	5 (2.5%)	2 (1.0%)	9 (4.5%)	9 (4.5%)	7 (3.5%)	7 (3.5%)	39 (3.3%)	5 (2.5%)	5 (2.5%)	3 (1.5%)	1 (0.5%)	4 (2.0%)	1 (0.5%)	19 (1.6%)	58 (2.4%)
	雑誌(電子版を含む)	4 (2.0%)	2 (1.0%)	4 (2.0%)	4 (2.0%)	1 (0.5%)	2 (1.0%)	17 (1.4%)	0 (0.0%)	1 (0.5%)	1 (0.5%)	0 (0.0%)	1 (0.5%)	1 (0.5%)	4 (0.3%)	21 (0.9%)
	インターネット	82 (41.0%)	95 (47.5%)	94 (47.0%)	86 (43.0%)	77 (38.5%)	51 (25.5%)	485 (40.4%)	51 (25.5%)	59 (29.5%)	49 (24.5%)	48 (24.0%)	38 (19.0%)	34 (17.0%)	279 (23.3%)	764 (31.8%)
	国や地方の行政機関	3 (1.5%)	2 (1.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (1.0%)	2 (1.0%)	9 (0.8%)	1 (0.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (1.0%)	3 (0.3%)	12 (0.5%)
	国立や公立などの公的研究機関	1 (0.5%)	0 (0.5%)	0 (0.0%)	5 (2.5%)	5 (2.5%)	1 (0.5%)	13 (1.1%)	0 (0.0%)	2 (1.0%)	1 (0.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (1.5%)	7 (0.6%)	20 (0.8%)
	科学館や博物館など科学技術関連施設	2 (1.0%)	1 (0.5%)	2 (1.0%)	0 (0.0%)	3 (1.5%)	2 (1.0%)	10 (0.8%)	1 (0.5%)	1 (0.5%)	0 (0.0%)	1 (0.5%)	1 (0.5%)	2 (1.0%)	6 (0.5%)	16 (0.7%)
	大学	12 (6.0%)	4 (2.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	16 (1.3%)	7 (3.5%)	5 (2.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	12 (1.0%)	28 (1.2%)
	講演会やシンポジウム、市民講座	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (1.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.5%)	3 (0.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (1.0%)	0 (0.0%)	2 (1.0%)	4 (0.3%)	7 (0.3%)
	家族や友人、知人の話	6 (3.0%)	2 (1.0%)	1 (0.5%)	0 (0.0%)	3 (1.5%)	1 (0.5%)	13 (1.1%)	10 (5.0%)	7 (3.5%)	7 (3.5%)	6 (3.0%)	4 (2.0%)	4 (2.0%)	38 (3.2%)	51 (2.1%)
	その他	1 (0.5%)	1 (0.5%)	3 (1.5%)	2 (1.0%)	1 (0.5%)	0 (0.0%)	8 (0.7%)	1 (0.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.5%)	1 (0.5%)	3 (0.3%)	11 (0.5%)

Q19で最も情報を得るところとして、「インターネット」をお選びの方にお聞きます。あなたがインターネットから科学技術に関連した情報を得る時、どこから得ていますか。次のうち、当てはまるものをいくつでもお選びください。また、それらのうち、最も多いところを1つお選びください。

問	選択肢	男性							女性							全体
		10代	20代	30代	40代	50代	60代	計	10代	20代	30代	40代	50代	60代	計	
最も情報を得るところ	Yahoo!やMSNなどのポータルサイトや新聞社などのニュースサイト	64 (78.0%)	80 (84.2%)	85 (90.4%)	77 (89.5%)	69 (89.6%)	46 (90.2%)	421 (86.8%)	43 (84.3%)	59 (89.8%)	46 (93.9%)	45 (93.8%)	37 (97.4%)	30 (88.2%)	254 (92.7%)	675 (88.4%)
	首相官邸や政府広報のサイト	6 (7.3%)	8 (8.4%)	1 (1.1%)	11 (12.8%)	10 (13.0%)	7 (13.7%)	43 (8.9%)	2 (3.9%)	3 (5.1%)	5 (10.2%)	4 (8.3%)	3 (7.9%)	4 (11.8%)	21 (7.7%)	64 (8.4%)
	国の行政機関や地方公共団体の公式サイト	8 (9.8%)	10 (10.5%)	8 (8.5%)	18 (20.9%)	19 (24.7%)	16 (31.4%)	79 (16.3%)	3 (5.9%)	5 (8.5%)	5 (10.2%)	5 (10.4%)	9 (23.7%)	11 (32.4%)	38 (13.9%)	117 (15.3%)
	民間企業や民間団体の公式サイト	7 (8.5%)	14 (14.7%)	21 (22.3%)	28 (32.6%)	26 (33.8%)	15 (29.4%)	111 (22.9%)	4 (7.8%)	7 (11.9%)	5 (10.2%)	5 (10.4%)	10 (26.3%)	8 (23.5%)	39 (14.2%)	150 (19.6%)
	国立や公立などの公的研究機関の公式サイト	13 (15.9%)	13 (13.7%)	12 (12.8%)	17 (19.8%)	23 (29.9%)	13 (25.5%)	91 (18.8%)	2 (3.9%)	4 (6.8%)	7 (14.3%)	5 (10.4%)	7 (18.4%)	8 (23.5%)	33 (12.0%)	124 (16.2%)
	大学の公式サイト	14 (17.1%)	14 (14.7%)	5 (5.3%)	5 (5.8%)	9 (11.7%)	7 (13.7%)	54 (11.1%)	4 (7.8%)	4 (6.8%)	3 (6.1%)	2 (4.2%)	3 (7.9%)	2 (5.9%)	18 (6.6%)	72 (9.4%)
	科学館や博物館など科学技術関連施設の公式サイト	11 (13.4%)	8 (8.4%)	10 (10.6%)	23 (26.7%)	20 (26.0%)	10 (19.6%)	82 (16.9%)	5 (9.8%)	12 (20.3%)	7 (14.3%)	8 (16.7%)	7 (18.4%)	4 (11.8%)	43 (15.7%)	125 (16.4%)
	学会の公式サイト	6 (7.3%)	11 (11.6%)	6 (6.4%)	8 (9.3%)	8 (10.4%)	8 (15.7%)	47 (9.7%)	1 (2.0%)	3 (5.1%)	4 (8.2%)	1 (2.1%)	7 (18.4%)	3 (8.8%)	19 (6.9%)	66 (8.6%)
	電子掲示板や一般個人のホームページ、ブログ	32 (39.0%)	37 (38.9%)	30 (31.9%)	27 (31.4%)	19 (24.7%)	13 (25.5%)	158 (32.6%)	7 (13.7%)	19 (32.2%)	7 (14.3%)	8 (16.7%)	10 (26.3%)	10 (29.4%)	61 (22.3%)	219 (28.7%)
	FacebookやTwitter、LINEなどのSNS	37 (45.1%)	28 (29.5%)	16 (17.0%)	10 (11.6%)	10 (13.0%)	10 (19.6%)	111 (22.9%)	30 (58.8%)	18 (30.5%)	15 (30.6%)	7 (14.6%)	6 (15.8%)	4 (11.8%)	80 (29.2%)	191 (25.0%)
	その他	0 (0.0%)	1 (1.1%)	2 (2.1%)	1 (1.2%)	0 (0.0%)	1 (2.0%)	5 (1.0%)	1 (2.0%)	1 (1.7%)	1 (2.0%)	1 (2.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (1.5%)	9 (1.2%)
最も情報を得ず	Yahoo!やMSNなどのポータルサイトや新聞社などのニュースサイト	46 (56.1%)	62 (65.3%)	64 (68.1%)	58 (67.4%)	48 (62.3%)	39 (76.5%)	317 (65.4%)	29 (56.9%)	42 (71.2%)	42 (85.7%)	44 (91.7%)	29 (76.3%)	24 (70.6%)	210 (76.6%)	527 (69.0%)
	首相官邸や政府広報のサイト	1 (1.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (1.2%)	0 (0.0%)	1 (2.0%)	3 (0.6%)	1 (2.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.4%)	4 (0.5%)
	国の行政機関や地方公共団体の公式サイト	2 (2.4%)	1 (1.1%)	2 (2.1%)	1 (1.2%)	5 (6.5%)	1 (2.0%)	12 (2.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (2.6%)	0 (0.0%)	2 (0.7%)	14 (1.8%)
	民間企業や民間団体の公式サイト	3 (3.7%)	3 (3.2%)	6 (6.4%)	6 (7.0%)	10 (13.0%)	2 (3.9%)	30 (6.2%)	1 (2.0%)	2 (3.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (5.3%)	1 (2.9%)	6 (2.2%)	36 (4.7%)
	国立や公立などの公的研究機関の公式サイト	3 (3.7%)	2 (2.1%)	1 (1.1%)	2 (2.3%)	5 (6.5%)	0 (0.0%)	13 (2.7%)	0 (0.0%)	2 (3.4%)	0 (0.0%)	1 (2.1%)	2 (5.3%)	2 (5.9%)	7 (2.6%)	20 (2.6%)
	大学の公式サイト	0 (0.0%)	1 (1.1%)	1 (1.1%)	0 (0.0%)	1 (1.3%)	1 (2.0%)	4 (0.8%)	1 (2.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.4%)	5 (0.7%)

上段:実数、下段:比率

問	選択肢	男性							女性							全体
		10代	20代	30代	40代	50代	60代	計	10代	20代	30代	40代	50代	60代	計	
Q21	と ころ	2 (2.4%)	2 (2.1%)	2 (2.1%)	5 (5.8%)	4 (5.2%)	1 (2.0%)	16 (3.3%)	1 (2.0%)	1 (1.7%)	2 (4.1%)	1 (2.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (1.8%)	21 (2.7%)
	科学館や博物館など科学技術関連施設の公式サイト	2 (2.4%)	1 (1.1%)	0 (0.0%)	2 (2.3%)	0 (0.0%)	1 (2.0%)	6 (1.2%)	0 (0.0%)	1 (1.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (2.6%)	0 (0.0%)	2 (0.7%)	8 (1.0%)
	学会の公式サイト	12 (14.6%)	14 (14.7%)	14 (14.9%)	8 (9.3%)	1 (1.3%)	2 (3.9%)	51 (10.5%)	3 (5.9%)	3 (5.1%)	2 (4.1%)	1 (2.1%)	2 (5.3%)	4 (11.8%)	15 (5.5%)	66 (8.6%)
	電子掲示板や一般個人のホームページ、ブログ	11 (13.4%)	8 (8.4%)	3 (3.2%)	2 (2.3%)	3 (3.9%)	2 (3.9%)	29 (6.0%)	14 (27.5%)	7 (11.9%)	2 (4.1%)	0 (0.0%)	1 (2.6%)	3 (8.8%)	27 (9.9%)	56 (7.3%)
	FacebookやTwitter、LINEなどのSNS	0 (0.0%)	1 (1.1%)	1 (1.1%)	1 (1.2%)	0 (0.0%)	1 (2.0%)	4 (0.8%)	0 (0.0%)	1 (1.7%)	1 (2.0%)	1 (2.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (1.1%)	7 (0.9%)
その他	0 (0.0%)	1 (1.1%)	1 (1.1%)	1 (1.2%)	0 (0.0%)	1 (2.0%)	4 (0.8%)	0 (0.0%)	1 (1.7%)	1 (2.0%)	1 (2.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (1.1%)	7 (0.9%)	

Q21 科学技術の発展には、プラス面とマイナス面があるとされておりありますが、全体的に見た場合、あなたはそのどちらが多いと思いますか。次のうち、当てはまるものを1つお選びください。

プラス面が多い	46 (23.0%)	47 (23.5%)	31 (15.5%)	40 (20.0%)	44 (22.0%)	52 (26.0%)	260 (21.7%)	11 (5.5%)	16 (8.0%)	15 (7.5%)	10 (5.0%)	19 (9.5%)	24 (12.0%)	95 (7.9%)	355 (14.8%)
どちらかというプラス面が多い	78 (39.0%)	84 (42.0%)	94 (47.0%)	97 (48.5%)	100 (50.0%)	100 (50.0%)	553 (46.1%)	71 (35.5%)	69 (34.5%)	76 (38.0%)	75 (37.5%)	100 (50.0%)	95 (47.5%)	486 (40.5%)	1039 (43.3%)
両方同じくらいである	62 (31.0%)	61 (30.5%)	65 (32.5%)	59 (29.5%)	45 (22.5%)	41 (20.5%)	333 (27.8%)	97 (48.5%)	94 (47.0%)	93 (46.5%)	103 (51.5%)	74 (37.0%)	73 (36.5%)	534 (44.5%)	867 (36.1%)
どちらかというマイナス面が多い	10 (5.0%)	5 (2.5%)	9 (4.5%)	4 (2.0%)	10 (5.0%)	5 (2.5%)	43 (3.6%)	16 (8.0%)	17 (8.5%)	12 (6.0%)	9 (4.5%)	2 (1.0%)	7 (3.5%)	63 (5.3%)	106 (4.4%)
マイナス面が多い	4 (2.0%)	3 (1.5%)	1 (0.5%)	0 (0.0%)	1 (0.5%)	2 (1.0%)	11 (0.9%)	5 (2.5%)	4 (2.0%)	4 (2.0%)	3 (1.5%)	5 (2.5%)	1 (0.5%)	22 (1.8%)	33 (1.4%)

Q22 科学技術に関する次の意見や考えについて、あなたはどうお考えですか。あなたのお考えに当てはまるものを1つお選びください。

科学技術の進歩につれて、生活はより便利で快適なものになる	そう思う	63 (31.5%)	57 (28.5%)	39 (19.5%)	35 (17.5%)	33 (16.5%)	38 (19.0%)	265 (22.1%)	49 (24.5%)	43 (21.5%)	35 (17.5%)	23 (11.5%)	26 (13.0%)	28 (14.0%)	204 (17.0%)	469 (19.5%)
	どちらかというと思う	91 (45.5%)	99 (49.5%)	104 (52.0%)	116 (58.0%)	118 (59.0%)	112 (56.0%)	640 (53.3%)	91 (45.5%)	102 (51.0%)	116 (58.0%)	109 (54.5%)	122 (61.0%)	112 (56.0%)	652 (54.3%)	1292 (53.8%)
	どちらともいえない	35 (17.5%)	38 (19.0%)	51 (25.5%)	43 (21.5%)	39 (19.5%)	43 (21.5%)	249 (20.8%)	45 (22.5%)	45 (22.5%)	44 (22.0%)	63 (31.5%)	47 (23.5%)	59 (29.5%)	303 (25.3%)	552 (23.0%)
	どちらかというと思わない	5 (2.5%)	5 (2.5%)	4 (2.0%)	6 (3.0%)	6 (3.0%)	5 (2.5%)	31 (2.6%)	10 (5.0%)	8 (4.0%)	2 (1.0%)	3 (1.5%)	5 (2.5%)	1 (0.5%)	29 (2.4%)	60 (2.5%)
	そう思わない	6 (3.0%)	1 (0.5%)	2 (1.0%)	0 (0.0%)	4 (2.0%)	2 (1.0%)	15 (1.3%)	5 (2.5%)	2 (1.0%)	3 (1.5%)	2 (1.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	12 (1.0%)	27 (1.1%)
日常生活で科学について知っておくことは、私にとって重要なことである	そう思う	49 (24.5%)	37 (18.5%)	26 (13.0%)	23 (11.5%)	25 (12.5%)	29 (14.5%)	189 (15.8%)	28 (14.0%)	24 (12.0%)	12 (6.0%)	19 (9.5%)	13 (6.5%)	12 (6.0%)	108 (9.0%)	297 (12.4%)
	どちらかというと思う	89 (44.5%)	93 (46.5%)	89 (44.0%)	105 (52.5%)	114 (57.0%)	112 (56.0%)	601 (50.1%)	75 (37.5%)	70 (35.0%)	68 (34.0%)	80 (40.0%)	93 (46.5%)	95 (47.5%)	481 (40.1%)	1082 (45.1%)
	どちらともいえない	51 (25.5%)	46 (23.0%)	69 (34.5%)	56 (28.0%)	44 (22.0%)	50 (25.0%)	316 (26.3%)	69 (34.5%)	68 (34.0%)	83 (41.5%)	76 (38.0%)	72 (36.0%)	76 (38.0%)	444 (37.0%)	760 (31.7%)
	どちらかというと思わない	6 (3.0%)	18 (9.0%)	16 (8.0%)	13 (6.5%)	13 (6.5%)	7 (3.5%)	73 (6.1%)	23 (11.5%)	31 (15.5%)	31 (15.5%)	21 (10.5%)	20 (10.0%)	16 (8.0%)	142 (11.8%)	215 (9.0%)
	そう思わない	5 (2.5%)	6 (3.0%)	1 (0.5%)	3 (1.5%)	4 (2.0%)	2 (1.0%)	21 (1.8%)	5 (2.5%)	7 (3.5%)	6 (3.0%)	4 (2.0%)	2 (1.0%)	1 (0.5%)	25 (2.1%)	46 (1.9%)
科学技術によって次世代はより多くの機会に恵まれる	そう思う	44 (22.0%)	40 (20.0%)	26 (13.0%)	21 (10.5%)	27 (13.5%)	30 (15.0%)	188 (15.7%)	37 (18.5%)	31 (15.5%)	17 (8.5%)	17 (8.5%)	18 (9.0%)	19 (9.5%)	139 (11.6%)	327 (13.6%)
	どちらかというと思う	73 (36.5%)	76 (38.0%)	100 (50.0%)	107 (53.5%)	107 (53.5%)	116 (58.0%)	579 (48.3%)	76 (38.0%)	76 (38.0%)	90 (45.0%)	91 (45.5%)	107 (53.5%)	105 (52.5%)	545 (45.4%)	1124 (46.8%)
	どちらともいえない	55 (27.5%)	68 (34.0%)	62 (31.0%)	64 (32.0%)	50 (25.0%)	48 (24.0%)	347 (28.9%)	64 (32.0%)	78 (39.0%)	74 (37.0%)	83 (41.5%)	66 (33.0%)	67 (33.5%)	432 (36.0%)	779 (32.5%)
	どちらかというと思わない	21 (10.5%)	13 (6.5%)	11 (5.5%)	7 (3.5%)	12 (6.0%)	4 (2.0%)	68 (5.7%)	16 (8.0%)	12 (6.0%)	16 (8.0%)	6 (3.0%)	7 (3.5%)	9 (4.5%)	66 (5.5%)	134 (5.6%)
	そう思わない	7 (3.5%)	3 (1.5%)	1 (0.5%)	1 (0.5%)	4 (2.0%)	2 (1.0%)	18 (1.5%)	7 (3.5%)	3 (1.5%)	3 (1.5%)	3 (1.5%)	2 (1.0%)	0 (0.0%)	18 (1.5%)	36 (1.5%)
科学技術によって私たちの生活様式は急激に変化している	そう思う	75 (37.5%)	53 (26.5%)	44 (22.0%)	44 (22.0%)	44 (22.0%)	43 (21.5%)	303 (25.3%)	49 (24.5%)	48 (24.0%)	32 (16.0%)	34 (17.0%)	34 (17.0%)	28 (14.0%)	225 (18.8%)	528 (22.0%)
	どちらかというと思う	59 (29.5%)	79 (39.5%)	94 (47.0%)	102 (51.0%)	100 (50.0%)	107 (53.5%)	541 (45.1%)	77 (38.5%)	87 (43.5%)	98 (49.0%)	97 (48.5%)	100 (50.0%)	120 (60.0%)	579 (48.3%)	1120 (46.7%)
	どちらともいえない	53 (26.5%)	52 (26.0%)	53 (26.5%)	44 (22.0%)	39 (19.5%)	42 (21.0%)	283 (23.6%)	56 (28.0%)	51 (25.5%)	60 (30.0%)	59 (29.5%)	59 (29.5%)	47 (23.5%)	332 (27.7%)	615 (25.6%)
	どちらかというと思わない	9 (4.5%)	13 (6.5%)	8 (4.0%)	8 (4.0%)	14 (7.0%)	5 (2.5%)	57 (4.8%)	13 (6.5%)	12 (6.0%)	7 (3.5%)	8 (4.0%)	6 (3.0%)	5 (2.5%)	51 (4.3%)	108 (4.5%)
	そう思わない	4 (2.0%)	3 (1.5%)	1 (0.5%)	2 (1.0%)	3 (1.5%)	3 (1.5%)	16 (1.3%)	5 (2.5%)	2 (1.0%)	3 (1.5%)	2 (1.0%)	1 (0.5%)	0 (0.0%)	13 (1.1%)	29 (1.2%)

問	選択肢	男性								女性								全体
		10代	20代	30代	40代	50代	60代	計	10代	20代	30代	40代	50代	60代	計			
たとえすぐに利益をもたらさないとしても、最先端の学問を前進させる科学研究は必要であり、政府によって支援されなければならない	そう思う	50 (25.0%)	47 (23.5%)	39 (19.5%)	51 (25.5%)	44 (22.0%)	64 (32.0%)	295 (24.6%)	38 (19.0%)	34 (17.0%)	35 (17.5%)	23 (11.5%)	36 (18.0%)	47 (23.5%)	213 (17.8%)	508 (21.2%)		
	どちらかというと思う	71 (35.5%)	86 (43.0%)	87 (43.5%)	89 (44.5%)	101 (50.5%)	92 (46.0%)	526 (43.8%)	68 (34.0%)	80 (40.0%)	75 (37.5%)	96 (48.0%)	105 (52.5%)	101 (50.5%)	525 (43.8%)	1051 (43.8%)		
	どちらともいえない	64 (32.0%)	53 (26.5%)	65 (32.5%)	52 (26.0%)	43 (21.5%)	37 (18.5%)	314 (26.2%)	70 (35.0%)	69 (34.0%)	80 (40.0%)	69 (34.5%)	52 (26.0%)	47 (23.5%)	386 (32.2%)	700 (29.2%)		
	どちらかというと思わない	10 (5.0%)	9 (4.5%)	9 (4.5%)	7 (3.5%)	8 (4.0%)	4 (2.0%)	47 (3.9%)	16 (8.0%)	11 (5.5%)	8 (4.0%)	7 (3.5%)	6 (3.0%)	5 (2.5%)	53 (4.4%)	100 (4.2%)		
	そう思わない	5 (2.5%)	5 (2.5%)	0 (0.0%)	1 (0.5%)	4 (2.0%)	3 (1.5%)	18 (1.5%)	8 (4.0%)	7 (3.5%)	2 (1.0%)	5 (2.5%)	1 (0.5%)	0 (0.0%)	23 (1.9%)	41 (1.7%)		
少しでもリスクのある科学技術は使用するべきではない	そう思う	15 (7.5%)	7 (3.5%)	8 (4.0%)	8 (4.0%)	16 (8.0%)	15 (7.5%)	69 (5.8%)	18 (9.0%)	13 (6.5%)	14 (7.0%)	25 (12.5%)	10 (5.0%)	15 (7.5%)	95 (7.9%)	164 (6.8%)		
	どちらかというと思う	43 (21.5%)	30 (15.0%)	39 (19.5%)	35 (17.5%)	36 (18.0%)	40 (20.0%)	223 (18.6%)	48 (24.0%)	51 (25.5%)	49 (24.5%)	37 (18.5%)	49 (24.5%)	46 (23.0%)	280 (23.3%)	503 (21.0%)		
	どちらともいえない	80 (40.0%)	91 (45.5%)	104 (52.0%)	96 (48.0%)	87 (43.5%)	96 (48.0%)	554 (46.2%)	103 (51.5%)	101 (50.5%)	111 (55.5%)	106 (53.0%)	104 (52.0%)	111 (55.5%)	636 (53.0%)	1190 (49.6%)		
	どちらかというと思わない	38 (19.0%)	4 (2.5%)	3 (1.5%)	4 (2.5%)	5 (2.5%)	3 (1.5%)	249 (20.8%)	23 (11.5%)	2 (1.0%)	2 (1.0%)	2 (1.0%)	2 (1.0%)	3 (1.5%)	26 (13.3%)	409 (17.0%)		
	そう思わない	24 (12.0%)	25 (12.5%)	16 (8.0%)	16 (8.0%)	10 (5.0%)	14 (7.0%)	105 (8.8%)	8 (4.0%)	6 (3.0%)	4 (2.0%)	3 (1.5%)	6 (3.0%)	2 (1.0%)	29 (2.4%)	134 (5.6%)		
科学技術の研究開発の方向性は、内容をよく知っている専門家が決めるのがよい	そう思う	31 (15.5%)	15 (7.5%)	10 (5.0%)	11 (5.5%)	6 (3.0%)	8 (4.0%)	81 (6.8%)	29 (14.5%)	13 (6.5%)	14 (7.0%)	15 (7.5%)	13 (6.5%)	8 (4.0%)	92 (7.7%)	173 (7.2%)		
	どちらかというと思う	64 (32.0%)	68 (34.0%)	69 (34.5%)	59 (29.5%)	54 (27.0%)	51 (25.5%)	365 (30.4%)	69 (34.5%)	82 (41.0%)	72 (36.0%)	63 (31.5%)	82 (41.0%)	71 (35.5%)	439 (36.6%)	804 (33.5%)		
	どちらともいえない	75 (37.5%)	98 (49.0%)	98 (49.0%)	102 (51.0%)	101 (50.5%)	97 (48.5%)	571 (47.6%)	74 (37.0%)	87 (43.5%)	94 (47.0%)	105 (52.5%)	86 (43.0%)	102 (51.0%)	548 (45.7%)	1119 (46.6%)		
	どちらかというと思わない	24 (12.0%)	15 (7.5%)	20 (10.0%)	24 (12.0%)	28 (14.0%)	30 (15.0%)	141 (11.8%)	21 (10.5%)	13 (6.5%)	14 (7.0%)	13 (6.5%)	13 (6.5%)	17 (8.5%)	91 (7.6%)	232 (9.7%)		
	そう思わない	6 (3.0%)	4 (2.0%)	3 (1.5%)	4 (2.0%)	11 (5.5%)	14 (7.0%)	42 (3.5%)	7 (3.5%)	5 (2.5%)	6 (3.0%)	4 (2.0%)	6 (3.0%)	2 (1.0%)	30 (2.5%)	72 (3.0%)		
科学技術の利用には、予想もできない危険が潜んでいる	そう思う	55 (27.5%)	39 (19.0%)	43 (21.5%)	36 (18.0%)	36 (18.0%)	40 (20.0%)	248 (20.7%)	50 (25.0%)	39 (19.0%)	41 (20.5%)	40 (20.0%)	32 (16.0%)	29 (14.5%)	230 (19.2%)	478 (19.9%)		
	どちらかというと思う	75 (37.5%)	83 (41.5%)	82 (41.0%)	87 (43.5%)	107 (53.5%)	97 (48.5%)	531 (44.3%)	90 (45.0%)	93 (46.5%)	80 (40.0%)	92 (46.0%)	92 (46.0%)	91 (45.5%)	538 (44.8%)	1069 (44.5%)		
	どちらともいえない	58 (29.0%)	64 (32.0%)	67 (33.5%)	70 (35.0%)	45 (22.5%)	51 (25.5%)	355 (29.6%)	52 (26.0%)	56 (29.0%)	68 (34.0%)	61 (30.5%)	69 (34.5%)	75 (37.5%)	383 (31.9%)	738 (30.8%)		
	どちらかというと思わない	7 (3.5%)	12 (6.0%)	8 (4.0%)	7 (3.5%)	9 (4.5%)	9 (4.5%)	52 (4.3%)	6 (3.0%)	9 (4.5%)	9 (4.5%)	5 (2.5%)	6 (3.0%)	5 (2.5%)	40 (3.3%)	92 (3.8%)		
	そう思わない	5 (2.5%)	3 (1.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (1.5%)	3 (1.5%)	14 (1.2%)	2 (1.0%)	2 (1.0%)	2 (1.0%)	2 (1.0%)	1 (0.5%)	0 (0.0%)	9 (0.8%)	23 (1.0%)		
科学技術の利便性を享受するためには、ある程度リスクを受容しなければならない	そう思う	47 (23.5%)	38 (19.0%)	19 (9.5%)	19 (9.5%)	12 (6.0%)	10 (5.0%)	145 (12.1%)	32 (16.0%)	25 (12.5%)	15 (7.5%)	15 (7.5%)	9 (4.5%)	9 (4.5%)	105 (8.8%)	250 (10.4%)		
	どちらかというと思う	65 (32.5%)	80 (40.0%)	91 (45.5%)	84 (42.0%)	86 (43.0%)	81 (40.5%)	487 (40.6%)	71 (35.5%)	84 (42.0%)	85 (42.5%)	69 (34.5%)	80 (40.0%)	82 (41.0%)	471 (39.3%)	958 (39.9%)		
	どちらともいえない	74 (37.0%)	67 (33.5%)	75 (37.5%)	78 (39.0%)	76 (38.0%)	87 (43.5%)	457 (38.1%)	62 (31.0%)	74 (37.0%)	78 (39.0%)	94 (47.0%)	93 (46.5%)	85 (42.5%)	486 (40.5%)	943 (39.3%)		
	どちらかというと思わない	12 (6.0%)	12 (6.0%)	14 (7.0%)	16 (8.0%)	19 (9.5%)	18 (9.0%)	91 (7.6%)	30 (15.0%)	12 (6.0%)	18 (9.0%)	14 (7.0%)	15 (7.5%)	17 (8.5%)	106 (8.8%)	197 (8.2%)		
	そう思わない	2 (1.0%)	3 (1.5%)	1 (0.5%)	3 (1.5%)	7 (3.5%)	4 (2.0%)	20 (1.7%)	5 (2.5%)	5 (2.5%)	4 (2.0%)	8 (4.0%)	3 (1.5%)	7 (3.5%)	32 (2.7%)	52 (2.2%)		
社会的影響力の大きい科学技術の評価には、市民も参加するべきだ	そう思う	39 (19.5%)	24 (12.0%)	16 (8.0%)	20 (10.0%)	18 (9.0%)	21 (10.5%)	138 (11.5%)	23 (11.5%)	23 (11.5%)	20 (10.0%)	23 (11.5%)	16 (8.0%)	13 (6.5%)	118 (9.8%)	256 (10.7%)		
	どちらかというと思う	65 (32.5%)	77 (38.5%)	70 (35.0%)	80 (40.0%)	81 (40.5%)	89 (44.5%)	462 (38.5%)	70 (35.0%)	64 (32.0%)	66 (33.0%)	71 (35.5%)	78 (39.0%)	82 (41.0%)	431 (35.9%)	893 (37.2%)		
	どちらともいえない	75 (37.5%)	76 (38.0%)	88 (44.0%)	86 (43.0%)	78 (39.0%)	74 (37.0%)	477 (39.8%)	72 (36.0%)	85 (42.5%)	97 (48.5%)	88 (44.0%)	91 (45.5%)	94 (47.0%)	527 (43.9%)	1004 (41.8%)		
	どちらかというと思わない	9 (4.5%)	16 (8.0%)	21 (10.5%)	12 (6.0%)	16 (8.0%)	12 (6.0%)	86 (7.2%)	26 (13.0%)	23 (11.5%)	12 (6.0%)	14 (7.0%)	12 (6.0%)	10 (5.0%)	97 (8.1%)	183 (7.6%)		
	そう思わない	12 (6.0%)	7 (3.5%)	5 (2.5%)	2 (1.0%)	7 (3.5%)	4 (2.0%)	37 (3.1%)	9 (4.5%)	5 (2.5%)	5 (2.5%)	4 (2.0%)	3 (1.5%)	1 (0.5%)	27 (2.3%)	64 (2.7%)		

上段:実数、下段:比率

問	選択肢	男性							女性							全体
		10代	20代	30代	40代	50代	60代	計	10代	20代	30代	40代	50代	60代	計	
科学技術に関連する事故や事件の情報は、多少不正確でも早く発表すべきだ	そう思う	35 (17.5%)	21 (10.5%)	20 (10.0%)	31 (15.5%)	37 (18.5%)	34 (17.0%)	178 (14.8%)	22 (11.0%)	23 (11.5%)	23 (11.5%)	34 (17.0%)	28 (14.0%)	35 (17.5%)	165 (13.8%)	343 (14.3%)
	どちらかというと思う	40 (20.0%)	56 (28.0%)	60 (30.0%)	75 (37.5%)	76 (38.0%)	86 (43.0%)	393 (32.8%)	56 (28.0%)	55 (27.5%)	62 (31.0%)	64 (32.0%)	62 (31.0%)	66 (33.0%)	365 (30.4%)	758 (31.6%)
	どちらともいえない	77 (38.5%)	84 (42.0%)	86 (43.0%)	79 (39.5%)	63 (31.5%)	57 (28.5%)	446 (37.2%)	64 (32.0%)	82 (41.0%)	80 (40.0%)	82 (41.0%)	76 (38.0%)	78 (39.0%)	462 (38.5%)	908 (37.8%)
	どちらかというと思わない	32 (16.0%)	27 (13.5%)	29 (14.5%)	12 (6.0%)	17 (8.5%)	21 (10.5%)	138 (11.5%)	36 (18.0%)	25 (12.5%)	27 (13.5%)	14 (7.0%)	22 (11.0%)	18 (9.0%)	142 (11.8%)	280 (11.7%)
	そう思わない	16 (8.0%)	12 (6.0%)	5 (2.5%)	3 (1.5%)	7 (3.5%)	2 (1.0%)	45 (3.8%)	22 (11.0%)	15 (7.5%)	8 (4.0%)	6 (3.0%)	12 (6.0%)	3 (1.5%)	66 (5.5%)	111 (4.6%)

Q23 あなたが社会的に影響力の大きい科学技術を評価する時に重視することは何ですか。次のうち、重視するものをいくつでもお選びください。また、そのうち最も重視するものを1つお選びください。

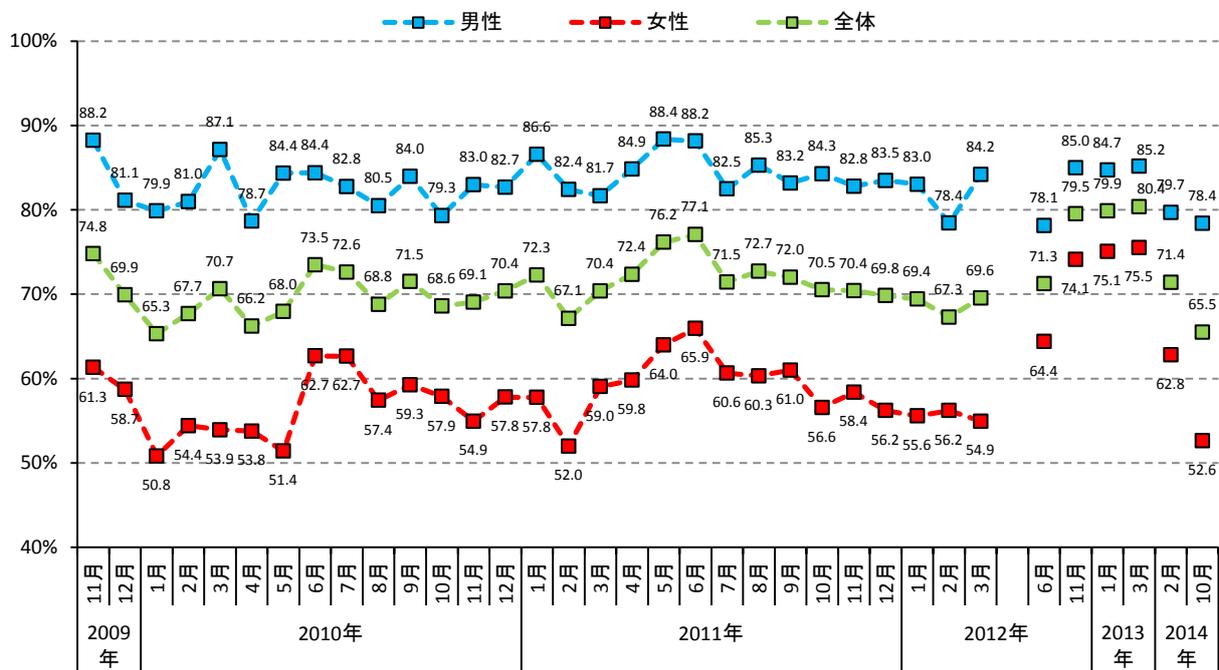
重視するもの	国や企業などの科学技術を開発・利用する主体が信頼できるかどうか	128 (64.0%)	120 (60.0%)	118 (59.0%)	118 (59.0%)	121 (60.5%)	123 (61.5%)	728 (60.7%)	107 (53.5%)	117 (58.5%)	113 (56.5%)	131 (65.5%)	123 (61.5%)	132 (66.0%)	723 (60.3%)	1451 (60.5%)
	その科学技術によって人々が経済的に豊かになるかどうか	86 (43.0%)	86 (44.0%)	90 (45.0%)	88 (44.0%)	90 (45.0%)	90 (45.0%)	532 (44.3%)	62 (31.0%)	86 (43.0%)	83 (41.5%)	79 (39.5%)	92 (46.0%)	87 (43.5%)	489 (40.8%)	1021 (42.5%)
	その科学技術を技術的にコントロールできるかどうか	111 (55.5%)	106 (52.5%)	113 (56.5%)	120 (60.0%)	137 (68.5%)	148 (74.0%)	734 (61.2%)	79 (39.5%)	91 (48.5%)	102 (51.0%)	106 (53.0%)	122 (61.0%)	130 (65.0%)	636 (53.0%)	1370 (57.1%)
	社会が規制して、その科学技術の誤用や悪用を防ぐことができるかどうか	85 (42.5%)	85 (42.5%)	70 (35.0%)	86 (43.0%)	98 (49.0%)	99 (49.5%)	523 (43.6%)	77 (38.5%)	79 (39.5%)	98 (49.0%)	98 (49.0%)	101 (50.5%)	122 (61.0%)	575 (47.9%)	1098 (45.8%)
	その科学技術が社会にとって必要かどうか	97 (48.5%)	88 (44.0%)	85 (42.5%)	91 (45.5%)	114 (57.0%)	119 (59.5%)	594 (49.5%)	79 (39.5%)	105 (52.5%)	111 (55.5%)	114 (57.0%)	138 (69.0%)	142 (71.0%)	689 (57.4%)	1283 (53.5%)
	起こりうる事故の規模の大きさ	88 (44.0%)	76 (38.0%)	82 (41.0%)	89 (44.5%)	114 (57.0%)	126 (63.0%)	575 (47.9%)	92 (46.0%)	101 (50.5%)	105 (52.5%)	123 (61.5%)	123 (61.5%)	121 (60.5%)	665 (55.4%)	1240 (51.7%)
	責任の所在がはっきりしているかどうか	49 (24.5%)	53 (26.5%)	47 (23.5%)	59 (29.5%)	79 (39.5%)	91 (45.5%)	378 (31.5%)	50 (25.0%)	58 (29.0%)	47 (23.5%)	71 (35.5%)	80 (40.0%)	92 (46.0%)	398 (33.2%)	776 (32.3%)
	事故の起こる確率の高さ	78 (39.0%)	73 (36.5%)	74 (37.0%)	74 (37.0%)	89 (44.5%)	93 (46.5%)	481 (40.1%)	80 (40.0%)	94 (47.0%)	102 (47.0%)	104 (51.0%)	115 (52.0%)	115 (57.5%)	589 (49.1%)	1070 (44.6%)
	将来、その科学技術によって何が起こるか予想できるかどうか	73 (36.5%)	65 (32.5%)	70 (35.0%)	73 (36.5%)	88 (44.0%)	92 (46.0%)	461 (38.4%)	90 (45.0%)	95 (47.5%)	91 (45.5%)	103 (51.5%)	105 (52.5%)	110 (55.0%)	594 (49.5%)	1055 (44.0%)
最も重視するもの	国や企業などの科学技術を開発・利用する主体が信頼できるかどうか	46 (23.0%)	40 (20.0%)	46 (23.0%)	44 (22.0%)	25 (12.5%)	22 (11.0%)	223 (18.6%)	36 (18.0%)	38 (19.0%)	39 (19.5%)	29 (14.5%)	30 (15.0%)	20 (10.0%)	192 (16.0%)	415 (17.3%)
	その科学技術によって人々が経済的に豊かになるかどうか	19 (9.5%)	31 (15.5%)	27 (13.5%)	19 (9.5%)	23 (11.5%)	14 (7.0%)	133 (11.1%)	16 (8.0%)	29 (14.5%)	24 (12.0%)	17 (8.5%)	14 (7.0%)	9 (4.5%)	109 (9.1%)	242 (10.1%)
	その科学技術を技術的にコントロールできるかどうか	44 (22.0%)	39 (19.5%)	39 (19.5%)	50 (25.0%)	44 (22.0%)	53 (26.5%)	269 (22.4%)	27 (13.5%)	27 (13.5%)	23 (11.5%)	35 (17.5%)	32 (16.0%)	44 (22.0%)	188 (15.7%)	457 (19.0%)
	社会が規制して、その科学技術の誤用や悪用を防ぐことができるかどうか	18 (9.0%)	17 (8.5%)	15 (7.5%)	14 (7.0%)	16 (8.0%)	16 (8.0%)	96 (8.0%)	25 (12.5%)	5 (2.5%)	17 (8.5%)	14 (7.0%)	20 (10.0%)	37 (18.5%)	118 (9.8%)	214 (8.9%)
	その科学技術が社会にとって必要かどうか	27 (13.5%)	29 (14.5%)	28 (14.0%)	33 (16.5%)	34 (17.0%)	35 (17.5%)	186 (15.5%)	27 (13.5%)	33 (16.5%)	34 (17.0%)	33 (16.5%)	46 (23.0%)	42 (21.0%)	215 (17.9%)	401 (16.7%)
	起こりうる事故の規模の大きさ	13 (6.5%)	14 (7.0%)	17 (8.5%)	13 (6.5%)	17 (8.5%)	29 (14.5%)	103 (8.6%)	22 (11.0%)	18 (9.0%)	20 (10.0%)	28 (14.0%)	24 (12.0%)	12 (6.0%)	124 (10.3%)	227 (9.5%)
	責任の所在がはっきりしているかどうか	4 (2.0%)	6 (3.0%)	6 (3.0%)	5 (2.5%)	12 (6.0%)	11 (5.5%)	44 (3.7%)	8 (4.0%)	6 (3.0%)	9 (4.5%)	8 (4.0%)	6 (3.0%)	10 (5.0%)	47 (3.9%)	91 (3.8%)
	事故の起こる確率の高さ	11 (5.5%)	7 (3.5%)	6 (3.0%)	8 (4.0%)	9 (4.5%)	4 (2.0%)	45 (3.8%)	12 (6.0%)	13 (6.5%)	11 (5.5%)	14 (7.0%)	12 (6.0%)	8 (4.0%)	70 (5.8%)	115 (4.8%)
	将来、その科学技術によって何が起こるか予想できるかどうか	18 (9.0%)	17 (8.5%)	16 (8.0%)	14 (7.0%)	20 (10.0%)	16 (8.0%)	101 (8.4%)	27 (13.5%)	31 (15.5%)	23 (11.5%)	22 (11.0%)	16 (8.0%)	18 (9.0%)	137 (11.4%)	238 (9.9%)

Q24 2011年3月11日の東日本大震災の発生に伴い、福島第一原子力発電所の事故が起きました。福島第一原子力発電所の事故の影響に対する不安について、あなたは現在どのように感じていますか。次のうち、あてはまるものを1つお選びください。

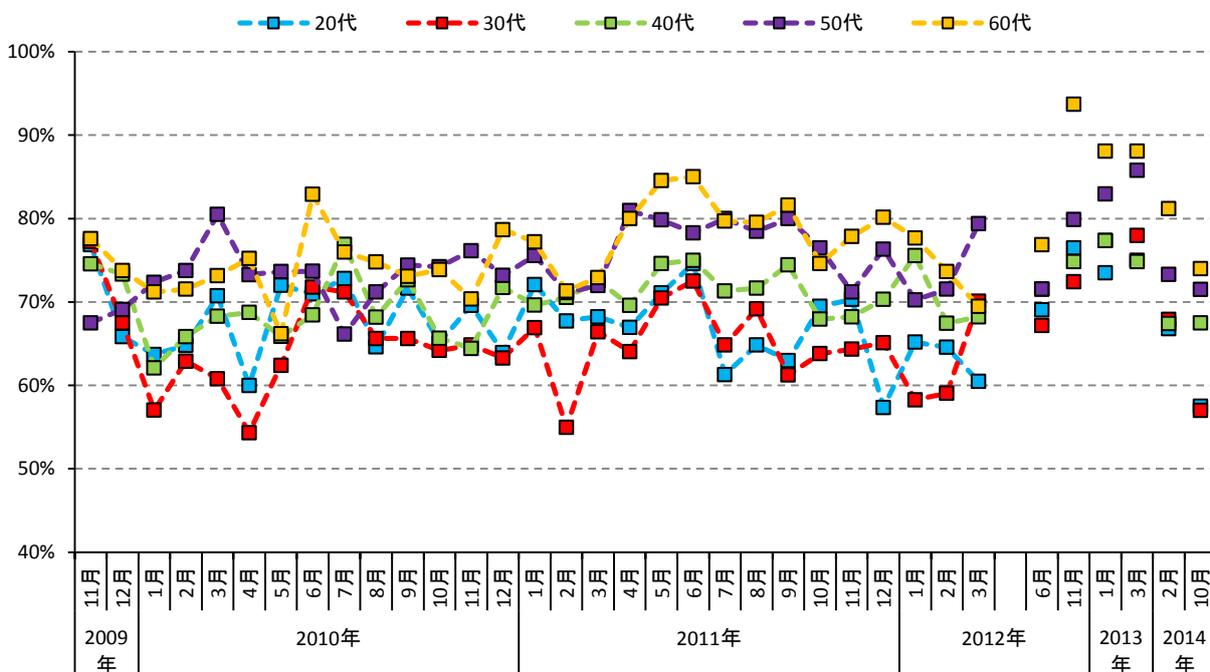
非常に不安である	38 (19.0%)	32 (16.0%)	58 (29.0%)	73 (36.5%)	83 (41.5%)	105 (52.5%)	389 (32.4%)	56 (28.0%)	64 (32.0%)	84 (42.0%)	91 (45.5%)	77 (38.5%)	91 (45.5%)	463 (38.6%)	852 (35.5%)
どちらかという不安である	71 (35.5%)	72 (36.0%)	74 (37.0%)	63 (31.5%)	68 (34.0%)	56 (28.0%)	404 (33.7%)	82 (41.0%)	83 (41.5%)	78 (39.0%)	66 (33.0%)	90 (45.0%)	81 (40.5%)	480 (40.0%)	884 (36.8%)
どちらともいえない	47 (23.5%)	58 (29.0%)	41 (20.5%)	43 (21.5%)	33 (16.5%)	21 (10.5%)	243 (20.3%)	35 (17.5%)	31 (15.5%)	30 (15.0%)	35 (17.5%)	24 (12.0%)	23 (11.5%)	178 (14.8%)	421 (17.5%)
どちらかという不安でない	31 (15.5%)	26 (11.5%)	15 (7.5%)	17 (8.5%)	12 (6.0%)	16 (8.0%)	114 (9.5%)	17 (8.5%)	18 (9.0%)	6 (3.0%)	7 (3.5%)	5 (2.5%)	5 (2.5%)	58 (4.8%)	172 (7.2%)
全く不安でない	13 (6.5%)	15 (7.5%)	12 (6.0%)	4 (2.0%)	4 (2.0%)	2 (1.0%)	50 (4.2%)	10 (5.0%)	4 (2.0%)	2 (1.0%)	1 (0.5%)	4 (2.0%)	0 (0.0%)	21 (1.8%)	71 (3.0%)

Ⅲ 主要な科学技術関連意識の経時変化※

1 科学技術の話題に対する関心(「非常に関心がある」又は「どちらかというに関心がある」)



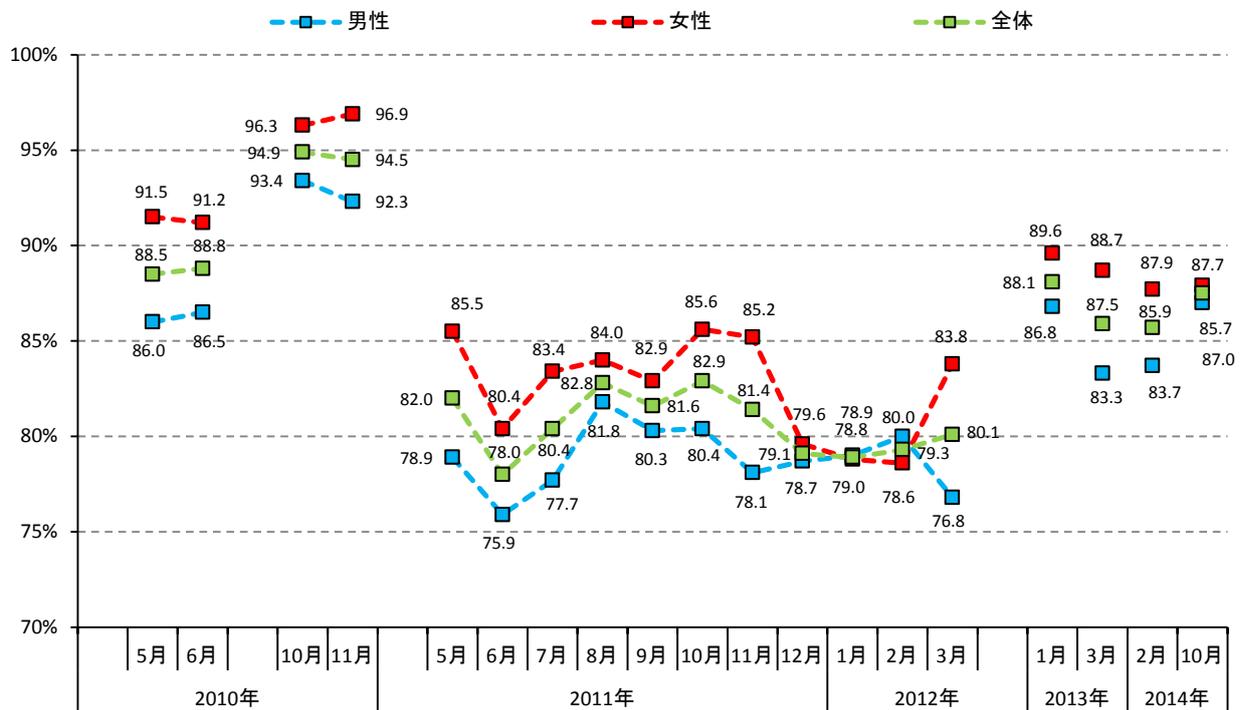
附図 41 科学技術の話題に対する関心度の推移(性別)



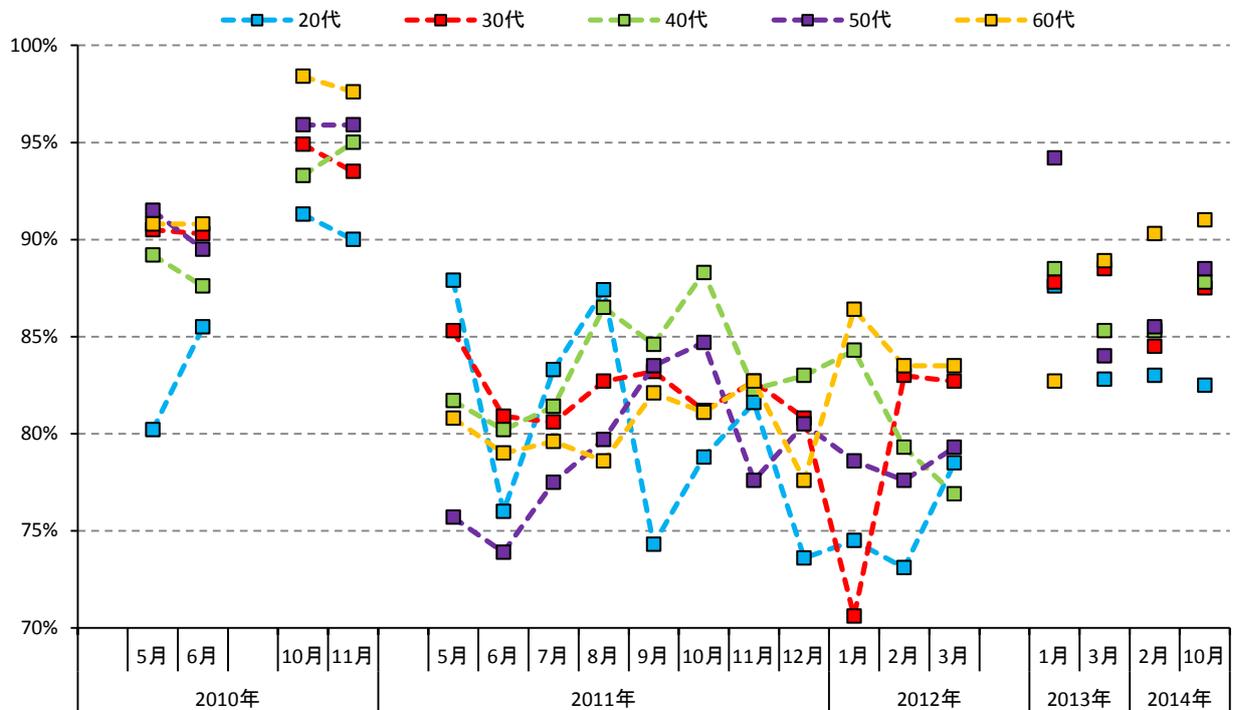
附図 42 科学技術の話題に対する関心度の推移(年代別)

※ 2009年11月～2012年3月は調査資料-211(文部科学省科学技術政策研究所2012)、2012年6月は調査資料-223(早川・茶山2013b)、2012年11月、2013年1月及び3月は調査資料-222(早川・茶山2013a)、2014年2月はDISCUSSION PAPER No.108(早川2014)、2014年10月は本調査の調査データに基づき、20～69歳について集計したものである。

2 科学者の話の信頼(「信頼できる」又は「どちらかという信頼できる」)

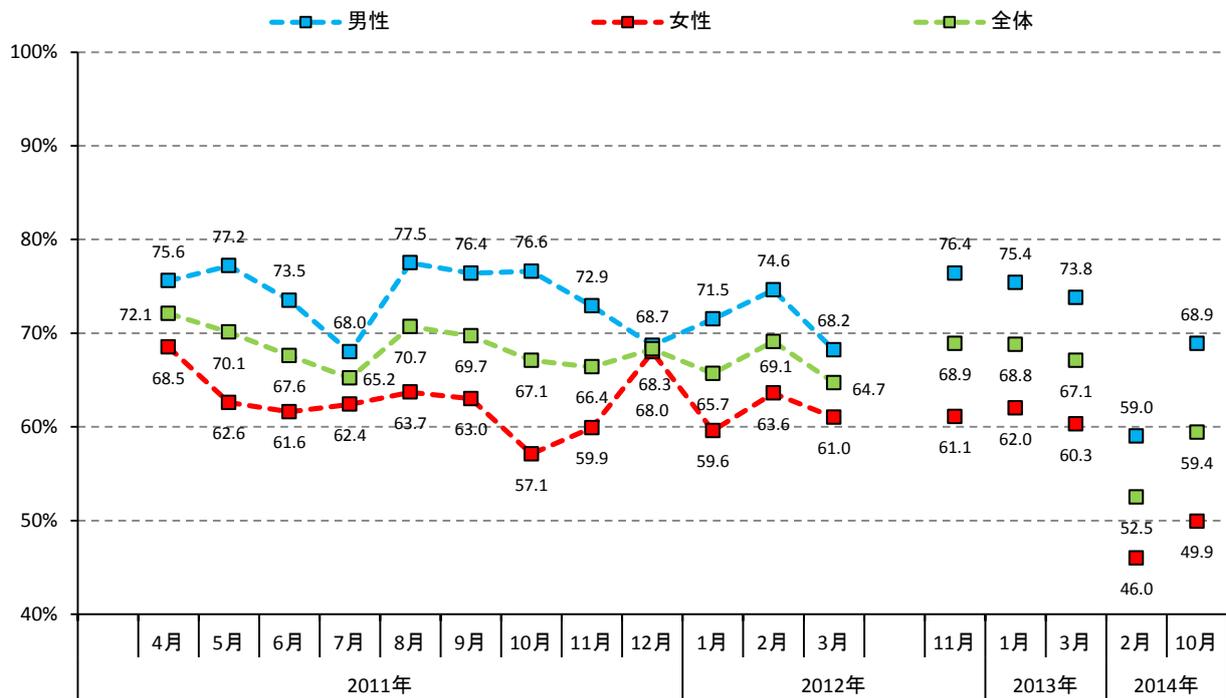


附図 43 科学者の話に対する信頼度の推移(性別)

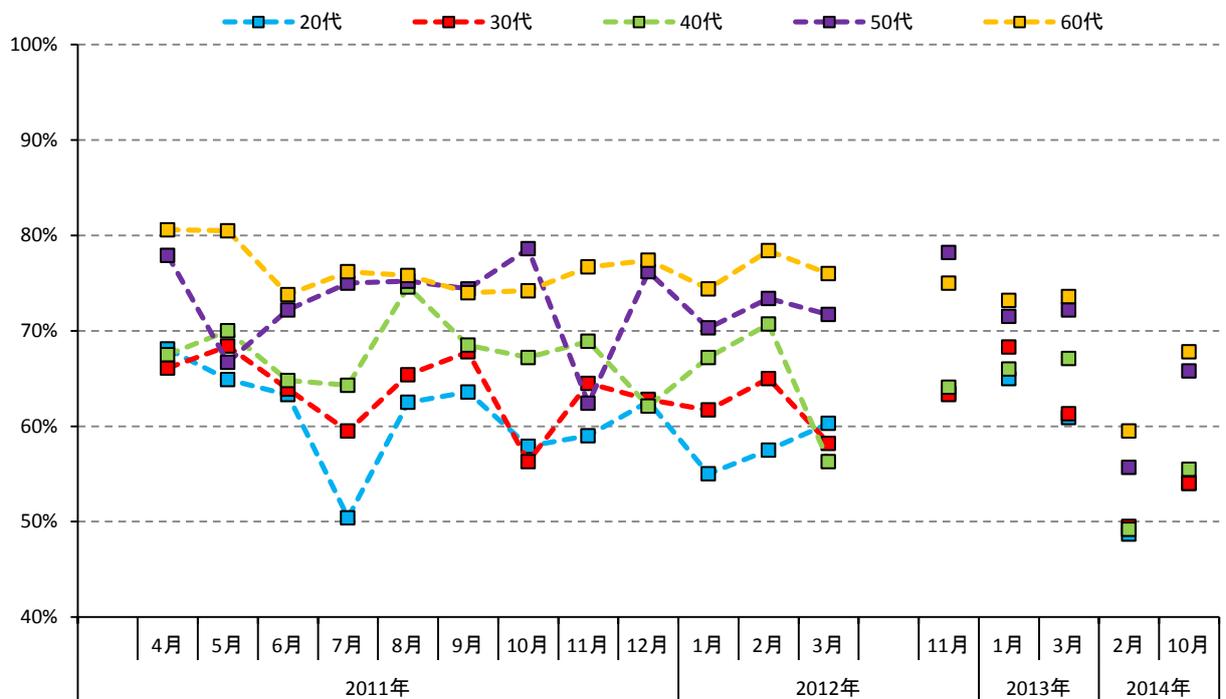


附図 44 科学者の話に対する信頼度の推移(年代別)

3 科学技術の発展に対する意識(「プラス面が多い」又は「どちらかというとプラス面が多い」)

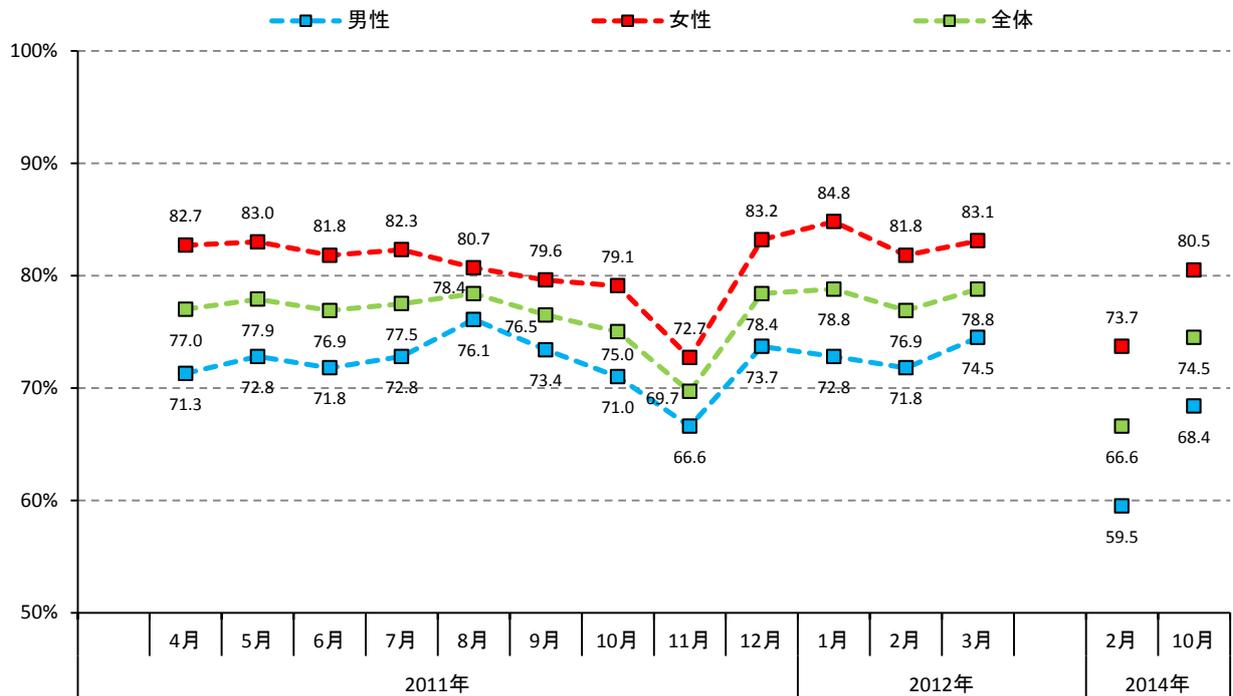


附図 45 科学技術の発展によるプラス面が多い意識の推移(性別)

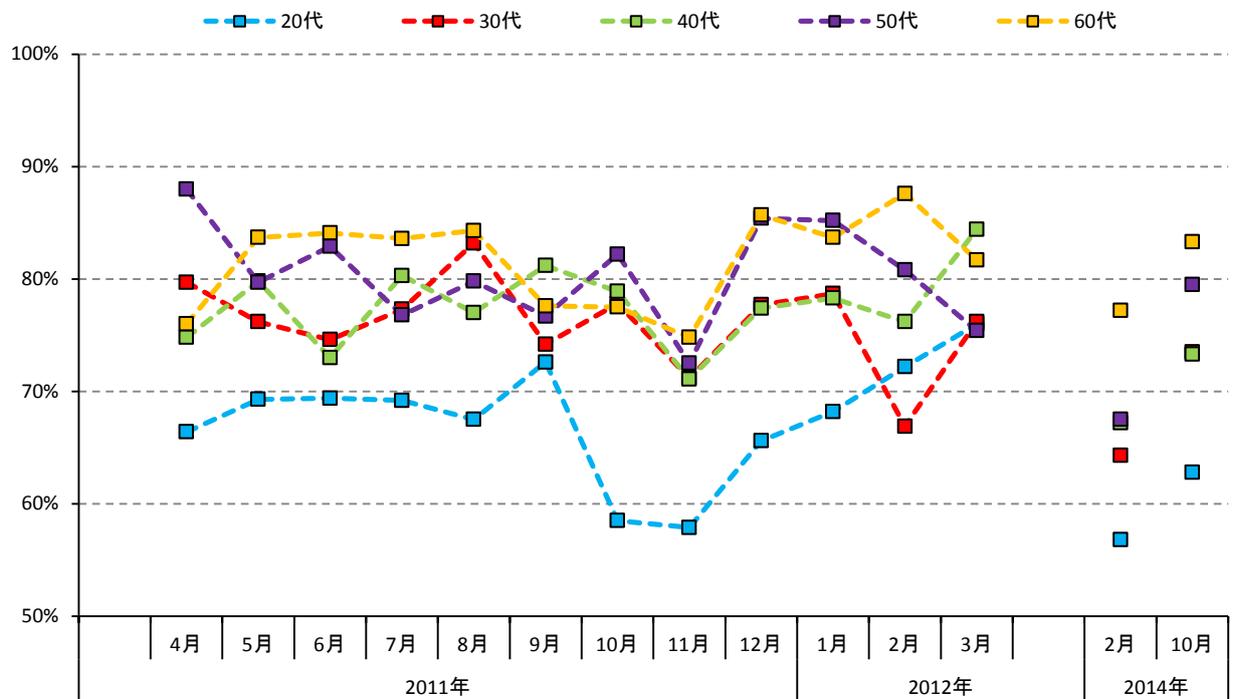


附図 46 科学技術の発展によるプラス面が多い意識の推移(年代別)

4 福島第一原子力発電所事故の不安(「非常に不安である」又は「どちらかという不安である」)



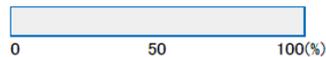
附図 47 福島第一原子力発電所事故の影響に対する不安度の推移(性別)



附図 48 福島第一原子力発電所事故の影響に対する不安度の推移(年代別)

IV 調査画面

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)



あなた自身のことについてお聞きます。

F1
あなたの性別をお答えください。

- 男性
- 女性

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)



F2
あなたの年齢をお答えください。

- 14歳以下
- 15～19歳
- 20～24歳
- 25～29歳
- 30～34歳
- 35～39歳
- 40～44歳
- 45～49歳
- 50～54歳
- 55～59歳
- 60～64歳
- 65～69歳
- 70歳以上

次へ



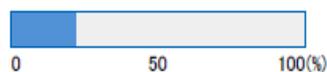
※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)



F3

現在お住まいの都道府県をお答えください。

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

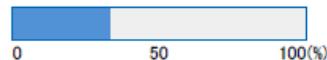


F4

あなたが最後に卒業された学校(現在在学中の場合は所属している学校)は、次のどれに当てはまりますか。なお、中退した場合は卒業とみなしてお答えください。

- 中学校
- 高等学校、又は専修学校高等課程
- 高等専門学校
- 短期大学
- 専修学校専門課程
- 大学
- 大学院修士課程
- 大学院博士課程
- その他(具体的に:)

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)



F5

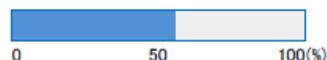
F4で「中学校」又は「高等学校、又は専修学校高等課程」以外をお選びの方にお聞きします。あなたが最後に卒業された学校(現在在学中の場合は所属している学校)での専攻分野は次のうちどれに当てはまりますか。

- 人文・社会科学系(政治学、経済学、法学、哲学、文学、歴史学、心理学、教育学など)
- 自然科学・工学系(数学、物理学、化学、生物学、理学、医学、歯学、薬学、農学、工学など)
- スポーツ・文化芸術系(体育、音楽、美術、造形、デザインなど)
- その他(具体的に:)

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)



F6

あなたの現在の職業(学生等を含む)は、次のどの分類に当てはまりますか。

【農林漁業】

- 農林漁業従事による収入を生計の主としている者

【自営の商工サービス業】

- 家族的な経営による商工サービス業を営んでいる者及び家族従事者

【自由業】

- 俳優、プロスポーツ選手等、成果主義的な収入を主としている者

【管理的職業】

- 会社・団体の役員、会社・団体の管理職員、管理職の公務員(議会議員を含む)、その他の管理的職業に従事する者

【科学技術的職業】

- 科学研究者、機械・電気技術者、建築・土木・測量技術者、情報処理技術者、医師・看護師その他医療技術者、保健師(士)、栄養士、教員(大学等の教員)、その他の科学技術的職業に従事する者

【その他専門的・技術的職業】

- 保育士、弁護士、会計士、教員(小・中・高の教員)、文芸家、著述家、記者、編集者、図書館司書・学芸員、その他の専門的・技術的職業に従事する者

【事務的職業】

- 総務・企画事務、受付・案内事務、秘書、窓口事務、予算・経理事務、事務用機器操作、タイピスト、その他の事務的職業に従事する者

【労務的職業】

- 生産・製造工程の職員、定置機械・建設機械運転員、電機作業の職員、探掘・建設労務の職員、鉄道機関士、車両運転手、郵便物の集配・配達、その他の労務的職業に従事する者

【販売的職業】

- 百貨店・スーパー・小売店・ガソリンスタンド等の販売員、商品仕入・販売外交員、保険セールスマン、不動産仲介、有価証券仲売人、その他の販売的職業に従事する者

【サービスの職業】

- 家事支援サービス、ホームヘルパー、理容・美容師、飲食物の調理士、接客・給仕、居住施設・ビル等の管理、旅行添乗員、その他のサービスの職業に従事する者

【保安的職業】

- 自衛官、警察官、刑務官、消防士、警備員、その他の保安的職業に従事する者

【家事】

- 主婦、主として家事を務めている夫等

【学生】

- 学業を主としている者(アルバイト等による収入のある学生を含む)

【無職】

- 就職の希望を有している者

【無職(退職等)】

- 定年退職等により、就職の希望を有していない者

【その他】

- 上記に該当しない者

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

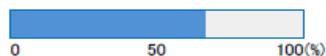


F7

あなたは、結婚していますか。

- 既婚
- 未婚
- 離別・死別

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)



F8

あなたは、お子さんがいらっしゃいますか。次のうち、当てはまるものをすべてお答えください。(いくつでも)

- 同居している小学生未満の子どもがいる
- 同居している小学生の子どもがいる
- 同居している中学生の子どもがいる
- 同居している高校生(専修学校高等課程を含む)の子どもがいる
- 同居している大学生(高等専門学校、短期大学、専修学校専門課程を含む)の子どもがいる
- 同居している大学院生の子どもがいる
- 同居している社会人の子どもがいる
- 上記以外の同居している子どもがいる
- 同居している子どもはいない
- 子どもはいない

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

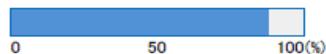


F9

あなたの世帯年収(税込)についてお答えください。

- 0~300万円未満
- 300~500万円未満
- 500~700万円未満
- 700~1000万円未満
- 1000~1500万円未満
- 1500万円以上
- わからない

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)



Q1

あなたは、普段、仕事や学校の授業で行う場合を除いて、次にあげたものを、どのくらい見聞きたり、読んだりしますか。それぞれについて、最も近いものを1つお選びください。
(それぞれひとつずつ)

		回答方向				見聞きしない／読まない
		ほぼ毎日のように	週に3〜4日程度	週に1〜2日程度	月に1〜2日程度	
1	新聞(印刷版)	<input type="radio"/>				
2	新聞(電子版)	<input type="radio"/>				
3	テレビ	<input type="radio"/>				
4	ラジオ	<input type="radio"/>				
5	インターネット(新聞や本、雑誌の電子版、SNS及びメールでの利用は除く)	<input type="radio"/>				
6	FacebookやTwitter、LINEなどのSNS	<input type="radio"/>				
7	本(電子版を含む)	<input type="radio"/>				
8	週刊誌などの雑誌(電子版を含む)	<input type="radio"/>				

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)



Q2

Q1で「インターネット(新聞や本、雑誌の電子版、SNS及びメールでの利用は除く)」又は「FacebookやTwitter、LINEなどのSNS」を利用している方にお聞きします。普段、それらを利用する時、どんな機器を使っていますか。次のうち、利用頻度の高い機器上位3つまでお選びください。(それぞれひとつずつ)

回答方向	1	2	3
	一位	二位	三位
パソコン	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
iPadなどのタブレット端末	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
スマートフォン	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
携帯電話(スマートフォンを除く)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
インターネットに接続したテレビ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
インターネットに接続したゲーム機	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
該当なし	-	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)



Q3

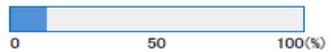
あなたは、見聞きした話題の内容や自分の意見・感想を他の人に伝えることはありますか。それぞれについて、最も近いものを1つお選びください。(それぞれひとつずつ)

		回答方向			
		よくする	たまにする	ほとんどしない	全くしない
1	新聞社に手紙やメールで投書する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2	テレビ局に手紙やメールで投書する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3	ラジオ局に手紙やメールで投書する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4	雑誌社に手紙やメールで投書する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5	ホームページやブログ、電子掲示板に書き込む	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6	FacebookやTwitter、LINEなどのSNSに書き込む	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7	家族や友人、知人に話をする	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)



Q4

あなたは、最近1年間に、次の施設等を訪れたことがありますか。訪れたことのある施設をいくつでもお選びください。(いくつでも)

- 動物園
- 水族館
- 植物園
- 博物館
- 科学館
- プラネタリウム
- 図書館
- 美術館
- コンサートホール
- 劇場
- 映画館
- サイエンスカフェ
- いずれも訪れていない

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が 無効になりますのでご注意ください)

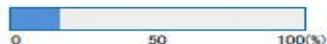


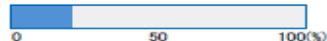
Q5

あなたは、次のことにどのくらい関心をもっていますか。それぞれについて、当てはまるものを1つお選びください。(それぞれひとつずつ)

		 回答方向			
		非常に 関心がある	どちらか かという と関心 がある	どちらか かという と関心 がない	全く 関心 がない
1	国際政治・外交	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2	経済・景気・国際競争力	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3	気候変動	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4	資源・エネルギー	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5	食料・水資源	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6	自然災害に対する防災・減災	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7	少子高齢化社会	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8	食の安全	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9	教育	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10	健康や医療	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
11	生活環境の保全	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
12	自然環境の保全	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
13	新しい技術や発明の利用(既存の知識を用いた新製品の開発など)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
14	新しい科学的発見(観察や実験、思考などに基づいた新事実や理論の発見など)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
15	新しい医学的発見(生体や疾病などに関する発見など)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
16	宇宙探査・開発	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
17	海洋探査・開発	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
18	原子力開発	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
19	情報通信技術(インターネットや電子商取引、情報セキュリティなどの技術)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
20	数理科学(最近の数学の成果を応用した技術開発など)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

次へ





Q6

あなたは、最近(過去2年以内)で、次のことについて、印象や記憶に残ったことがありますか。不安や嫌悪を感じたもの、感動や安心を感じたもの、それぞれについて、当てはまるものをいくつでもお選びください。
また、それらの中で最も強く印象や記憶に残ったものはどれですか。
それぞれについて、当てはまるものを1つお選びください。



	1	2	3	4
	不安や嫌悪を感じたもの(いくつでも)	最も不安や嫌悪を感じたもの(ひとつだけ)	感動や安心を感じたもの(いくつでも)	最も感動や安心を感じたもの(ひとつだけ)
国際政治・外交	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
経済・景気・国際競争力	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
気候変動	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
資源・エネルギー	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
食料・水資源	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
自然災害に対する防災・減災	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
少子高齢化社会	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
食の安全	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
教育	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
健康や医療	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
生活環境の保全	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
自然環境の保全	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
新しい技術や発明の利用(既存の知識を用いた新製品の開発など)	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
新しい科学的発見(観察や実験、思考などに基づいた新事実や理論の発見など)	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
新しい医学的発見(生体や疾病などに関する発見など)	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
宇宙探査・開発	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
海洋探査・開発	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
原子力開発	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
情報通信技術(インターネットや電子商取引、情報セキュリティなどの技術)	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
数理学(最近の数学の成果を応用した技術開発など)	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
特になし	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が 無効になりますのでご注意ください)



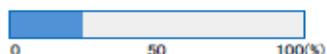
Q7

Q6であなたがお選びの「最も不安や嫌悪を感じたもの」(自然災害に対する防災・減災)及び「最も感動や安心を感じたもの」(新しい医学的発見(生体や疾病などに関する発見など))について、その内容を具体的に教えてください。

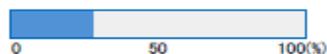
最も不安や嫌悪を感じたもの(具体的に)

最も感動や安心を感じたもの(具体的に)

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が 無効になりますのでご注意ください)



Q8

Q6で「不安や嫌悪を感じたもの」がある方にお聞きします。あなたは、その不安や嫌悪を感じた情報を最初に見聞きした時、どうすることが多かったですか。次のうち、当てはまるものをいくつでもお選びください。(いくつでも)

- 非常に興味をもった
- その情報をそのまま信じた
- その情報を疑った
- さらに詳しく知りたいと思った
- その情報や関連する情報を様々なメディアで確認した
- ホームページやブログ、電子掲示板にその内容や自分の意見・感想を書き込んだ
- FacebookやTwitter、LINEなどのSNSにその内容や自分の意見・感想を書き込んだ
- 家族や友人、知人に会話やメールで伝えた
- 自分には関係ないことと思った
- その他(具体的に)

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が 無効になりますのでご注意ください)



Q9

Q6で「感動や安心を感じたもの」がある方にお聞きします。あなたは、その感動や安心を感じた情報を最初に見聞きした時、どうすることが多かったですか。次のうち、当てはまるものをいくつかもお選びください。(いくつでも)

- 非常に興味をもった
- その情報をそのまま信じた
- その情報を疑った
- さらに詳しく知りたいと思った
- その情報や関連する情報を様々なメディアで確認した
- ホームページやブログ、電子掲示板にその内容や自分の意見・感想を書き込んだ
- FacebookやTwitter、LINEなどのSNSにその内容や自分の意見・感想を書き込んだ
- 家族や友人、知人に会話やメールで伝えた
- 自分には関係ないことと思った
- その他(具体的に)

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が 無効になりますのでご注意ください)

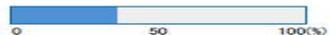


Q10

Q6で「不安や嫌悪を感じたもの」がある方にお聞きします。あなたは、その不安や嫌悪を感じた情報に関して、あなたの意見や判断を左右したものがありますか。次のうち、当てはまるものをいくつかもお選びください。(いくつでも)
また、それらのうち、最も左右したものとして当てはまるものを1つお選びください。(ひとつだけ)

	1	2
	意見や判断を左右したものの	最も意見や判断を左右したものの
<div style="text-align: center;">  回答方向 </div>		
科学者など専門家から発信された情報	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
科学者など専門家が学会や学術論文で発表した情報	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
新聞社や雑誌社、テレビ局の記者から発信された情報	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ニュースキャスターやコメンテーターから発信された情報	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
著名人や評論家から発信された情報	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
タレントや芸能人から発信された情報	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
国の行政機関や地方公共団体から発信された情報	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
国会議員や地方議会議員から発信された情報	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
国立や公立などの公的研究機関から発信された情報	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
大学から発信された情報	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
学会から発信された情報	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
科学館や博物館など科学技術関連施設から発信された情報	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
民間企業や民間団体から発信された情報	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
一般の人から発信された情報や意見	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
家族や友人、知人の話	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
その他(具体的に <input type="text"/>)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
特になし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が 無効になりますのでご注意ください)



Q11

Q6で「感動や安心を感じたもの」がある方にお聞きます。あなたは、その感動や安心を感じた情報に関して、あなたの意見や判断を左右したものがありますか。次のうち、当てはまるものをいくつでもお選びください。(いくつでも)
また、それらのうち、最も左右したものとして当てはまるものを1つお選びください。(ひとつだけ)

 回答方向	1	2
	意見や判断を左右したものの	最も意見や判断を左右したものの
科学者など専門家から発信された情報	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
科学者など専門家が学会や学術論文で発表した情報	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
新聞社や雑誌社、テレビ局の記者から発信された情報	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
ニュースキャスターやコメンテーターから発信された情報	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
著名人や評論家から発信された情報	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
タレントや芸能人から発信された情報	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
国の行政機関や地方公共団体から発信された情報	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
国会議員や地方議会議員から発信された情報	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
国立や公立などの公的研究機関から発信された情報	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
大学から発信された情報	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
学会から発信された情報	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
科学館や博物館など科学技術関連施設から発信された情報	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
民間企業や民間団体から発信された情報	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
一般の人から発信された情報や意見	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
家族や友人、知人の話	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
その他 (具体的に <input type="text"/>)	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
特になし	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が 無効になりますのでご注意ください)



Q12

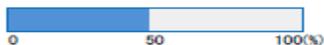
Q8又はQ9で「その情報を疑った」をお選びの方にお聞きします。あなたは、なぜその情報を疑ったのですか。次のうち、当てはまるものをいくつでもお選びください。(いくつでも)

- 情報発信者が信頼できなかったから
- 情報発信メディアが信頼できなかったから
- 不確かな情報として発信されたから
- 科学的根拠が不明と感じたから
- 自分や家族、日常生活に影響する情報と感じたから
- とりあげ方が興味本位の情報と感じたから
- 情報の内容がよく理解できなかったから
- どんな情報でもまず疑ってかかるほうだから
- その他(具体的に)

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が 無効になりますのでご注意ください)

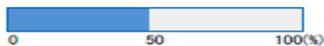


Q13

Q8又はQ9で「その情報や関連する情報を様々なメディアで確認した」をお選びの方にお聞きします。その時あなたが利用したメディアは何ですか。次のうち、当てはまるものをいくつでもお選びください。(いくつでも)

- 新聞(印刷版)
- 新聞(電子版)
- テレビ
- ラジオ
- 本(電子版を含む)
- 雑誌(電子版を含む)
- Yahoo!やMSNなどのポータルサイトや新聞社などのニュースサイト
- 首相官邸や政府広報のサイト
- 国の行政機関や地方公共団体の公式サイト
- 民間企業や民間団体の公式サイト
- 国立や公立などの公的研究機関の公式サイト
- 大学の公式サイト
- 学会の公式サイト
- 科学館や博物館など科学技術関連施設の公式サイト
- 電子掲示板や一般個人のホームページ、ブログ
- FacebookやTwitter、LINEなどのSNS
- 家族や友人、知人の話
- その他(具体的に)

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が 無効になりますのでご注意ください)



Q14

人々は、さまざまなメディアを通じて、新しい技術や発明、科学的発見など科学技術に関するプラス面の情報やリスクなどの科学技術に関するマイナス面の情報に触れていますが、あなたはこれらの情報の発信源について、どの程度信頼できますか。それぞれについて、あなたの考えに最も近いものを1つお答えください。(それぞれひとつずつ)

		信頼できる	どちらかという信頼できる		信頼できない
			どちらかという信頼できる	どちらかという信頼できない	
1	科学者の話	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2	医師の話	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3	著名人や評論家の話	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4	新聞社や雑誌社、テレビ局の記者の話	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5	ニュースキャスターやコメンテーターの話	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6	タレントや芸能人の話	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7	国会議員や地方議会議員の話	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8	家族や友人、知人の話	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9	国の行政機関や地方公共団体からの情報	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10	国立や公立などの公的研究機関からの情報	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
11	大学からの情報	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
12	学会からの情報	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
13	科学館や博物館など科学技術関連施設からの情報	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
14	民間企業や民間団体からの情報	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
15	ホームページやブログ、電子掲示板などを通じた一般の人からの情報	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が 無効になりますのでご注意ください)



Q15

様々なメディアや機関などから科学技術に関連する情報が発信されていますが、一般の人々に十分に提供していると思いますか。次のそれぞれについて、あなたの考えに最も近いものを1つお選びください。(それぞれひとつずつ)

		十分提供されている	どちらかという提供されている		全く提供されていない
			どちらかという提供されている	あまり提供されていない	
1	新聞	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2	テレビ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3	国の行政機関や地方公共団体	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4	国立や公立などの公的研究機関	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5	大学	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6	科学館や博物館など科学技術関連施設	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7	民間企業や民間団体	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8	科学者	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9	学会	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が 無効になりますのでご注意ください)



Q16

様々なメディアや機関などから発信されている科学技術に関する情報について、総合的に足りないと感じることは何ですか。次のうち、当てはまるものをいくつでもお選びください。(いくつでも)

- 迅速な情報
- 信頼性の高い情報
- 簡潔な情報
- 整理された情報
- わかりやすい情報
- 深く掘り下げられている情報
- 周辺情報を含めた幅広い情報
- 科学的知見や法的知見など根拠が明確な情報
- メリットに関する情報
- デメリットやリスク、不確実性に関する情報
- 中立・公正な情報
- 情報の提供者、入手元、発信源など情報源が明確な情報
- その他(具体的に)
- 特にない

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が 無効になりますのでご注意ください)



Q17

あなたは、科学技術に関するニュースや話題に関心がありますか。次のうち、当てはまるものを1つお選びください。

- 非常に関心がある
- どちらかというと関心がある
- どちらかというと関心がない
- 全く関心がない

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が 無効になりますのでご注意ください)



Q18

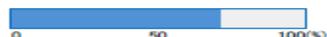
あなたは、あなた自身、科学技術に関する知識がある方だと思いますか。次のうち、当てはまるものを1つお選びください。

- 非常にある
- どちらかというところ
- どちらかというところない
- 全くない

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が 無効になりますのでご注意ください)



Q19

あなたは、普段、科学技術に関連した情報をどこから得ていますか。次のうち、当てはまるものをいくつでもお選びください。(いくつでも)
また、それらのうち、最も多いところを1つお選びください。(ひとつだけ)

 回答方向	1	2
	情報を得るところ	最も情報を得るところ
新聞(印刷版)	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
新聞(電子版)	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
テレビ	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
ラジオ	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
本(電子版を含む)	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
雑誌(電子版を含む)	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
インターネット	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
国や地方の行政機関	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
国立や公立などの公的研究機関	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
科学館や博物館など科学技術関連施設	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
大学	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
講演会やシンポジウム、市民講座	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
家族や友人、知人の話	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
その他 (具体的に <input type="text"/>)	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が 無効 になりますのでご注意ください)

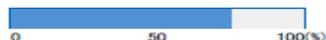


Q20

Q19で最も情報を得るところとして、「インターネット」をお選びの方にお聞きします。あなたがインターネットから科学技術に関連した情報を得る時、どこから得ていますか。次のうち、当てはまるものをいくつでもお選びください。(いくつでも) また、それらのうち、最も多いところを1つお選びください。(ひとつだけ)

回答方向	1	2
	情報を得るところ	最も情報を得るところ
Yahoo!やMSNなどのポータルサイトや新聞社などのニュースサイト	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
首相官邸や政府広報のサイト	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
国の行政機関や地方公共団体の公式サイト	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
民間企業や民間団体の公式サイト	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
国立や公立などの公的研究機関の公式サイト	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
大学の公式サイト	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
科学館や博物館など科学技術関連施設の公式サイト	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
学会の公式サイト	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
電子掲示板や一般個人のホームページ、ブログ	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
FacebookやTwitter、LINEなどのSNS	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
その他 (具体的に <input type="text"/>)	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が 無効 になりますのでご注意ください)



Q21

科学技術の発展には、プラス面とマイナス面があると言われておりますが、全体的に見た場合、あなたはそのどちらが多いと思いますか。次のうち、当てはまるものを1つお選びください。

- プラス面が多い
- どちらかというプラス面が多い
- 両方同じくらいである
- どちらかというマイナス面が多い
- マイナス面が多い

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が 無効になりますのでご注意ください)



Q22

科学技術に関する次の意見や考えについて、あなたはどのようにお考えですか。あなたのお考えに当てはまるものを1つお選びください。(それぞれひとつずつ)

		回答方向				
		そう思う	どちらかというと思う	どちらともいえない	どちらかというと思う	そう思わない
1	科学技術の進歩につれて、生活はより便利で快適なものになる	<input type="radio"/>				
2	日常生活で科学について知っておくことは、私にとって重要なことである	<input type="radio"/>				
3	科学技術によって次世代はより多くの機会に恵まれる	<input type="radio"/>				
4	科学技術によって私たちの生活様式は急激に変化している	<input type="radio"/>				
5	たとえすぐに利益をもたらさないとしても、最先端の学問を前進させる科学研究は必要であり、政府によって支援されなければならない	<input type="radio"/>				
6	少しでもリスクのある科学技術は使用すべきではない	<input type="radio"/>				
7	科学技術の研究開発の方向性は、内容をよく知っている専門家が決めるのがよい	<input type="radio"/>				
8	科学技術の利用には、予想もできない危険が潜んでいる	<input type="radio"/>				
9	科学技術の利便性を享受するためには、ある程度のリスクを受容しなければならない	<input type="radio"/>				
10	社会的影響力の大きい科学技術の評価には、市民も参加すべきだ	<input type="radio"/>				
11	科学技術に関する事故や事件の情報は、多少不正確でも早く発表すべきだ	<input type="radio"/>				

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が 無効になりますのでご注意ください)



Q23

あなたが社会的に影響力の大きい科学技術を評価する時に重視することは何ですか。次のうち、重視するものをいくつでもお選びください。(いくつでも) また、そのうち最も重視するものを1つお選びください。(ひとつだけ)

	回答方向	
	1 重視するもの	2 最も重視するもの
国や企業など科学技術を開発・利用する主体が信頼できるかどうか	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
その科学技術によって人々が経済的に豊かになるかどうか	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
その科学技術を技術的にコントロールできるかどうか	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
社会が規制して、その科学技術の誤用や悪用を防ぐことができるかどうか	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
その科学技術が社会にとって必要かどうか	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
起こりうる事故の規模の大きさ	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
責任の所在がはっきりしているかどうか	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
事故の起こる確率の高さ	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
将来、その科学技術によって何が起こるか予想できるかどうか	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が 無効になりますのでご注意ください)



Q24

2011年3月11日の東日本大震災の発生に伴い、福島第一原子力発電所の事故が起きました。福島第一原子力発電所の事故の影響に対する不安について、あなたは現在どのように感じていますか。次のうち、当てはまるものを1つお選びください。

- 非常に不安である
- どちらかという不安である
- どちらともいえない
- どちらかという不安でない
- 全く不安でない

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が 無効になりますのでご注意ください)



Q25

Q24で「非常に不安である」又は「どちらかという不安である」をお選びの方にお伺いします。あなたは、福島第一原子力発電所の事故の影響に対して、どのような不安を感じていますか。あなたが現在感じている不安について具体的にお書きください。

送信



DISCUSSION PAPER No.121

科学技術に関する情報の主要取得源と意識等との関連

2015年8月

文部科学省 科学技術・学術政策研究所
第2調査研究グループ

〒100-0013

東京都千代田区霞が関 3-2-2 中央合同庁舎第7号館 東館 16階

TEL:03-3581-2392 FAX:03-3503-3996

本報告書は2015年3月末に作成、8月に公表されました。